

第24回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「ひょうごの道・橋・川を考える」

平成30年度

兵 庫 県

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5
II	調査の結果	
1	「道路整備・維持管理に対する評価」に関することについて	
問1	一般道路の満足度（歩行者・自転車移動の視点）	6
問2	一般道路に対する不満な点（歩行者・自転車移動の視点）	10
問3	一般道路の満足度（車・バイク移動の視点）	14
問4	一般道路に対する不満な点（車・バイク移動の視点）	18
問5	自動車専用道路の満足度	22
問6	自動車専用道路に対する不満な点	26
2	「海や川など水辺の環境の保全に対する評価」に関することについて	
問7	水辺の環境の満足度	31
問8	水辺の環境に対する不満な点	35
問9	未来に残したい水辺の環境	40
3	「自然災害に対する意識」に関することについて	
問10	不安を感じる自然災害	45
問11	自然災害への備えに対する不安な点	49
問12	水害・土砂災害からの避難に必要な情報	54
問13	CGハザードマップの認知度	59
4	「今後の社会基盤整備の方向性に対する意識」に関することについて	
問14	社会基盤の老朽化の認識	63
問15	道路・河川等の美化活動への参加状況	67
問16	社会基盤整備で重視すべき視点	71
問17	整備が必要な社会基盤施設	76
5	毎年調査項目	
問19	今の生活全般での満足度	82
問20	今の生活の項目別での満足度	86
問21	去年と比べた生活の向上感	113
問22	大地震発生の可能性	117
問23	地域活動への参加	121
問24	県政への関心	124
問25	県政への評価	128
問26	県民局・県民センターの認知度	161

Ⅲ 調査票

第24回 県民意識調査「ひょうごの道・橋・川を考える」調査票…………… 165

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「ひょうごの道・橋・川を考える」とし、平成26年度の策定から5年が経過する「社会基盤整備プログラム」の見直しにあたり、県民の社会基盤施設に対する満足度や期待する効果等を調査し、今後の本県の社会基盤整備の検討に活用する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成30年9月3日（月）～9月25日（火）
- (6) 県民意識調査有識者会議
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

沖村 孝 （神戸大学名誉教授）

立木 茂雄 （同志社大学教授）

鳥越 皓之 （大手前大学学長）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 営業推進部 ディレクター） [五十音順]

3 回収結果

回収数 2,913件(回収率58.3%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	279	55.8%	0	279
阪神南	500	260	52.0%	1	259
阪神北	500	279	55.8%	0	279
東播磨	500	301	60.2%	0	301
北播磨	500	298	59.6%	1	297
中播磨	500	277	55.4%	0	277
西播磨	500	302	60.4%	0	302
但馬	500	324	64.8%	1	323
丹波	500	302	60.4%	1	301
淡路	500	288	57.6%	1	287
不明		3		3	0
全県	5,000	2,913	58.3%	8	2,905

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H30. 3. 31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元



地域区分

県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	41.2	57.9	0.9
神戸	38.7	59.9	1.4
阪神南	42.9	56.8	0.4
阪神北	39.8	60.2	0.0
東播磨	42.5	56.5	1.0
北播磨	40.7	58.2	1.0
中播磨	41.9	57.8	0.4
西播磨	42.7	55.0	2.3
但馬	45.5	52.6	1.9
丹波	44.5	55.1	0.3
淡路	44.3	55.4	0.3

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	8.0	10.0	15.6	15.4	21.2	19.1	10.0	0.7
神戸	9.3	9.3	14.7	14.0	20.1	22.2	9.3	1.1
阪神南	7.3	11.2	18.1	17.0	18.5	18.1	9.3	0.4
阪神北	7.9	11.5	15.4	16.1	20.4	18.3	10.4	0.0
東播磨	8.0	11.0	15.9	15.9	22.9	16.6	9.0	0.7
北播磨	6.1	9.4	15.2	17.5	23.6	18.9	8.4	1.0
中播磨	9.0	9.0	15.9	15.5	23.1	16.2	11.2	0.0
西播磨	6.3	8.6	14.6	14.2	23.8	18.9	11.3	2.3
但馬	5.0	8.4	13.3	13.9	24.1	18.6	14.9	1.9
丹波	6.6	9.0	12.3	12.6	23.3	19.9	15.9	0.3
淡路	5.9	8.4	13.2	15.7	24.4	20.2	12.2	0.0

○ 職業 (%)

	職業別								不明
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	
全県	8.6	24.6	3.4	6.0	15.1	17.0	1.7	22.3	1.2
神戸	9.7	23.7	4.7	6.8	14.3	17.6	2.2	19.7	1.4
阪神南	7.7	25.1	3.9	5.4	17.8	15.4	1.2	22.8	0.8
阪神北	4.7	23.7	2.9	6.5	17.6	19.0	2.9	22.2	0.7
東播磨	5.0	25.9	2.3	5.3	14.3	18.6	2.3	25.2	1.0
北播磨	16.2	22.9	1.7	7.1	14.8	13.8	0.7	21.5	1.3
中播磨	7.2	26.0	3.2	5.1	13.4	19.1	1.1	23.5	1.4
西播磨	10.3	25.2	2.0	5.3	12.3	15.9	1.0	25.2	3.0
但馬	16.1	24.1	3.1	7.1	9.3	13.6	0.3	23.5	2.8
丹波	10.6	28.2	0.7	5.3	17.3	13.6	0.3	23.9	0.0
淡路	20.9	23.0	2.1	5.9	14.6	11.1	1.4	20.6	0.3

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.6	27.6	50.3	8.8	2.7	1.0
神戸	11.1	28.3	52.3	5.4	1.4	1.4
阪神南	10.8	27.0	50.6	5.8	5.4	0.4
阪神北	7.9	31.9	53.4	4.7	2.2	0.0
東播磨	8.6	28.2	53.2	7.6	1.7	0.7
北播磨	6.1	23.6	44.4	20.5	4.4	1.0
中播磨	9.0	25.6	47.7	14.8	1.8	1.1
西播磨	10.3	26.2	43.0	13.9	3.6	3.0
但馬	9.3	22.6	43.3	21.7	1.9	1.2
丹波	8.3	25.6	40.5	19.6	3.3	2.7
淡路	8.0	26.1	45.3	16.4	3.8	0.3

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	2.0	4.8	6.2	9.7	10.6	10.8	54.9	0.8
神戸	1.4	5.4	7.9	9.7	12.2	13.3	49.1	1.1
阪神南	4.6	7.3	8.5	12.4	14.7	12.4	39.8	0.4
阪神北	1.8	4.7	5.7	12.9	13.3	12.9	48.4	0.4
東播磨	1.0	3.7	4.7	10.3	7.6	9.0	62.8	1.0
北播磨	1.0	0.7	3.4	5.4	5.4	6.7	76.8	0.7
中播磨	2.2	4.0	5.8	7.6	9.0	7.6	63.5	0.4
西播磨	1.0	3.6	2.6	5.6	4.3	6.0	74.2	2.6
但馬	0.6	2.5	2.2	4.6	5.3	8.4	75.2	1.2
丹波	1.3	5.0	3.3	6.3	4.7	6.6	72.4	0.3
淡路	1.7	3.1	2.8	5.6	3.5	8.7	73.9	0.7

○ インターネット利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	持っていない	不明
全県	24.2	49.2	25.5	1.1
神戸	25.1	47.3	26.2	1.4
阪神南	23.9	54.1	21.2	0.8
阪神北	26.2	52.7	20.8	0.4
東播磨	22.9	50.5	25.9	0.7
北播磨	23.6	44.8	30.3	1.3
中播磨	20.9	50.2	28.2	0.7
西播磨	26.5	43.4	26.8	3.3
但馬	28.2	36.8	33.4	1.5
丹波	21.3	40.9	36.5	1.3
淡路	19.2	47.4	32.1	1.4

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率(%)

〈例：サンプル数 2,913 の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差(%)	±1.11	±1.47	±1.69	±1.80	±1.84

II 調査の結果

1 「道路整備・維持管理に対する評価」に関することについて

問1 一般道路の満足度（歩行者・自転車移動の視点）

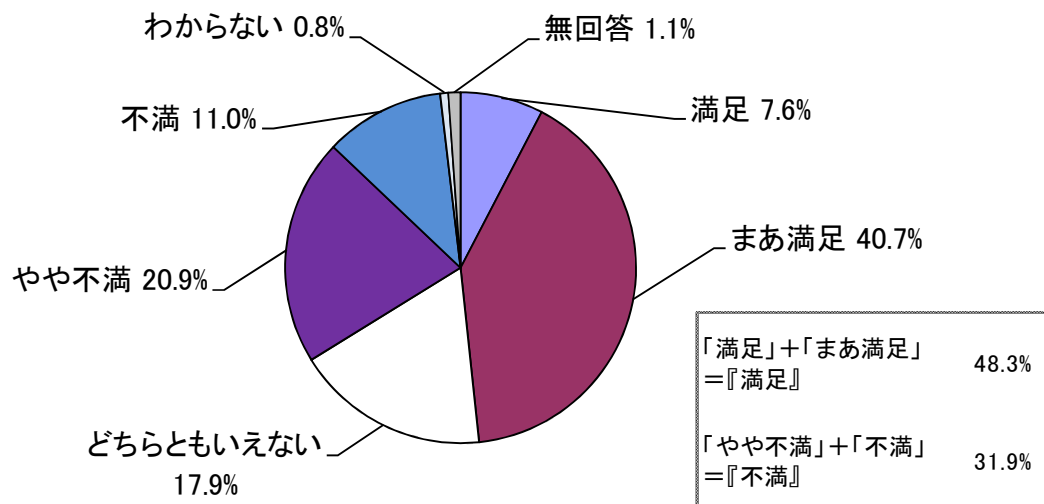
問1

あなたがお住まいの地域で、通勤・通学、買い物など普段の生活に利用する「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、歩いたり自転車で移動するときに、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

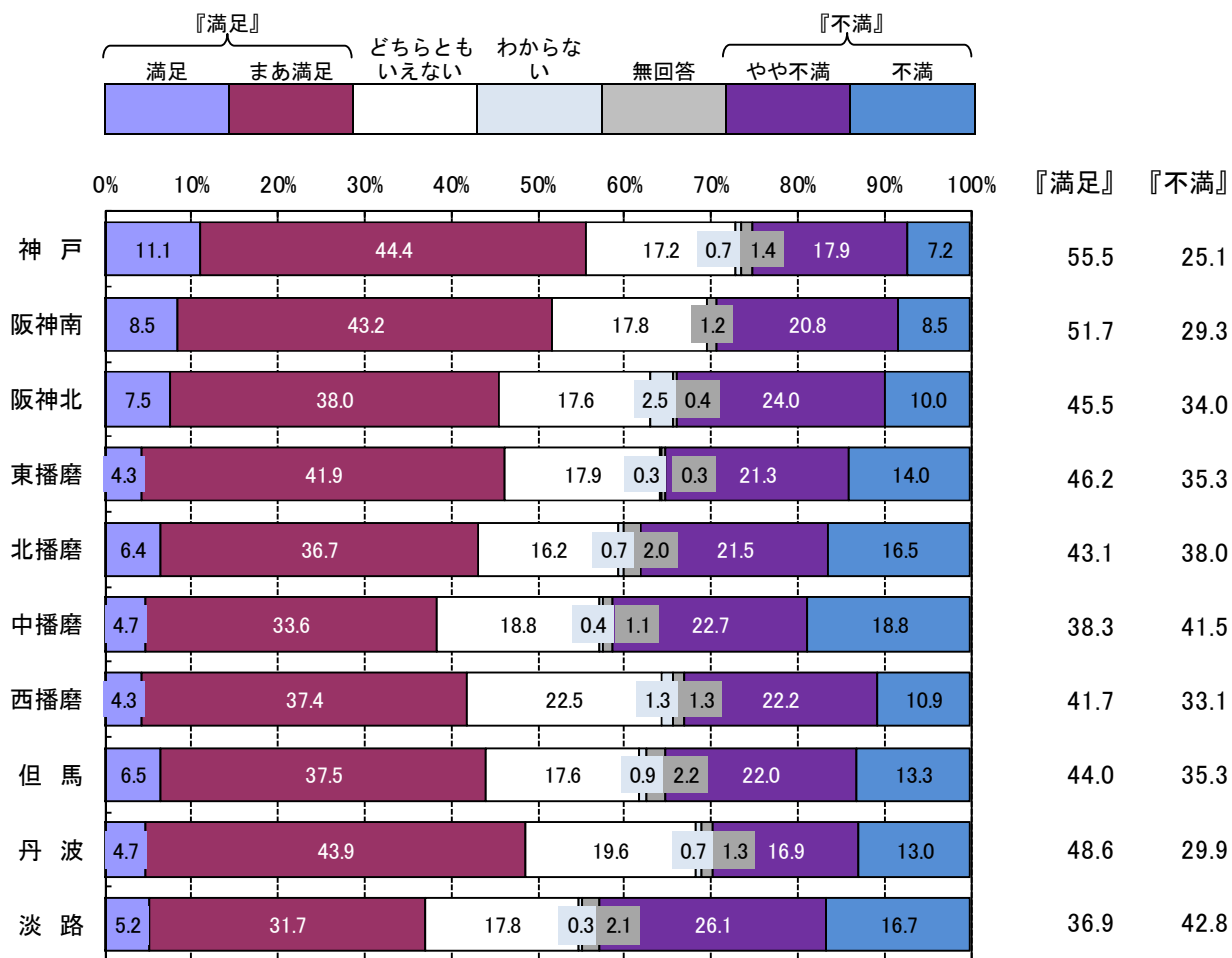
【全県】

「満足(7.6%)」と「まあ満足(40.7%)」とを合わせた『満足』は48.3%となり、「不満(11.0%)」と「やや不満(20.9%)」とを合わせた『不満』は31.9%となった。



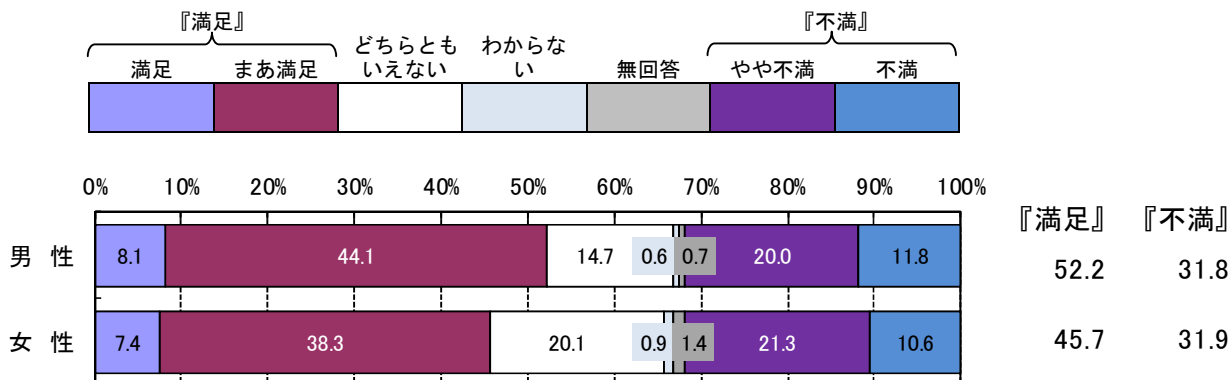
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く(55.5%)、次いで阪神南(51.7%)、丹波(48.6%)が高い。



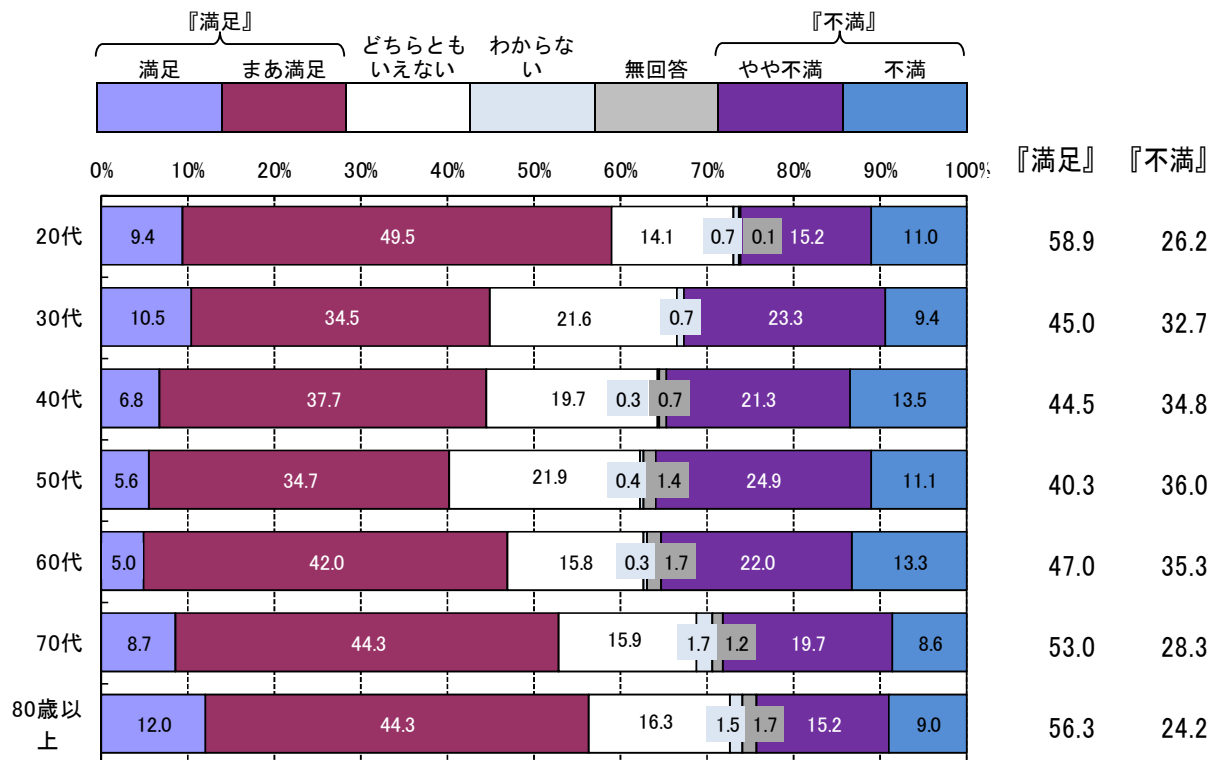
【性別】

『満足』は男性の方が女性より6.5ポイント高い。



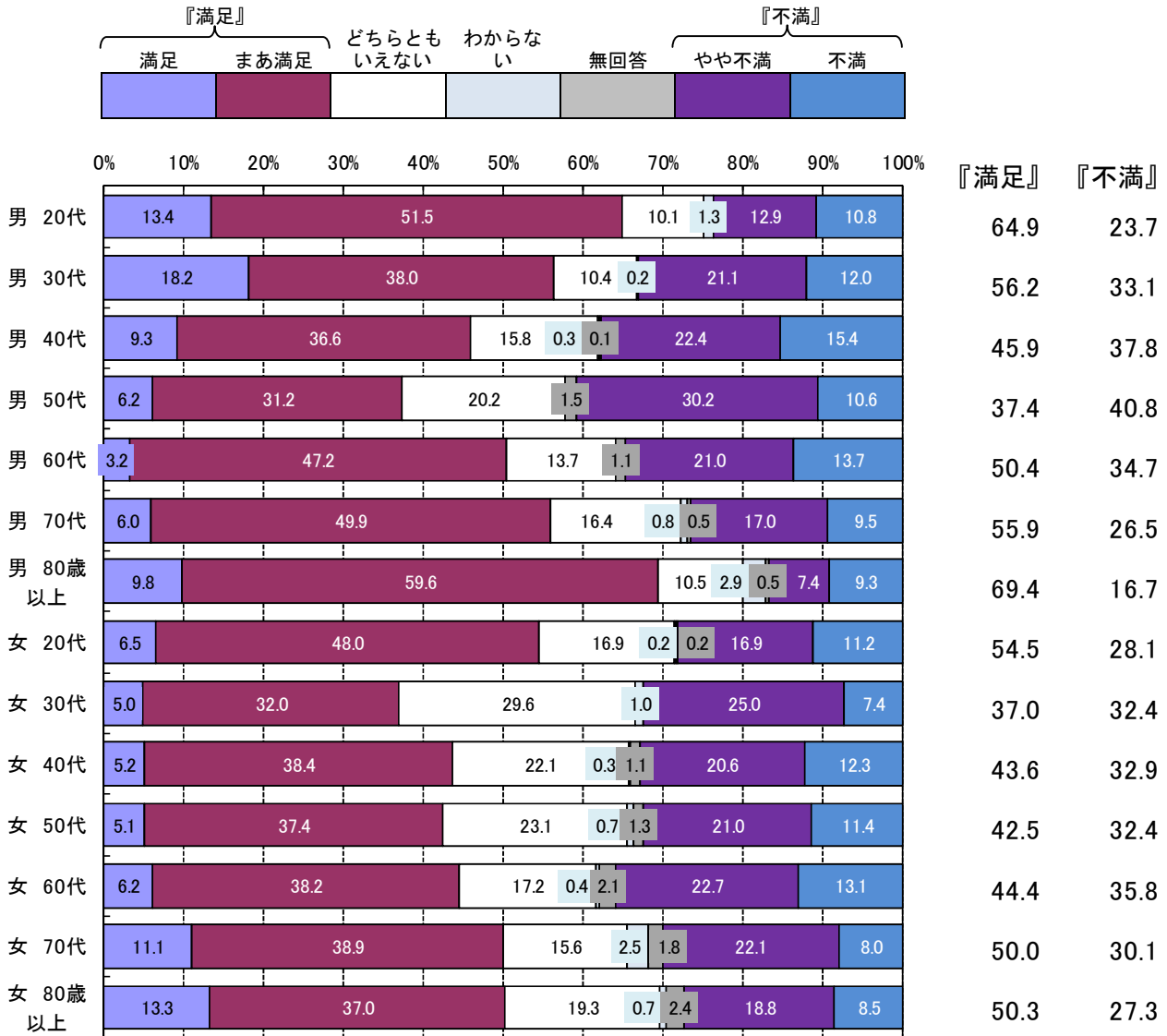
【年代別】

『満足』は20代が最も高く(58.9%)、次いで80歳以上が高い(56.3%)。



【性・年代別】

『満足』は男性は80歳以上で最も高く(69.4%)、女性は20代で最も高い(54.5%)。



問2 一般道路に対する不満な点（歩行者・自転車移動の視点）

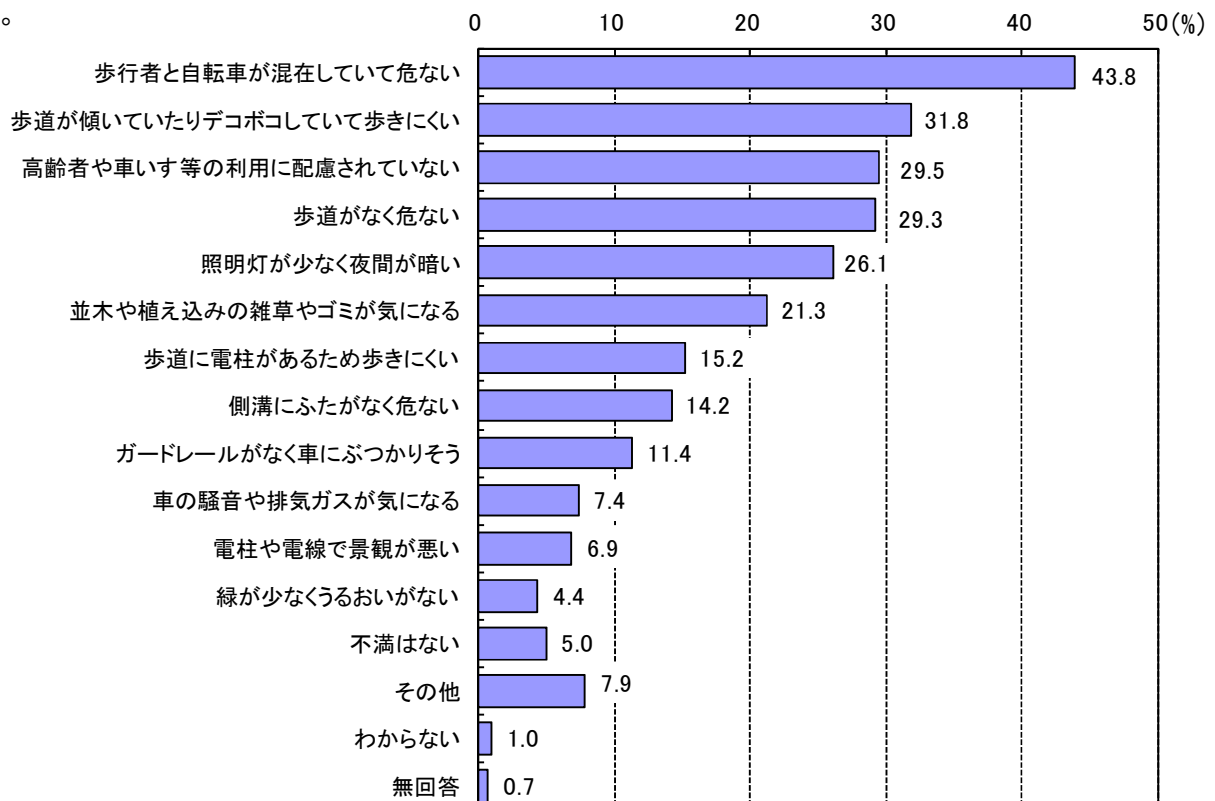
問2

あなたは、「道路（一般道路）」について、歩いたり自転車で移動するとき、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩道がなく危ない
- 2 歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい
- 3 歩道に電柱があるため歩きにくい
- 4 歩行者と自転車が混在して歩いて危ない
- 5 高齢者や車いす等の利用に配慮されていない
- 6 側溝にふたがなく危ない
- 7 ガードレールがなく車にぶつかりそう
- 8 照明灯が少なく夜間が暗い
- 9 電柱や電線で景観が悪い
- 10 並木や植え込みの雑草やゴミが気になる
- 11 車の騒音や排気ガスが気になる
- 12 緑が少なくうるおいがない
- 13 不満はない
- 14 その他（ ）
- 15 わからない

【全県】

「歩行者と自転車が混在して歩いて危ない(43.8%)」が最も多く、次いで「歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい(31.8%)」、「高齢者や車いす等の利用に配慮されていない(29.5%)」が続いている。



【地域別】

全県で最も多い「歩行者と自転車が混在していて危ない(43.8%)」は、阪神南で最も多く(59.8%)、次いで東播磨(46.5%)、阪神北(44.8%)が多い。

丹波、淡路では「歩道が狭くすれ違にくい」が最も多く、但馬では「照明灯が少なく夜間が暗い」が最も多い。

区分	歩行者と自転車が混在して危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩きにくい	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	歩道がなく危ない	照明灯が少なく夜間が暗い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	歩道に電柱があるため歩きにくい	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	車の騒音や排気ガスが気になる	電柱や電線で景観が悪い	緑が少なくうるおいがない	最大値	最小値	わからない	無回答	(%)	
													5.0	7.9				
全 県	43.8	31.8	29.5	29.3	26.1	21.3	15.2	14.2	11.4	7.4	6.9	4.4	5.0	7.9	1.0	0.7		
地域別	神 戸	41.2	30.5	30.5	19.7	19.0	24.0	11.8	12.5	9.3	11.5	6.5	4.7	8.2	7.2	1.4	1.4	
	阪神南	59.8	36.3	33.2	21.6	20.5	17.8	24.3	13.1	6.6	7.3	13.5	8.1	2.7	10.0	0.4	0.0	
	阪神北	44.8	34.1	28.0	28.3	24.7	22.9	17.6	14.0	11.8	6.1	8.2	4.3	2.5	7.9	1.1	0.4	
	東播磨	46.5	35.5	29.6	32.6	26.9	15.9	15.3	15.3	15.0	6.0	3.3	4.3	4.0	8.0	1.0	0.3	
	北播磨	26.3	20.2	25.3	44.4	42.8	26.9	6.1	13.1	16.5	6.1	3.0	1.7	6.7	9.4	1.7	1.0	
	中播磨	41.9	32.9	24.9	46.2	27.4	20.6	17.7	18.1	14.8	3.6	3.6	2.5	5.1	6.5	0.7	1.1	
	西播磨	36.8	31.5	29.5	30.5	38.1	23.5	12.3	10.6	12.3	6.3	4.0	0.3	5.3	7.6	0.3	0.7	
	但 馬	26.3	22.3	26.9	40.6	48.6	17.6	9.3	18.3	14.6	2.5	4.6	0.6	3.7	6.5	0.9	0.6	
	丹 波	23.9	24.9	33.6	47.2	43.5	28.2	2.3	17.6	16.9	4.0	4.7	1.7	3.0	4.3	1.7	1.0	
	淡 路	27.9	17.8	26.8	50.5	47.7	22.0	4.5	22.0	15.0	4.5	4.2	2.1	2.8	6.6	0.7	0.7	
地域間の差	35.9	18.5	8.7	30.8	29.6	12.3	22.0	11.4	10.3	9.0	10.5	7.8	5.7	5.7	1.4	1.4		

【性別】

男女とも「歩行者と自転車が混在していて危ない(43.8%)」が最も多く、女性が男性より 2.8 ポイント多い(男性 42.4%、女性 45.2%)。

区分		歩行者と自転車が混在していて危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	歩道がなく危ない	照明灯が少なく夜間が暗い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	歩道に電柱があるため歩きにくい	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	車の騒音や排気ガスが気になる	電柱や電線で景観が悪い	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		43.8	31.8	29.5	29.3	26.1	21.3	15.2	14.2	11.4	7.4	6.9	4.4	5.0	7.9	1.0	0.7	
性別	男 性	42.4	29.4	26.6	29.3	24.9	21.7	17.3	15.0	13.6	6.8	9.9	4.2	4.7	7.4	1.1	0.1	
	女 性	45.2	33.5	31.4	29.3	27.2	21.0	13.8	13.5	9.8	7.8	4.8	4.4	5.2	8.0	0.9	1.1	
性別間の差		2.8	4.1	4.8	0.0	2.3	0.7	3.5	1.5	3.8	1.0	5.1	0.2	0.5	0.6	0.2	1.0	

【年代別】

「歩行者と自転車が混在していて危ない(43.8%)」は全年代で最も多く、中でも 70 代が最も多い(46.2%)。続く「歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい(31.8%)」は 20 代が最も多い(35.7%)。

区分		歩行者と自転車が混在していて危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	歩道がなく危ない	照明灯が少なく夜間が暗い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	歩道に電柱があるため歩きにくい	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	車の騒音や排気ガスが気になる	電柱や電線で景観が悪い	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		43.8	31.8	29.5	29.3	26.1	21.3	15.2	14.2	11.4	7.4	6.9	4.4	5.0	7.9	1.0	0.7	
年代別	20代	43.2	35.7	12.5	28.6	28.5	14.7	11.6	17.9	11.7	8.3	6.6	4.9	4.5	8.9	3.5	0.1	
	30代	41.8	31.7	17.6	39.2	26.6	17.1	15.9	18.4	13.3	6.9	8.1	6.9	4.5	9.0	0.2	0.2	
	40代	40.4	33.0	21.8	39.0	32.2	18.4	18.8	12.5	14.2	6.3	4.9	4.2	3.0	9.3	0.0	0.1	
	50代	44.5	32.3	33.0	24.9	27.9	25.1	14.6	13.2	10.4	5.9	7.4	4.1	4.1	7.4	0.9	0.0	
	60代	44.8	28.0	34.5	28.1	24.4	23.9	16.6	16.4	10.1	5.3	7.7	4.0	3.6	9.2	0.4	2.0	
	70代	46.2	33.2	38.7	24.2	23.0	23.1	14.0	11.8	11.6	10.0	5.9	3.7	6.7	6.0	0.8	0.6	
	80歳以上	45.9	30.8	33.0	23.8	21.7	20.1	12.9	11.0	8.8	10.2	8.5	3.6	10.3	3.7	3.0	1.4	
年代間の差		5.8	7.7	26.2	15.4	10.5	10.4	7.2	7.4	5.4	4.9	3.6	3.3	7.3	5.6	3.5	2.0	

【性・年代別】

「歩行者と自転車が混在していて危ない(43.8%)」は、男性は80歳以上(48.1%)、女性は20代(48.7%)が多い。続く「歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい(31.8%)」は男性は70代(35.1%)、女性は20代が最も多い(39.4%)。

区分		最大値													最小値		(%)
		歩行者と自転車が混在して危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	歩道がなく危ない	照明灯が少なく夜間が暗い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	歩道に電柱があるため歩きにくい	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	車の騒音や排気ガスが気になる	電柱や電線で景観が悪い	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	
全 県		43.8	31.8	29.5	29.3	26.1	21.3	15.2	14.2	11.4	7.4	6.9	4.4	5.0	7.9	1.0	0.7
男性・年代別	20代	35.8	30.7	13.1	25.3	27.2	16.0	14.6	18.1	9.4	5.5	8.5	2.6	3.6	4.0	8.2	0.0
	30代	37.4	29.1	16.9	32.1	27.0	14.5	16.9	18.4	15.1	8.4	11.0	8.1	8.1	4.9	0.4	0.4
	40代	39.8	29.7	18.4	37.1	31.6	21.2	18.2	11.5	19.3	7.5	7.5	4.8	4.7	6.4	0.0	0.0
	50代	44.8	31.1	23.1	25.6	23.9	20.2	18.9	15.2	16.3	5.0	10.6	4.6	4.3	7.6	0.0	0.0
	60代	41.2	21.7	32.9	31.1	24.1	22.4	20.6	17.9	12.8	4.7	11.8	2.9	3.8	11.4	0.0	0.1
	70代	46.5	35.1	38.1	23.1	24.6	27.8	16.4	10.1	11.1	7.9	6.9	3.4	4.9	8.2	0.2	0.1
	80歳以上	48.1	29.4	27.4	34.2	12.3	22.0	10.0	18.1	9.8	10.8	15.4	4.9	4.4	3.4	4.2	0.3
男性・年代間の差		12.3	13.4	25.0	14.0	19.3	13.3	10.6	8.3	9.9	6.1	8.5	5.5	4.5	8.0	8.2	0.4
女性・年代別	20代	48.7	39.4	12.1	31.1	29.5	13.7	9.4	17.8	13.4	10.3	5.2	6.6	5.0	12.5	0.0	0.2
	30代	45.0	33.6	18.1	44.4	26.3	18.9	15.2	18.5	12.0	5.9	6.0	6.1	1.9	12.0	0.1	0.0
	40代	40.7	35.1	23.9	40.2	32.6	16.6	19.2	13.2	11.0	5.6	3.3	3.7	2.0	11.2	0.0	0.1
	50代	44.3	33.3	40.4	24.5	30.8	28.7	11.3	11.7	5.9	6.5	5.0	3.8	3.9	7.3	1.6	0.0
	60代	47.4	32.4	35.6	26.0	24.6	25.0	13.8	15.4	8.1	5.8	4.8	4.8	3.4	7.6	0.7	3.3
	70代	46.5	31.7	38.7	25.3	21.7	19.2	11.1	12.4	12.2	12.0	5.1	4.0	8.3	4.2	1.3	1.0
	80歳以上	45.2	31.9	36.1	17.5	26.9	19.1	14.6	7.5	8.4	10.1	5.0	3.0	13.6	3.9	2.4	2.0
女性・年代間の差		8.0	7.7	28.3	26.9	10.9	15.0	9.8	11.0	7.5	6.4	2.7	3.6	11.7	8.6	2.4	3.3

問3 一般道路の満足度（車・バイク移動の視点）

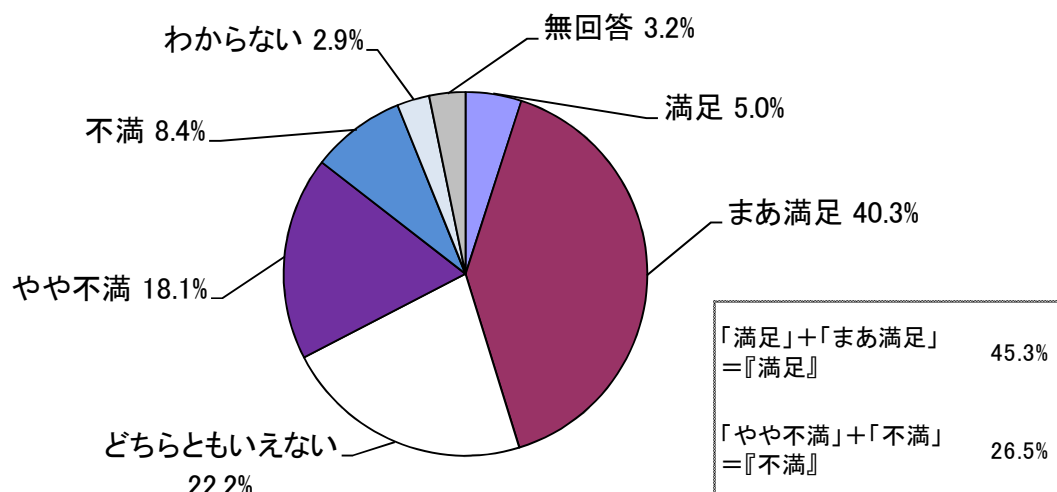
問3

あなたは「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

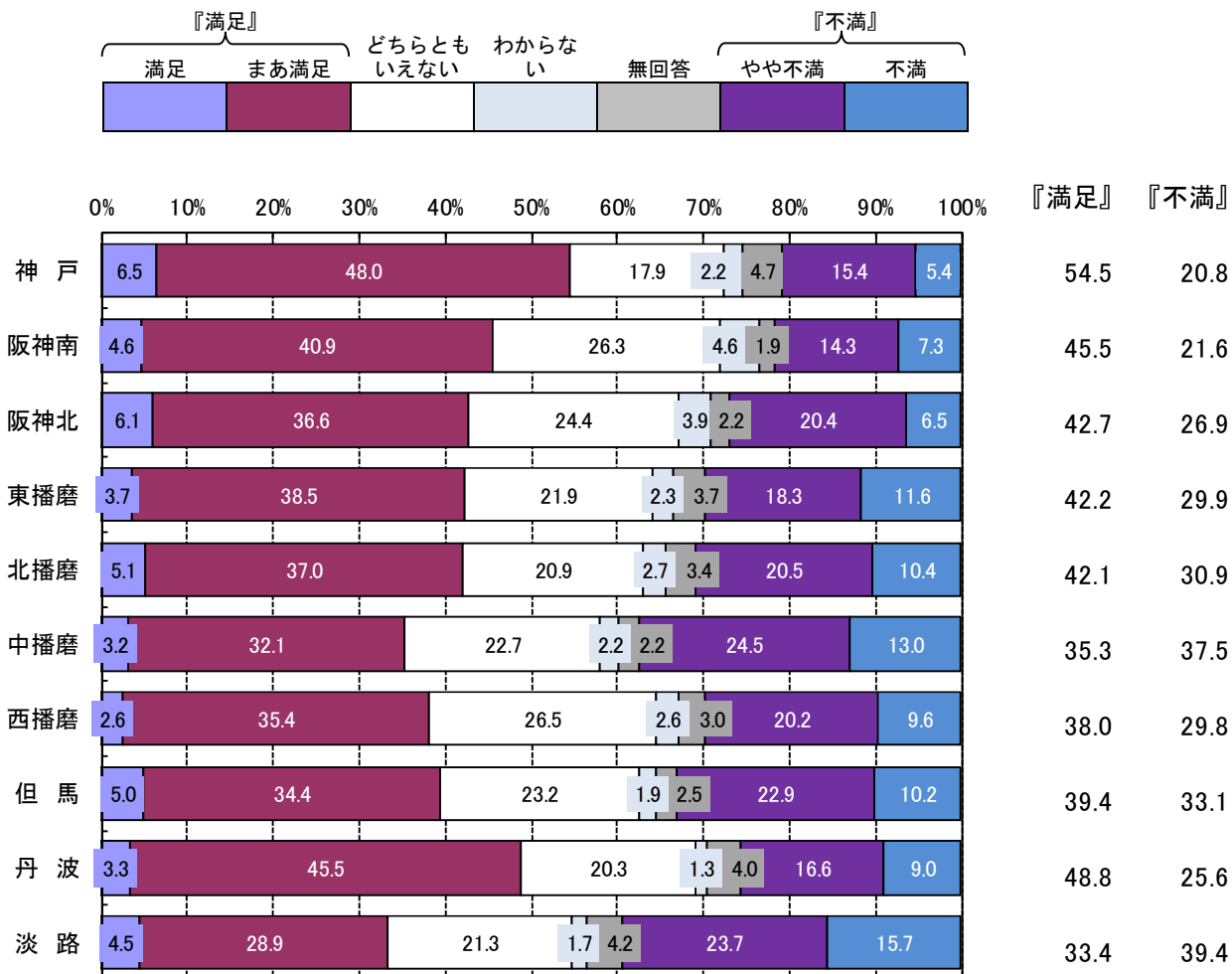
【全県】

「満足(5.0%)」と「まあ満足(40.3%)」とを合わせた『満足』は45.3%となり、「不満(8.4%)」と「やや不満(18.1%)」とを合わせた『不満』は26.5%となった。



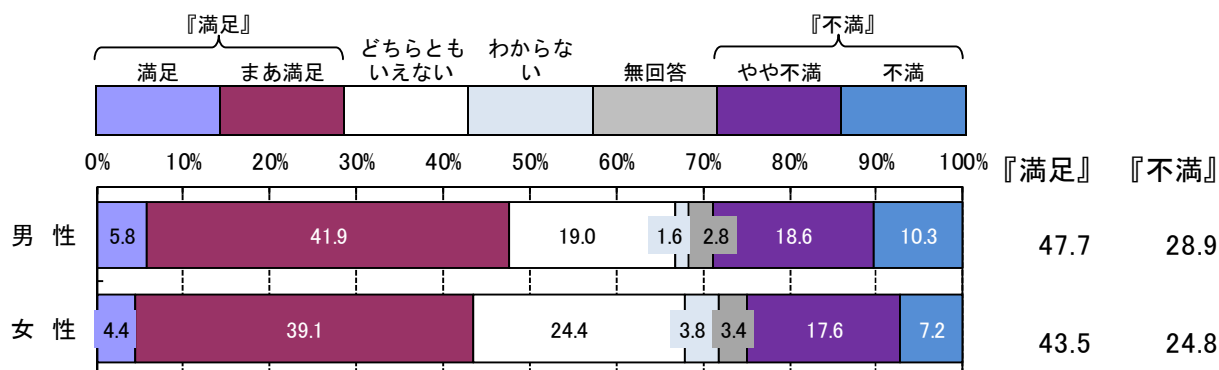
【地域別】

『満足』は神戸(54.5%)が最も高く、次いで丹波(48.8%)、阪神南(45.5%)、阪神北(42.7%)が高い。
淡路、中播磨は『不満』が『満足』を上回っている。



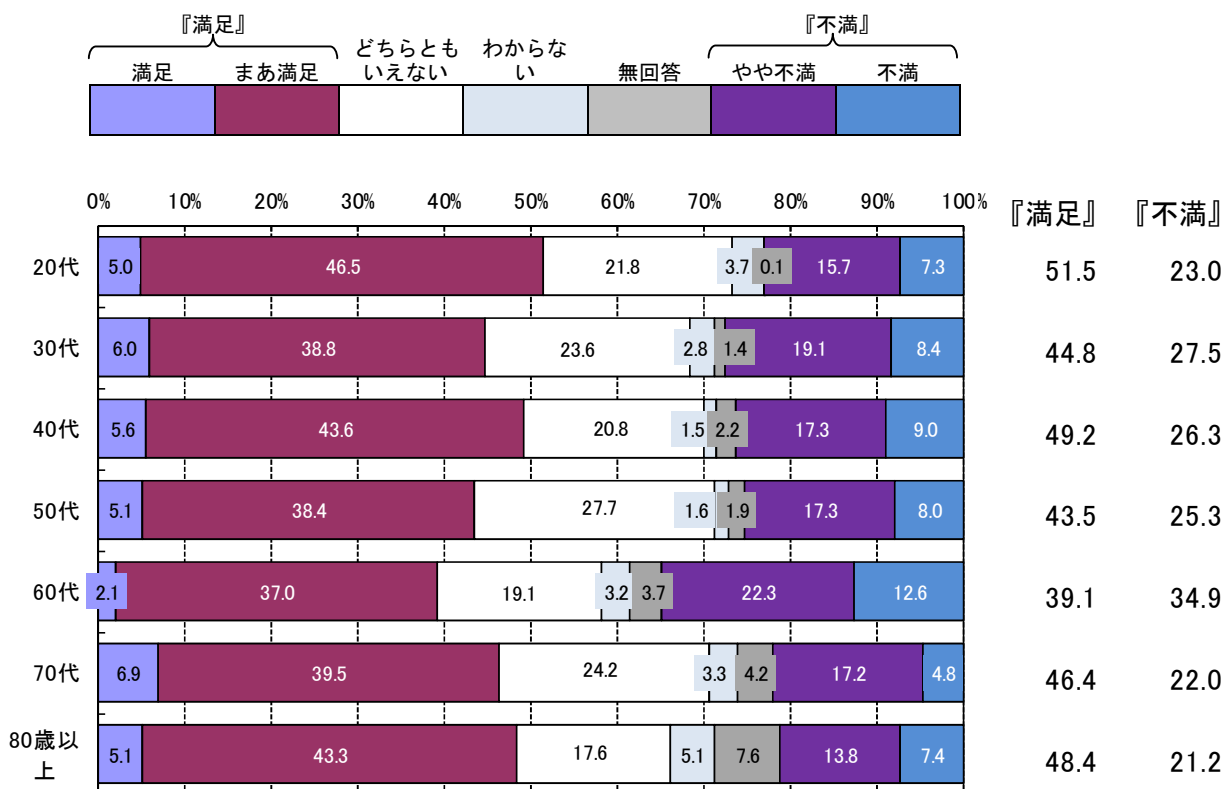
【性別】

『満足』『不満』ともに男性の方が女性より4ポイント程度高い。女性では、「どちらともいえない」「わからない」が男性より多い。



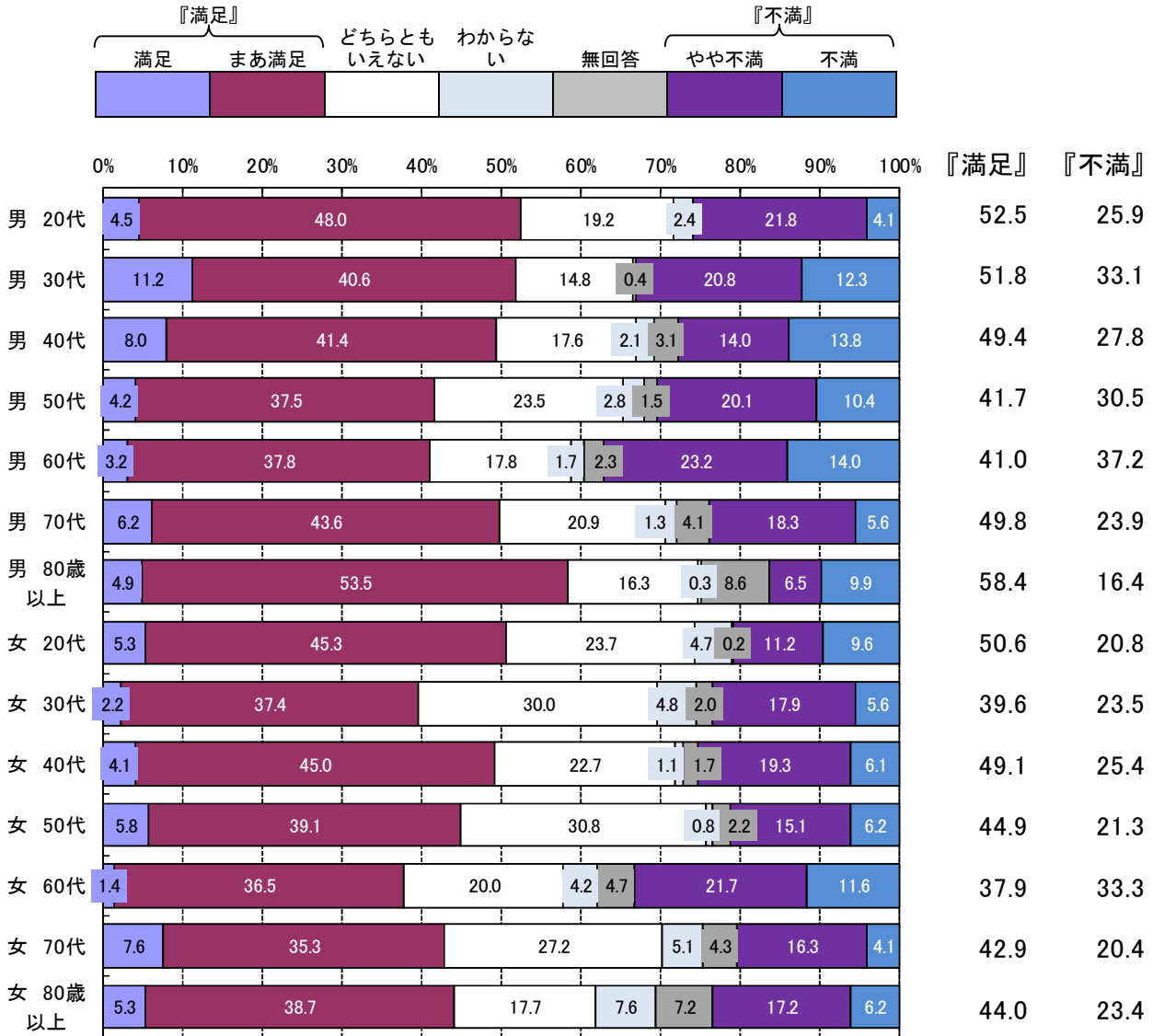
【年代別】

『満足』は20代が最も高く(51.5%)、次いで40代が高い(49.2%)。



【性・年代別】

『満足』は、男性は80歳以上で最も高く(58.4%)、女性は20代で最も高い(50.6%)。



問4 一般道路に対する不満な点（車・バイク移動の視点）

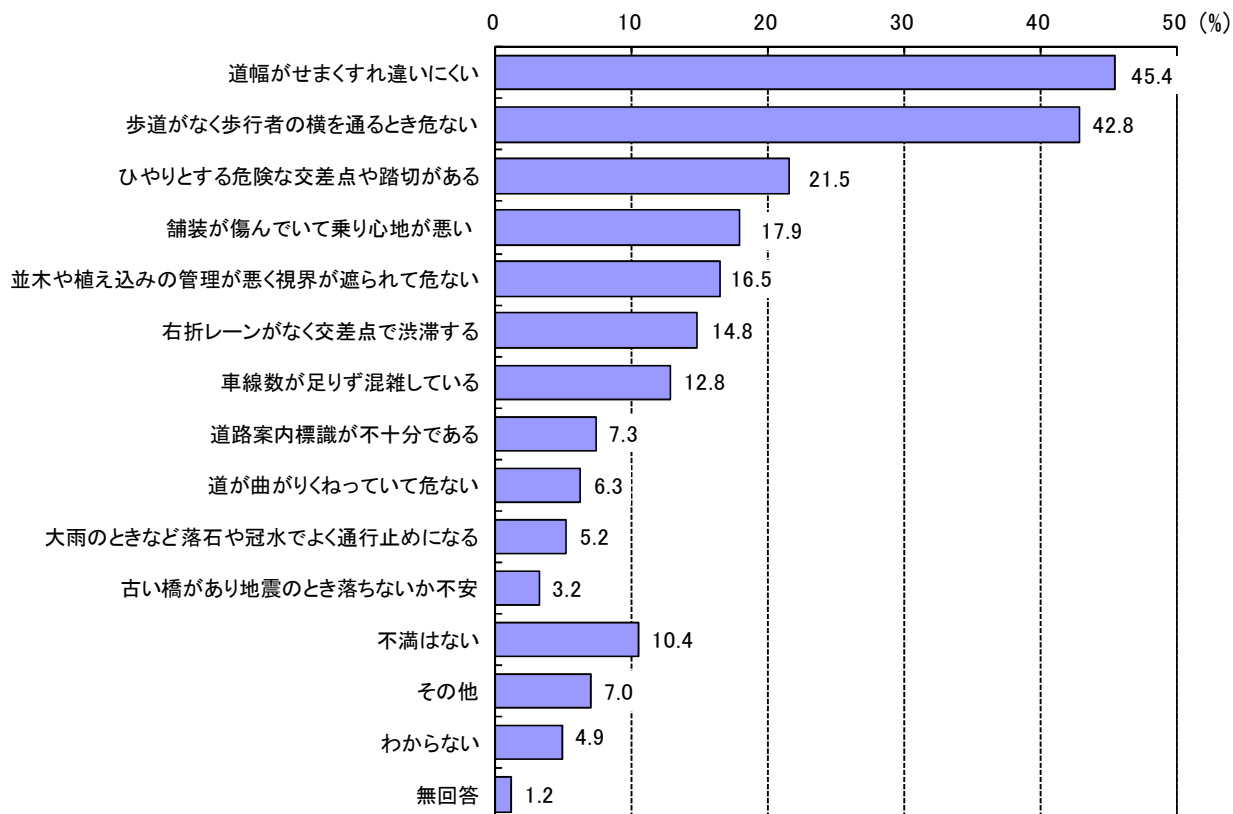
問4

あなたは、「道路（一般道路）」について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない
- 2 道幅がせまくすれ違いにくい
- 3 車線数が足りず混雑している
- 4 道が曲がりくねって危ない
- 5 右折レーンがなく交差点で渋滞する
- 6 ひやりとする危険な交差点や踏切がある
- 7 大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる
- 8 古い橋があり地震のとき落ちないか不安
- 9 舗装が傷んでいて乗り心地が悪い
- 10 並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない
- 11 道路案内標識が不十分である
- 12 不満はない
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

【全県】

「道幅がせまくすれ違いにくい(45.4%)」が最も多く、次いで「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない(42.8%)」、「ひやりとする危険な交差点や踏切がある(21.5%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「道幅がせまくすれ違いにくい(45.5%)」は、中播磨(56.3%)で最も多く、次いで淡路(55.1%)、東播磨(54.2%)が多い。

区分	最大値											最小値		無回答	(%)	
	道幅がせまくすれ違いにくい	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	ひやりとする危険な交差点や踏切がある	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	車線数が足りず混雑している	道路案内標識が不十分である	道が曲がりくねっていて危ない	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	不満はない	その他			わからない
全 県	45.4	42.8	21.5	17.9	16.5	14.8	12.8	7.3	6.3	5.2	3.2	10.4	7.0	4.9	1.2	
地域別	神 戸	38.4	32.6	17.9	17.9	15.4	10.8	11.8	9.0	7.9	6.8	2.9	15.8	7.2	5.0	1.8
	阪神南	40.9	41.3	25.9	14.7	14.7	16.2	13.9	6.9	3.5	4.2	2.3	9.3	8.5	8.5	0.0
	阪神北	45.5	42.3	19.7	17.6	18.6	13.3	12.5	9.7	5.4	2.9	2.9	10.0	7.2	4.3	2.2
	東播磨	54.2	49.2	28.6	15.9	12.3	15.9	18.3	3.3	5.0	1.0	2.7	9.3	5.3	4.3	0.7
	北播磨	47.1	49.5	19.2	23.9	21.9	20.5	5.7	7.4	6.1	4.7	4.7	9.1	7.1	3.0	1.0
	中播磨	56.3	57.0	21.3	16.2	18.1	23.1	18.8	6.1	4.7	1.4	4.3	6.9	5.8	1.8	1.1
	西播磨	49.3	44.7	16.6	20.2	20.9	19.9	8.3	7.6	7.3	7.0	5.0	5.3	7.9	4.0	1.3
	但 馬	44.6	41.8	21.4	31.9	18.3	5.6	2.2	6.2	11.8	20.4	5.6	5.6	7.1	2.2	1.2
	丹 波	47.8	54.2	22.3	24.9	26.9	12.3	6.6	4.0	7.6	14.3	4.0	3.3	6.6	2.0	1.0
	淡 路	55.1	54.4	15.3	19.5	15.3	11.1	4.2	8.4	16.7	16.0	3.1	5.9	4.2	5.6	0.3
地域間の差	17.9	24.4	13.3	17.2	14.6	17.5	16.6	6.4	13.2	19.4	3.3	12.5	4.3	6.7	2.2	

【性別】

男女間の差は、「右折レーンがなく交差点で渋滞する(男性 19.8%、女性 11.3%)」(8.5ポイント差)が最も大きい。

区分		道幅がせまくすれ違いにくい	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	ひやりとする危険な交差点や踏切がある	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	車線数が足りず混雑している	道路案内標識が不十分である	道が曲がりくねっていて危ない	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		45.4	42.8	21.5	17.9	16.5	14.8	12.8	7.3	6.3	5.2	3.2	10.4	7.0	4.9	1.2
性別	男 性	44.4	42.4	20.7	22.3	16.2	19.8	16.2	8.2	5.6	6.8	4.5	9.7	7.4	2.8	0.9
	女 性	46.1	43.1	21.9	14.8	16.7	11.3	10.5	6.8	6.6	4.0	2.2	11.0	6.8	6.4	1.3
性別間の差		1.7	0.7	1.2	7.5	0.5	8.5	5.7	1.4	1.0	2.8	2.3	1.3	0.6	3.6	0.4

【年代別】

「道幅がせまくすれ違いにくい(45.4%)」は全年代で最も多く、中でも30代が最も多い(53.2%)。続く「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない(42.8%)」は、40代が最も多い(48.3%)。

区分		道幅がせまくすれ違いにくい	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	ひやりとする危険な交差点や踏切がある	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	車線数が足りず混雑している	道路案内標識が不十分である	道が曲がりくねっていて危ない	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		45.4	42.8	21.5	17.9	16.5	14.8	12.8	7.3	6.3	5.2	3.2	10.4	7.0	4.9	1.2
年代別	20代	42.1	39.0	21.6	13.3	17.1	10.5	14.2	5.5	4.8	3.5	1.6	8.6	5.0	8.6	0.1
	30代	53.2	45.6	21.7	12.5	13.0	15.8	18.7	4.0	2.6	8.8	4.1	5.6	11.9	4.3	1.6
	40代	50.2	48.3	22.7	14.3	18.6	21.2	16.4	5.5	2.6	4.7	3.4	6.9	8.6	2.4	0.1
	50代	43.7	41.6	22.3	18.5	20.0	17.4	15.5	7.5	4.9	5.9	3.6	8.9	7.0	3.5	0.3
	60代	46.7	45.7	22.1	22.2	16.6	16.2	9.8	6.3	7.7	5.2	3.5	9.0	7.6	3.8	1.2
	70代	43.0	41.3	23.1	19.7	18.4	11.2	9.8	11.1	9.8	4.9	3.9	13.3	4.5	5.8	1.0
	80歳以上	37.7	34.4	12.3	18.7	7.1	7.3	8.7	9.8	8.2	2.2	0.4	22.3	4.8	9.2	4.5
年代間の差		15.5	13.9	10.8	9.7	12.9	13.9	10.0	7.1	7.2	6.6	3.7	16.7	7.4	6.8	4.4

【性・年代別】

「道幅がせまくすれ違いにくい(45.4%)」は、男性は40代(49.0%)、女性は30代(57.5%)が最も多い。
 続く「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない(42.8%)」は、男性は60代(47.9%)、女性は40代(52.3%)が多い。

区分		最大値															最小値															無回答
全 県		45.4	42.8	21.5	17.9	16.5	14.8	12.8	7.3	6.3	5.2	3.2	10.4	7.0	4.9	1.2	45.4	42.8	21.5	17.9	16.5	14.8	12.8	7.3	6.3	5.2	3.2	10.4	7.0	4.9	1.2	
男性・年代別	20代	40.9	36.6	13.4	15.3	20.7	13.0	11.3	1.7	4.0	4.6	1.6	10.3	7.8	6.7	0.0	40.9	36.6	13.4	15.3	20.7	13.0	11.3	1.7	4.0	4.6	1.6	10.3	7.8	6.7	0.0	
	30代	47.3	44.9	19.3	15.2	14.7	20.0	26.7	8.5	3.5	13.7	7.6	6.3	9.6	2.2	0.4	47.3	44.9	19.3	15.2	14.7	20.0	26.7	8.5	3.5	13.7	7.6	6.3	9.6	2.2	0.4	
	40代	49.0	41.8	24.6	21.7	17.6	29.0	19.0	8.0	1.8	4.6	3.3	5.7	6.8	0.9	0.0	49.0	41.8	24.6	21.7	17.6	29.0	19.0	8.0	1.8	4.6	3.3	5.7	6.8	0.9	0.0	
	50代	40.7	41.1	17.7	25.6	16.9	23.4	23.1	6.4	3.9	7.5	3.9	6.3	10.3	2.6	0.0	40.7	41.1	17.7	25.6	16.9	23.4	23.1	6.4	3.9	7.5	3.9	6.3	10.3	2.6	0.0	
	60代	45.4	47.9	19.8	23.9	11.4	23.4	12.3	5.2	7.4	7.5	6.0	8.1	7.5	2.8	1.7	45.4	47.9	19.8	23.9	11.4	23.4	12.3	5.2	7.4	7.5	6.0	8.1	7.5	2.8	1.7	
	70代	43.4	38.9	26.0	24.9	21.2	12.3	12.0	13.9	9.2	5.9	5.9	11.8	6.1	2.7	2.2	43.4	38.9	26.0	24.9	21.2	12.3	12.0	13.9	9.2	5.9	5.9	11.8	6.1	2.7	2.2	
	80歳以上	43.4	43.5	17.5	21.4	9.8	12.9	10.8	10.8	6.4	3.1	0.0	25.4	2.4	3.9	0.5	43.4	43.5	17.5	21.4	9.8	12.9	10.8	10.8	6.4	3.1	0.0	25.4	2.4	3.9	0.5	
男性・年代間の差		8.3	11.3	12.6	10.4	11.4	16.7	15.9	12.2	7.4	10.6	7.6	19.7	7.9	5.8	2.2	8.3	11.3	12.6	10.4	11.4	16.7	15.9	12.2	7.4	10.6	7.6	19.7	7.9	5.8	2.2	
女性・年代別	20代	43.1	40.9	27.7	11.8	14.4	8.7	16.4	8.4	5.4	2.7	1.6	7.2	3.0	10.0	0.2	43.1	40.9	27.7	11.8	14.4	8.7	16.4	8.4	5.4	2.7	1.6	7.2	3.0	10.0	0.2	
	30代	57.5	46.2	23.4	10.6	11.9	12.6	12.8	0.7	1.9	5.2	1.5	5.0	13.6	5.8	2.5	57.5	46.2	23.4	10.6	11.9	12.6	12.8	0.7	1.9	5.2	1.5	5.0	13.6	5.8	2.5	
	40代	51.0	52.3	21.5	9.7	19.3	16.4	14.8	4.1	3.2	4.8	3.5	7.6	9.7	3.3	0.1	51.0	52.3	21.5	9.7	19.3	16.4	14.8	4.1	3.2	4.8	3.5	7.6	9.7	3.3	0.1	
	50代	45.9	42.0	25.8	13.2	22.3	12.9	9.9	8.4	5.6	4.8	3.4	10.8	4.5	4.1	0.5	45.9	42.0	25.8	13.2	22.3	12.9	9.9	8.4	5.6	4.8	3.4	10.8	4.5	4.1	0.5	
	60代	47.7	44.1	23.7	21.0	20.2	11.0	7.9	7.1	8.0	3.5	1.7	9.6	7.8	4.5	0.9	47.7	44.1	23.7	21.0	20.2	11.0	7.9	7.1	8.0	3.5	1.7	9.6	7.8	4.5	0.9	
	70代	42.1	42.8	20.8	15.5	16.1	10.4	8.0	8.8	10.5	4.2	2.3	14.7	3.1	8.6	0.0	42.1	42.8	20.8	15.5	16.1	10.4	8.0	8.8	10.5	4.2	2.3	14.7	3.1	8.6	0.0	
	80歳以上	34.4	28.8	9.9	17.6	5.8	4.4	7.2	9.2	9.3	1.8	0.6	21.0	6.1	12.1	6.7	34.4	28.8	9.9	17.6	5.8	4.4	7.2	9.2	9.3	1.8	0.6	21.0	6.1	12.1	6.7	
女性・年代間の差		23.1	23.5	17.8	11.3	16.5	12.0	9.2	8.5	8.6	3.4	2.9	16.0	10.6	8.8	6.7	23.1	23.5	17.8	11.3	16.5	12.0	9.2	8.5	8.6	3.4	2.9	16.0	10.6	8.8	6.7	

問5 自動車専用道路の満足度

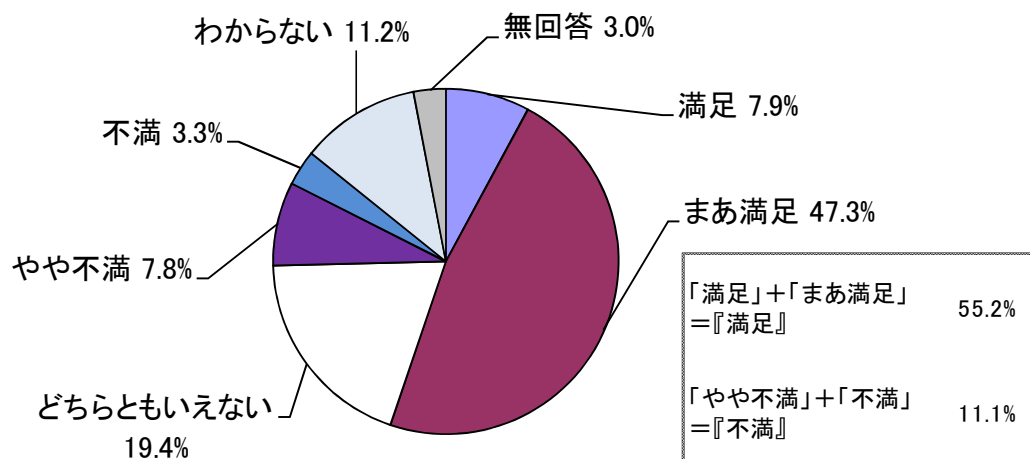
問5

あなたが居住地から他府県など長距離を移動する際に使う「自動車専用道路」について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

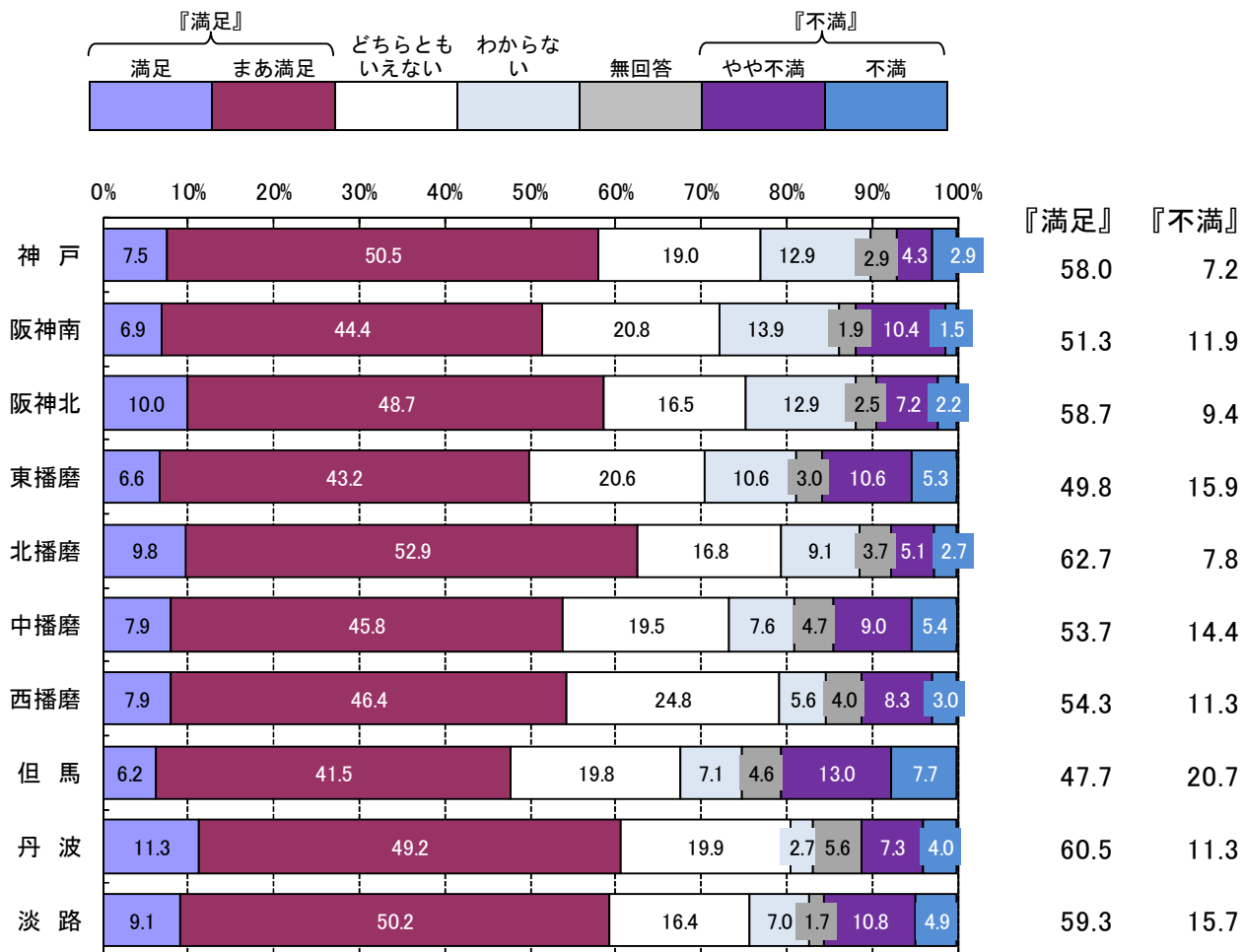
【全県】

「満足(7.9%)」と「まあ満足(47.3%)」とを合わせた『満足』は55.2%となり、「不満(3.3%)」と「やや不満(7.8%)」とを合わせた『不満』は11.1%となった。



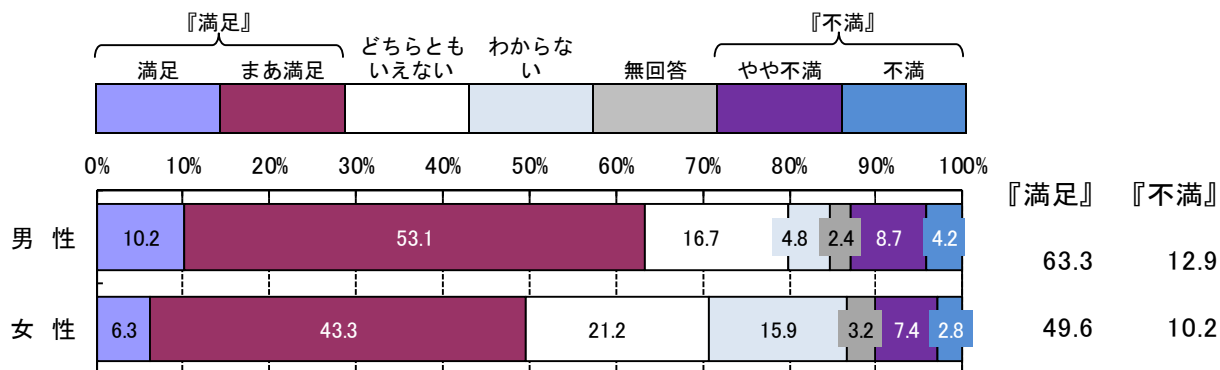
【地域別】

『満足』は北播磨(62.7%)で最も高く、次いで丹波(60.5%)、淡路(59.3%)で高い。



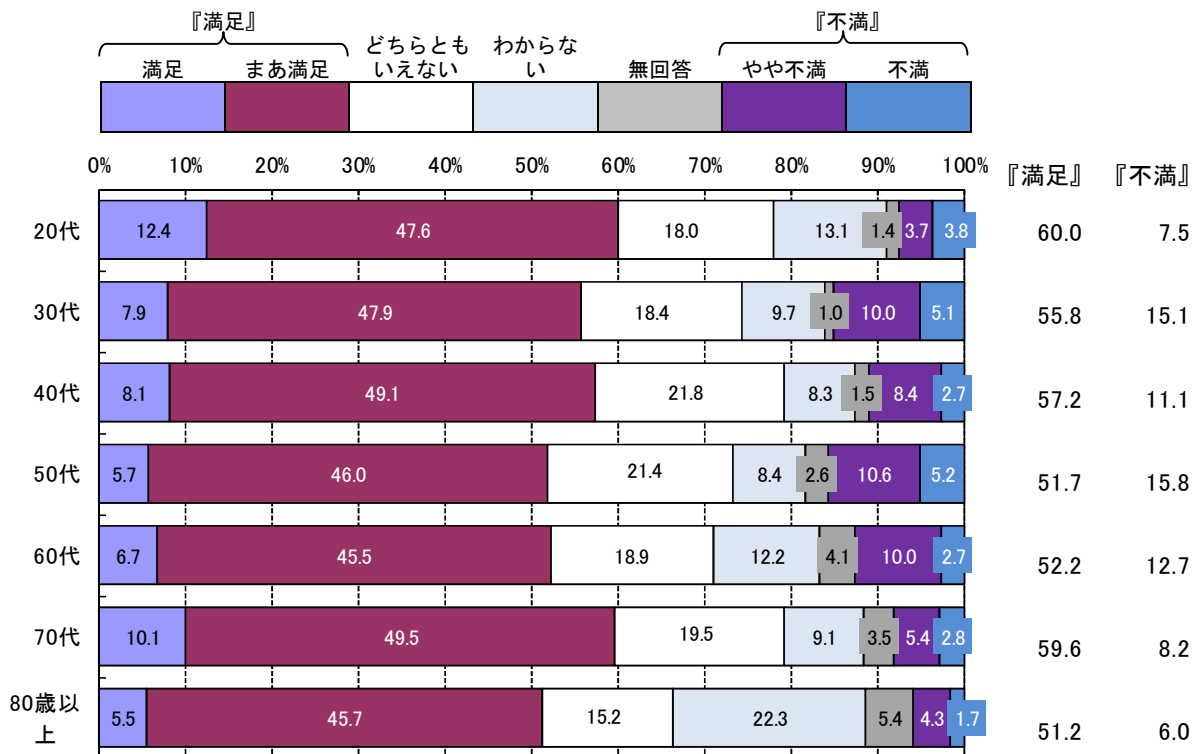
【性別】

『満足』は、男性の方が女性より13.7ポイント高い。



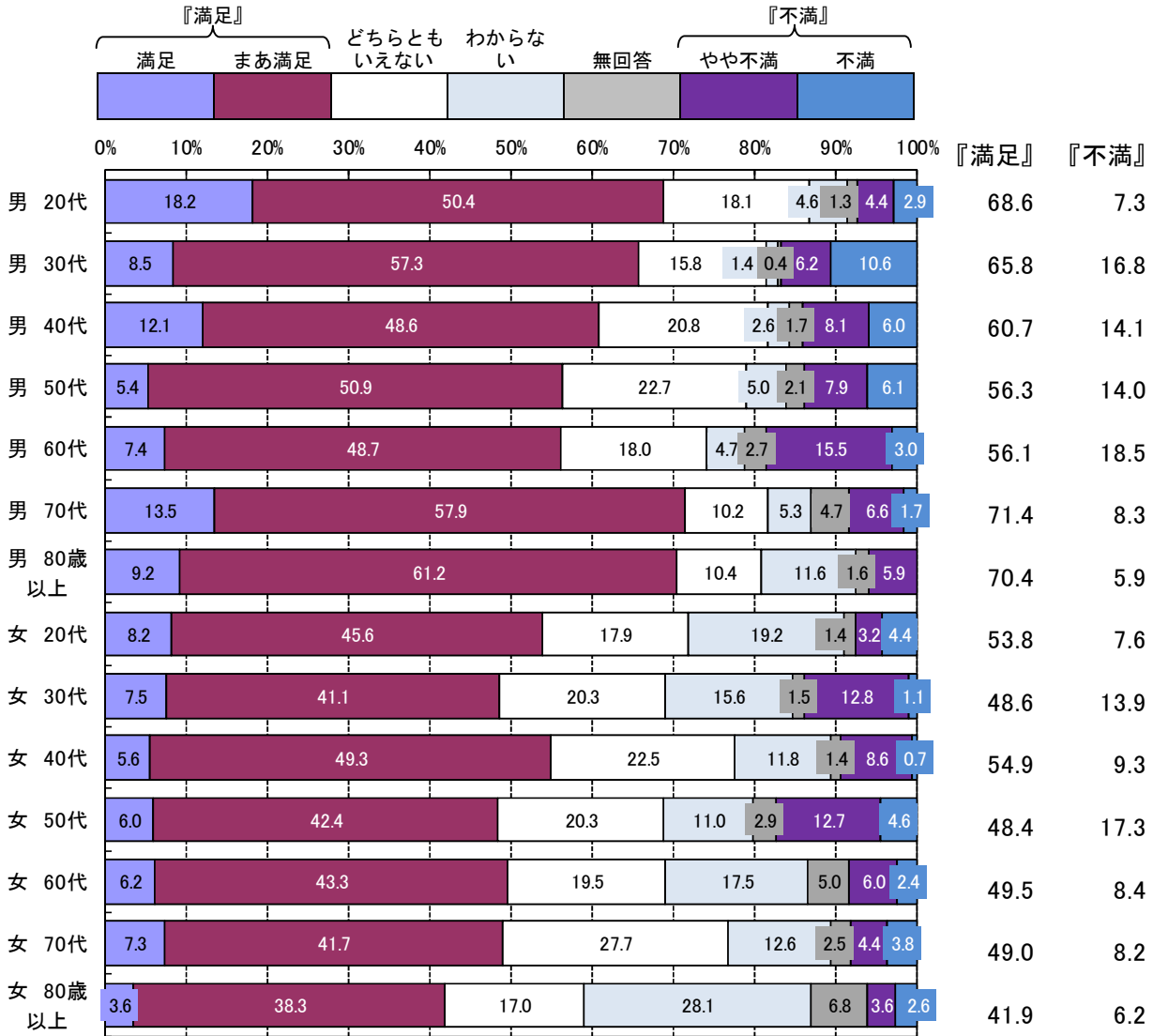
【年代別】

『満足』は20代(60.0%)で最も高く、次いで70代(59.6%)が高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は70代が最も高く(71.4%)、女性は40代が最も高い(54.9%)。



問6 自動車専用道路に対する不満な点

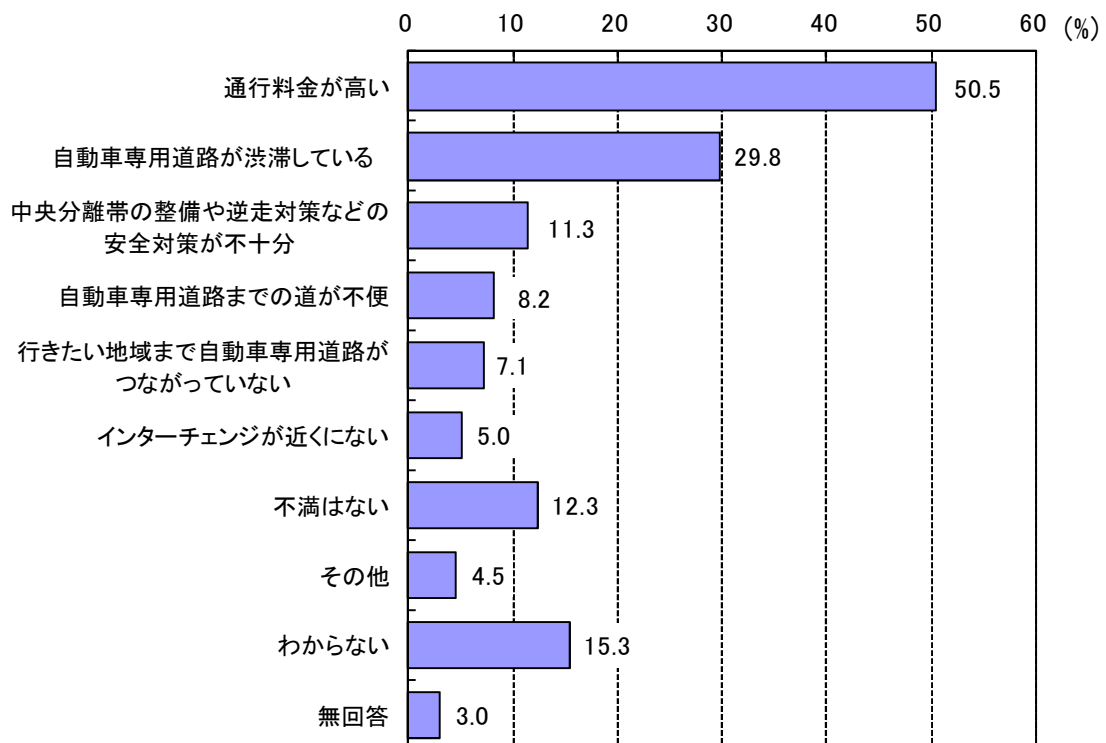
問6

あなたは、「自動車専用道路」について、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 自動車専用道路が渋滞している
- 2 行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない
- 3 自動車専用道路のインターチェンジが近くにない
- 4 自動車専用道路までの道が不便である
- 5 通行料金が高い
- 6 中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分
- 7 不満はない
- 8 その他 ()
- 9 わからない

【全県】

「通行料金が高い(50.5%)」が最も多く、次いで「自動車専用道路が渋滞している(29.8%)」、「中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分(11.3%)」が続いている。



【地域別】

「通行料金が低い(50.5%)」は、全地域で最も多く、中でも淡路で最も多い(57.8%)。

「自動車専用道路までの道が不便(8.2%)」「行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない(7.1%)」「インターチェンジが近くにない(5.0%)」は、それぞれ但馬が最も多い。

区分		%									
		通行料金が低い	自動車専用道路が渋滞している	中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分	自動車専用道路までの道が不便	行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない	インターチェンジが近くにない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		50.5	29.8	11.3	8.2	7.1	5.0	12.3	4.5	15.3	3.0
地域別	神 戸	54.8	30.1	11.5	3.9	5.4	2.9	11.5	4.7	16.5	4.7
	阪神南	47.1	33.2	11.6	6.9	4.2	5.0	12.4	3.5	22.4	0.8
	阪神北	49.8	29.0	11.1	8.2	4.7	3.2	12.9	4.3	16.1	1.4
	東播磨	46.2	35.9	13.3	12.0	4.7	3.3	11.6	6.6	14.3	2.7
	北播磨	55.2	18.9	10.1	6.4	11.1	6.1	12.1	3.7	14.1	3.7
	中播磨	53.8	37.2	10.5	10.8	11.9	4.7	13.0	2.9	8.7	4.0
	西播磨	46.7	27.8	8.9	9.9	11.3	10.9	12.9	5.0	8.3	3.3
	但 馬	33.7	5.9	12.1	22.3	27.9	21.1	12.7	6.2	8.0	4.6
	丹 波	49.5	10.6	13.3	9.6	12.6	13.6	14.6	5.6	8.3	4.7
	淡 路	57.8	11.8	6.6	16.0	7.7	9.4	14.6	5.6	8.7	1.0
地域間の差		24.1	31.3	6.7	18.4	23.7	18.2	3.1	3.7	14.4	3.9

【性別】

各項目で男性の方が不満が高く、「通行料金が低い(50.5%)」は、男性の方が女性より 10.2 ポイント高い（男性 56.6%、女性 46.4%）。

区分		(%)									
		通行料金が低い	自動車専用道路が渋滞している	中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分	自動車専用道路までの道が不便	行きたい地域まで自動車専用道路が繋がっていない	インターチェンジが近くにない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		50.5	29.8	11.3	8.2	7.1	5.0	12.3	4.5	15.3	3.0
性別	男 性	56.6	35.3	11.8	10.4	8.5	5.3	11.2	5.1	7.5	2.5
	女 性	46.4	25.7	10.9	6.6	5.8	4.9	13.2	4.2	21.1	3.0
性別間の差		10.2	9.6	0.9	3.8	2.7	0.4	2.0	0.9	13.6	0.5

【年代別】

「通行料金が低い(50.5%)」は、全年代で最も多く、中でも50代で最も多い(58.3%)。

続く「自動車専用道路が渋滞している」は30代が最も多い(38.4%)。

区分		最大値 最小値 (%)									
		通行料金が低い	自動車専用道路が渋滞している	中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分	自動車専用道路までの道が不便	行きたい地域まで自動車専用道路が繋がっていない	インターチェンジが近くにない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		50.5	29.8	11.3	8.2	7.1	5.0	12.3	4.5	15.3	3.0
年代別	20代	44.1	27.3	11.6	5.2	6.3	6.0	12.6	3.4	17.6	1.4
	30代	51.5	38.4	7.3	10.4	7.0	5.4	10.0	7.8	10.4	2.4
	40代	55.9	33.4	9.7	6.4	7.4	4.8	11.3	6.2	11.1	0.6
	50代	58.3	35.8	12.1	7.3	5.4	5.6	10.3	5.9	11.2	0.7
	60代	54.6	32.6	14.3	9.1	8.1	4.2	9.7	3.3	14.0	2.2
	70代	48.4	20.7	12.5	8.9	7.3	5.1	17.3	3.1	18.8	4.6
	80歳以上	30.8	18.1	7.7	9.1	6.1	5.3	15.3	3.0	28.1	9.8
年代間の差		27.5	20.3	7.0	5.2	2.7	1.8	7.6	4.8	17.7	9.2

【性・年代別】

「通行料金が低い(50.5%)」は、男性は50代(62.7%)、女性は40代(55.0%)が最も多く、続く「自動車専用道路が渋滞している(29.8%)」は、男性は50代(48.7%)、女性は30代(38.1%)が最も多い。

区分		最大値										最小値	(%)
		通行料金が低い	自動車専用道路が渋滞している	中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分	自動車専用道路までの道が不便	行きたい地域まで自動車専用道路が繋がっていない	インターチェンジが近くにない	不満はない	その他	わからない	無回答		
全 県		50.5	29.8	11.3	8.2	7.1	5.0	12.3	4.5	15.3	3.0		
男性・年代別	20代	42.7	37.1	11.9	8.4	7.1	9.3	10.3	1.3	6.5	3.0		
	30代	59.4	38.9	3.1	9.5	10.2	4.4	9.4	10.7	3.7	2.4		
	40代	57.2	40.0	7.5	9.2	11.4	4.7	8.7	6.6	7.2	0.0		
	50代	62.7	48.7	10.1	9.2	6.2	5.6	5.6	7.9	6.2	0.6		
	60代	58.6	36.3	13.9	11.9	9.0	4.5	9.2	3.5	7.4	3.1		
	70代	60.5	23.7	17.9	11.4	8.8	3.8	19.2	3.0	7.8	1.7		
	80歳以上	38.2	22.0	12.3	11.4	5.6	9.4	13.9	3.6	15.9	11.4		
男性・年代間の差		24.5	26.7	14.8	3.5	5.8	5.6	13.6	9.4	12.2	11.4		
女性・年代別	20代	45.2	20.1	11.3	2.8	5.7	3.6	14.2	4.9	25.9	0.3		
	30代	45.8	38.1	10.3	11.1	4.6	6.1	10.5	5.7	15.3	2.5		
	40代	55.0	29.3	11.0	4.7	4.8	4.9	12.9	6.0	13.5	1.0		
	50代	55.0	26.2	13.5	5.8	4.9	5.6	13.8	4.3	15.0	0.8		
	60代	51.7	30.0	14.5	7.1	7.4	3.9	10.0	3.3	18.7	1.5		
	70代	37.3	18.4	8.0	6.9	6.0	6.3	15.9	3.2	28.6	7.1		
	80歳以上	27.4	16.3	5.5	7.9	6.2	3.2	16.3	2.7	34.8	7.8		
女性・年代間の差		27.6	21.8	9.0	8.3	2.8	3.1	6.3	3.3	21.3	7.5		

2 「海や川など水辺の環境の保全に対する評価」に関することについて

問7 水辺の環境の満足度

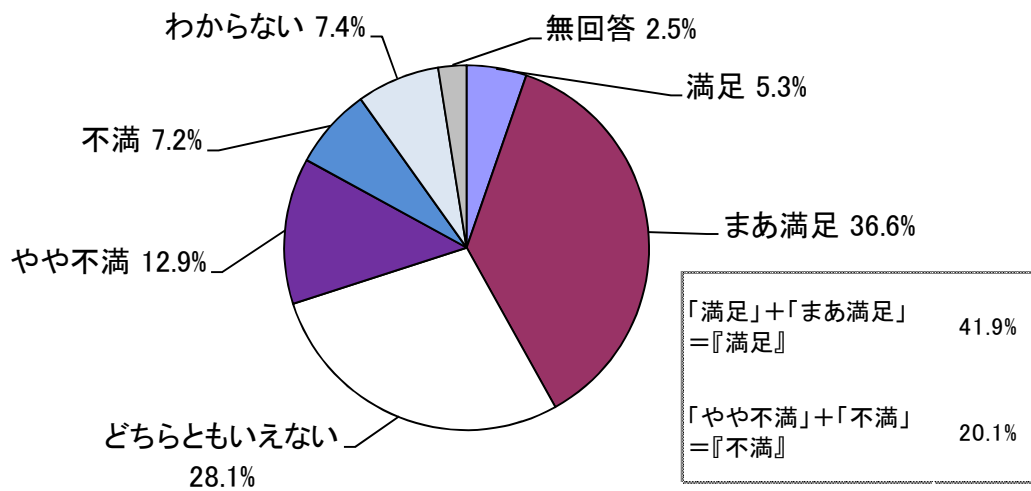
問7

あなたがお住まいの地域の海・川など水辺の環境について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

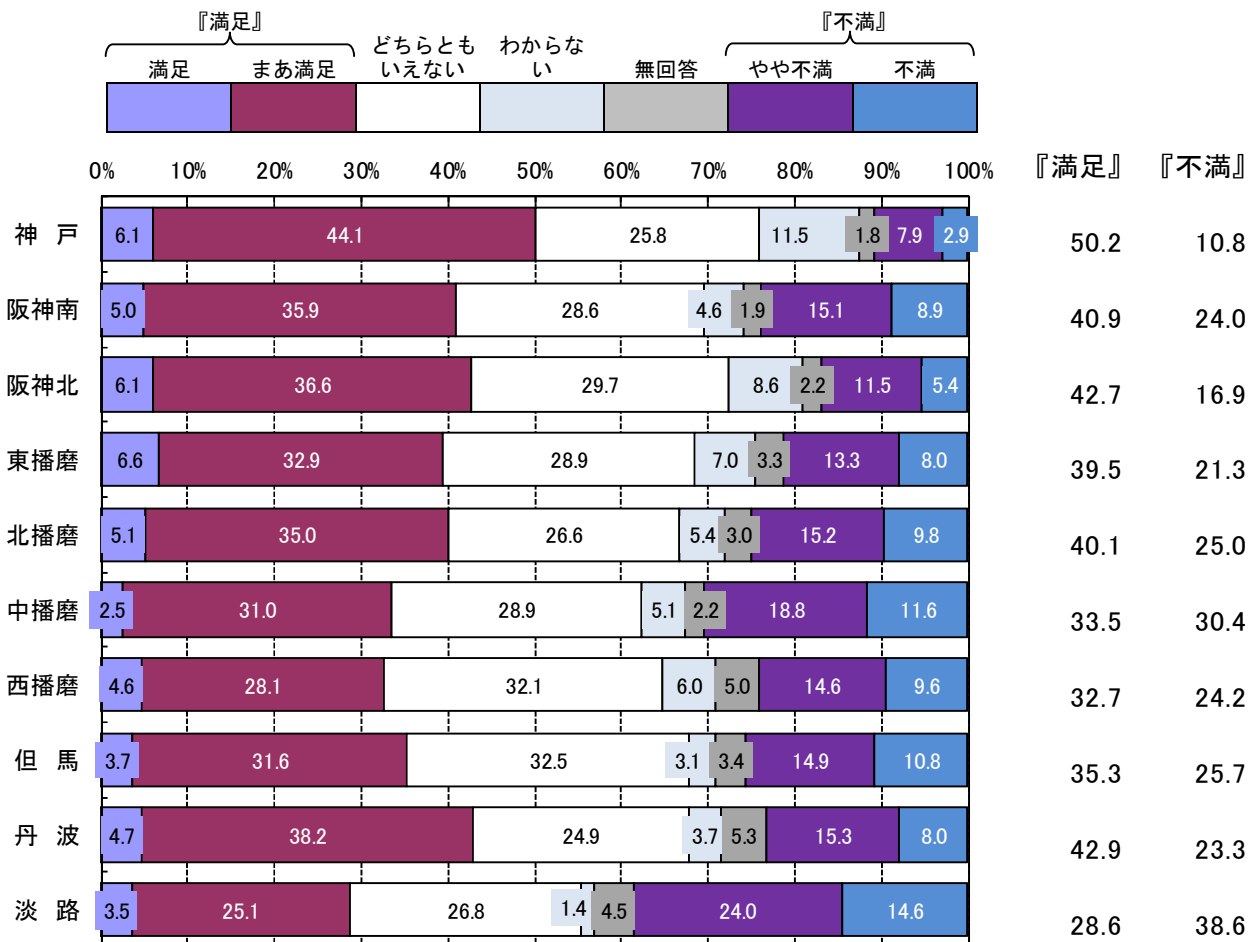
【全県】

「満足(5.3%)」と「まあ満足(36.6%)」とを合わせた『満足』は41.9%となり、「不満(7.2%)」と「やや不満(12.9%)」とを合わせた『不満』は20.1%となった。



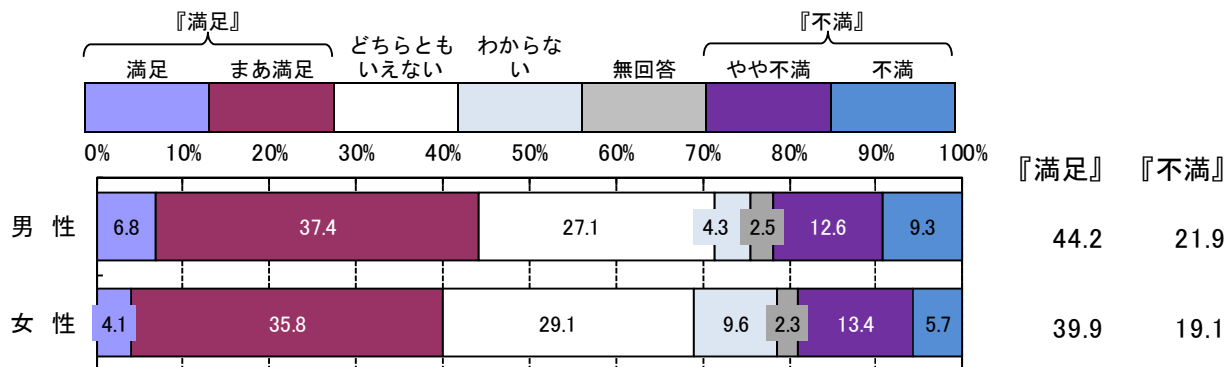
【地域別】

『満足』は神戸(50.2%)が最も高く、次いで丹波(42.9%)、阪神北(42.7%)が高い。
淡路は、『不満』が『満足』を上回っている。



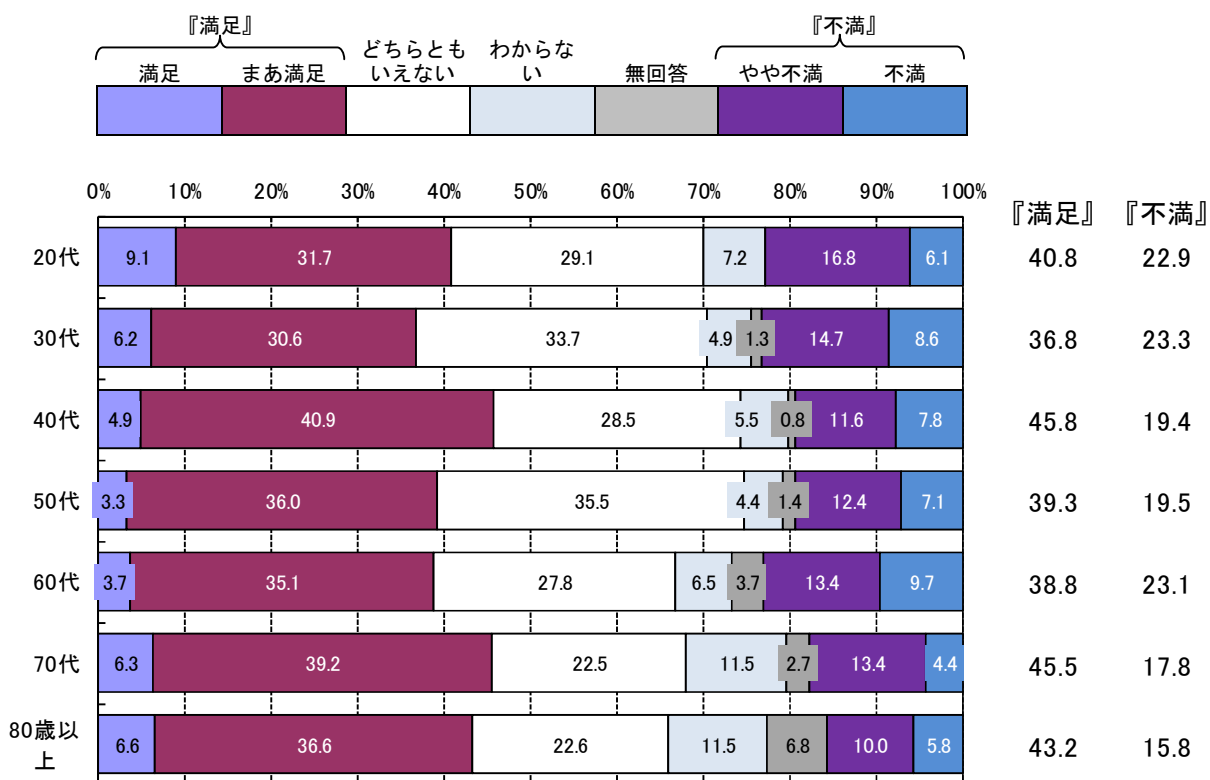
【性別】

『満足』は男性の方が女性より、4.3ポイント高い。



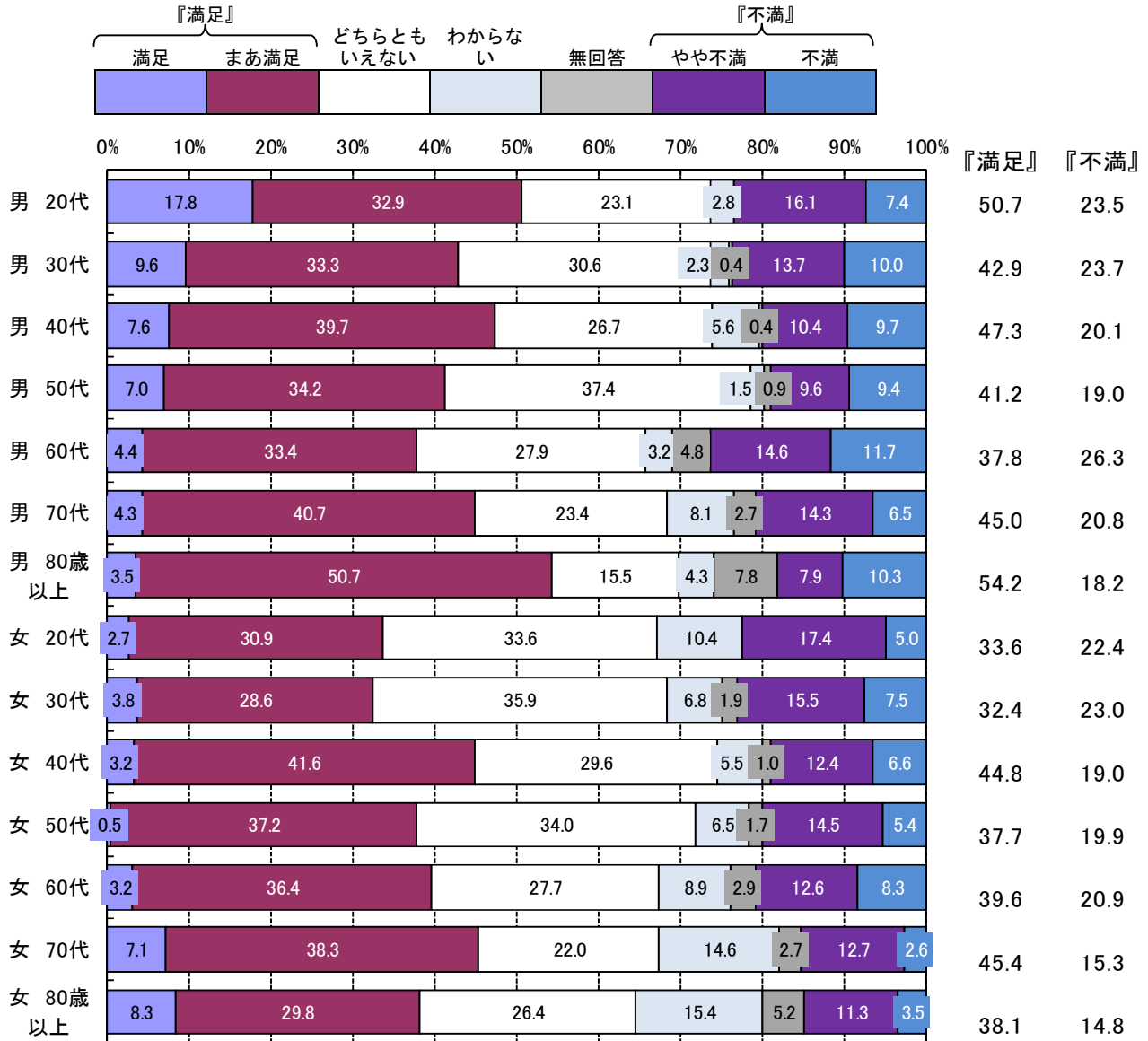
【年代別】

『満足』は40代で最も高く(45.8%)、次いで70代(45.5%)が高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は80歳以上で最も高く(54.2%)、女性は70代で最も高い(45.4%)。



問8 水辺の環境に対する不満な点

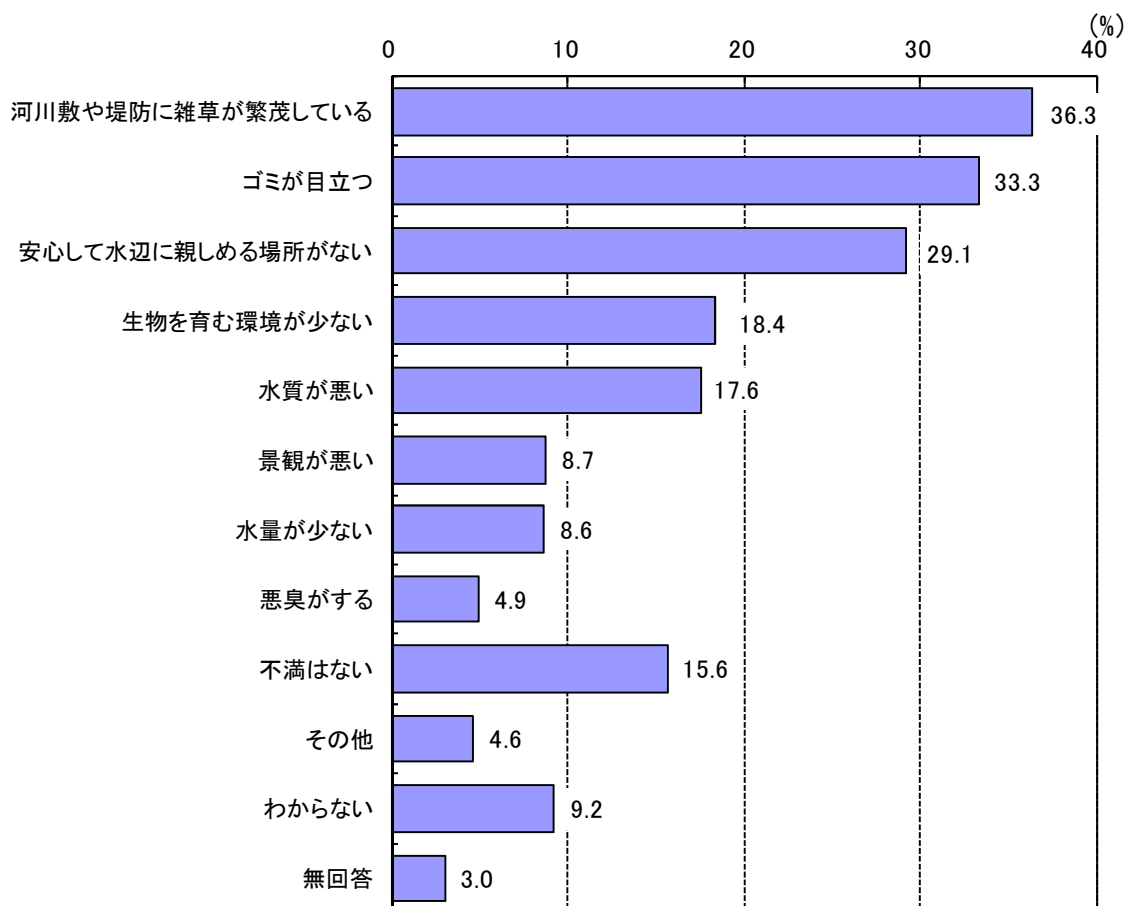
問8

あなたは、どのようなことを不満に思っていますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 水質が悪い
- 2 悪臭がする
- 3 ゴミが目立つ
- 4 水量が少ない
- 5 景観が悪い
- 6 安心して水辺に親しめる場所がない
- 7 生物を育む環境が少ない
- 8 河川敷や堤防に雑草が繁茂している
- 9 不満はない
- 10 その他 ()
- 11 わからない

【全県】

「河川敷や堤防に雑草が繁茂している(36.3%)」が最も多く、「ゴミが目立つ(33.3%)」「安心して水辺に親しめる場所がない(29.1%)」が続いている。



【地域別】

全県で最も多い「河川敷や堤防に雑草が繁茂している(36.3%)」は、丹波が最も多く(60.1%)、次いで淡路(53.0%)、但馬(51.7%)が多い。

区分	河川敷や堤防に雑草が繁茂している	ゴミが目立つ	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	水質が悪い	景観が悪い	水量が少ない	最大値	最小値	(%)			
								悪臭がする	不満はない	その他	わからない	無回答	
全 県	36.3	33.3	29.1	18.4	17.6	8.7	8.6	4.9	15.6	4.6	9.2	3.0	
地域別	神 戸	25.8	30.8	26.9	20.8	16.5	8.2	6.8	2.2	19.0	3.6	14.3	2.5
	阪神南	29.3	41.3	25.5	19.3	25.9	10.8	12.0	9.3	14.7	5.0	5.8	2.3
	阪神北	39.1	27.2	26.9	16.1	12.5	7.9	10.0	3.9	18.6	2.5	10.4	2.2
	東播磨	33.9	34.9	28.6	18.6	19.3	6.6	5.0	7.0	14.6	4.3	11.6	5.6
	北播磨	48.5	23.2	37.0	14.5	12.8	11.8	7.4	2.4	15.2	5.7	5.7	3.4
	中播磨	50.9	39.4	37.5	17.0	19.9	7.9	9.0	6.5	11.6	7.2	5.1	2.5
	西播磨	51.3	28.5	29.5	17.9	9.9	6.6	9.6	3.0	11.3	7.0	3.3	2.3
	但 馬	51.7	29.1	36.2	13.9	9.0	8.0	11.8	2.5	12.4	6.5	4.3	5.3
	丹 波	60.1	21.3	40.5	19.3	9.6	13.0	14.6	1.0	9.6	5.0	3.7	3.3
	淡 路	53.0	44.3	27.2	14.6	16.7	12.5	6.3	5.2	9.4	5.9	4.9	3.1
地域間の差	34.3	23.0	15.0	6.9	16.9	6.4	9.6	8.3	9.6	4.7	11.0	3.4	

【性別】

男性は「ゴミが目立つ」が最も多く(36.7%)、女性「河川敷や堤防に雑草が繁茂している」が最も多い(37.6%)。

区分		河川敷や堤防に雑草が繁茂している	ゴミが目立つ	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	水質が悪い	景観が悪い	水量が少ない	悪臭がする	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県		36.3	33.3	29.1	18.4	17.6	8.7	8.6	4.9	15.6	4.6	9.2	3.0
性別	男 性	35.0	36.7	30.7	21.9	18.7	8.3	10.4	5.5	15.9	5.1	6.2	2.3
	女 性	37.6	30.9	28.0	15.7	16.5	9.1	7.5	4.5	15.5	4.3	11.5	3.2
性別間の差		2.6	5.8	2.7	6.2	2.2	0.8	2.9	1.0	0.4	0.8	5.3	0.9

【年代別】

「河川敷や堤防に雑草が繁茂している(36.3%)」は、50代から80歳以上で最も多く、「ゴミが目立つ(33.3%)」は20代から40代で最も多い。

区分	河川敷や堤防に雑草が繁茂している	ゴミが目立つ	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	水質が悪い	景観が悪い	水量が少ない	最大値	最小値	(%)			
								悪臭がする	不満はない	その他	わからない	無回答	
全 県	36.3	33.3	29.1	18.4	17.6	8.7	8.6	4.9	15.6	4.6	9.2	3.0	
年 代 別	20代	33.8	38.4	18.4	9.9	26.9	8.5	8.9	4.3	16.7	3.0	9.6	1.8
	30代	30.4	37.7	29.1	15.8	25.8	13.4	6.3	6.3	18.7	3.9	7.3	1.0
	40代	30.1	33.0	27.1	14.2	20.6	11.6	6.8	6.2	17.3	5.6	7.2	1.6
	50代	34.7	32.6	26.1	17.0	18.8	8.6	5.8	6.1	16.5	4.2	8.4	3.2
	60代	44.2	34.1	32.3	19.8	12.6	8.1	7.3	4.8	12.0	6.6	9.8	2.6
	70代	41.4	34.9	33.5	23.9	14.0	6.6	13.6	3.3	13.6	3.3	9.2	3.6
	80歳以上	31.3	21.4	29.9	21.7	10.8	6.1	12.1	3.1	20.1	4.2	14.6	6.7
年代間の差	14.1	17.0	15.1	14.0	16.1	7.3	7.8	3.2	8.1	3.6	7.4	5.7	

【性・年代別】

「河川敷や堤防に雑草が繁茂している(36.3%)」は、男女ともに60代(男性44.4%、女性44.1%)で最も多く、続く「ゴミが目立つ(33.3%)」は、男性は60代(41.7%)、女性は30代(41.0%)が最も多い。

区分		最大値											最小値	(%)
		河川敷や堤防に雑草が繁茂している	ゴミが目立つ	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	水質が悪い	景観が悪い	水量が少ない	悪臭がする	不満はない	その他	わからない	無回答	
全 県		36.3	33.3	29.1	18.4	17.6	8.7	8.6	4.9	15.6	4.6	9.2	3.0	
男性・年代別	20代	29.4	38.1	15.8	13.2	15.4	6.8	8.7	2.7	21.5	4.1	7.3	3.0	
	30代	24.3	33.2	27.2	17.8	30.7	8.5	3.9	8.4	22.4	6.0	6.3	1.3	
	40代	27.0	33.4	26.4	18.5	22.3	8.8	6.4	8.2	17.9	5.1	5.9	2.3	
	50代	29.6	37.1	30.6	20.9	22.0	12.7	6.4	6.9	15.2	3.2	6.6	0.9	
	60代	44.4	41.7	32.1	16.0	12.1	6.8	7.6	5.0	13.9	8.7	6.5	2.3	
	70代	43.2	38.9	36.7	32.6	17.3	9.3	18.6	3.3	11.7	4.0	5.0	3.4	
	80歳以上	32.8	25.9	39.0	31.0	15.2	2.0	21.0	4.3	15.6	2.1	6.9	3.2	
男性・年代間の差		20.1	15.8	23.2	19.4	18.6	10.7	17.1	5.7	10.7	6.6	2.3	2.5	
女性・年代別	20代	37.0	38.4	20.3	7.2	35.3	9.6	9.0	5.5	13.3	2.2	11.3	1.0	
	30代	34.8	41.0	30.5	14.4	22.3	16.9	8.0	4.8	15.9	2.5	8.0	0.7	
	40代	32.0	32.8	27.5	11.5	19.6	13.3	7.1	5.0	16.9	5.9	8.0	1.1	
	50代	38.4	29.2	22.8	14.2	16.3	5.5	5.3	5.6	17.5	4.9	9.8	4.9	
	60代	44.1	28.7	32.4	22.5	12.9	9.0	7.0	4.7	10.6	5.1	12.1	2.8	
	70代	40.2	31.6	31.0	16.6	11.4	4.3	9.4	3.3	14.4	2.7	13.0	3.8	
	80歳以上	30.9	19.1	25.7	17.0	8.7	8.3	7.7	2.6	22.7	5.3	18.9	7.5	
女性・年代間の差		13.2	21.9	12.1	15.3	26.6	12.6	4.1	3.0	12.1	3.7	10.9	6.8	

【地域別】

全県で最も多い「生活排水やゴミがない水のきれいな川(62.8%)」は、阪神南で最も多く(67.2%)、次いで中播磨(64.6%)、阪神北(64.2%)が多い。

区分		生活排水やゴミがない水のきれいな川		豊かな自然があり多くの生物がいる川		人が安心して水とふれあえる水辺のある川		歴史的な景観が残る川		その他		わからない		無回答	
		最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値
全 県		62.8	58.0	49.1	8.7	1.6	1.8	1.1							
地域別	神 戸	62.4	60.2	48.7	7.2	1.8	2.5	0.7							
	阪神南	67.2	57.5	47.9	9.7	1.5	0.0	0.4							
	阪神北	64.2	55.2	50.9	7.9	0.7	1.8	0.7							
	東播磨	62.1	56.1	51.2	8.0	2.0	2.7	1.3							
	北播磨	59.6	52.2	49.5	10.4	1.3	3.4	2.4							
	中播磨	64.6	59.2	47.7	11.2	1.8	0.7	1.4							
	西播磨	54.0	57.0	50.7	10.6	2.3	2.3	2.0							
	但 馬	55.1	65.0	50.8	7.7	0.9	1.5	2.5							
	丹 波	56.8	66.1	45.5	6.0	1.3	2.0	3.7							
	淡 路	62.4	54.4	43.2	10.8	0.3	2.8	2.1							
地域間の差		13.2	13.9	8.0	5.2	2.0	3.4	3.3							

【性別】

男性は「豊かな自然があり多くの生物がいる川(63.8%)」が最も多く、女性は「生活排水やゴミがない水のきれいな川(64.4%)」が最も多い。

区分		(%)						
		生活排水やゴミがない水のきれいな川	豊かな自然があり多くの生物がいる川	水辺のある川 人が安心して水とふれあえる	歴史的な景観が残る川	その他	わからない	無回答
全 県		62.8	58.0	49.1	8.7	1.6	1.8	1.1
性別	男 性	60.7	63.8	47.7	8.5	2.2	1.0	0.6
	女 性	64.4	54.2	50.1	8.6	1.1	2.4	1.2
性別間の差		3.7	9.6	2.4	0.1	1.1	1.4	0.6

【年代別】

「生活排水やゴミがない水のきれいな川(62.8%)」は、30代が最も多く(69.2%)、続く「豊かな自然があり多くの生物がいる川(58.0%)」は70代が最も多い(63.9%)。

区分		最大値		最小値		無回答		
		生活排水やゴミがない水のきれいな川	豊かな自然があり多くの生物がいる川	水辺の安心して水とふれあえる川	歴史的な景観が残る川	その他	わからない	(%)
全 県		62.8	58.0	49.1	8.7	1.6	1.8	1.1
年 代 別	20代	67.1	46.7	49.1	13.9	0.5	0.1	0.0
	30代	69.2	54.1	51.2	9.2	1.5	1.0	0.6
	40代	57.2	59.4	48.9	8.5	2.6	0.6	0.0
	50代	61.8	55.4	45.1	9.8	2.4	2.1	0.4
	60代	64.7	61.5	52.6	7.6	1.4	2.0	0.6
	70代	59.1	63.9	50.6	6.5	1.0	2.9	2.4
	80歳以上	66.5	55.0	42.3	8.6	1.2	2.8	3.1
年代間の差		12.0	17.2	10.3	7.4	2.1	2.8	3.1

【性・年代別】

「生活排水やゴミがない水のきれいな川(62.8%)」は、男性は60代(67.9%)、女性は30代(75.5%)が最も多く、続く「豊かな自然があり多くの生物がいる川(58.0%)」は、男性は70代(72.9%)、女性60代(60.0%)が最も多い。

区分		最大値		最小値		(%)		
		水生活排水やゴミがないのきれいな川	豊かな自然があり多くの生物がいる川	水辺のある川 人が安心して水とふれあえる	歴史的な景観が残る川	その他	わからない	無回答
全 県		62.8	58.0	49.1	8.7	1.6	1.8	1.1
男性・年代別	20代	64.8	57.2	36.6	19.2	1.1	0.2	0.0
	30代	60.5	53.8	47.7	13.3	3.5	0.0	0.4
	40代	53.1	59.7	55.6	6.8	2.9	0.6	0.0
	50代	56.3	61.1	41.2	9.7	5.1	2.0	0.0
	60代	67.9	63.8	46.4	8.9	2.2	1.6	0.8
	70代	58.8	72.9	52.1	3.4	0.4	0.8	1.6
	80歳以上	65.1	72.3	49.0	4.2	0.0	0.2	1.0
男性・年代間の差		14.8	19.1	19.0	15.8	5.1	2.0	1.6
女性・年代別	20代	68.8	38.9	58.3	10.0	0.0	0.0	0.0
	30代	75.5	54.3	53.8	6.3	0.0	1.7	0.7
	40代	59.7	59.2	44.8	9.5	2.4	0.6	0.0
	50代	65.9	51.1	48.0	9.8	0.4	2.2	0.8
	60代	62.4	60.0	57.1	6.7	0.8	2.3	0.5
	70代	58.9	56.7	49.8	8.3	1.6	4.7	3.2
	80歳以上	68.2	46.6	39.1	11.1	1.9	4.2	3.0
女性・年代間の差		16.6	21.1	19.2	4.8	2.4	4.7	3.2

3 「自然災害に対する意識」に関することについて

問10 不安を感じる自然災害

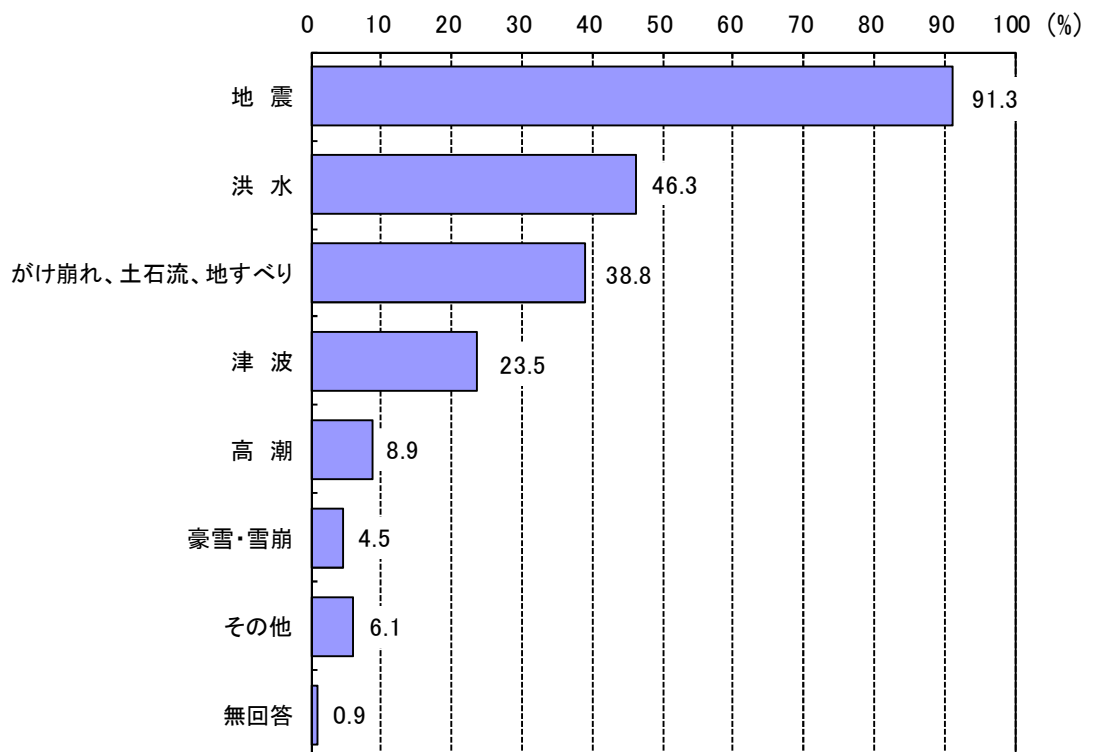
問10

あなたがお住まいの地域で特に不安を感じる自然災害はどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地震
- 2 津波
- 3 洪水
- 4 高潮
- 5 がけ崩れ、土石流、地すべり
- 6 豪雪・雪崩
- 7 その他（ ）

【全県】

「地震(91.3%)」が最も多く、次いで「洪水(46.3%)」、「がけ崩れ、土石流、地すべり(38.8%)」が続いている。



【地域別】

「地震(91.3%)」は、全地域で最も多く、中でも阪神南(95.0%)が最も多い。次いで、東播磨(93.4%)、阪神北(93.2%)、神戸(92.8%)が多い。

区分	地震	洪水	がけ崩れ、 土石流、 地すべり	最大値		最小値		無回答	(%)
				津波	高潮	豪雪・雪崩	その他		
全 県	91.3	46.3	38.8	23.5	8.9	4.5	6.1	0.9	
地域別	神 戸	92.8	29.0	48.0	19.0	7.9	2.9	6.1	0.7
	阪神南	95.0	52.5	17.0	51.4	17.0	1.2	5.0	0.4
	阪神北	93.2	42.7	48.0	6.8	0.0	2.9	8.6	0.7
	東播磨	93.4	54.8	15.0	33.6	13.0	0.3	7.6	1.7
	北播磨	88.6	49.8	56.6	1.3	0.3	2.0	9.1	2.0
	中播磨	88.4	64.6	41.5	17.0	9.0	3.6	4.0	0.7
	西播磨	85.1	62.3	53.3	12.9	8.3	6.0	3.0	1.0
	但 馬	68.7	55.4	59.1	5.6	3.4	57.9	2.2	1.9
	丹 波	81.4	46.2	73.4	0.0	0.0	22.9	6.0	2.0
	淡 路	89.2	44.6	47.4	34.5	17.1	1.7	5.2	1.0
地域間の差	26.3	35.6	58.4	51.4	17.1	57.6	6.9	1.6	

【性別】

男女間で大きな差は見られない。

(%)

区分		地震	洪水	がけ崩れ、 土石流、 地すべり	津波	高潮	豪雪・ 雪崩	その他	無回答
全 県		91.3	46.3	38.8	23.5	8.9	4.5	6.1	0.9
性別	男 性	91.1	45.8	39.8	22.1	8.8	4.7	6.6	0.8
	女 性	91.6	47.0	38.3	24.8	9.0	4.4	5.8	0.9
性別間の差		0.5	1.2	1.5	2.7	0.2	0.3	0.8	0.1

【年代別】

全県で最も多い「地震(91.3%)」は、全年代で最も多く、中でも30代で最も多い(94.0%)。続く「洪水(46.3%)」は、80歳以上が最も多い(50.2%)。

最大値 最小値 (%)

区分		地震	洪水	がけ崩れ、 土石流、 地すべり	津波	高潮	豪雪・ 雪崩	その他	無回答
全 県		91.3	46.3	38.8	23.5	8.9	4.5	6.1	0.9
年代別	20代	90.1	42.6	43.0	22.7	9.2	2.8	6.8	0.0
	30代	94.0	46.0	43.2	27.9	7.2	3.9	4.6	0.4
	40代	90.5	49.1	39.2	26.9	8.8	3.8	5.2	0.0
	50代	88.1	44.5	40.7	23.4	8.8	6.3	5.7	0.3
	60代	93.2	47.9	41.7	22.0	6.7	5.2	6.0	0.7
	70代	92.5	43.7	34.1	24.1	13.0	3.8	6.6	1.7
	80歳以上	90.5	50.2	31.1	18.5	7.8	4.6	8.5	2.9
年代間の差		5.9	7.6	12.1	9.4	6.3	3.5	3.9	2.9

【性・年代別】

「地震(91.3%)」は、男性は30代(94.8%)、女性は20代(93.8%)で最も多く、続く「洪水(46.3%)」は、男性は80歳以上(58.5%)、女性は20代(53.6%)が最も多い。

区分		最大値		最小値		(%)			
		地震	洪水	がけ崩れ、土石流、地すべり	津波	高潮	豪雪・雪崩	その他	無回答
全 県		91.3	46.3	38.8	23.5	8.9	4.5	6.1	0.9
男性・年代別	20代	85.1	27.6	43.7	18.0	9.3	4.3	7.0	0.0
	30代	94.8	52.5	40.0	24.6	9.2	3.7	3.5	0.0
	40代	89.6	47.8	34.1	22.1	8.5	4.3	5.2	0.0
	50代	91.1	40.8	44.2	25.3	8.5	4.4	7.2	0.0
	60代	92.7	48.1	45.9	20.3	5.1	6.4	4.7	0.4
	70代	91.7	44.7	35.3	22.7	14.8	4.0	9.1	1.6
	80歳以上	89.8	58.5	33.4	20.6	3.2	4.4	9.1	4.2
男性・年代間の差		9.7	30.9	12.5	7.3	11.6	2.7	5.6	4.2
女性・年代別	20代	93.8	53.6	42.7	26.1	9.0	1.6	6.7	0.0
	30代	93.5	41.3	45.5	30.3	5.8	4.0	5.3	0.6
	40代	91.0	49.9	42.3	29.9	8.9	3.5	5.2	0.0
	50代	85.9	47.2	38.2	21.9	9.1	7.7	4.6	0.6
	60代	93.5	47.8	38.8	23.2	7.9	4.3	6.9	0.9
	70代	93.1	43.1	33.3	25.7	11.6	3.6	4.4	1.8
	80歳以上	91.3	46.7	30.3	17.5	10.4	4.8	8.4	1.7
女性・年代間の差		7.9	12.3	15.2	12.8	5.8	6.1	4.0	1.8

問 1 1 自然災害への備えに対する不安な点

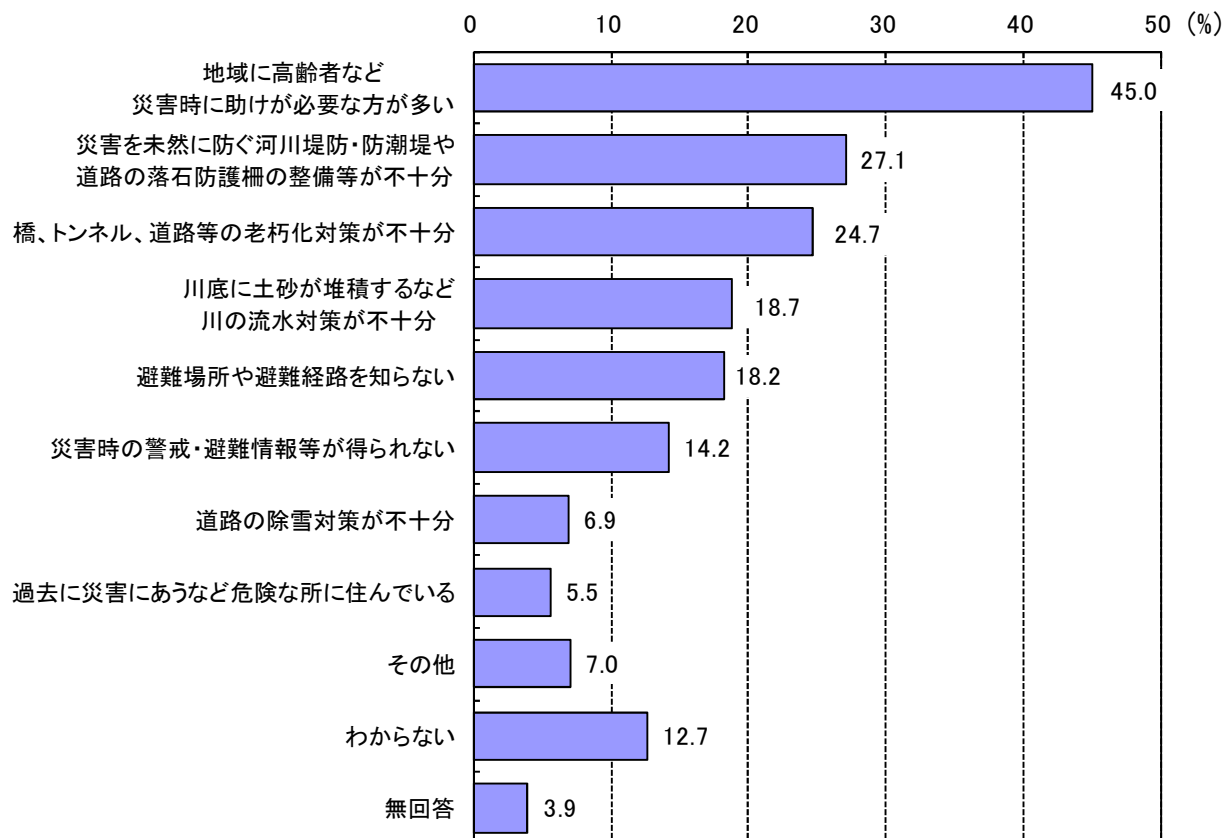
問 1 1

あなたがお住まいの地域において、自然災害への備えで特に不安を感じることはどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分
- 2 橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分
- 3 道路の除雪対策が不十分
- 4 川底に土砂が堆積するなど川の流水対策が不十分
- 5 過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる
- 6 避難場所や避難経路を知らない
- 7 地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い
- 8 災害時の警戒・避難情報等が得られない
- 9 その他 ()
- 10 わからない

【全県】

「地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い(45.0%)」が最も多く、次いで「災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分(27.1%)」、「橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分(24.7%)」が続いている。



【地域別】

全県で最も多い「地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い(45.0%)」は、淡路(48.4%)が最も多く、次いで、西播磨(47.4%)、中播磨(46.9%)が多い。

但馬は「道路の除雪対策が不十分」が最も多い(57.9%)。

区分	地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い	災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分	川底に土砂が堆積するなど川の流水対策が不十分	避難場所や避難経路を知らない	災害時の警戒・避難情報等が得られない	最大値	過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる	最小値	わからない	無回答	(%)
							道路の除雪対策が不十分		その他			
全 県	45.0	27.1	24.7	18.7	18.2	14.2	6.9	5.5	7.0	12.7	3.9	
地域別	神 戸	46.6	21.5	28.3	6.5	17.9	11.8	4.7	5.4	7.5	15.8	3.9
	阪神南	44.0	28.2	21.6	18.5	24.7	21.2	2.3	4.6	7.7	13.1	3.1
	阪神北	42.3	21.9	26.9	15.1	18.6	12.9	6.5	3.9	6.5	13.6	5.0
	東播磨	42.5	26.9	25.6	25.6	20.6	17.3	3.0	4.0	7.6	14.0	3.3
	北播磨	44.8	31.3	18.9	29.0	11.4	11.1	6.1	9.8	6.4	10.8	4.7
	中播磨	46.9	32.9	24.2	27.1	17.7	16.2	7.2	4.7	4.3	10.1	4.0
	西播磨	47.4	35.8	22.8	30.8	10.6	9.6	6.6	7.3	8.3	5.3	5.6
	但 馬	46.4	39.6	17.6	31.3	4.3	1.2	57.9	10.5	6.5	3.1	3.1
	丹 波	45.5	36.2	21.6	33.9	6.6	7.6	34.9	8.6	4.3	4.3	5.0
	淡 路	48.4	38.3	19.5	36.2	12.5	7.7	2.4	13.9	6.6	9.1	2.8
地域間の差	6.1	18.1	10.7	29.7	20.4	20.0	55.6	10.0	4.0	12.7	2.8	

【性別】

男女とも「地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い(45.0%)」が最も多い(男性 43.9%、女性 45.4%)。

男女間の差は、「橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分(男性 30.6%、女性 20.6%)」(10.0ポイント差)が最も大きい。

区分		地域に高齢者など 災害時に助けが必要な方が多い	災害を未然に防ぐ河川堤防・ 防潮堤や道路の落石防護柵の 整備等が不十分	橋、トンネル、道路等の 老朽化対策が不十分	川底に土砂が堆積するなど 川の流水対策が不十分	避難場所や避難経路を知らない	災害時の警戒・避難情報等が 得られない	道路の除雪対策が不十分	過去に災害にあうなど 危険な所に住んでいる	その他	わからない	無回答
全 県		45.0	27.1	24.7	18.7	18.2	14.2	6.9	5.5	7.0	12.7	3.9
性別	男 性	43.9	29.8	30.6	23.9	19.2	13.2	6.7	5.5	5.3	10.6	2.6
	女 性	45.4	25.5	20.6	15.1	17.6	15.1	7.0	5.7	8.3	14.3	4.7
性別間の差		1.5	4.3	10.0	8.8	1.6	1.9	0.3	0.2	3.0	3.7	2.1

【年代別】

「地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い(45.0%)」は、全年代で最も多く、中でも80歳以上で最も多い(54.7%)。続く「災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分(27.1%)」は、40代が最も多い(31.8%)。

区分		最大値											最小値	(%)
		地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い	防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤	橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分	川の流水対策が不十分	川底に土砂が堆積するなど	避難場所や避難経路を知らない	災害時の警戒・避難情報等が得られない	道路の除雪対策が不十分	過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる	その他	わからない	無回答
全 県		45.0	27.1	24.7	18.7	18.2	14.2	6.9	5.5	7.0	12.7	3.9		
年代別	20代	39.4	25.2	28.0	7.8	22.9	9.3	7.0	3.7	4.4	16.6	1.3		
	30代	40.0	27.5	28.9	11.5	21.8	11.5	7.2	6.4	6.6	15.2	2.2		
	40代	34.2	31.8	29.2	10.0	12.0	11.1	5.6	5.2	11.8	16.0	4.4		
	50代	45.3	27.4	27.6	18.5	19.3	13.6	8.2	5.2	6.2	10.5	2.2		
	60代	47.5	31.1	25.6	25.3	14.7	16.3	6.3	4.8	6.8	10.9	4.3		
	70代	49.7	22.8	21.1	24.6	21.0	16.9	7.0	5.1	5.1	12.8	4.8		
	80歳以上	54.7	21.4	11.7	23.9	21.2	17.8	7.1	9.8	7.3	9.5	6.6		
年代間の差		20.5	10.4	17.5	17.5	10.9	8.5	2.6	6.1	7.4	7.1	5.3		

【性・年代別】

「地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い(45.0%)」は、男女ともに80歳以上(男性52.6%、女性56.6%)で最も多く、続く「災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分(27.1%)」は、男性は60代(35.3%)、女性は40代(31.2%)が最も多い。

区分		最大値											最小値	(%)
		災害時に助けが必要な方が多い	地域に高齢者など災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	老朽化対策が不十分	橋、トンネル、道路等の	川の流水対策が不十分	川底に土砂が堆積するなど	避難場所や避難経路を知らない	得られない	災害時の警戒・避難情報等が	道路の除雪対策が不十分	危険な所に住んでいる	過去に災害にあうなど	その他
全 県		45.0	27.1	24.7	18.7	18.2	14.2	6.9	5.5	7.0	12.7	3.9		
男性・年代別	20代	39.9	18.8	26.2	11.0	17.6	8.2	9.2	1.9	2.9	15.3	3.0		
	30代	48.6	30.4	30.5	14.1	23.1	13.0	8.4	1.2	3.9	11.0	3.4		
	40代	29.9	32.7	39.9	14.2	11.2	10.9	7.4	6.8	5.8	14.1	2.9		
	50代	40.5	30.7	32.9	21.2	27.3	14.5	5.5	5.2	5.0	9.1	2.6		
	60代	45.8	35.3	34.7	28.9	17.1	13.7	6.0	4.5	4.9	8.8	0.8		
	70代	50.1	27.6	27.8	31.5	20.6	13.2	5.8	7.1	6.4	10.4	3.0		
	80歳以上	52.6	24.6	11.5	38.8	16.2	19.0	7.9	11.3	7.2	7.1	4.2		
男性・年代間の差		22.7	16.5	28.4	27.8	16.1	10.8	3.7	10.1	4.3	8.2	3.4		
女性・年代別	20代	39.1	30.0	29.3	5.4	26.7	10.1	5.4	5.1	5.5	17.5	0.0		
	30代	33.7	25.5	27.8	9.7	20.8	10.3	6.3	10.2	8.5	18.3	1.4		
	40代	36.8	31.2	22.6	7.3	12.5	11.3	4.6	4.3	15.6	17.2	5.4		
	50代	48.9	25.0	23.6	16.5	13.3	12.9	10.2	5.2	7.2	11.6	2.0		
	60代	48.7	28.1	19.2	22.7	13.0	18.2	6.5	5.1	8.3	12.3	6.7		
	70代	49.0	18.8	15.5	18.9	21.6	20.3	8.0	3.4	4.0	15.0	6.5		
	80歳以上	56.6	19.8	12.0	16.3	24.2	17.4	6.8	9.2	7.4	10.8	6.7		
女性・年代間の差		22.9	12.4	17.3	17.3	14.2	10.2	5.6	6.8	11.6	7.5	6.7		

問12 水害・土砂災害からの避難に必要な情報

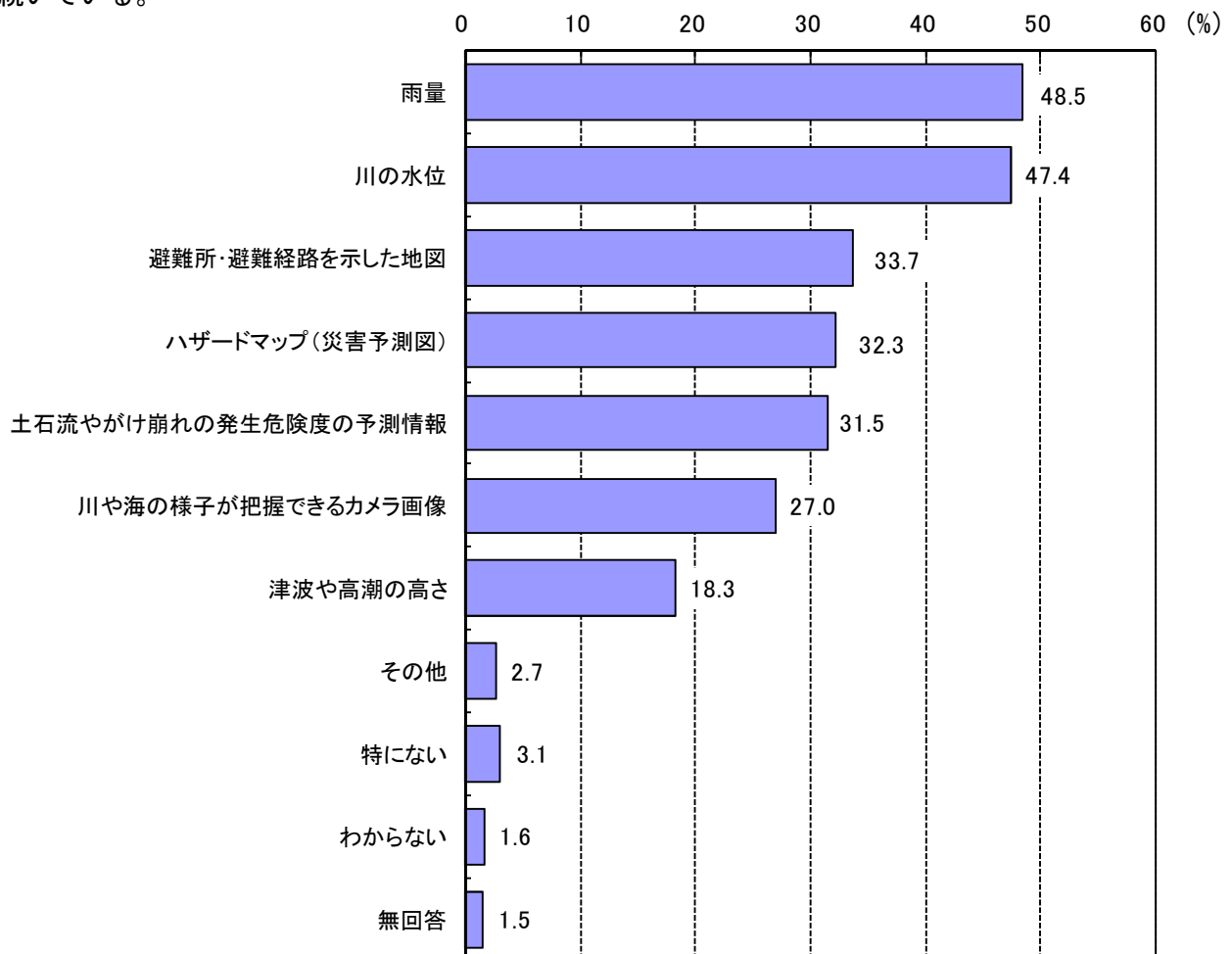
問12

あなたは、水害・土砂災害について、的確に避難準備や避難判断するためには、どのような情報が必要だと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 雨量
- 2 川の水位
- 3 津波や高潮の高さ
- 4 土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報
- 5 川や海の様子が把握できるカメラ画像
- 6 ハザードマップ（災害予測図）
- 7 避難所・避難経路を示した地図
- 8 その他（ ）
- 9 特にない
- 10 わからない

【全県】

「雨量(48.5%)」が最も多く、次いで「川の水位(47.4%)」、「避難所・避難経路を示した地図(33.7%)」が続いている。



【地域別】

「雨量(48.5%)」は、淡路(58.5%)で最も多く、次いで丹波(57.8%)、但馬(54.8%)が多い。

「川の水位(47.4%)」は、西播磨(66.2%)が最も多く、次いで中播磨(65.0%)、但馬(62.8%)が多い。

区分	雨量	川の水位	避難所・避難経路を示した地図	ハザードマップ(災害予測図)	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子が把握できるカメラ画像	津波や高潮の高さ	最大値	最小値	わからない	無回答	
								その他	特になし			(%)
全 県	48.5	47.4	33.7	32.3	31.5	27.0	18.3	2.7	3.1	1.6	1.5	
地域別	神 戸	50.5	29.4	36.2	37.3	39.4	22.6	18.3	2.2	5.7	1.1	1.4
	阪神南	41.7	55.2	33.6	29.0	22.8	31.7	32.8	2.3	1.9	1.2	0.8
	阪神北	53.8	48.7	41.9	37.3	29.0	21.9	5.4	3.9	1.1	2.2	1.8
	東播磨	37.5	48.5	35.5	32.6	17.9	35.2	26.6	3.7	3.3	2.3	2.0
	北播磨	50.2	50.2	31.3	36.0	42.1	22.9	2.4	2.7	2.7	1.7	1.7
	中播磨	54.5	65.0	31.4	27.1	27.1	28.2	13.7	2.2	1.4	1.8	1.4
	西播磨	49.7	66.2	20.2	24.2	40.4	30.1	9.9	3.3	2.3	1.7	1.7
	但 馬	54.8	62.8	18.3	24.8	48.6	28.5	6.8	0.9	1.2	2.2	2.8
	丹 波	57.8	53.5	21.9	22.9	54.5	16.9	1.0	3.0	4.0	2.0	3.3
	淡 路	58.5	40.1	22.6	18.8	34.1	28.6	28.2	1.4	2.8	2.4	1.7
地域間の差	21.0	36.8	23.6	18.5	36.6	18.3	31.8	3.0	4.6	1.3	2.5	

【性別】

男女間の差は「避難所・避難経路を示した地図(男性 30.8%、女性 35.9%)」(5.1ポイント差)が最も大きい。

区分		雨量	川の水位	避難所・避難経路を示した地図	ハザードマップ(災害予測図)	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子が把握できるカメラ画像	津波や高潮の高さ	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		48.5	47.4	33.7	32.3	31.5	27.0	18.3	2.7	3.1	1.6	1.5
性別	男 性	48.9	49.8	30.8	33.7	31.7	27.5	16.9	3.2	2.9	1.3	0.8
	女 性	48.4	46.1	35.9	31.5	31.8	26.7	19.2	2.3	3.1	1.9	1.8
性別間の差		0.5	3.7	5.1	2.2	0.1	0.8	2.3	0.9	0.2	0.6	1.0

【年代別】

「雨量(48.5%)」は、70代(56.9%)が最も多く、続く「川の水位(47.4%)」は、30代(54.4%)が最も多い。

区分	雨量	川の水位	避難所・避難経路を示した地図	ハザードマップ(災害予測図)	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子が把握できるカメラ画像	津波や高潮の高さ	最大値	最小値	わからない	無回答	
								その他	特にない			(%)
全 県	48.5	47.4	33.7	32.3	31.5	27.0	18.3	2.7	3.1	1.6	1.5	
年代別	20代	39.1	50.1	45.4	42.9	31.3	31.7	13.1	1.4	0.2	2.2	0.0
	30代	38.9	54.4	27.7	32.5	32.8	41.5	17.2	4.0	0.9	3.9	0.8
	40代	43.3	49.8	30.6	32.1	33.4	39.2	22.6	3.0	0.5	0.9	0.0
	50代	46.7	47.3	31.7	36.5	33.4	34.9	17.3	2.4	0.1	0.9	1.0
	60代	52.8	50.9	32.3	32.1	34.0	19.0	18.1	3.0	2.4	1.7	1.0
	70代	56.9	40.5	36.3	28.8	30.2	18.4	19.6	2.9	6.2	1.0	2.9
	80歳以上	51.8	42.4	36.4	24.6	23.5	10.6	15.4	1.1	12.0	2.2	4.6
年代間の差	18.0	13.9	17.7	18.3	10.5	30.9	9.5	2.9	11.9	3.0	4.6	

【性・年代別】

「雨量(48.5%)」は、男女ともに70代(男性56.1%、女性58.0%)が最も多く、続く「川の水位(47.4%)」は、男性は30代(61.0%)、女性は60代(50.9%)が最も多い。

区分		最大値											最小値											無回答
		雨量	川の水位	避難所・避難経路を示した地図	ハザードマップ(災害予測図)	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子が把握できるカメラ画像	津波や高潮の高さ	その他	特にない	わからない	(%)												
全 県		48.5	47.4	33.7	32.3	31.5	27.0	18.3	2.7	3.1	1.6	1.5												
男性・年代別	20代	42.2	50.4	42.2	48.9	32.7	33.1	6.4	2.1	0.5	2.3	0.0												
	30代	41.7	61.0	20.2	29.0	27.2	39.5	22.4	6.8	0.2	5.6	1.0												
	40代	37.9	53.6	30.9	34.5	28.3	38.2	20.2	1.9	0.0	1.2	0.0												
	50代	48.8	46.7	27.8	37.2	37.2	34.7	19.8	3.5	0.3	0.1	0.1												
	60代	52.8	50.9	29.5	33.9	32.2	18.4	16.5	2.3	3.2	0.6	0.4												
	70代	56.1	41.9	35.1	32.0	32.1	21.5	15.9	3.9	5.1	0.7	2.1												
	80歳以上	55.4	52.8	29.8	19.9	29.2	13.9	12.8	1.8	12.3	0.5	1.8												
男性・年代間の差		18.2	19.1	22.0	29.0	10.0	25.6	16.0	5.0	12.3	5.5	2.1												
女性・年代別	20代	36.7	49.8	47.8	38.3	30.2	30.7	18.0	0.8	0.0	2.1	0.0												
	30代	36.9	49.6	33.1	35.1	36.9	43.0	13.5	2.0	1.3	2.6	0.6												
	40代	46.7	47.5	30.4	30.7	36.5	39.9	24.1	3.7	0.8	0.7	0.0												
	50代	45.2	47.8	34.5	35.9	30.6	35.0	15.5	1.6	0.0	1.4	1.6												
	60代	52.9	50.9	34.3	30.7	35.3	19.5	19.1	3.5	1.8	2.4	1.4												
	70代	58.0	39.6	37.8	26.4	28.8	15.8	23.1	2.1	6.1	1.4	3.7												
	80歳以上	50.6	37.5	40.4	27.4	20.9	9.1	16.7	0.7	12.0	3.1	4.9												
女性・年代間の差		21.3	13.4	17.4	11.9	16.0	33.9	10.6	3.0	12.0	2.4	4.9												

問13 CGハザードマップの認知度

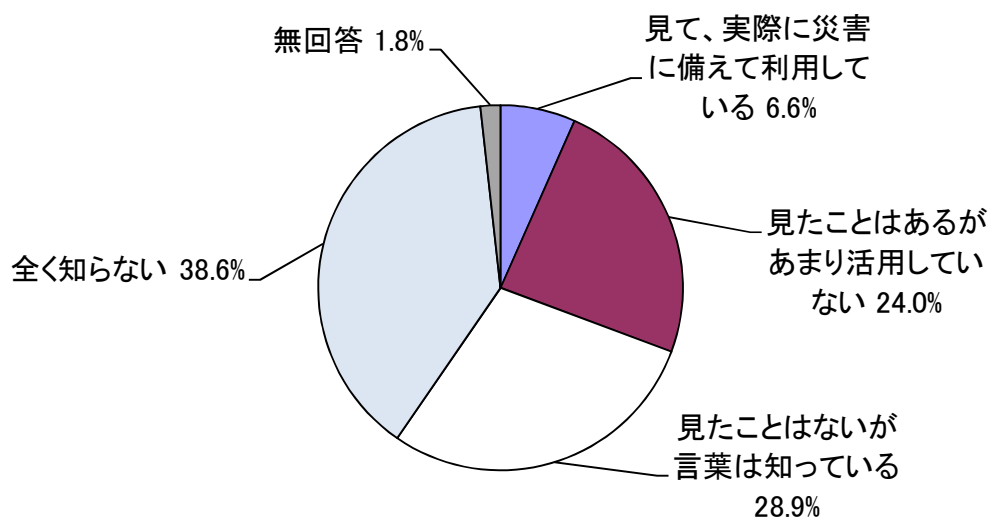
問13

あなたは「CGハザードマップ」を知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 見て、実際に災害に備えて利用している
- 2 見たことがあるが、あまり活用していない
- 3 見たことはないが、言葉は知っている
- 4 全く知らない

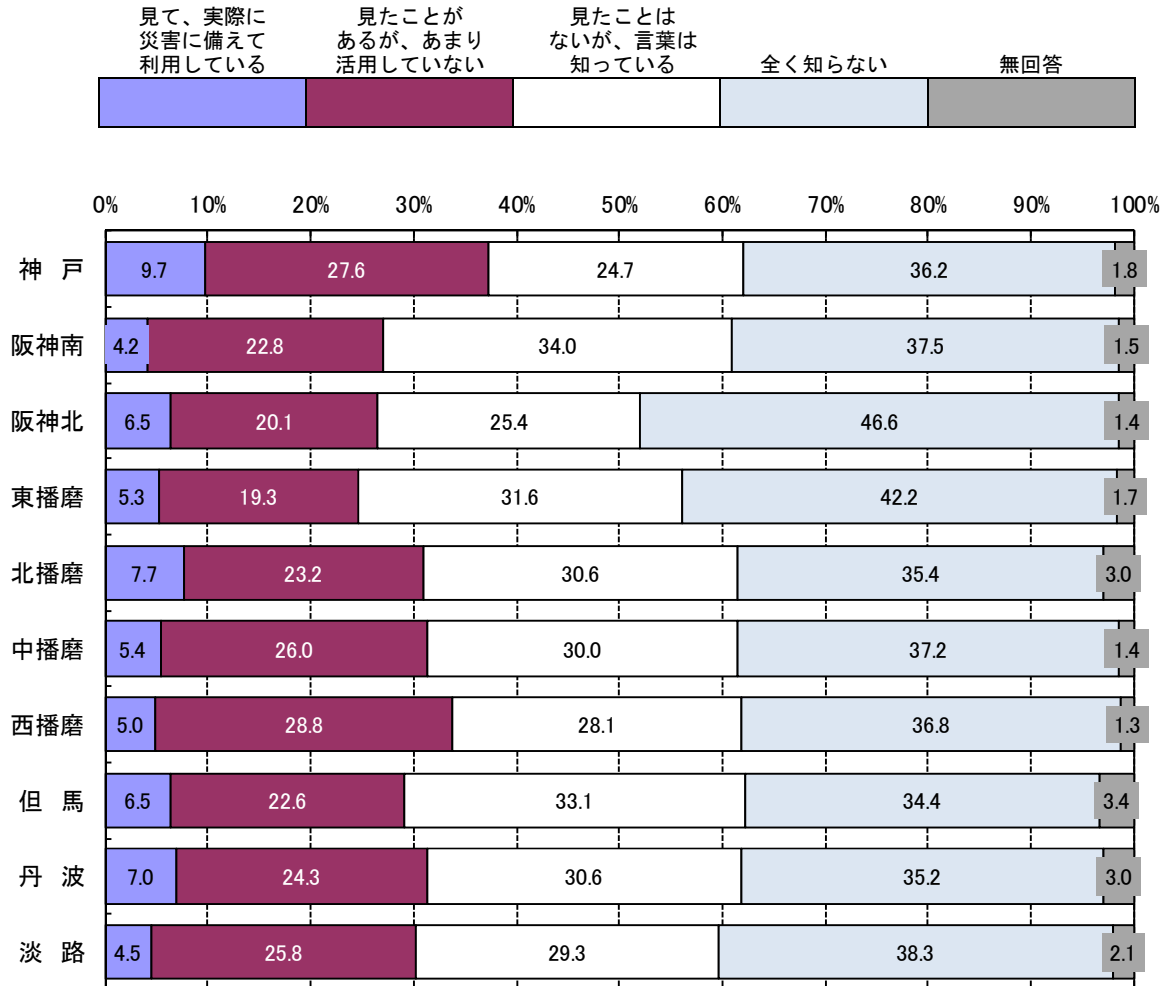
【全県】

「見て、実際に災害に備えて利用している」のは6.6%、「全く知らない」は38.6%となった。



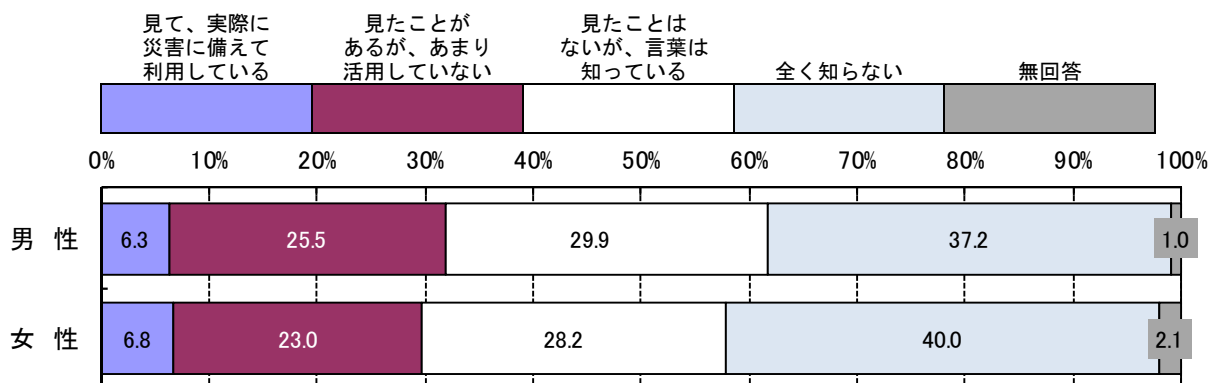
【地域別】

「見て、実際に災害に備えて利用している」は、神戸(9.7%)が最も多く、次いで北播磨(7.7%)、丹波(7.0%)が多い。



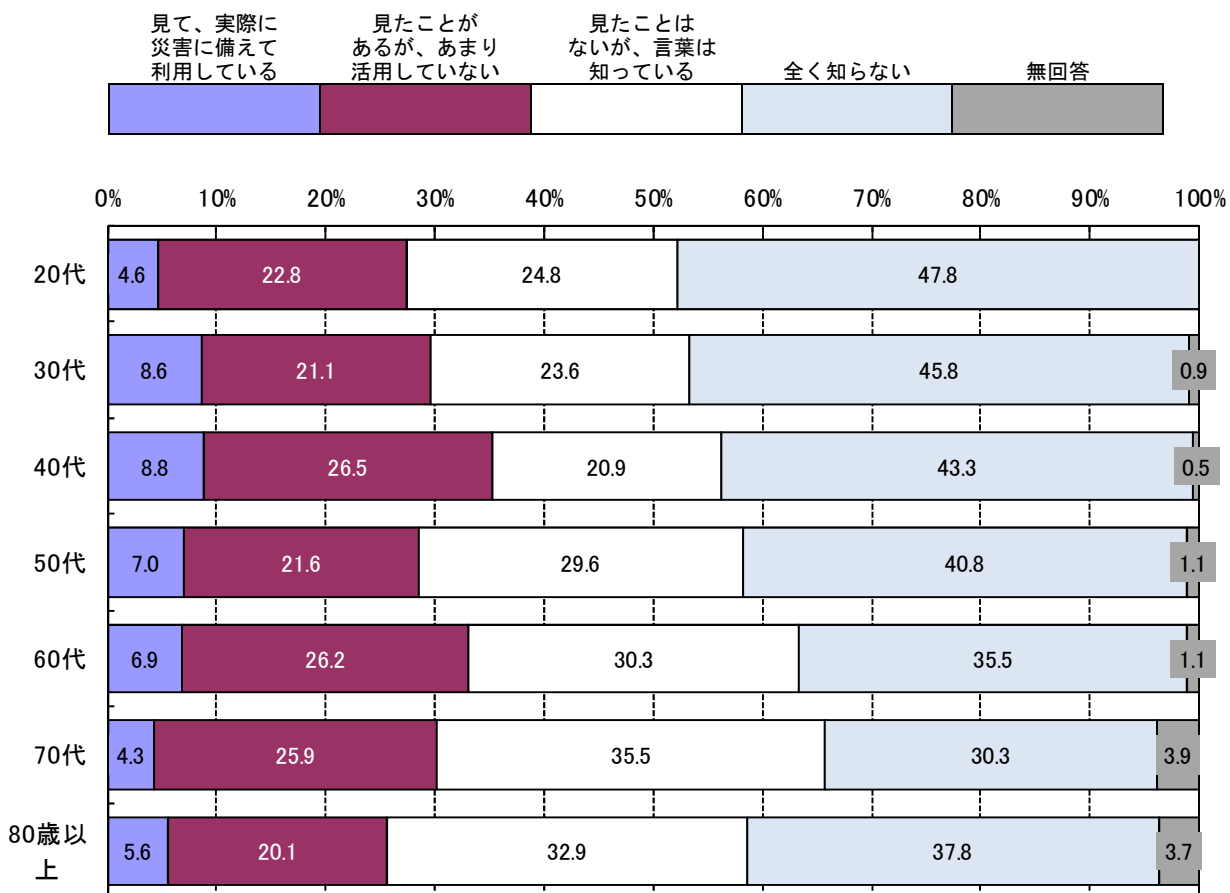
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



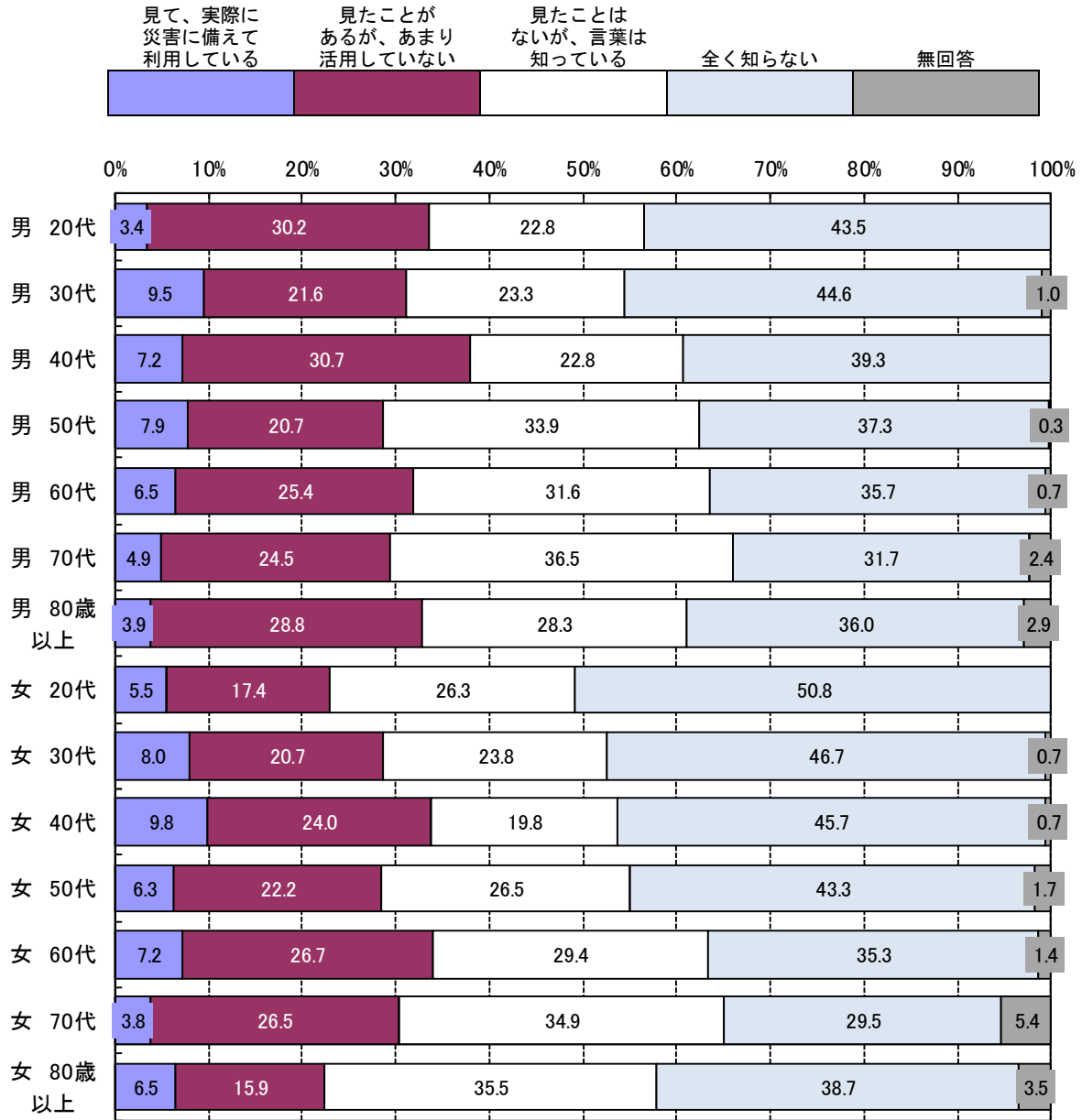
【年代別】

「見て、実際に災害に備えて利用している」は、40代が最も多く(8.8%)、次いで30代が多い(8.6%)。



【性・年代別】

「見て、実際に災害に備えて利用している」は、男性は30代(9.5%)が最も多く、女性は40代(9.8%)が最も多い。



4 「今後の社会基盤整備の方向性に対する意識」に関することについて

問14 社会基盤の老朽化の認識

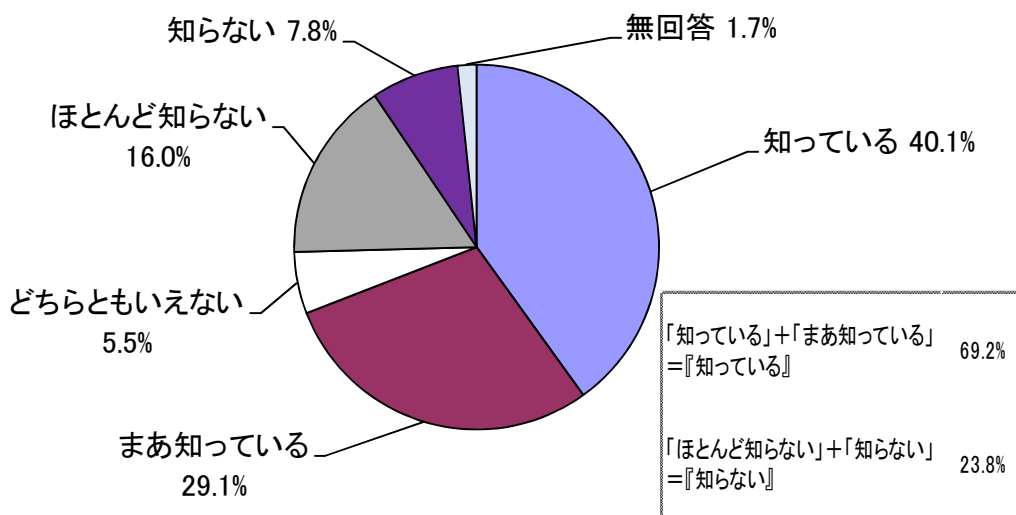
問14

あなたは、道路や橋りょう、トンネルなど戦後の一時期（高度経済成長期）に多く建設した施設が、一気に老朽化することを知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1 知っている | 2 まあ知っている | 3 どちらともいえない |
| 4 ほとんど知らない | 5 知らない | |

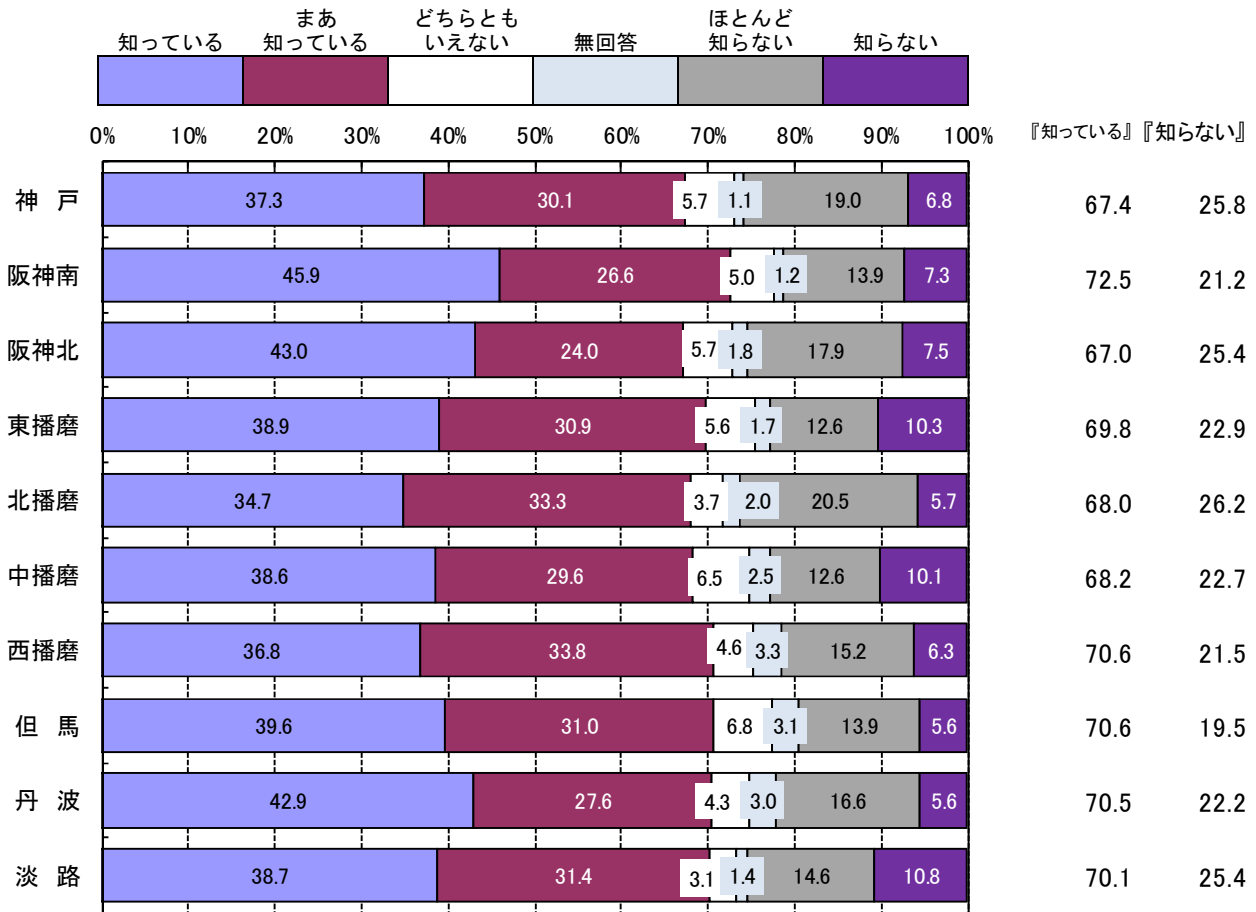
【全県】

「知っている(40.1%)」と「まあ知っている(29.1%)」とを合わせた『知っている』は 69.2%となり、「知らない(7.8%)」と「ほとんど知らない(16.0%)」とを合わせた『知らない』は 23.8%となっている。



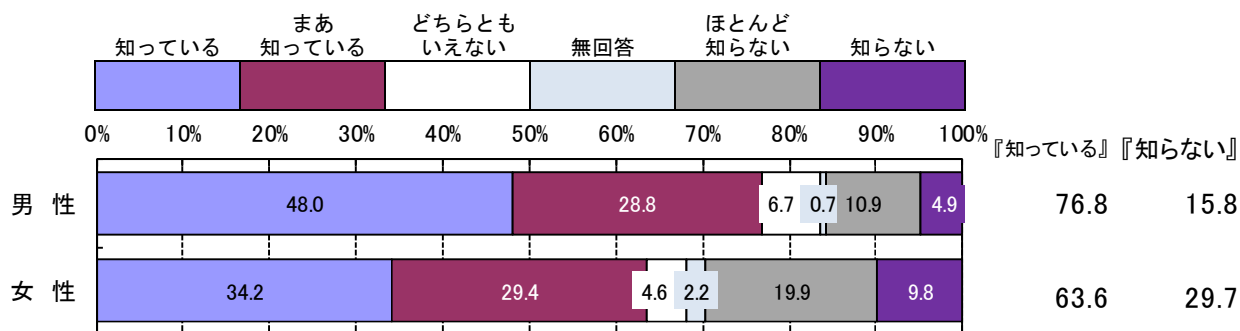
【地域別】

『知っている』は、阪神南(72.5%)が最も多く、次いで西播磨と但馬(各70.6%)が多い。



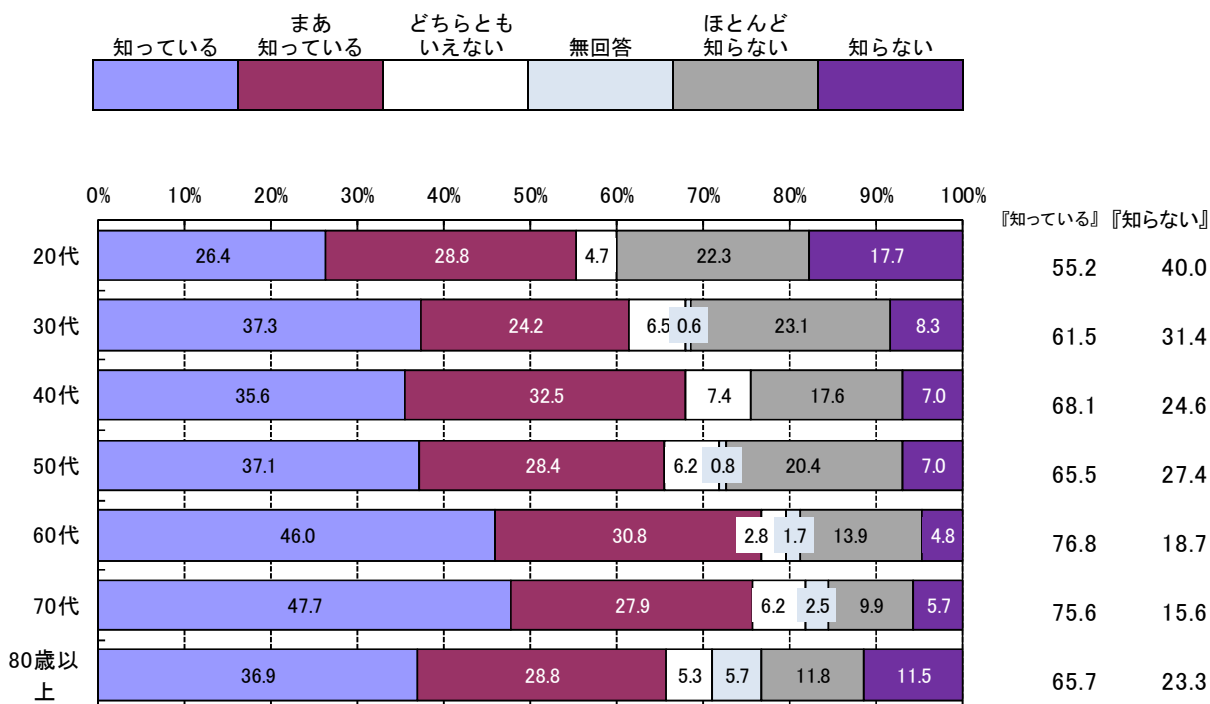
【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より13.2ポイント高い。



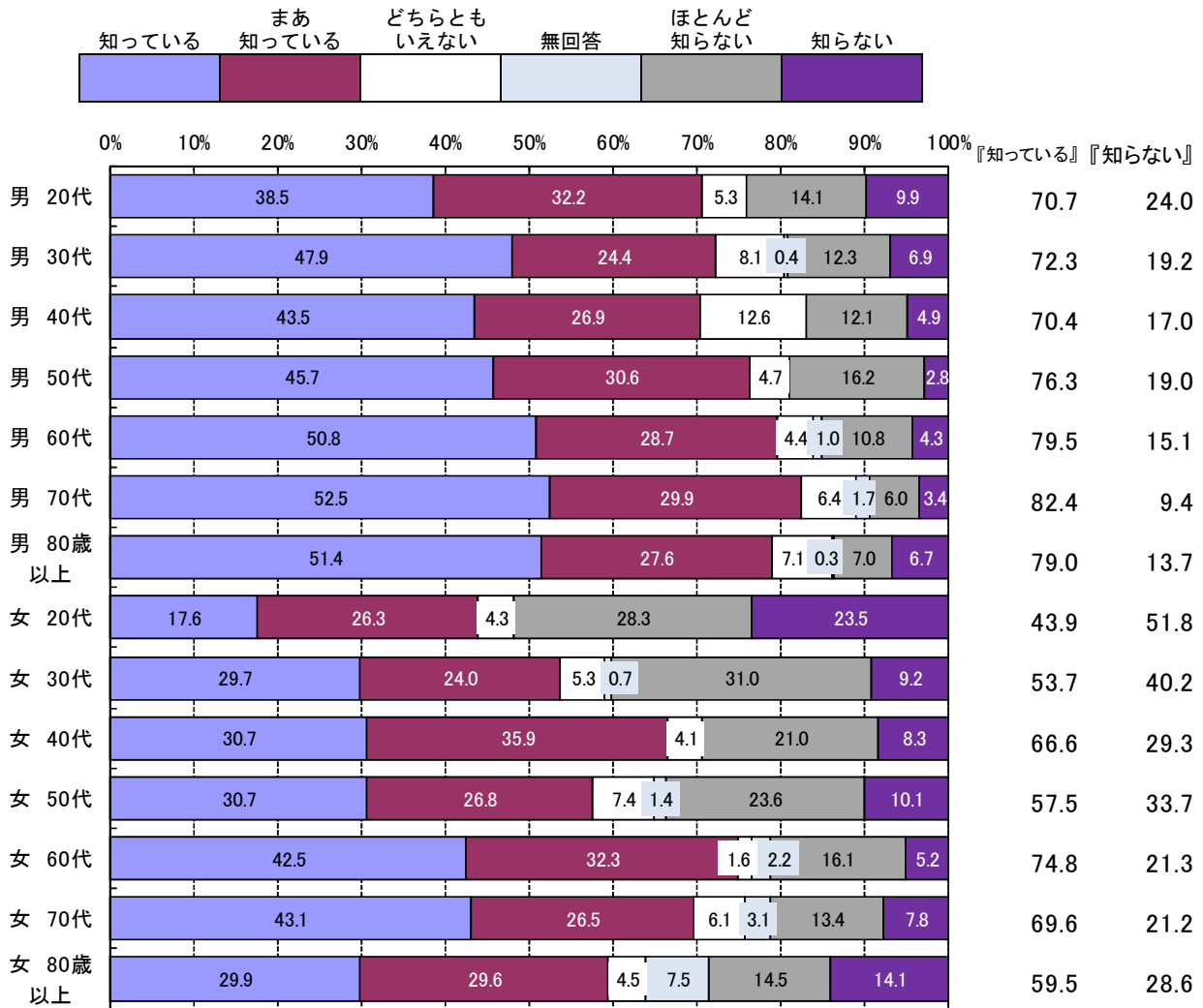
【年代別】

『知っている』は、60代(76.8%)で最も多く、次いで70代(75.6%)が多い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は70代が最も多く(82.4%)、女性は60代が最も多い(74.8%)。



問15 道路・河川等の美化活動への参加状況

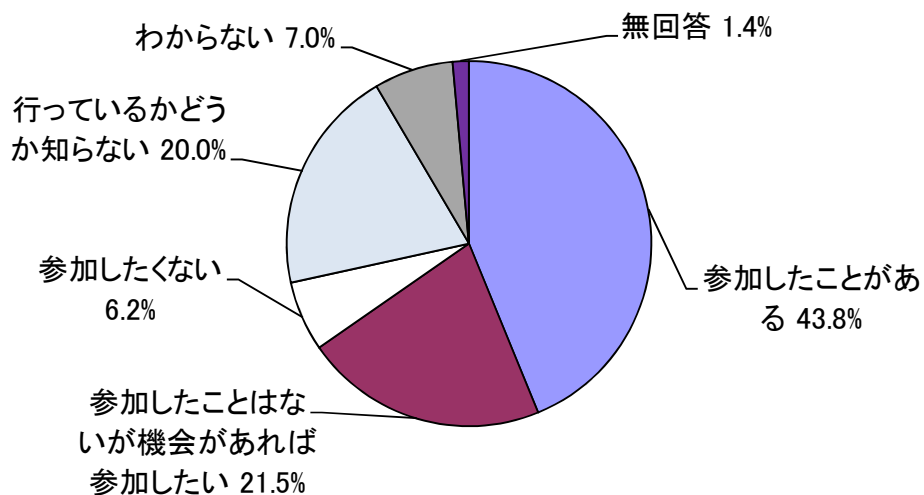
問15

地域住民主体で実施している道路や河川等の花や木の手入れ、草刈りなどの美化活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはないが、機会があれば参加したい
- 3 参加したくない
- 4 地域で美化活動等を行っているかどうか知らない
- 5 わからない

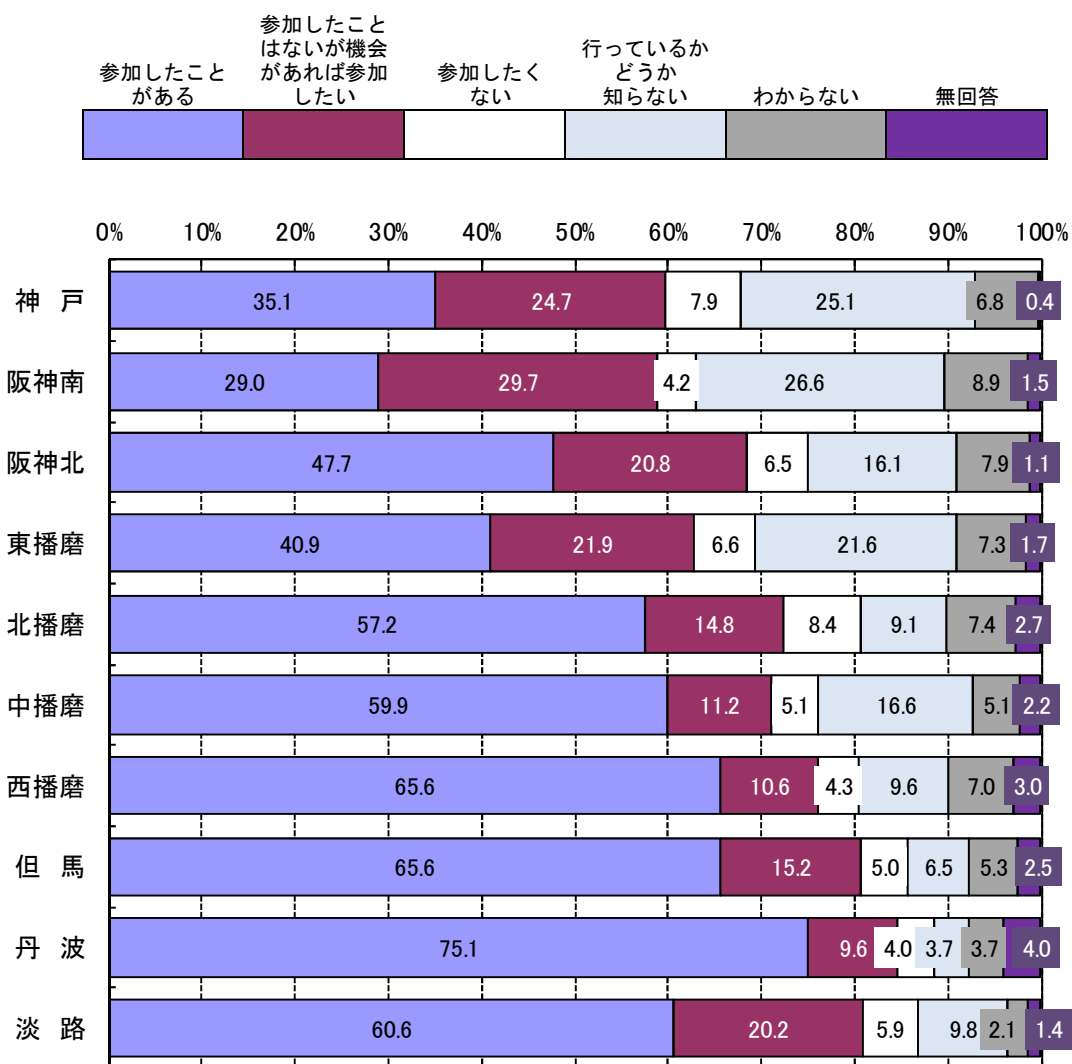
【全県】

「参加したことがある」は43.8%、「参加したことはないが機会があれば参加したい」は21.5%となっている。



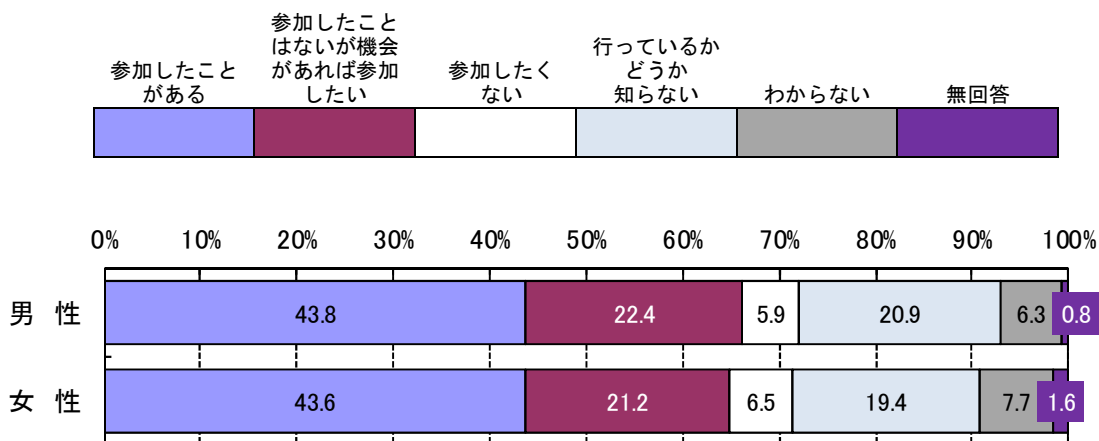
【地域別】

「参加したことがある」は、丹波(75.1%)が最も多く、次いで西播磨と但馬(各 65.6%)、淡路(60.6%)が多い。



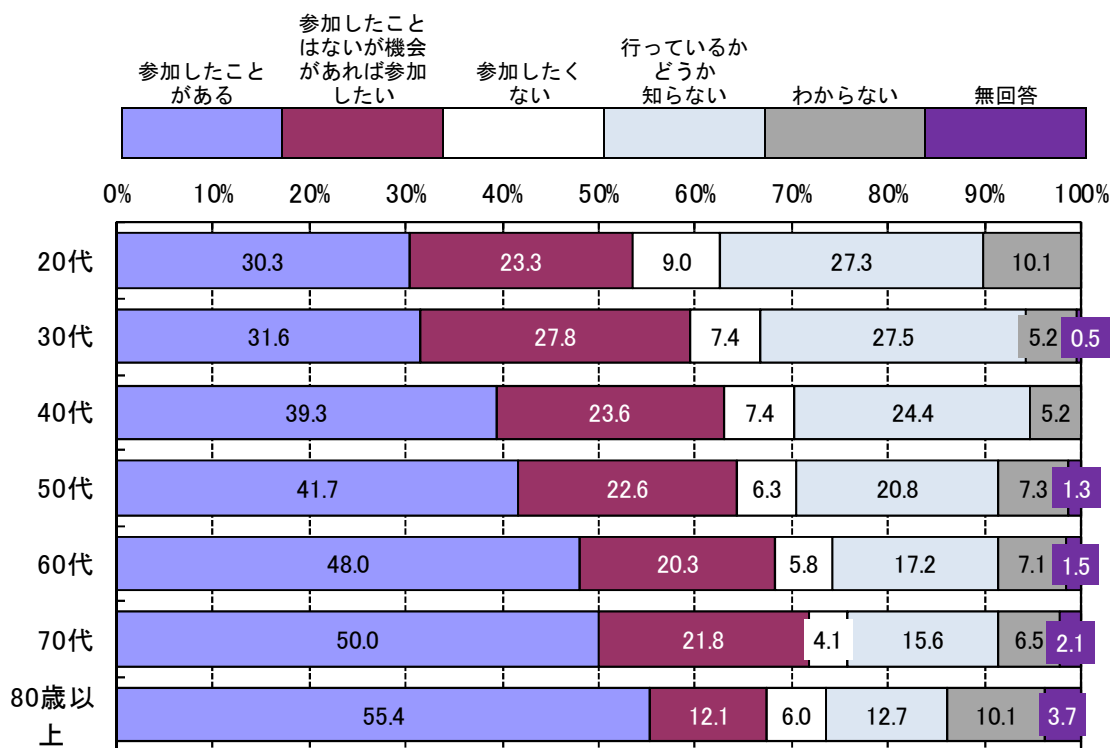
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



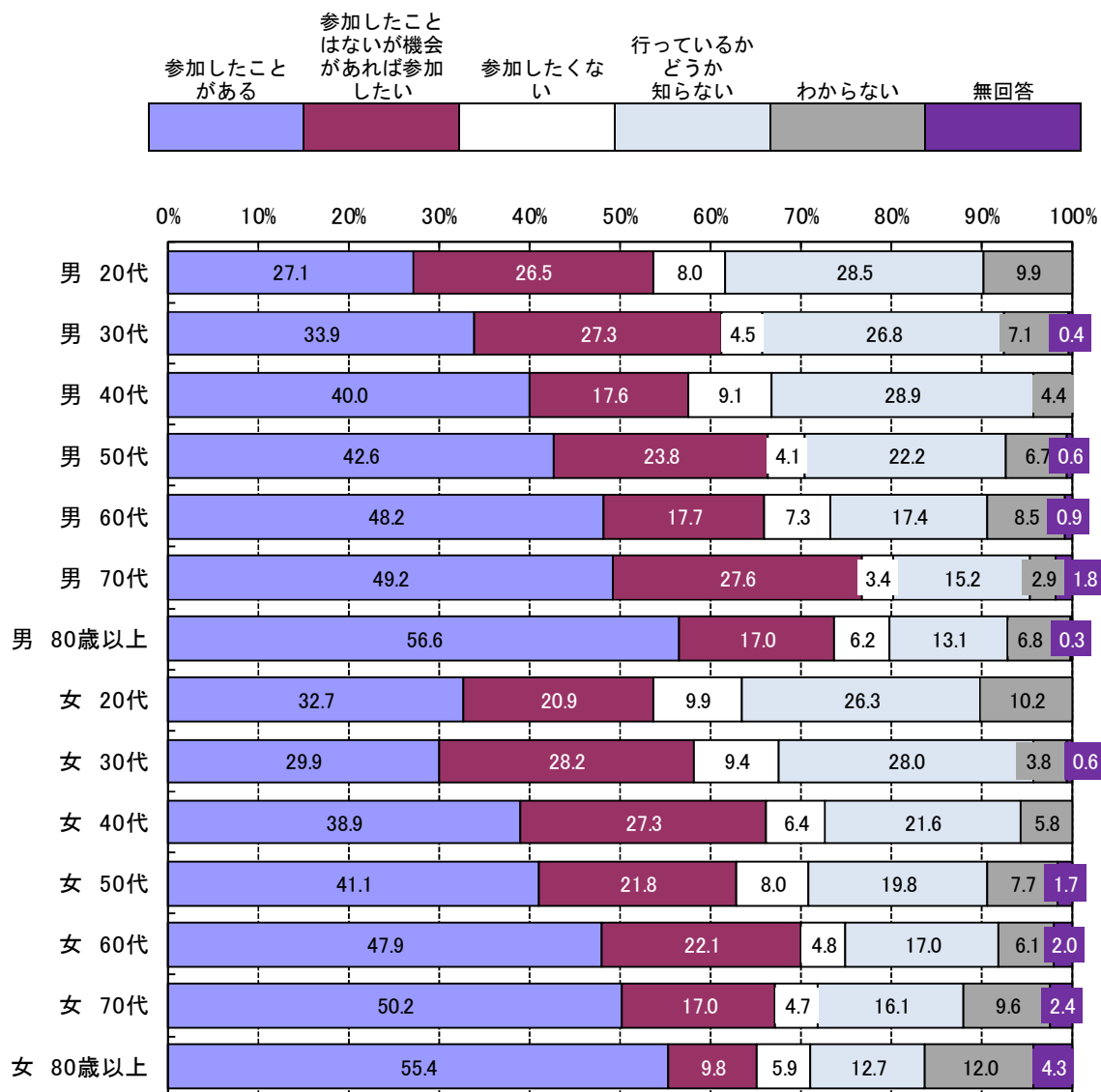
【年代別】

「参加したことがある」は、年代が上がるにつれて多くなり、80歳以上(55.4%)が最も多い。



【性・年代別】

「参加したことがある」は、男女ともに80歳以上(男性56.6%、女性55.4%)が最も多い。



問 1 6 社会基盤整備で重視すべき視点

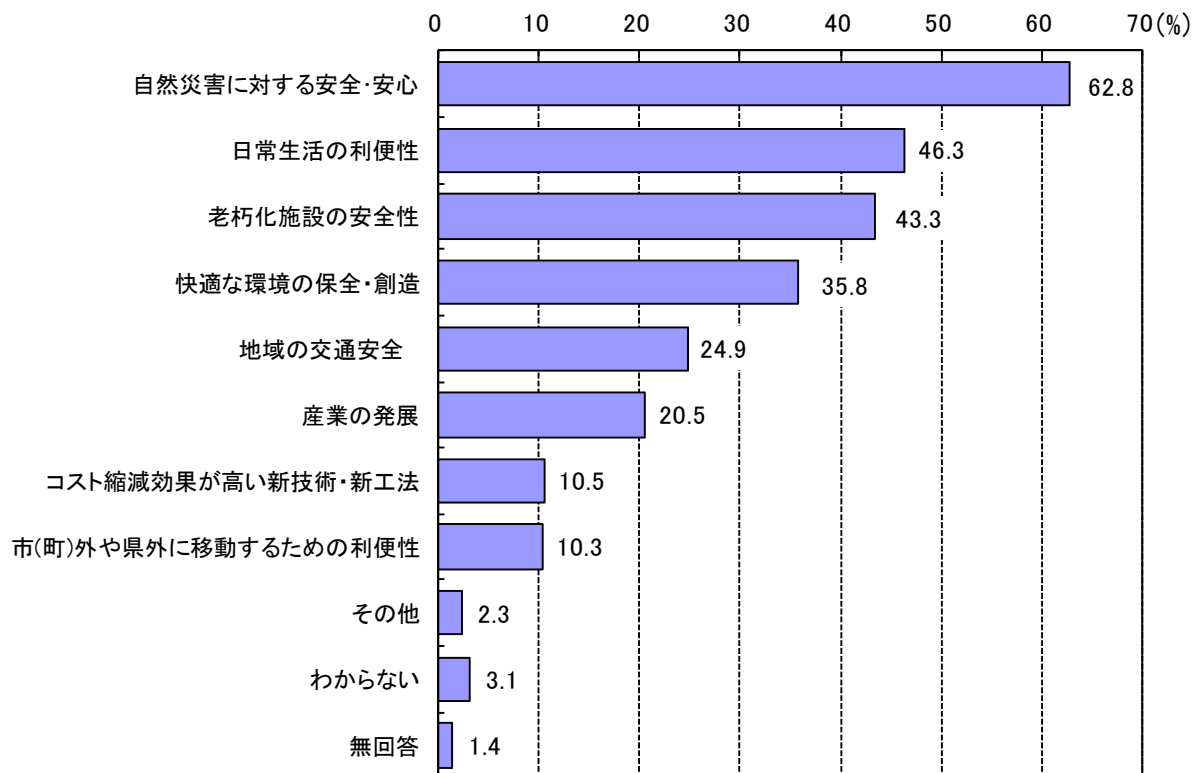
問 1 6

あなたは、今後の社会基盤整備について、どのような視点を重視して進めるべきだと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 市(町)外や県外に移動するための利便性
- 2 産業の発展
- 3 日常生活の利便性
- 4 地域の交通安全
- 5 快適な環境の保全・創造
- 6 老朽化施設の安全性
- 7 自然災害に対する安全・安心
- 8 コスト縮減効果が高い新技術・新工法
- 9 その他 ()
- 10 わからない

【全県】

「自然災害に対する安全・安心(62.8%)」が最も多く、「日常生活の利便性(46.3%)」「老朽化施設の安全性(43.3%)」が続いている。



【地域別】

「自然災害に対する安全・安心(62.8%)」は全地域で最も多く、阪神南(69.9%)、淡路(64.5%)、丹波(63.5%)の順に多い。

区分	自然災害に対する安全・安心	日常生活の利便性	老朽化施設の安全性	快適な環境の保全・創造	地域の交通安全	産業の発展	新技術・新工法	コスト削減効果が高い	市(町)外や県外に移動するための利便性	その他	わからない	無回答
								最大値	最小値	(%)		
全 県	62.8	46.3	43.3	35.8	24.9	20.5	10.5	10.3	2.3	3.1	1.4	
地域別	神 戸	62.7	41.9	47.7	39.8	26.2	17.2	12.5	6.8	2.9	3.9	1.1
	阪神南	69.9	39.0	50.2	40.9	23.9	18.9	11.2	6.2	3.5	2.3	1.2
	阪神北	61.3	50.5	39.1	35.8	23.3	18.3	12.2	12.5	1.4	2.9	1.1
	東播磨	60.8	48.5	45.5	34.6	27.6	15.3	9.3	11.3	2.0	3.0	1.0
	北播磨	62.3	50.2	35.4	29.0	21.5	29.0	8.4	14.8	1.3	3.7	2.4
	中播磨	56.7	55.6	39.4	30.0	29.6	24.9	8.7	9.4	1.8	2.9	1.8
	西播磨	57.3	50.3	35.1	26.8	17.5	30.8	8.3	20.2	2.3	2.3	2.6
	但 馬	63.2	50.2	27.6	30.0	22.6	35.9	5.6	20.1	0.6	3.7	2.8
	丹 波	63.5	53.2	34.9	29.9	18.9	25.2	6.0	18.6	1.3	3.0	3.7
	淡 路	64.5	51.2	28.2	26.5	22.0	31.4	5.2	19.9	1.4	3.5	1.7
地域間の差	13.2	16.6	22.6	14.4	12.1	20.6	7.3	14.0	2.9	1.6	2.7	

【性別】

男女間の差は「産業の発展」で最も大きい(男性 65.5%、女性 17.0%、8.5 ポイント差)。

区分		自然災害に対する安全・安心	日常生活の利便性	老朽化施設の安全性	快適な環境の保全・創造	地域の交通安全	産業の発展	コスト削減効果が高い 新技術・新工法	市(町)外や県外に移動するための 利便性	その他	わからない	無回答
全 県		62.8	46.3	43.3	35.8	24.9	20.5	10.5	10.3	2.3	3.1	1.4
性別	男 性	60.2	47.6	43.4	39.6	21.6	25.5	11.9	11.0	3.1	2.1	0.8
	女 性	65.1	45.8	43.4	33.3	27.2	17.0	9.7	9.7	1.6	3.9	1.6
性別間の差		4.9	1.8	0.0	6.3	5.6	8.5	2.2	1.3	1.5	1.8	0.8

【年代別】

全県で最も多い「自然災害に対する安全・安心(62.8%)」は全年代で最も多く、中でも40代で最も多い(68.6%)。続く「日常生活の利便性(46.3%)」は70代で最も多い(50.3%)。

区分		最大値											最小値											(%)
		自然災害に対する安全・安心	日常生活の利便性	老朽化施設の安全性	快適な環境の保全・創造	地域の交通安全	産業の発展	新技術・新工法	コスト削減効果が高い	市(町)外や県外に移動するため	その他	わからない	無回答											
全 県		62.8	46.3	43.3	35.8	24.9	20.5	10.5	10.3	2.3	3.1	1.4												
年 代 別	20代	60.8	46.3	36.0	41.1	26.6	16.3	15.4	18.5	3.3	1.1	0.0												
	30代	61.7	49.2	46.8	36.0	34.7	19.5	5.5	11.7	4.5	1.1	0.4												
	40代	68.6	42.7	49.3	34.1	28.4	19.0	11.9	11.3	2.1	0.9	0.1												
	50代	64.9	45.9	46.6	35.6	21.8	22.8	10.5	8.5	1.9	2.1	0.8												
	60代	65.2	46.5	44.1	41.0	19.4	22.8	11.9	10.3	1.6	2.0	1.4												
	70代	59.8	50.3	41.3	36.1	23.2	20.5	8.4	8.0	1.7	5.3	2.4												
	80歳以上	56.4	43.5	34.5	24.0	27.1	18.5	11.0	7.1	2.1	10.2	4.1												
年代間の差		12.2	7.6	14.8	17.1	15.3	6.5	9.9	11.4	2.9	9.3	4.1												

【性・年代別】

「自然災害に対する安全・安心(62.8%)」は、男性は60代(65.9%)、女性は40代(70.5%)が最も多い。
 続く、「日常生活の利便性(46.3%)」は、男性は70代(53.6%)、女性は60代(49.7%)が多い。

区分		最大値											最小値	(%)
		自然災害に対する安全・安心	日常生活の利便性	老朽化施設の安全性	快適な環境の保全・創造	地域の交通安全	産業の発展	新技術・新工法	コスト削減効果が高い	市(町)外や県外に移動するための利便性	その他	わからない	無回答	
全 県		62.8	46.3	43.3	35.8	24.9	20.5	10.5	10.3	2.3	3.1	1.4		
男性・年代別	20代	48.7	45.2	29.5	42.6	20.6	28.9	24.6	28.5	4.7	0.0	0.0		
	30代	50.5	50.0	44.9	27.7	27.1	29.9	8.0	16.8	5.5	1.9	0.0		
	40代	65.5	47.6	43.7	33.3	22.4	27.3	11.4	14.7	3.2	1.9	0.0		
	50代	61.6	46.7	45.4	38.1	23.5	27.1	10.6	10.0	3.2	1.4	0.0		
	60代	65.9	41.8	49.6	45.2	16.6	25.6	11.8	8.7	2.3	1.3	0.8		
	70代	60.0	53.6	42.4	47.3	20.3	21.3	8.9	5.0	2.2	3.1	2.5		
	80歳以上	57.5	48.4	37.8	30.3	27.4	20.6	15.4	2.7	2.6	5.2	0.9		
男性・年代間の差		17.2	11.8	20.1	19.6	10.8	9.3	16.6	25.8	3.3	5.2	2.5		
女性・年代別	20代	69.7	47.2	40.8	40.1	31.1	7.1	8.7	11.1	2.2	2.0	0.0		
	30代	69.7	48.6	48.3	42.0	40.2	11.9	3.7	7.9	3.7	0.5	0.6		
	40代	70.5	39.7	52.8	34.6	32.1	13.9	12.3	9.2	1.5	0.3	0.2		
	50代	67.2	45.3	47.5	33.8	20.5	19.7	10.4	7.3	1.0	2.7	1.3		
	60代	64.7	49.7	40.1	37.9	21.4	20.8	12.0	11.5	1.2	2.5	1.9		
	70代	59.2	47.9	39.8	25.8	26.0	20.1	8.0	10.7	1.4	7.3	2.3		
	80歳以上	56.4	41.3	33.2	21.1	27.4	17.4	8.9	9.4	1.9	12.9	4.6		
女性・年代間の差		14.1	10.0	19.6	20.9	19.7	13.7	8.6	4.2	2.7	12.6	4.6		

問17 整備が必要な社会基盤施設

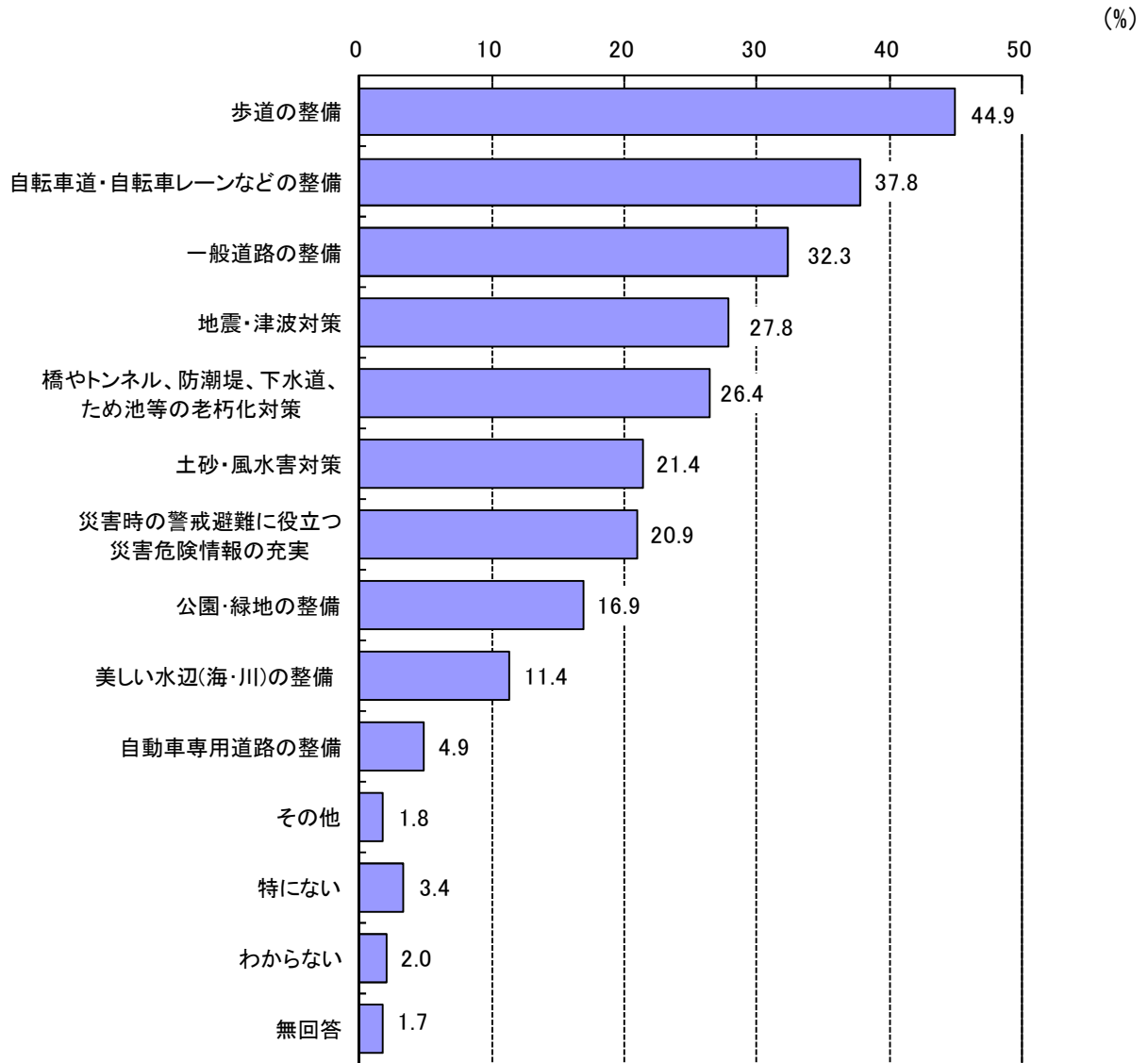
問17

あなたが住まいの地域に、特に整備が必要と思う社会基盤施設やその対策を、次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）
- 2 自動車専用道路（高速道路など）の整備
- 3 歩道の整備（新設、拡張及び段差解消などによるバリアフリー化）
- 4 自転車道・自転車レーンなどの整備
- 5 地震・津波対策（橋などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）
- 6 土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダムの整備）
- 7 災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実
- 8 美しい水辺（海・川）の整備
- 9 橋やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策
- 10 公園・緑地の整備
- 11 その他（)
- 12 特にない
- 13 わからない

【全県】

「歩道の整備(44.9%)」が最も多く、「自転車道・自転車レーンなどの整備(37.8%)」「一般道路の整備(32.3%)」が続いている。



【地域別】

阪神南では「自転車道・自転車レーンの整備」が、但馬、丹波では「土砂・風水害対策」が最も多い。

区分	歩道の整備	自転車道・自転車レーンなどの整備	一般道路の整備	地震・津波対策	橋やトンネル、ため池等の老朽化対策	土砂・風水害対策	災害時の警戒避難に役立つ 災害危険情報の充実	公園・緑地の整備	美しい水辺(海・川)の整備	最大値		最小値		無回答	
										自動車専用道路の整備	その他	特にない	わからない		
全 県	44.9	37.8	32.3	27.8	26.4	21.4	20.9	16.9	11.4	4.9	1.8	3.4	2.0	1.7	
地域別	神 戸	41.6	35.1	26.9	26.2	29.0	17.2	25.8	19.0	10.8	5.4	1.4	5.0	2.2	1.8
	阪神南	45.2	46.7	27.8	42.9	27.4	18.1	18.1	19.3	12.0	3.5	2.3	1.9	0.8	1.2
	阪神北	49.8	38.0	33.7	22.2	25.8	19.7	20.8	20.4	8.6	4.7	0.7	3.6	2.5	1.1
	東播磨	49.2	45.2	36.9	27.2	21.9	17.3	18.6	15.0	13.3	4.0	2.3	2.7	1.7	1.3
	北播磨	46.1	32.0	33.7	15.5	30.6	33.0	19.2	12.8	10.4	3.0	2.4	2.7	2.7	2.4
	中播磨	52.0	36.1	48.7	23.5	22.0	19.1	16.6	13.7	10.8	4.3	1.1	2.5	3.2	1.8
	西播磨	35.8	28.1	29.1	24.2	24.8	35.4	24.2	14.2	14.2	4.0	2.6	4.0	1.7	3.3
	但 馬	31.9	20.1	31.9	20.1	25.7	50.2	15.8	7.1	13.6	16.7	2.8	4.6	2.5	4.0
	丹 波	40.9	26.6	29.2	14.6	30.9	44.2	20.3	9.6	11.3	7.3	2.7	4.0	1.7	4.0
	淡 路	36.6	31.0	33.8	35.5	26.5	28.2	22.0	10.5	15.0	5.9	4.5	1.0	2.4	2.1
地域間の差	20.1	26.6	21.8	28.3	9.0	33.0	10.0	13.3	6.4	13.7	3.8	4.0	2.4	2.9	

【性別】

「歩道の整備(44.9%)」は、女性が男性より7.0ポイント多い(男性40.7%、女性47.7%)。

男女間の差は「一般道路の整備(男性38.5%、女性27.9%)」(10.6ポイント差)が最も大きい。

区分		歩道の整備	自転車道・自転車レーンなどの整備	一般道路の整備	地震・津波対策	橋やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	土砂・風水害対策	災害時の警戒避難に役立つ 災害危険情報の充実	公園・緑地の整備	美しい水辺(海・川)の整備	自動車専用道路の整備	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		44.9	37.8	32.3	27.8	26.4	21.4	20.9	16.9	11.4	4.9	1.8	3.4	2.0	1.7
性別	男性	40.7	37.0	38.5	26.3	28.5	24.3	21.0	18.0	15.0	5.9	1.7	2.7	1.2	1.1
	女性	47.7	38.5	27.9	29.3	25.1	19.6	21.1	16.0	8.9	3.9	1.8	3.9	2.6	2.0
性別間の差		7.0	1.5	10.6	3.0	3.4	4.7	0.1	2.0	6.1	2.0	0.1	1.2	1.4	0.9

【年代別】

「歩道の整備(44.9%)」は、70代で最も多く(47.5%)、続く「自転車道・自転車レーンなどの整備(37.8%)」も70代が最も多い(43.1%)。

区分	歩道の整備	自転車道・自転車レーンなどの整備	一般道路の整備	地震・津波対策	橋やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	土砂・風水害対策	災害時の警戒避難に役立つ 災害危険情報の充実	公園・緑地の整備	美しい水辺(海・川)の整備	最大値	最小値	(%)		
										自動車専用道路の整備	その他	特になし	わからない	無回答
全 県	44.9	37.8	32.3	27.8	26.4	21.4	20.9	16.9	11.4	4.9	1.8	3.4	2.0	1.7
年代別	20代	38.9	39.1	32.8	37.3	21.7	22.3	21.0	13.7	7.2	0.9	2.6	0.6	0.0
	30代	44.3	35.1	34.3	31.4	29.7	13.2	28.4	19.9	8.4	3.2	0.4	2.1	0.4
	40代	44.5	39.3	34.9	37.6	31.9	22.3	15.2	17.2	9.9	3.1	2.1	2.2	1.2
	50代	45.5	37.7	39.6	30.9	27.7	19.5	17.0	14.1	10.9	4.5	0.8	2.2	1.8
	60代	44.6	35.9	33.0	23.5	29.1	26.6	24.1	14.6	8.8	5.2	1.9	2.1	1.4
	70代	47.5	43.1	30.2	21.4	22.7	18.2	24.1	14.9	11.5	3.7	2.2	6.8	2.9
	80歳以上	44.6	31.3	17.9	19.6	18.1	18.7	30.8	14.6	9.6	3.5	0.8	7.2	4.3
年代間の差	8.6	11.8	21.7	18.0	13.8	8.4	17.6	14.3	11.1	5.3	2.4	6.8	3.7	6.5

【性・年代別】

「歩道の整備(44.9%)」は、男性は80歳以上(48.9%)、女性は50代(54.6%)が最も多く、続く「自転車道・自転車レーンなどの整備(37.8%)」は、男性は70代(46.5%)、女性は40代(43.2%)が最も多い。

区分		最大値														最小値	(%)
		歩道の整備	自転車道・自転車レーンなどの整備	一般道路の整備	地震・津波対策	橋やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	土砂・風水害対策	災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実	公園・緑地の整備	美しい水辺(海・川)の整備	自動車専用道路の整備	その他	特にない	わからない	無回答		
全 県		44.9	37.8	32.3	27.8	26.4	21.4	20.9	16.9	11.4	4.9	1.8	3.4	2.0	1.7		
男性・年代別	20代	33.3	38.9	33.7	30.8	17.4	24.9	21.3	25.1	19.4	11.7	0.7	1.3	0.0	0.0		
	30代	40.5	36.2	41.7	27.4	33.8	19.0	15.0	23.8	17.1	9.6	3.7	0.2	1.5	0.0		
	40代	43.1	33.1	40.8	39.0	32.6	20.5	14.7	15.3	15.7	5.4	1.1	2.1	0.9	0.3		
	50代	33.2	38.1	46.6	29.8	28.8	19.4	21.9	15.3	14.0	7.5	1.2	0.7	1.3	0.0		
	60代	43.7	28.5	40.1	21.5	31.6	34.2	24.8	15.2	11.0	5.1	2.4	2.3	0.5	1.1		
	70代	41.7	46.5	36.5	21.3	29.5	22.4	19.9	21.5	15.9	2.9	1.6	4.1	2.0	1.2		
	80歳以上	48.9	38.0	21.1	16.4	14.2	25.2	30.7	12.0	16.5	3.7	0.5	9.6	1.5	6.6		
男性・年代間の差		15.7	18.0	25.5	22.6	19.6	15.2	16.0	13.1	8.4	8.8	3.2	9.4	2.0	6.6		
女性・年代別	20代	43.2	39.1	32.1	42.0	24.9	18.6	23.2	18.1	9.4	3.9	1.0	3.6	1.0	0.0		
	30代	47.1	34.3	29.0	34.2	26.7	23.8	12.0	31.8	22.0	7.5	2.8	0.6	2.6	0.7		
	40代	45.4	43.2	31.2	36.8	31.4	23.3	15.6	18.4	6.2	1.6	2.8	2.2	1.4	0.0		
	50代	54.6	37.5	34.4	31.6	26.8	19.5	13.4	13.2	8.6	2.2	0.5	3.3	2.1	2.1		
	60代	45.3	41.2	27.9	25.0	27.4	21.1	23.5	14.3	7.2	5.2	1.5	1.9	2.1	2.8		
	70代	52.0	40.5	24.2	21.6	17.1	14.7	28.1	8.4	7.8	4.5	2.7	9.2	3.7	2.3		
	80歳以上	42.9	28.0	16.3	21.6	20.4	15.6	31.0	16.1	6.1	3.5	1.0	6.1	5.8	5.3		
女性・年代間の差		11.7	15.2	18.1	20.4	14.3	9.1	19.0	23.4	15.9	5.9	2.3	8.6	4.8	5.3		

4 毎年調査項目

問19 今の生活全般での満足度

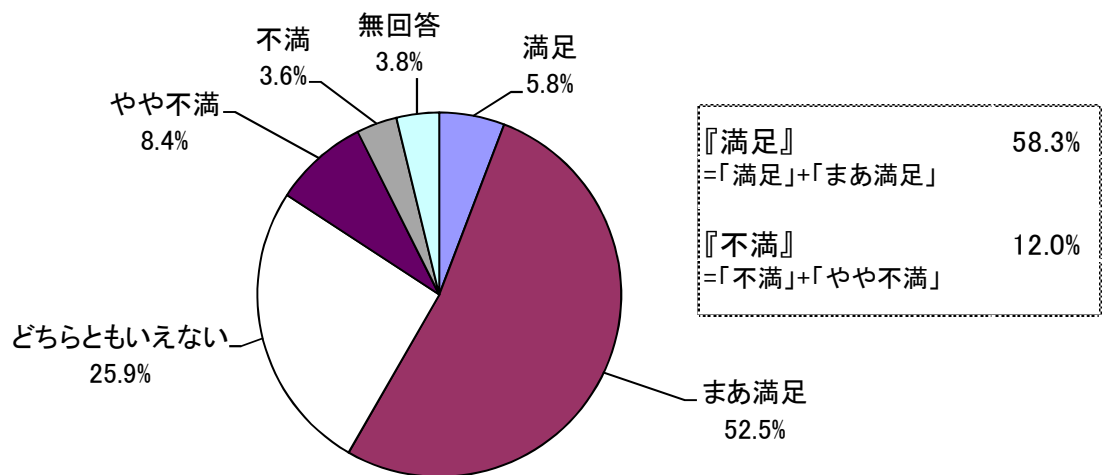
問19

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

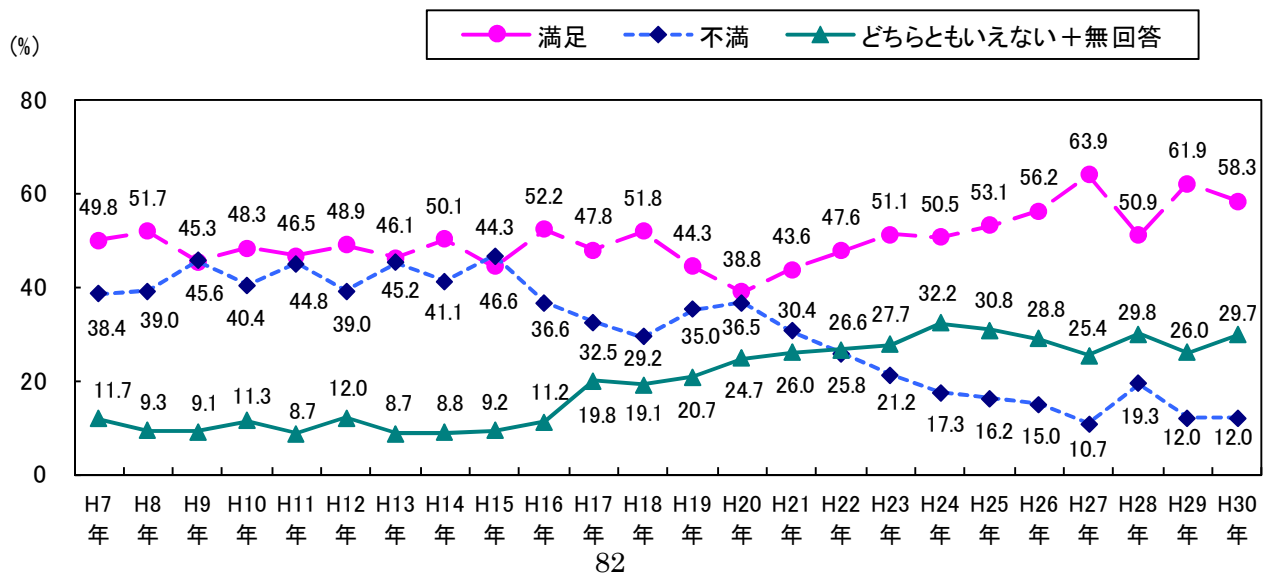
【全県】

「満足(5.8%)」と「まあ満足(52.5%)」を合わせた『満足(58.3%)』が、「不満(3.6%)」と「やや不満(8.4%)」を合わせた『不満(12.0%)』を46.3ポイント上回った。



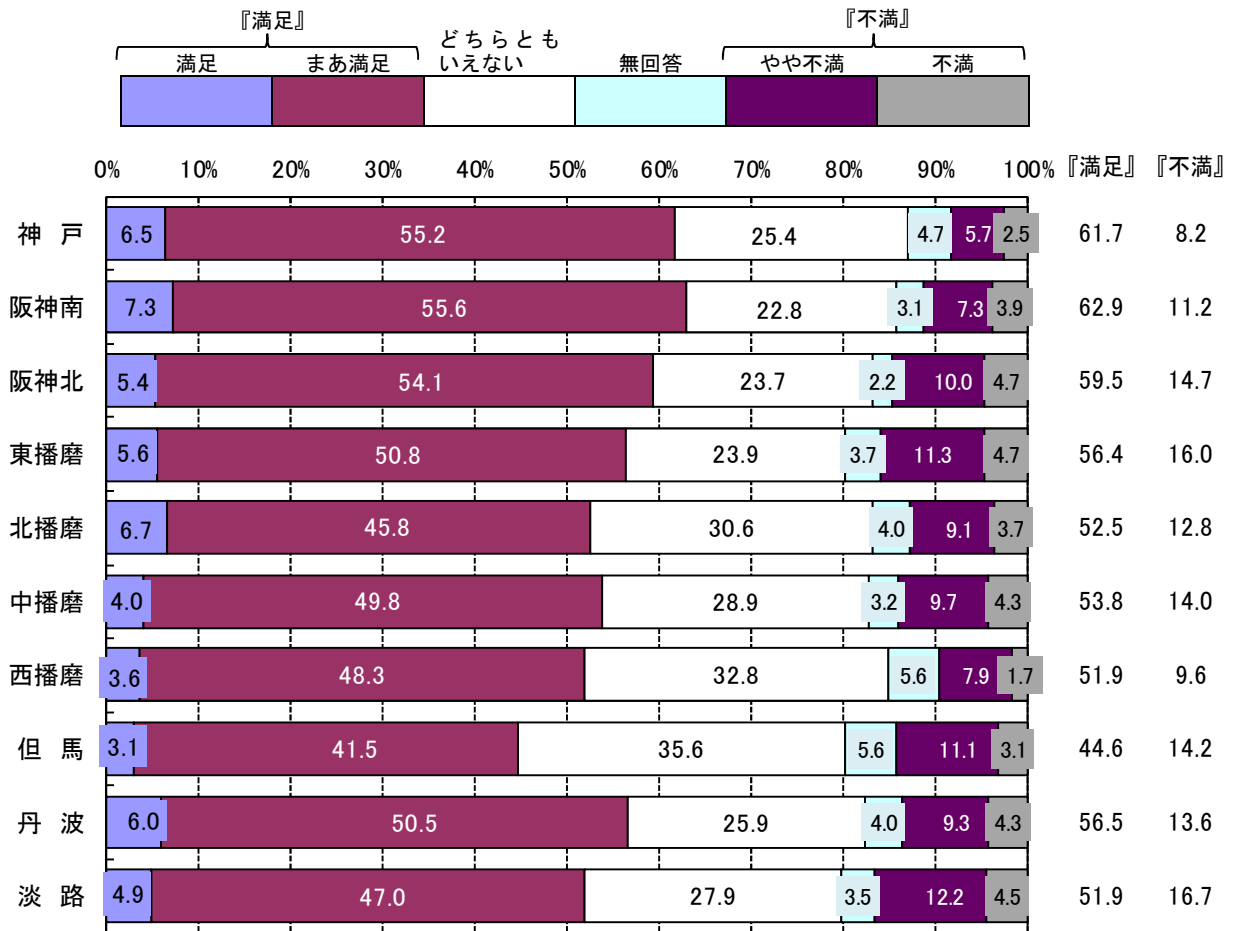
【経年比較】

『満足(58.3%)』は前年より3.6ポイント減少し、『不満(12.0%)』は増減なしとなっている。



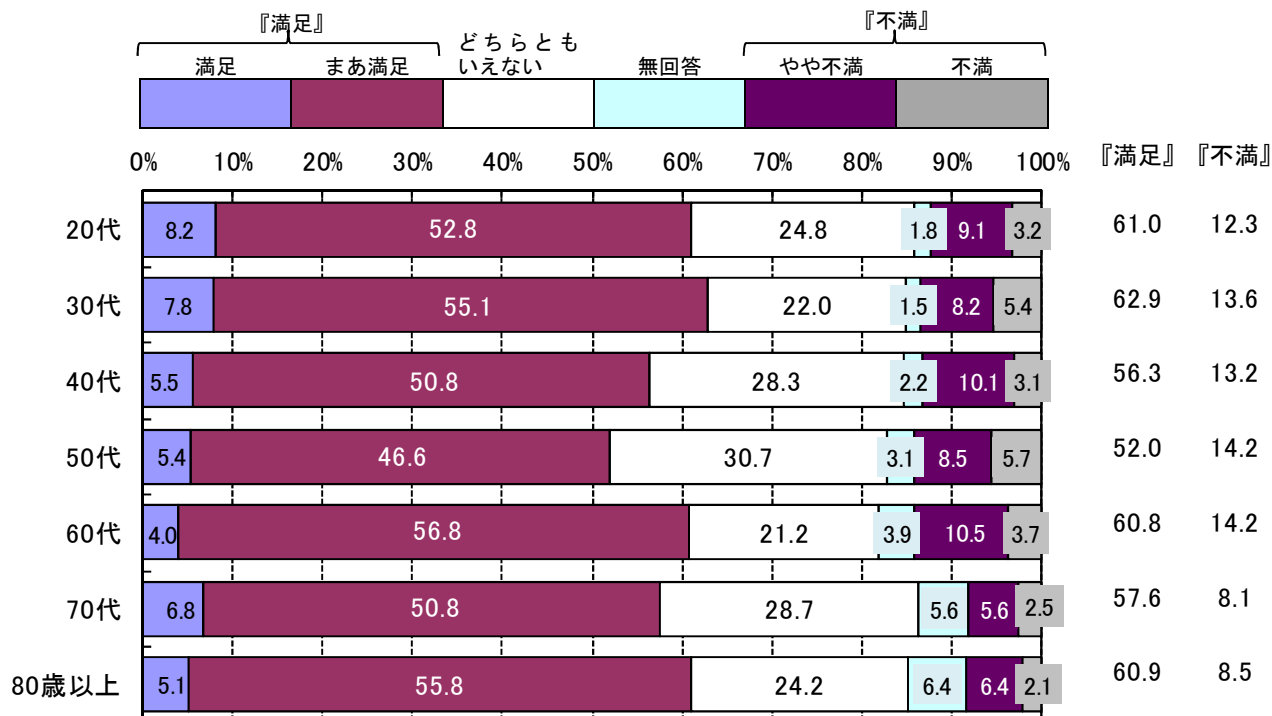
【地域別】

『満足』は阪神南(62.9%)が最も高く、神戸(61.7%)、阪神北(59.5%)とともに全県(58.3%)を上回った。



【年代別】

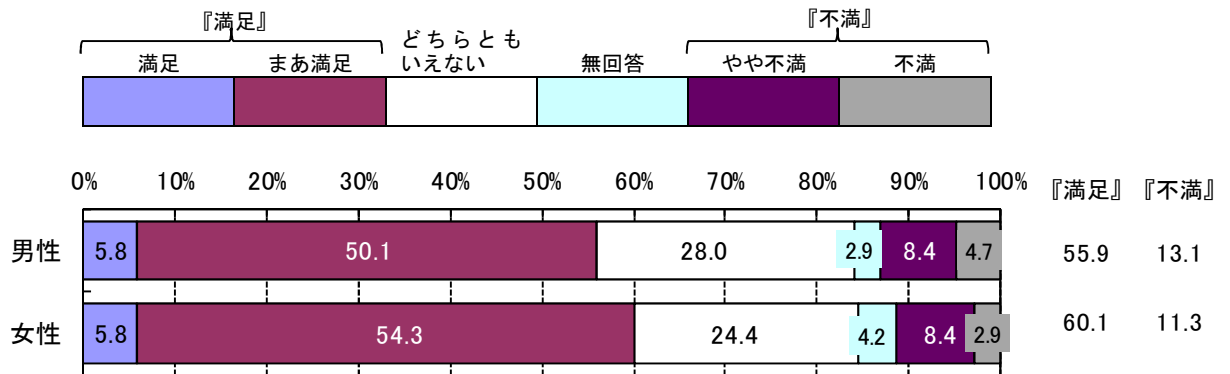
50代の『満足(52.0%)』が前年より最も減少し(8.1ポイント減)、70代の『不満(8.1%)』が前年より最も減少した(1.9ポイント減)。



区分	『満足』		H30-H29	『不満』		H30-H29
	H30	H29		H30	H29	
全県	58.3	61.9	-3.6	12.0	12.0	0.0
20代	61.0	62.5	-1.5	12.3	14.0	1.7
30代	62.9	65.3	-2.4	13.6	12.6	1.0
40代	56.3	60.1	-3.8	13.2	12.6	0.6
50代	52.0	60.1	-8.1	14.2	13.6	0.6
60代	60.8	61.7	-0.9	14.2	12.4	1.8
70代	57.6	62.1	-4.5	8.1	10.0	-1.9
80歳以上	60.9	63.6	-2.7	8.5	9.3	-0.8

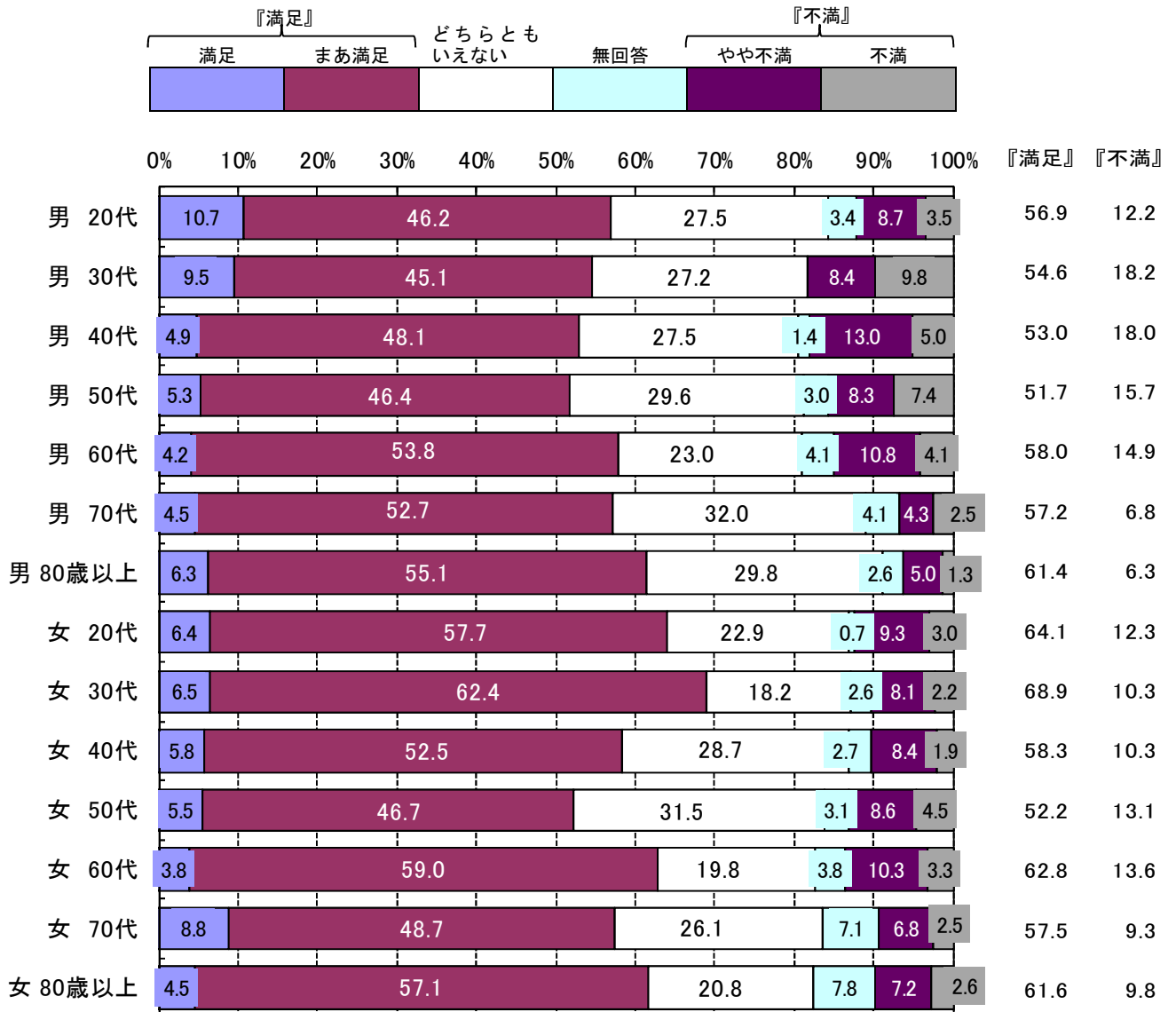
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より4.2ポイント高い。



【性・年代別】

男性、女性ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』が高いのは、男性は80歳以上(61.4%)、女性は30代(68.9%)となった。



問20 今の生活の項目別での満足度

問20

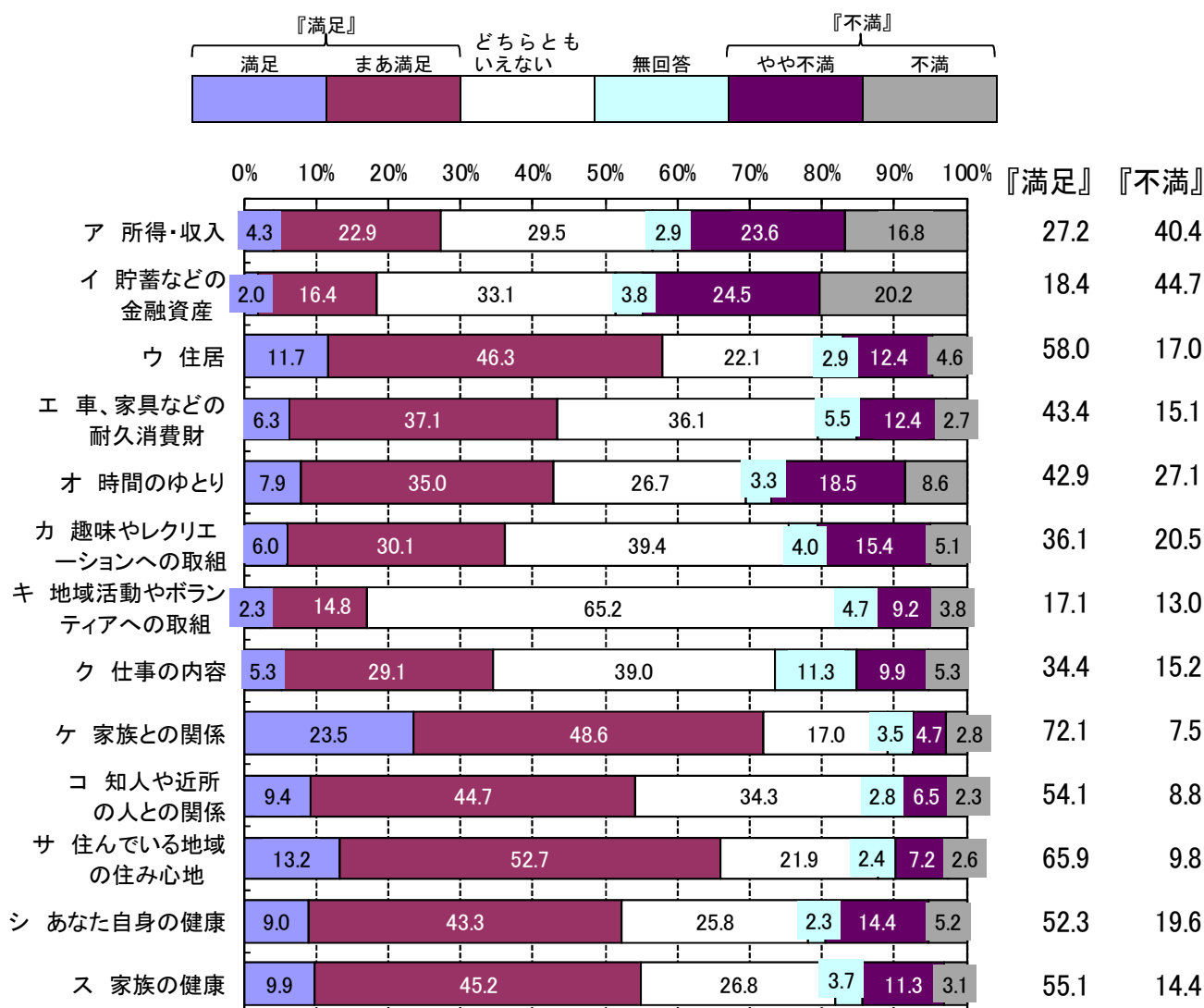
あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

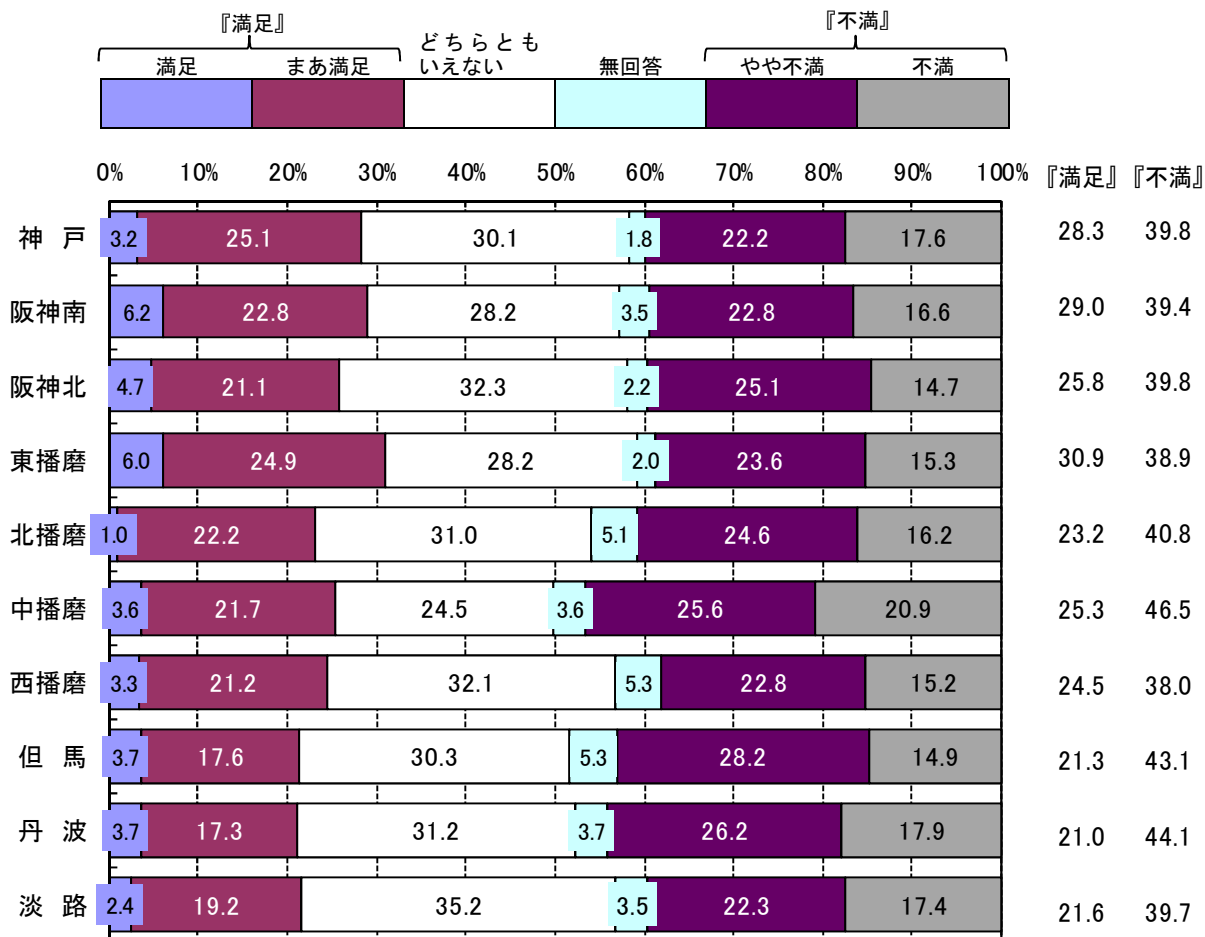
『満足』は、「ケ 家族との関係(72.1%)」が最も多く、続いて「サ 住んでいる地域の住み心地(65.9%)」、「ウ 住居(58.0%)」と続いている。



〔ア 所得・収入〕

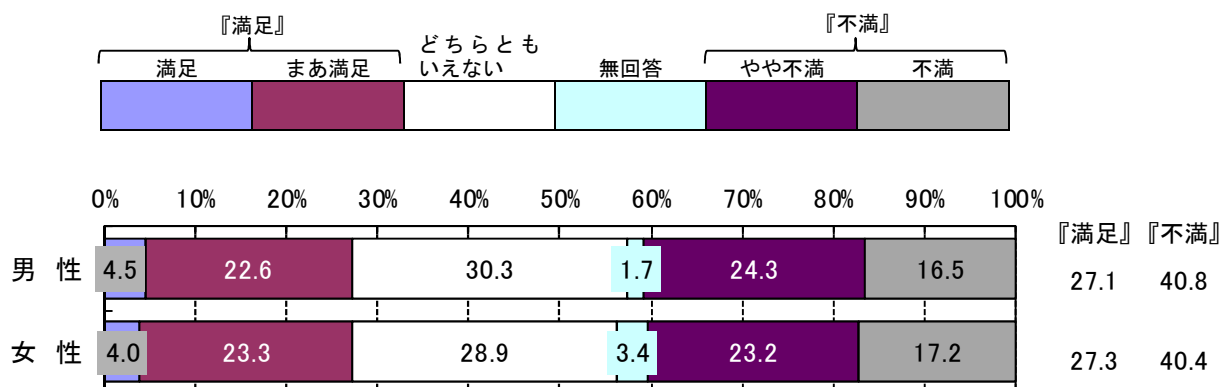
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高い(30.9%)。



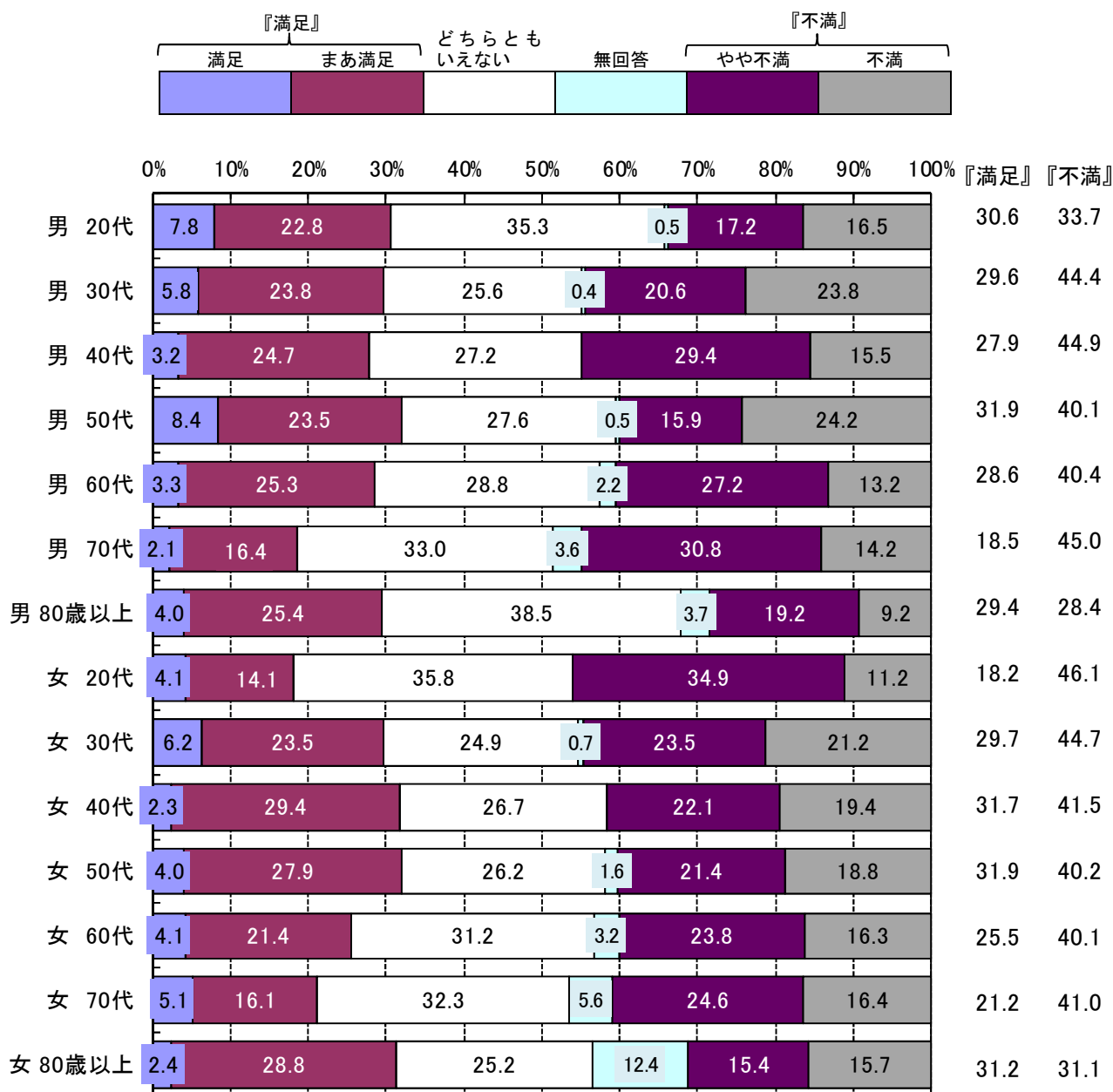
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

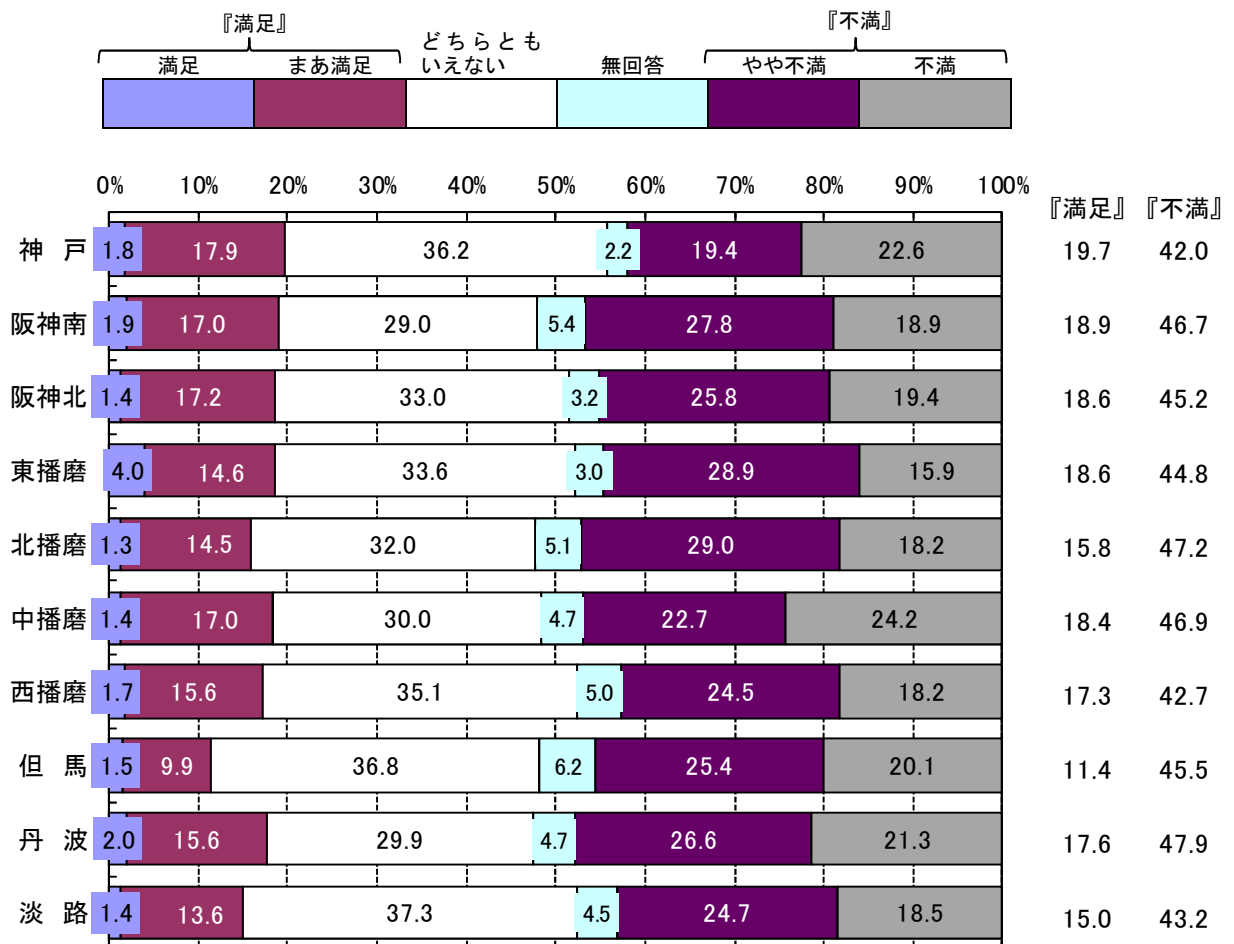
『満足』は、男女とも50代が最も高い(各31.9%)。



〔イ 貯蓄などの金融資産〕

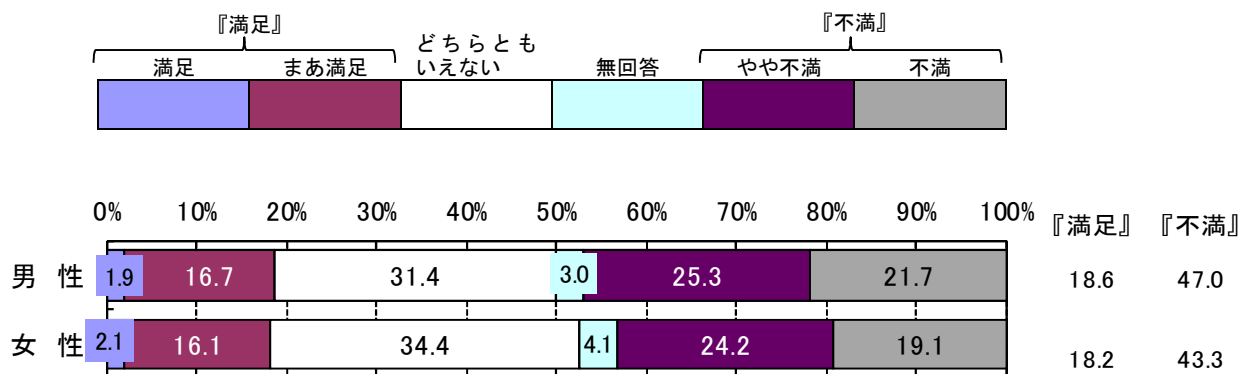
【地域別】

『満足』は神戸が最も高い(19.7%)。



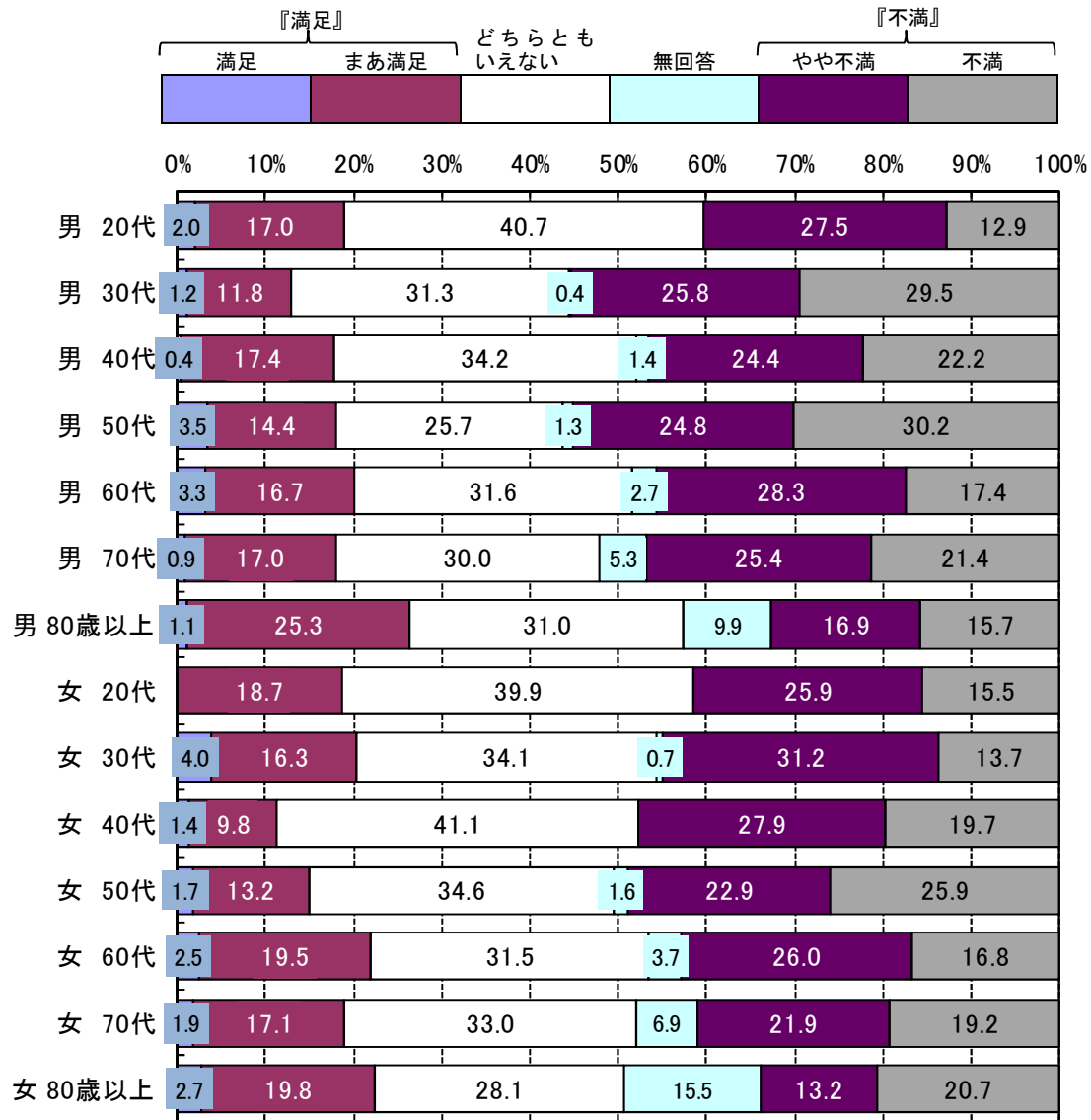
【性別】

『不満』は男性の方が女性より3.7ポイント高い。



【性・年代別】

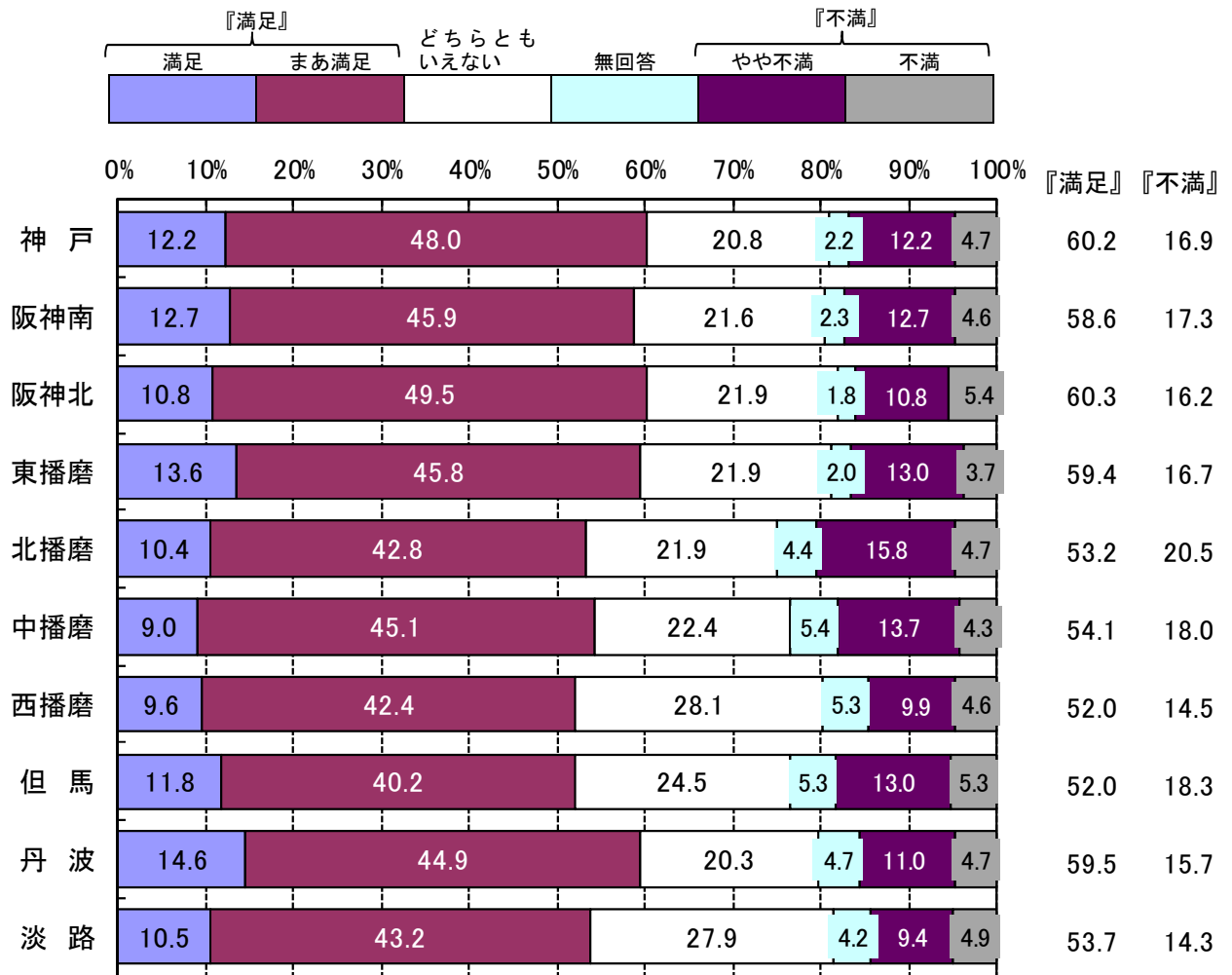
『満足』は男性、女性ともに80歳以上で最も高い(男性26.4%、女性22.5%)。



〔ウ 住居〕

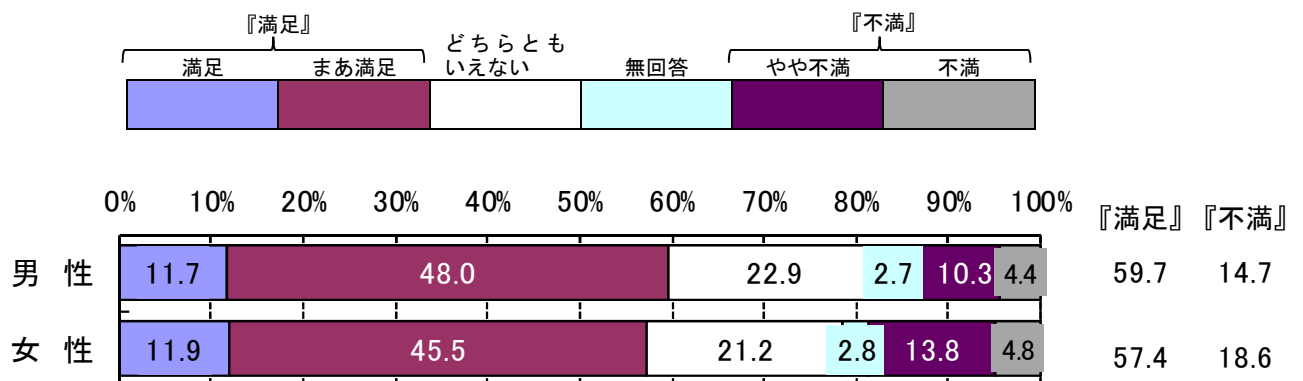
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(60.3%)。



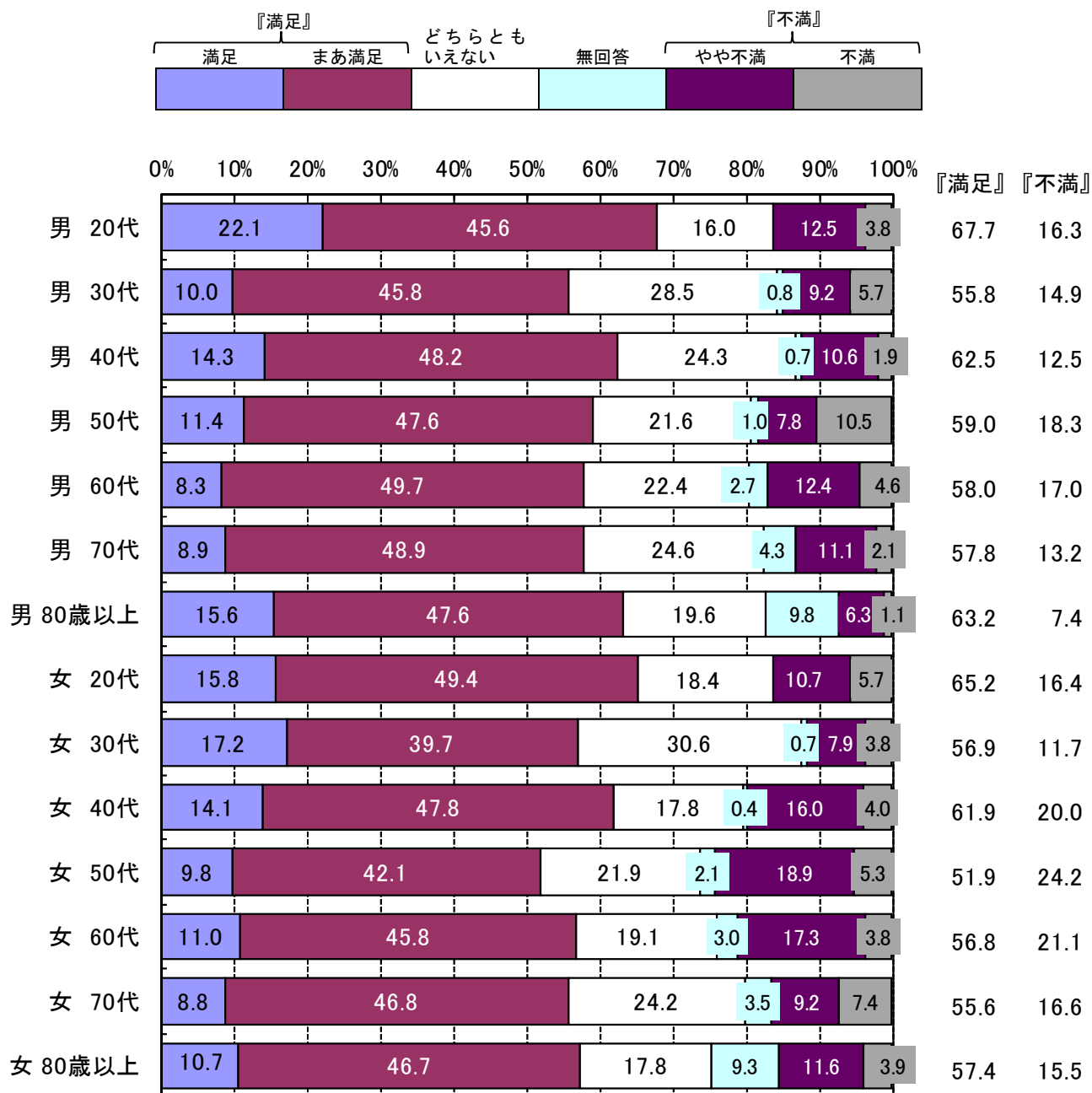
【性別】

『満足』は男性の方が女性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

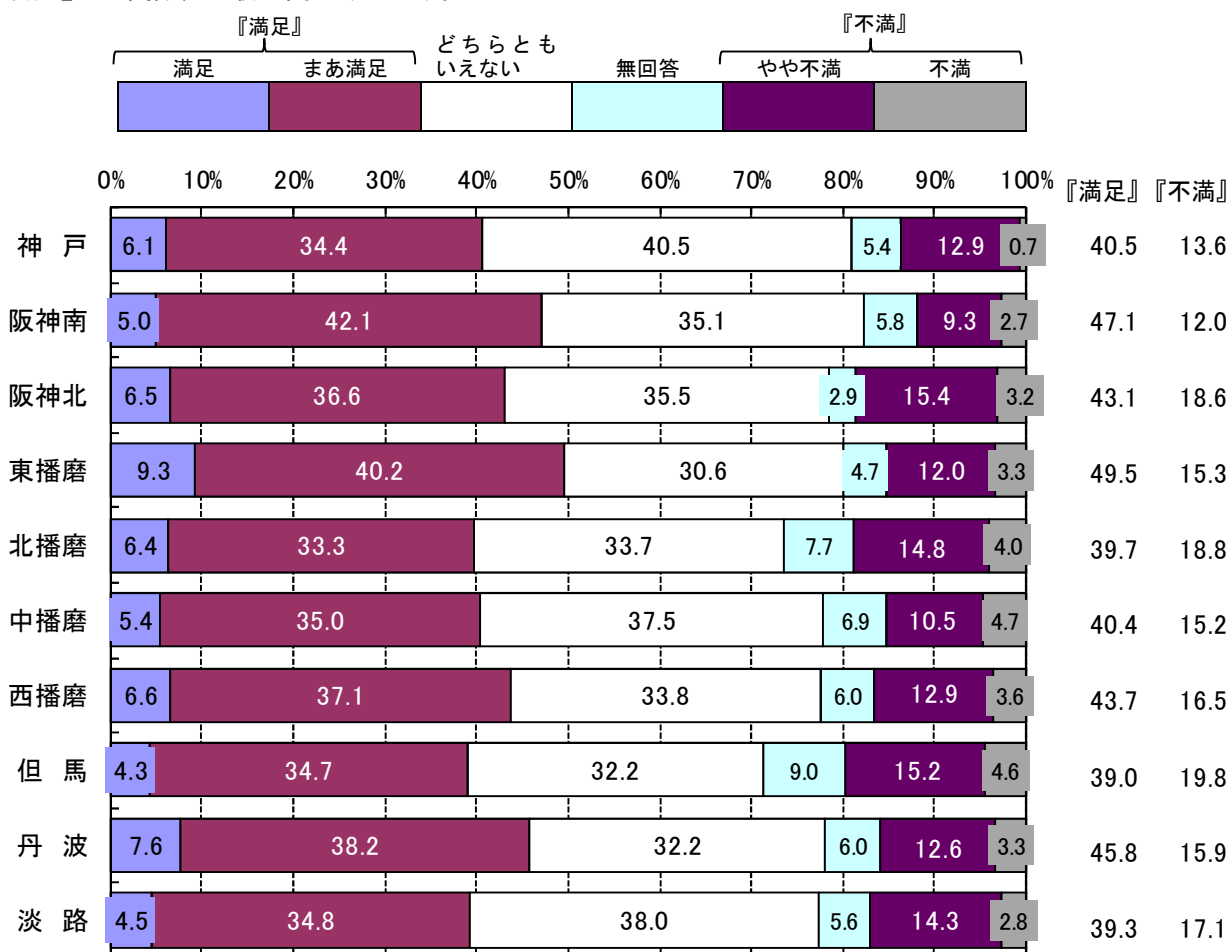
『満足』は、男女ともに20代が最も高い（男性67.7%、女性65.2%）。



〔エ 車、家具などの耐久消費財〕

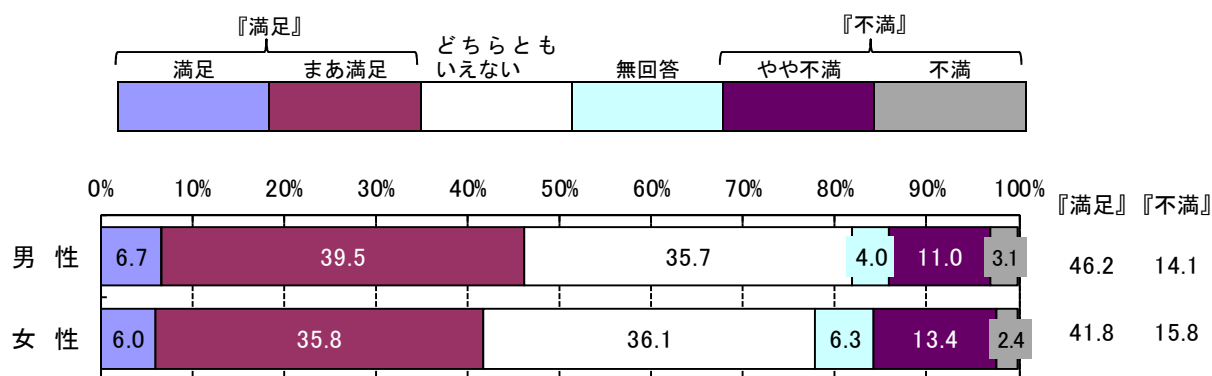
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高い(49.5%)。



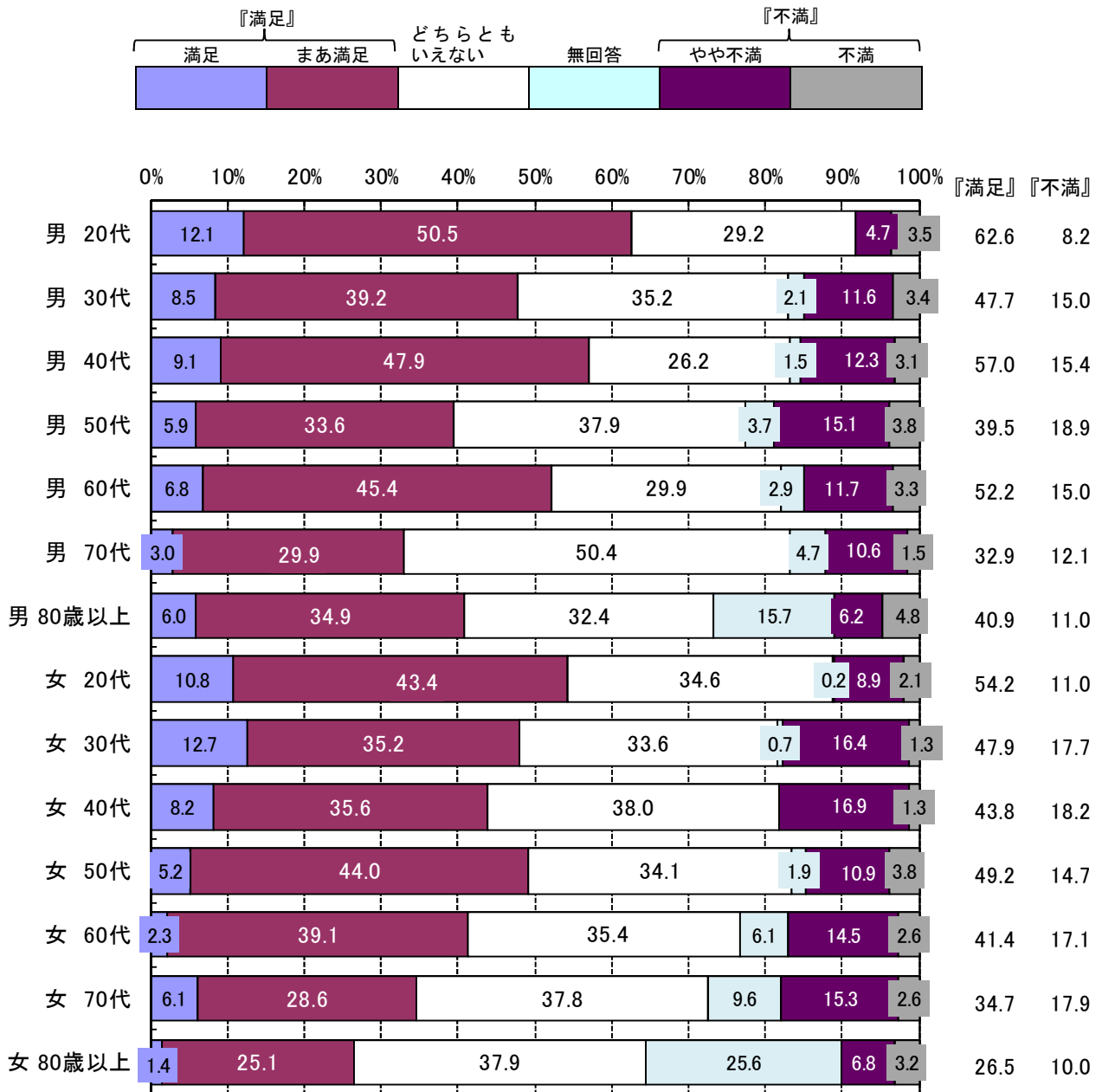
【性別】

『満足』は男性の方が女性より4.4ポイント高い。



【性・年代別】

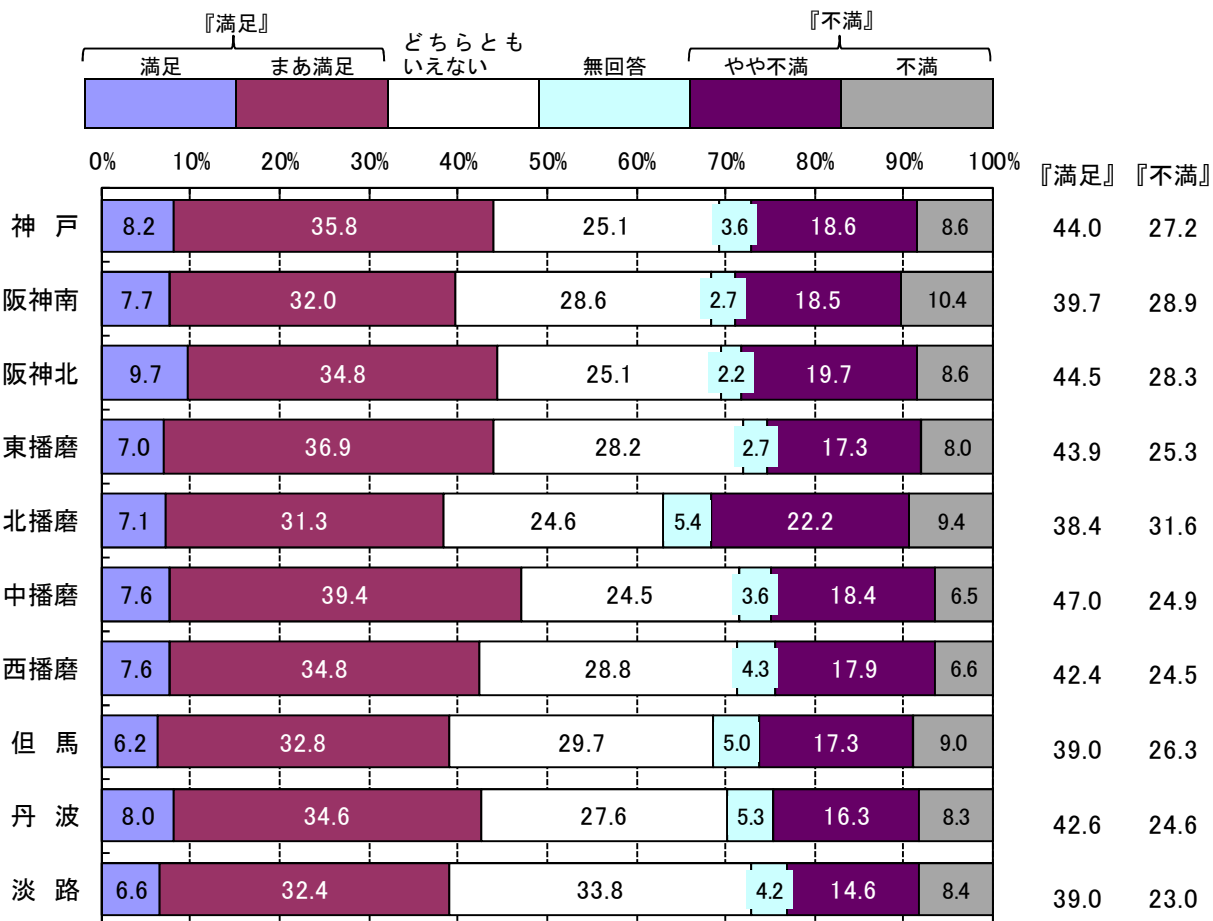
『満足』は、男女ともに20代が最も高い(男性62.6%、女性54.2%)。



〔オ 時間のゆとり〕

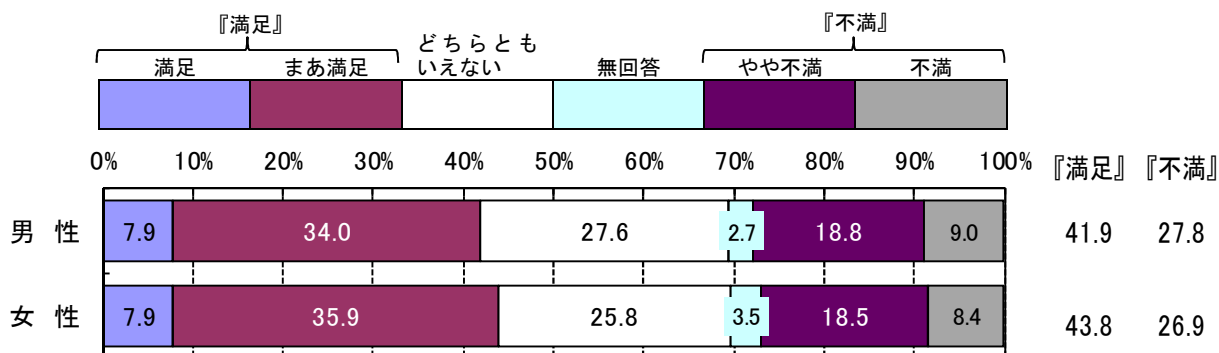
【地域別】

『満足』は中播磨が最も高い(47.0%)。



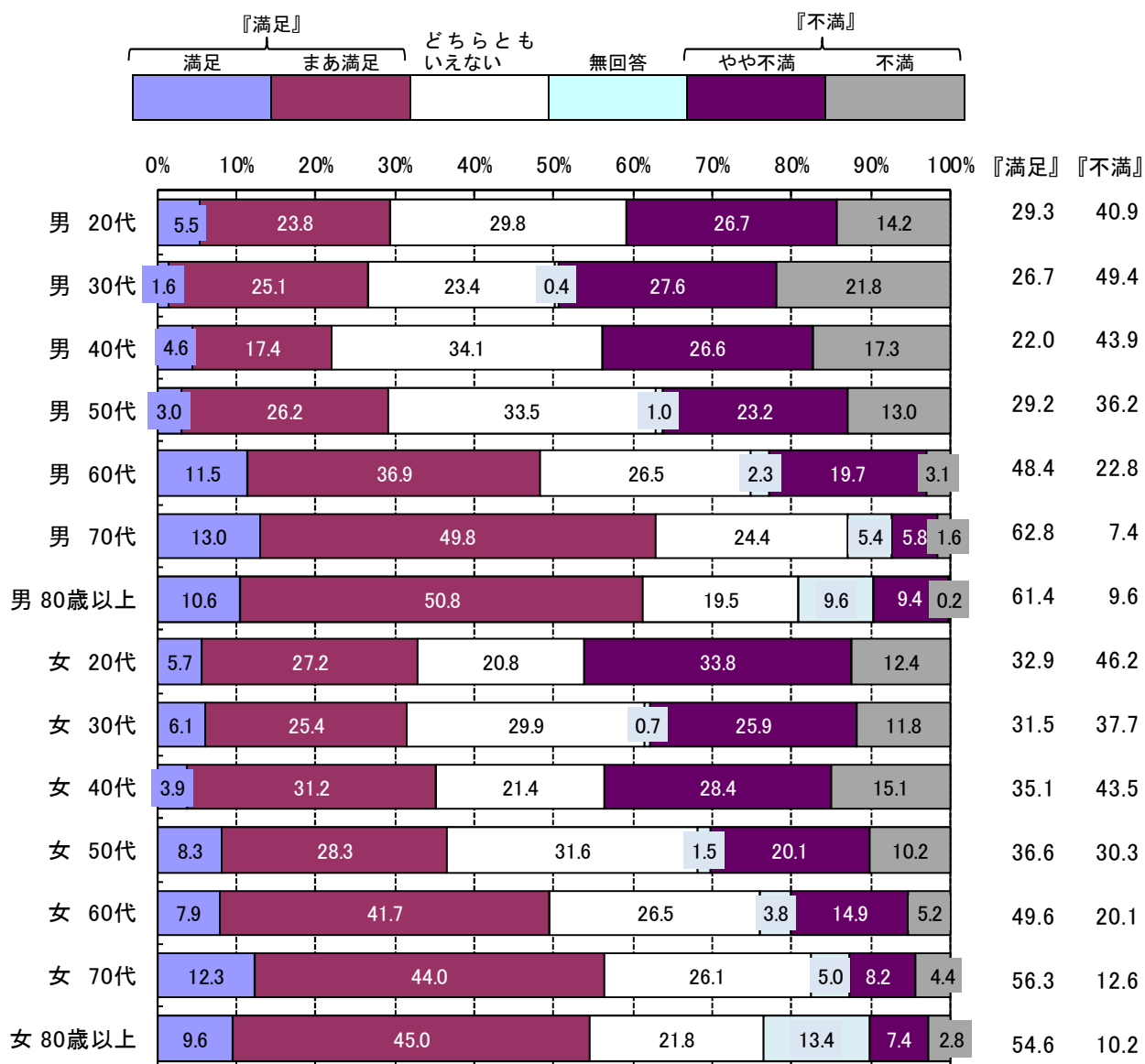
【性別】

『満足』は女性の方が男性より1.9ポイント高い。



【性・年代別】

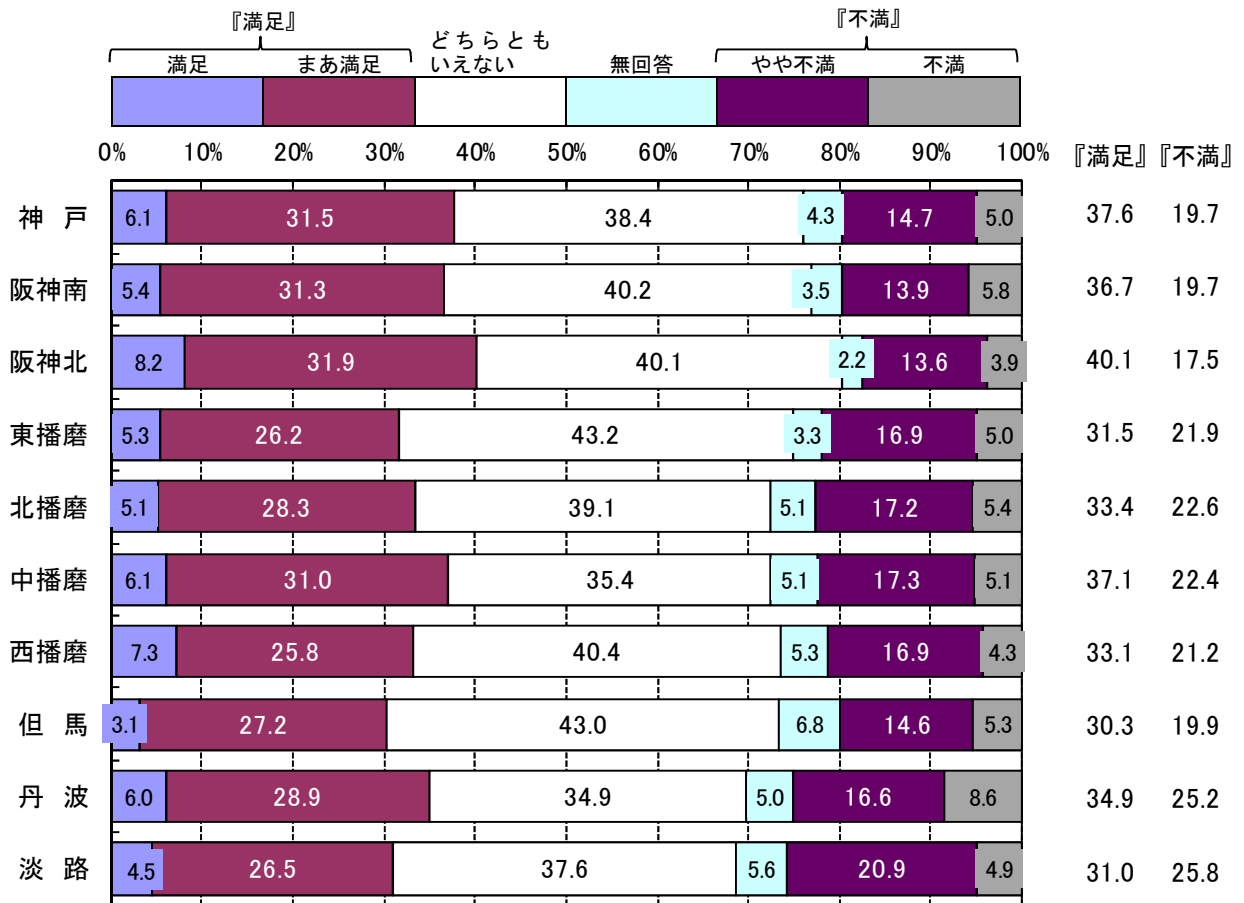
『満足』は、男女ともに70代が最も高い(男性62.8%、女性56.3%)。



〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

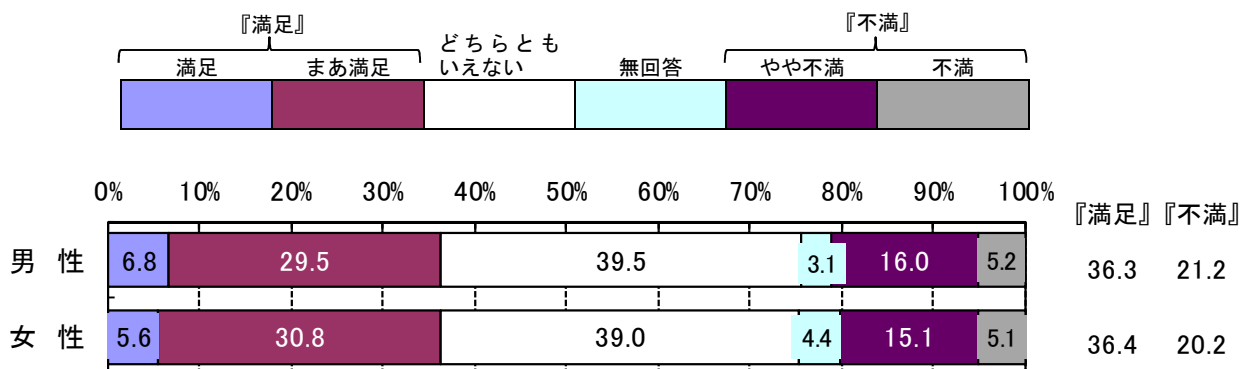
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(40.1%)。



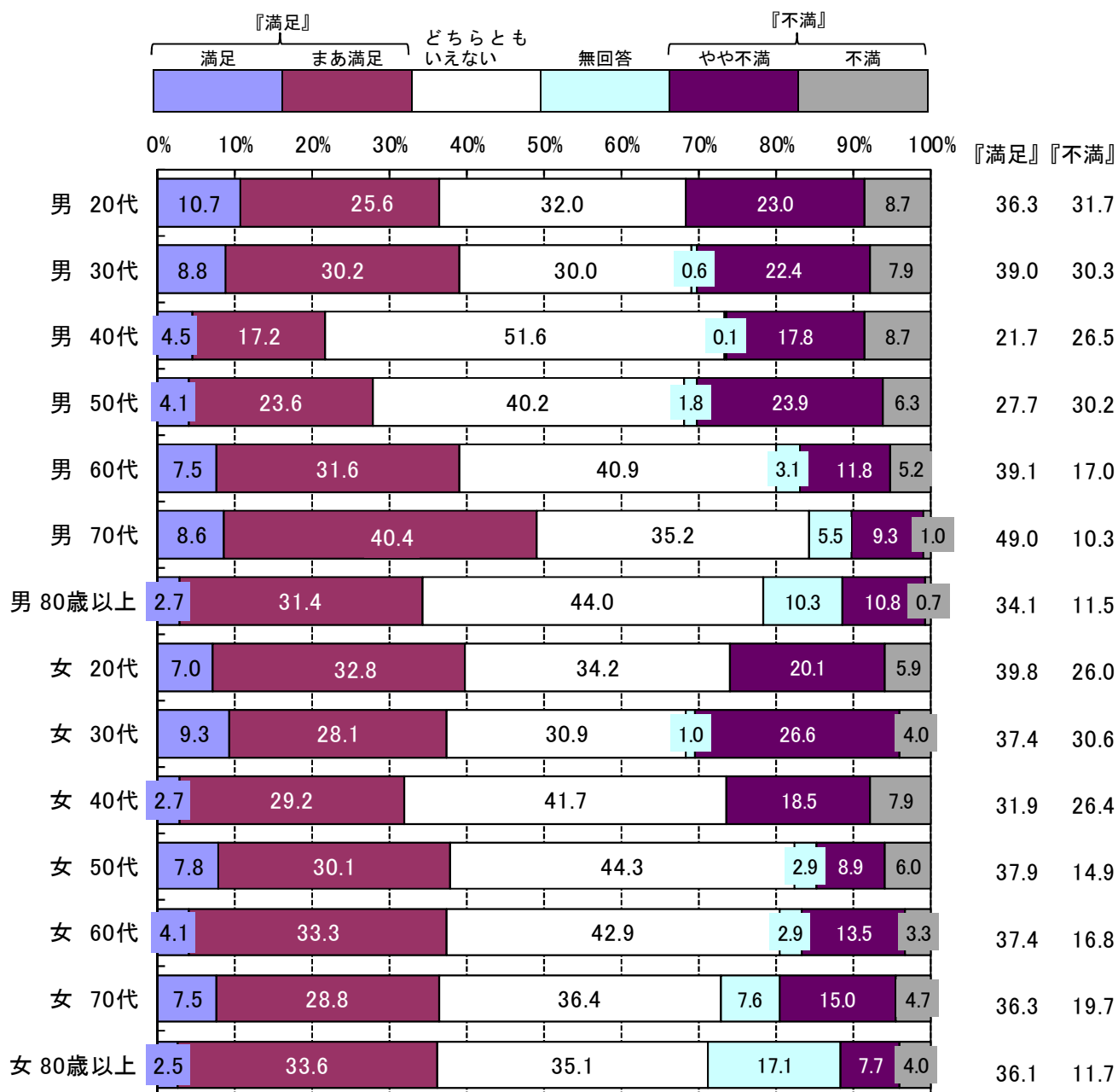
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

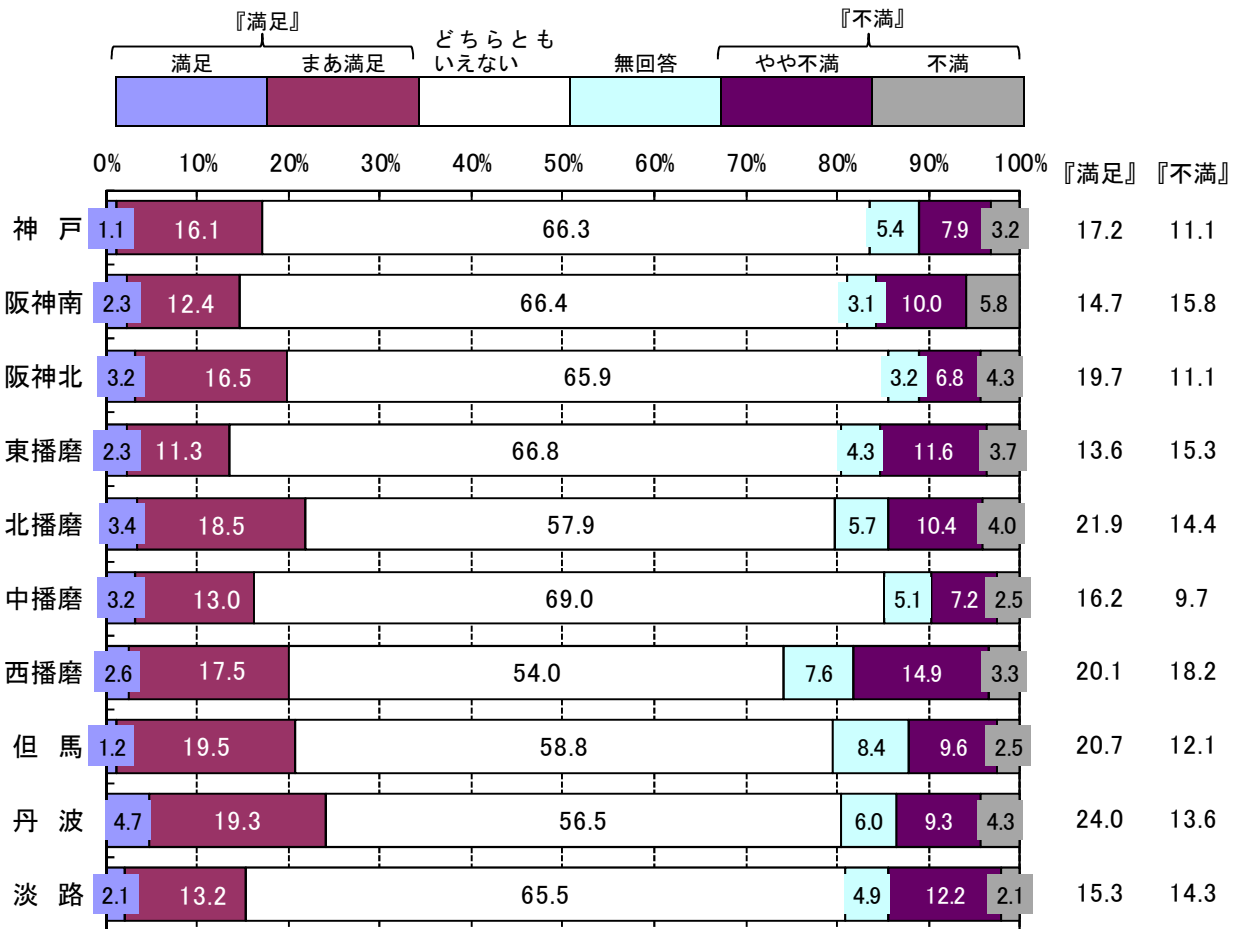
『満足』は、男性は70代が最も高く(49.0%)、女性は20代が最も高い(39.8%)。



〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

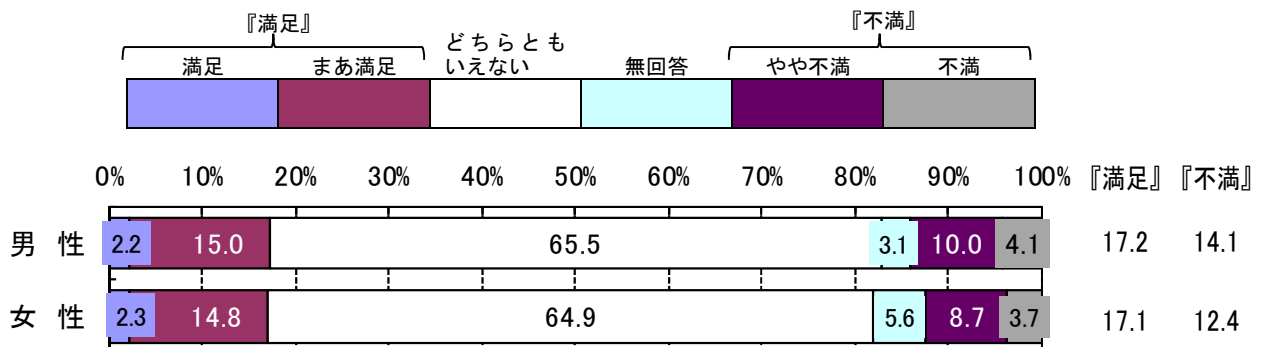
【地域別】

『満足』は丹波が最も高い(24.0%)。



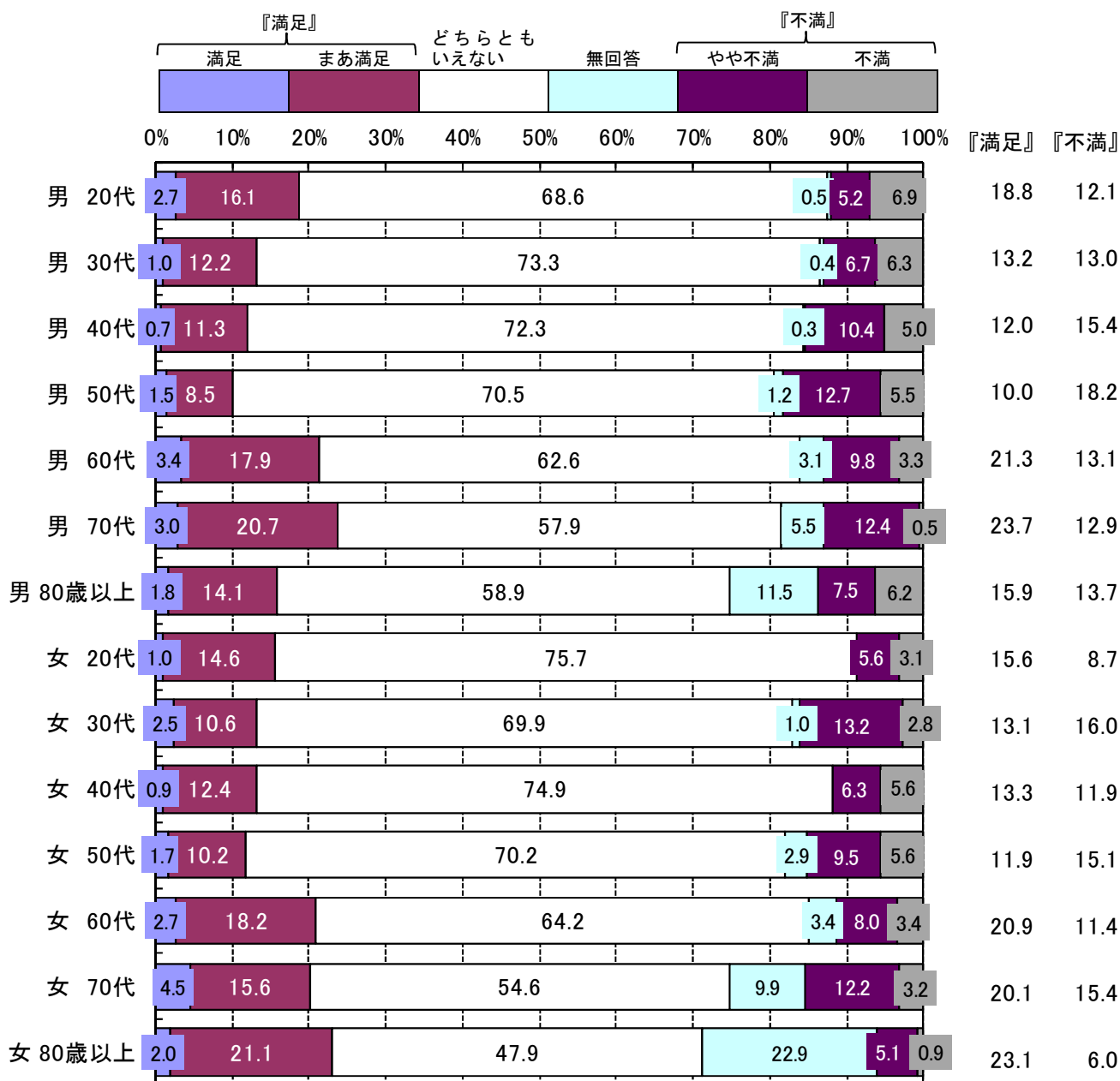
【性別】

『不満』は男性の方が女性より1.7ポイント高い。



【性・年代別】

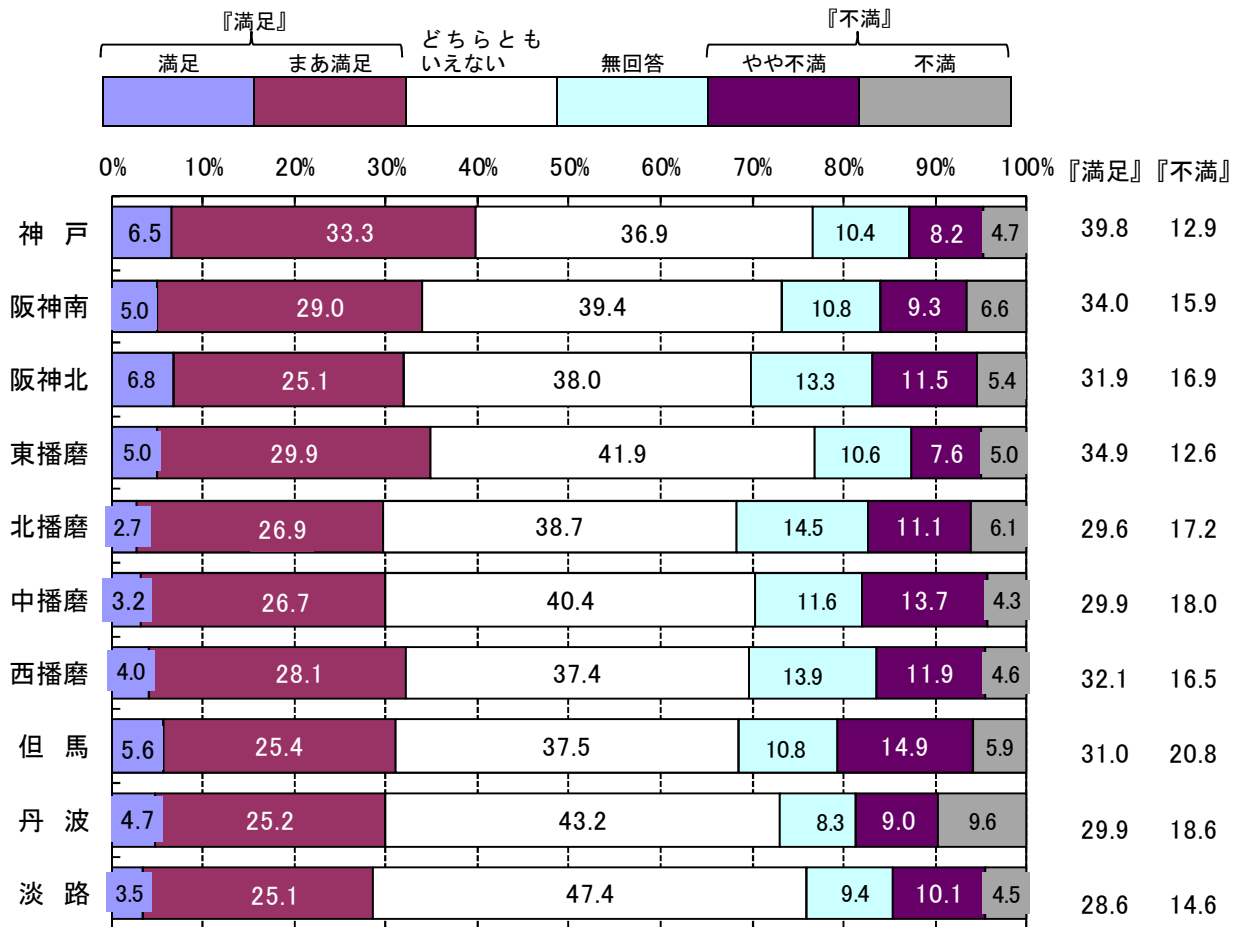
『満足』は、男性は70代が最も高く(23.7%)、女性は80歳以上が最も高い(23.1%)。



〔ク 仕事の内容〕

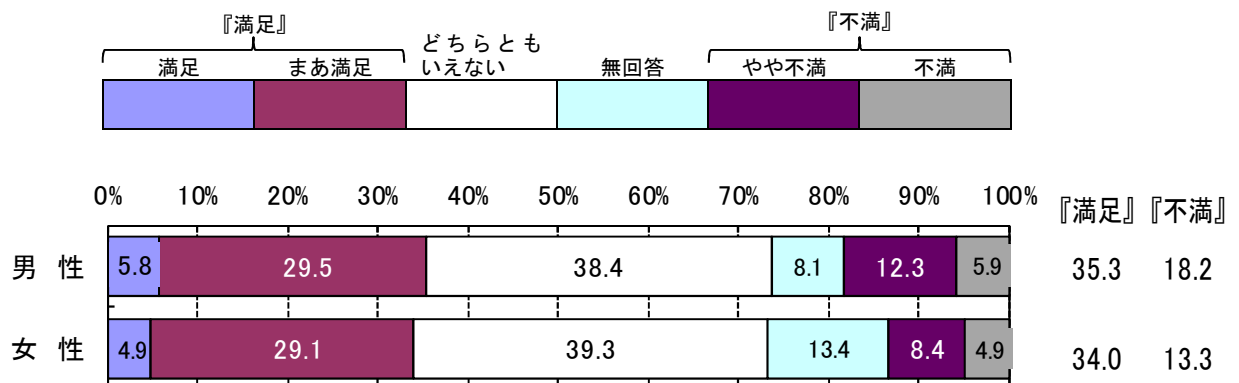
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高い(39.8%)。



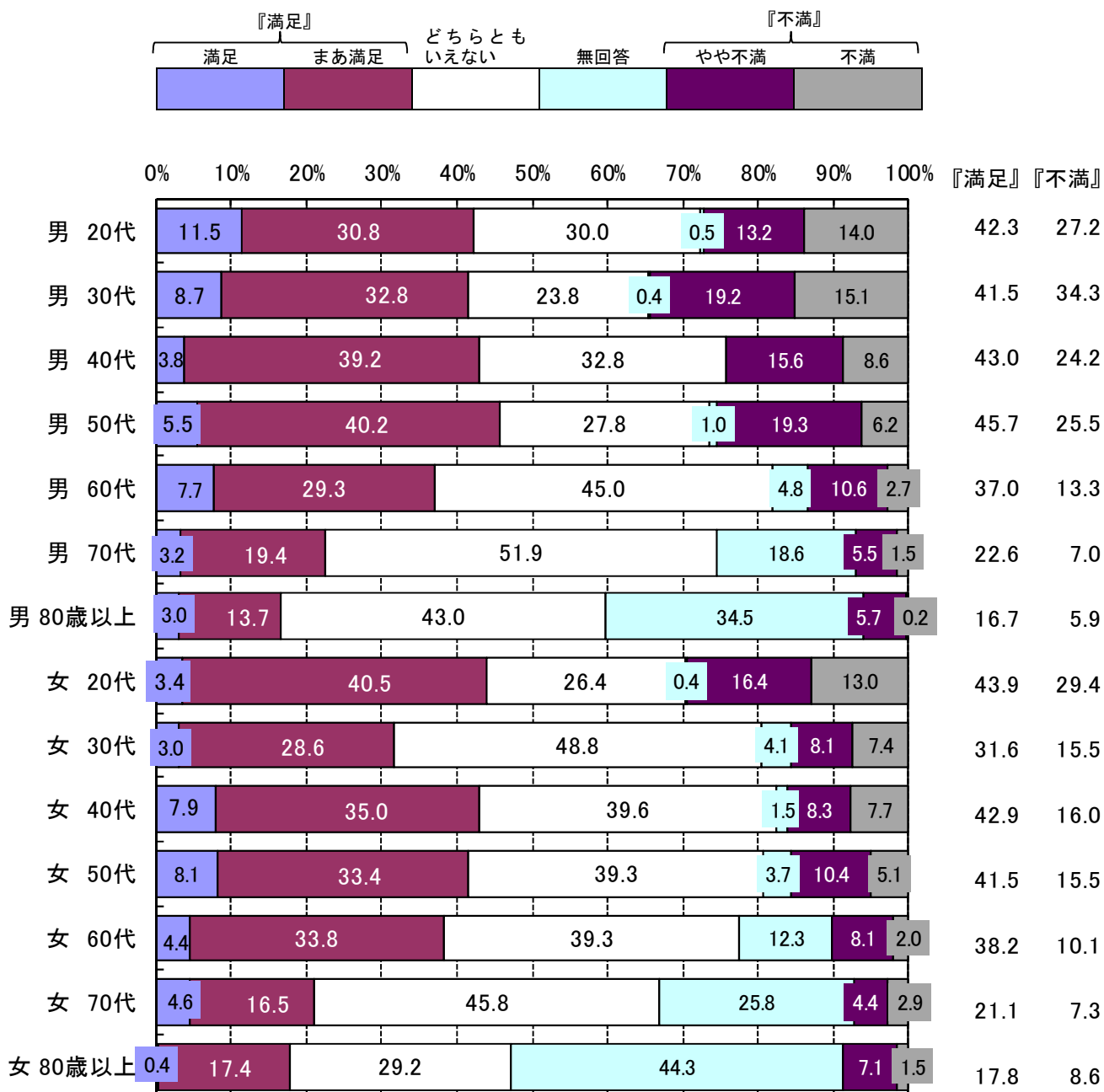
【性別】

『不満』は、男性の方が女性より4.9ポイント高い。



【性・年代別】

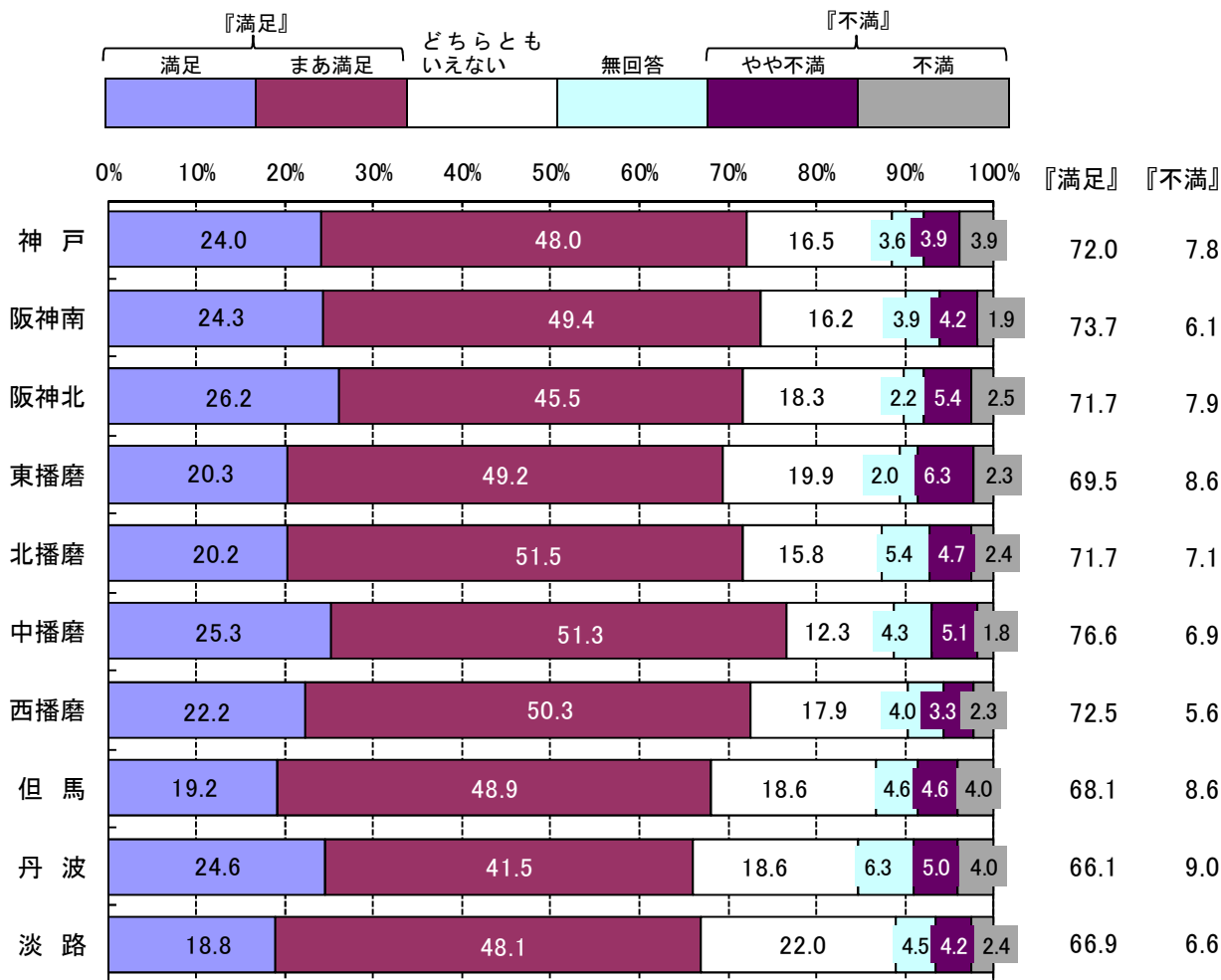
『満足』は、男性は50代が最も高く(45.7%)、女性は20代が最も高い(43.9%)。



〔ケ 家族との関係〕

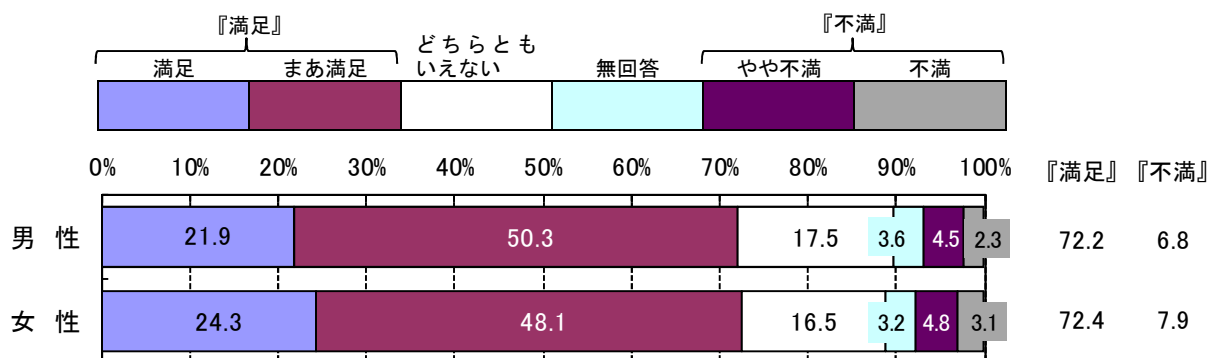
【地域別】

『満足』は、中播磨が最も高い(76.6%)



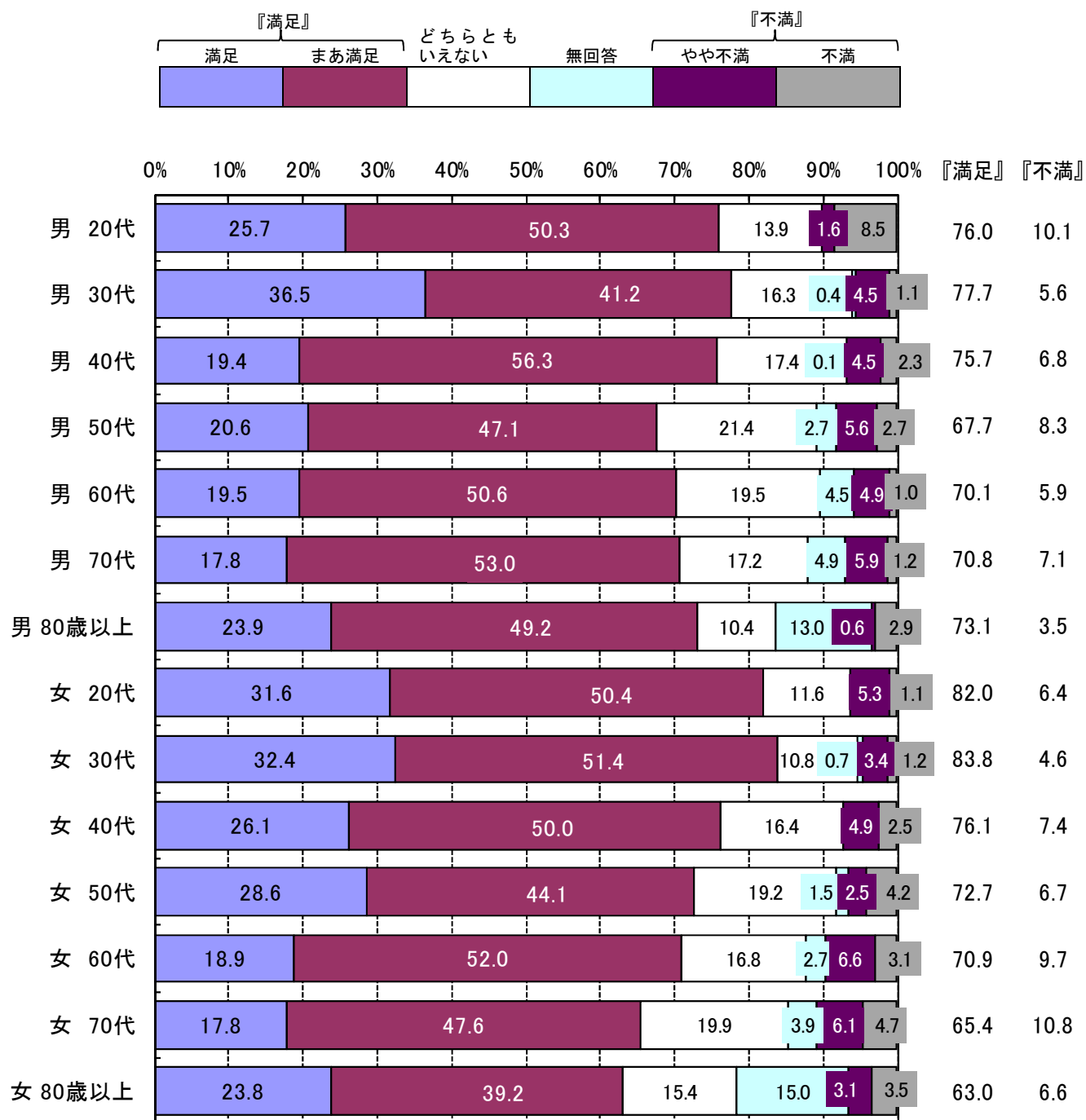
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

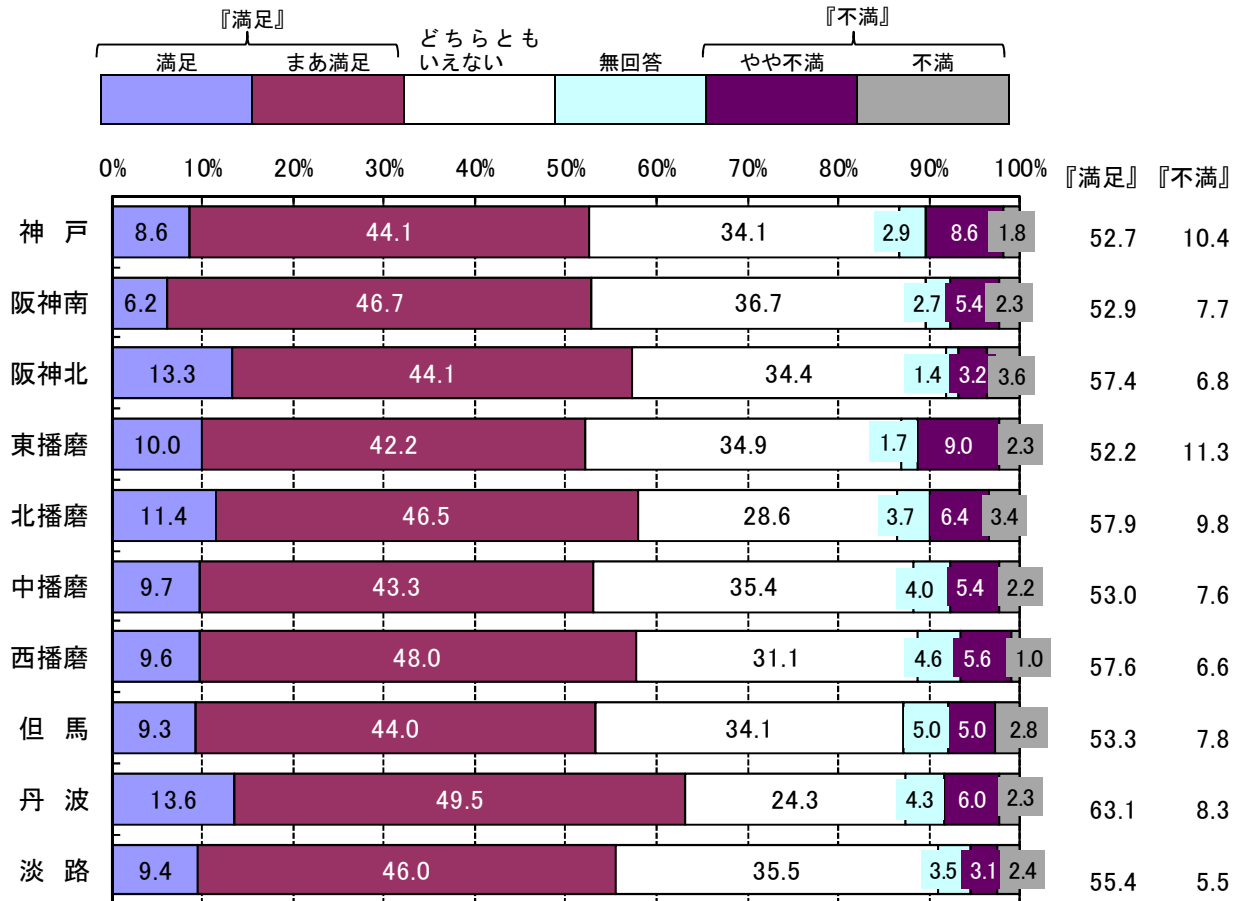
『満足』は、男性は30代が最も高く(77.7%)、女性も30代が最も高い(83.8%)。



〔コ 知人や近所の人との関係〕

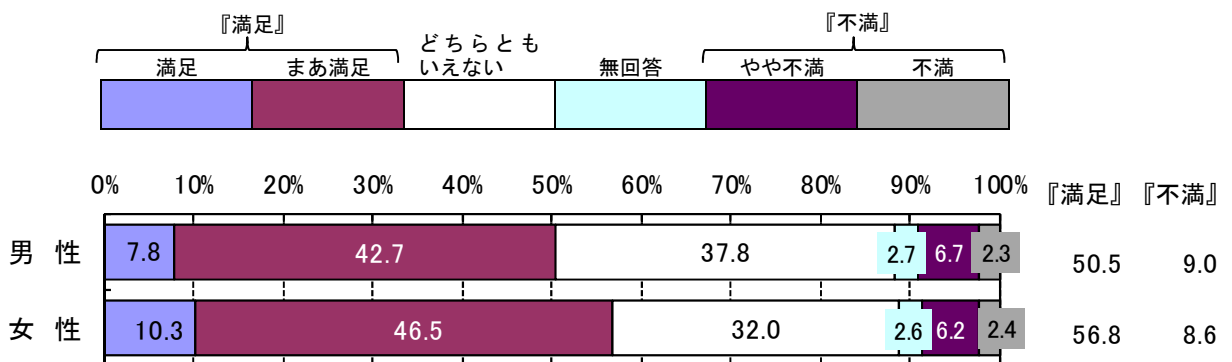
【地域別】

『満足』は丹波が最も高い(63.1%)。



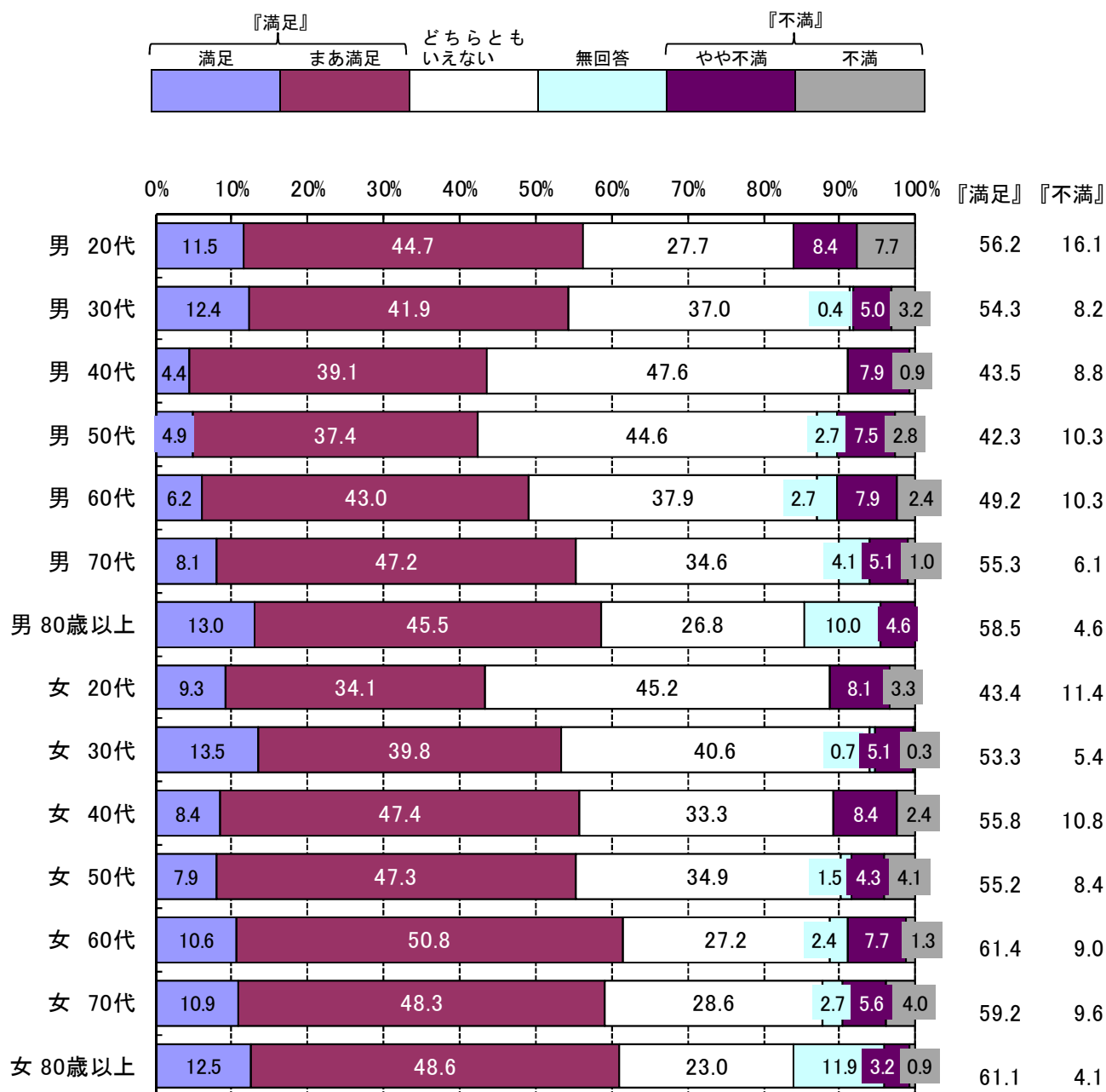
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より6.3ポイント高い。



【性・年代別】

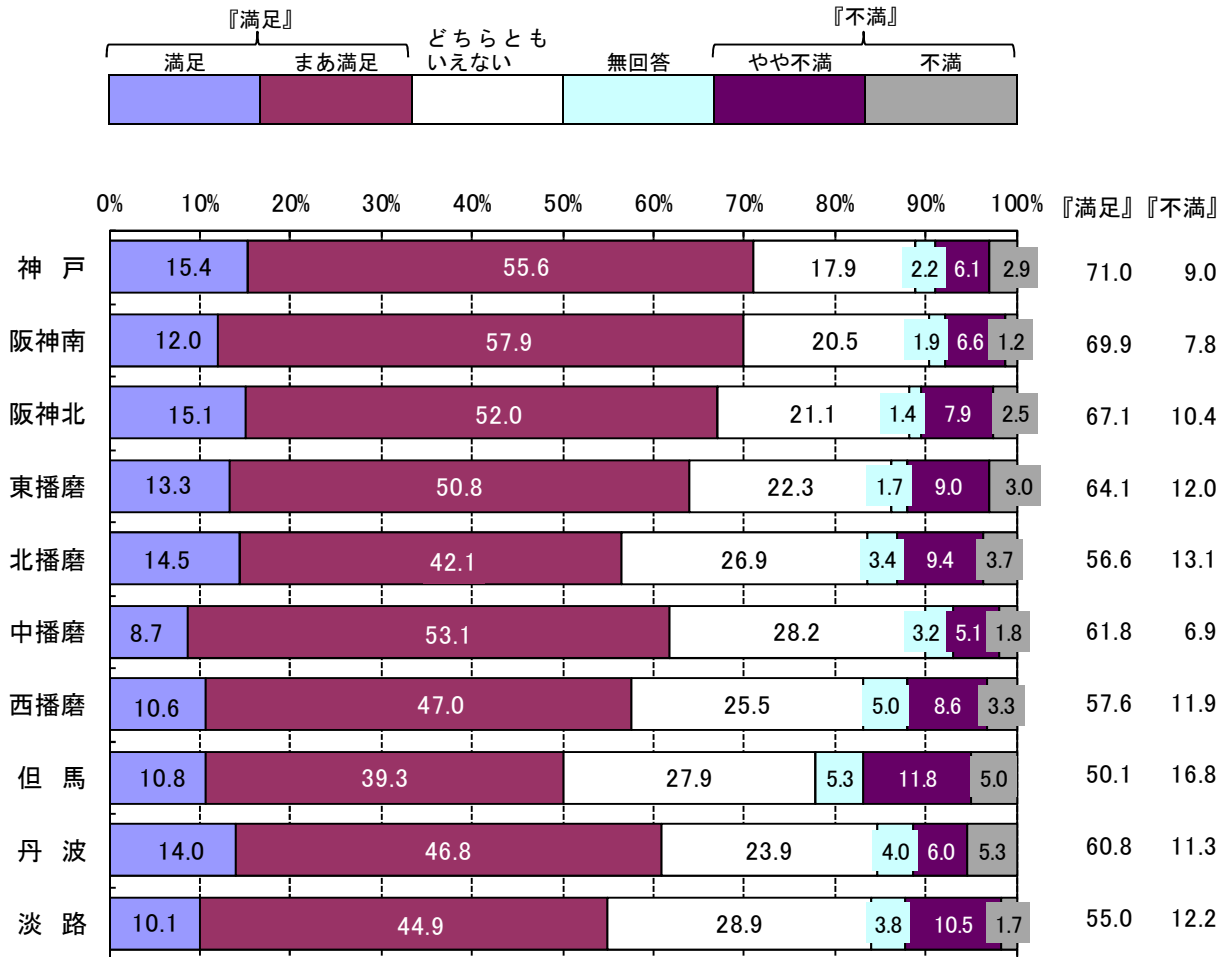
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(58.5%)、女性は60代が最も高い(61.4%)。



〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

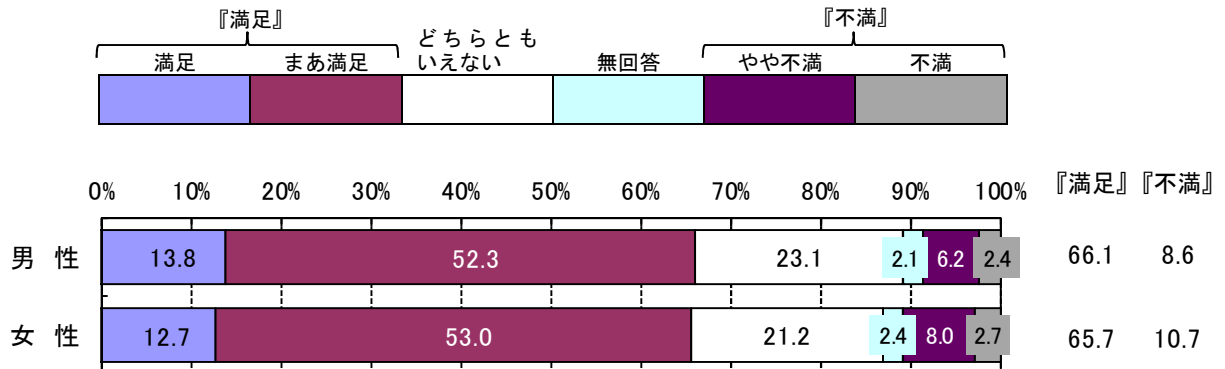
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高い(71.0%)



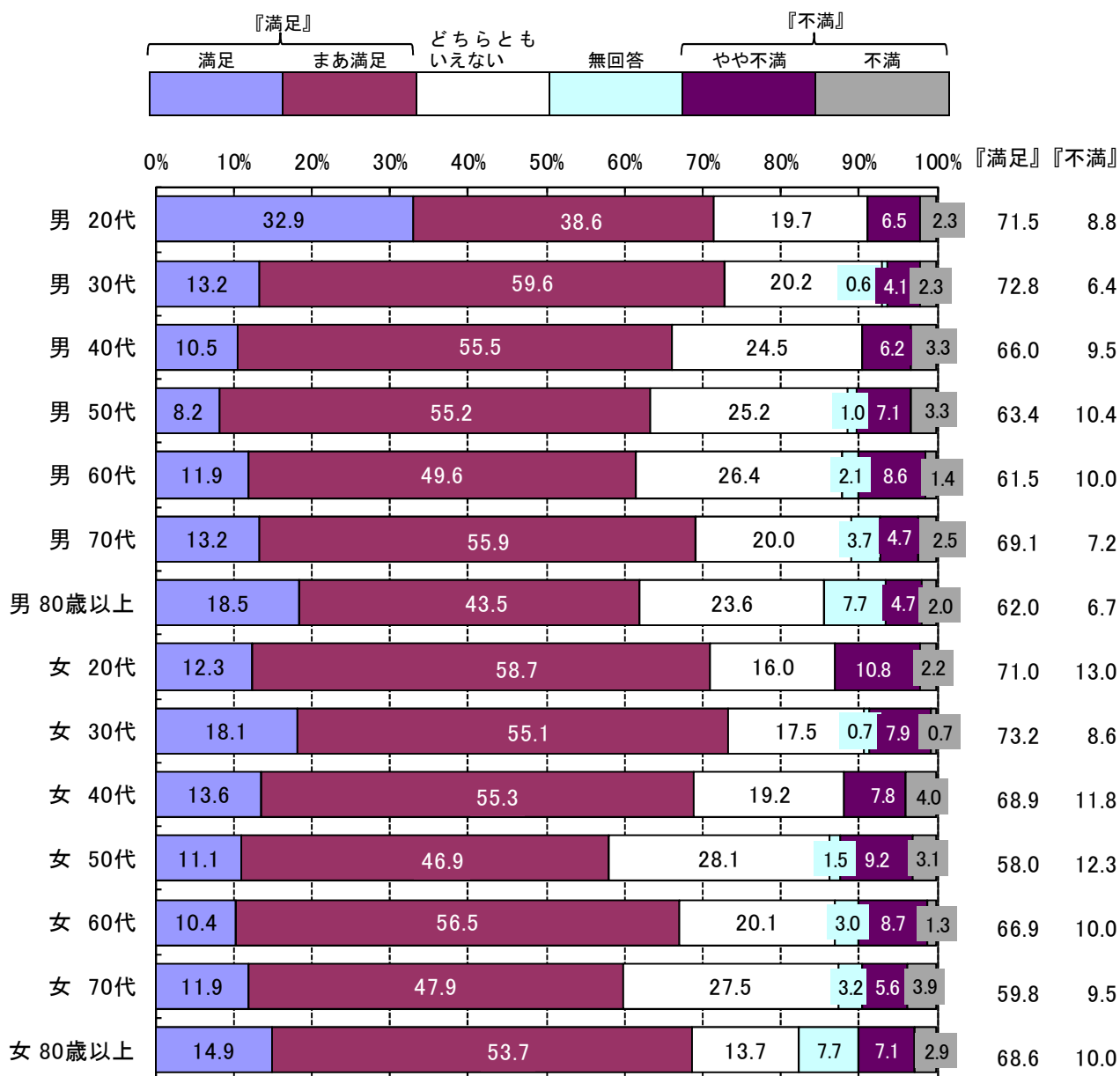
【性別】

『不満』は、女性の方が男性より2.1ポイント高い。



【性・年代別】

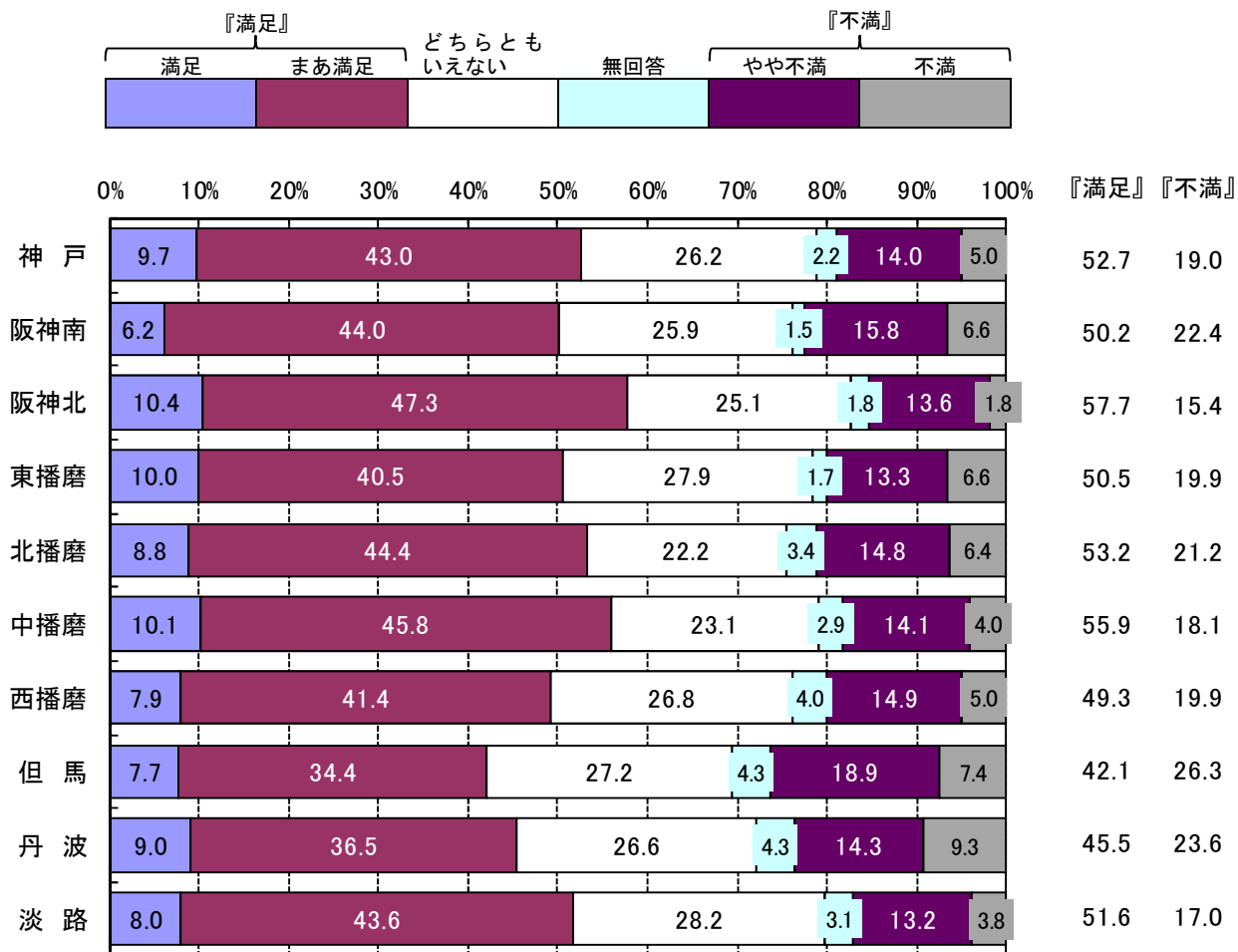
『満足』は、男女とも30代が最も高い(男性72.8%、女性73.2%)。



〔シ あなた自身の健康〕

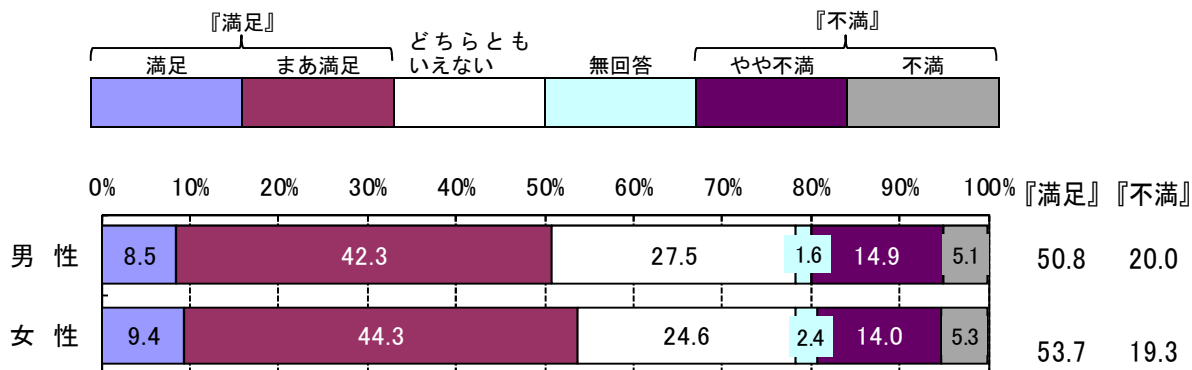
【地域別】

『満足』は、阪神北が最も高い(57.7%)。



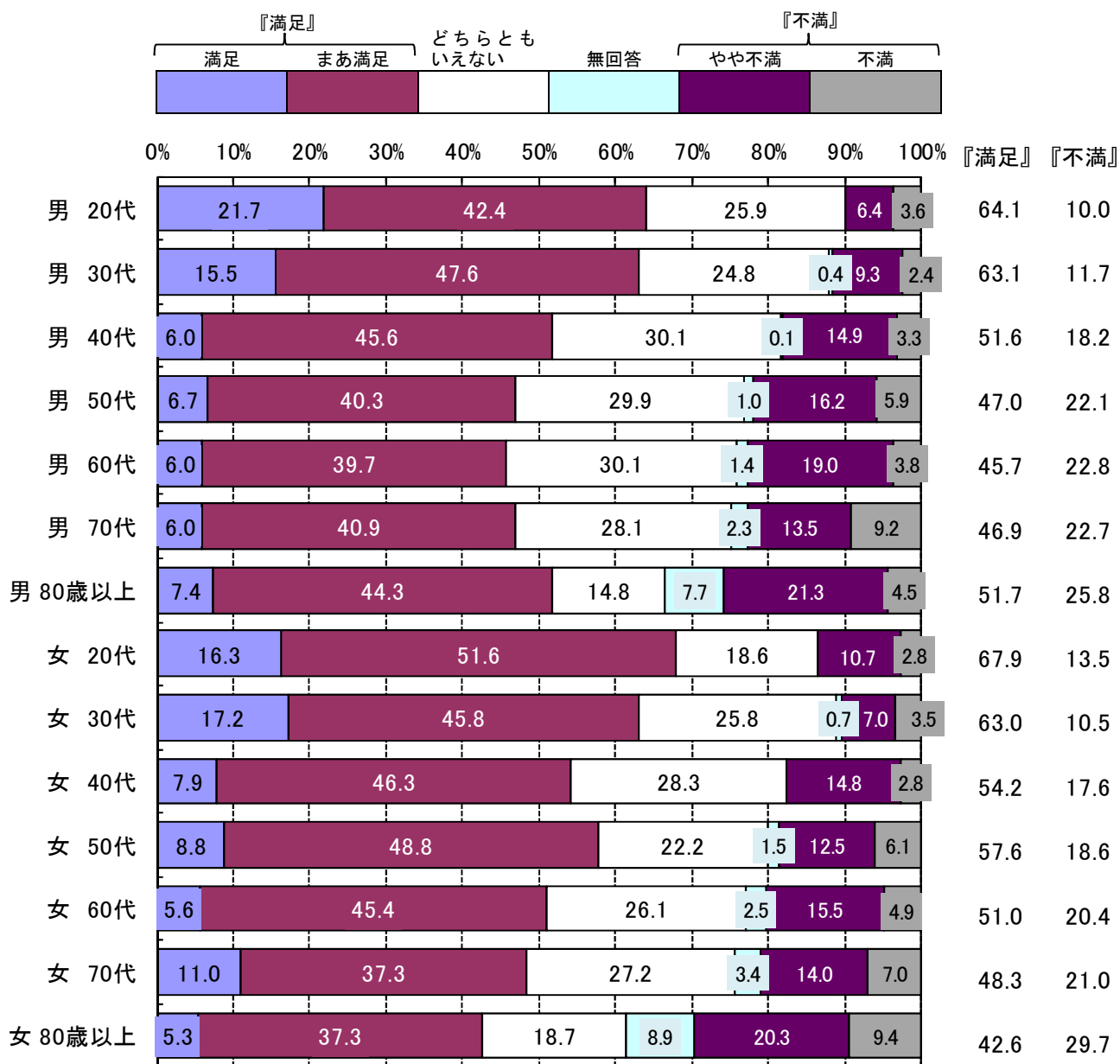
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より2.9ポイント高い。



【性・年代別】

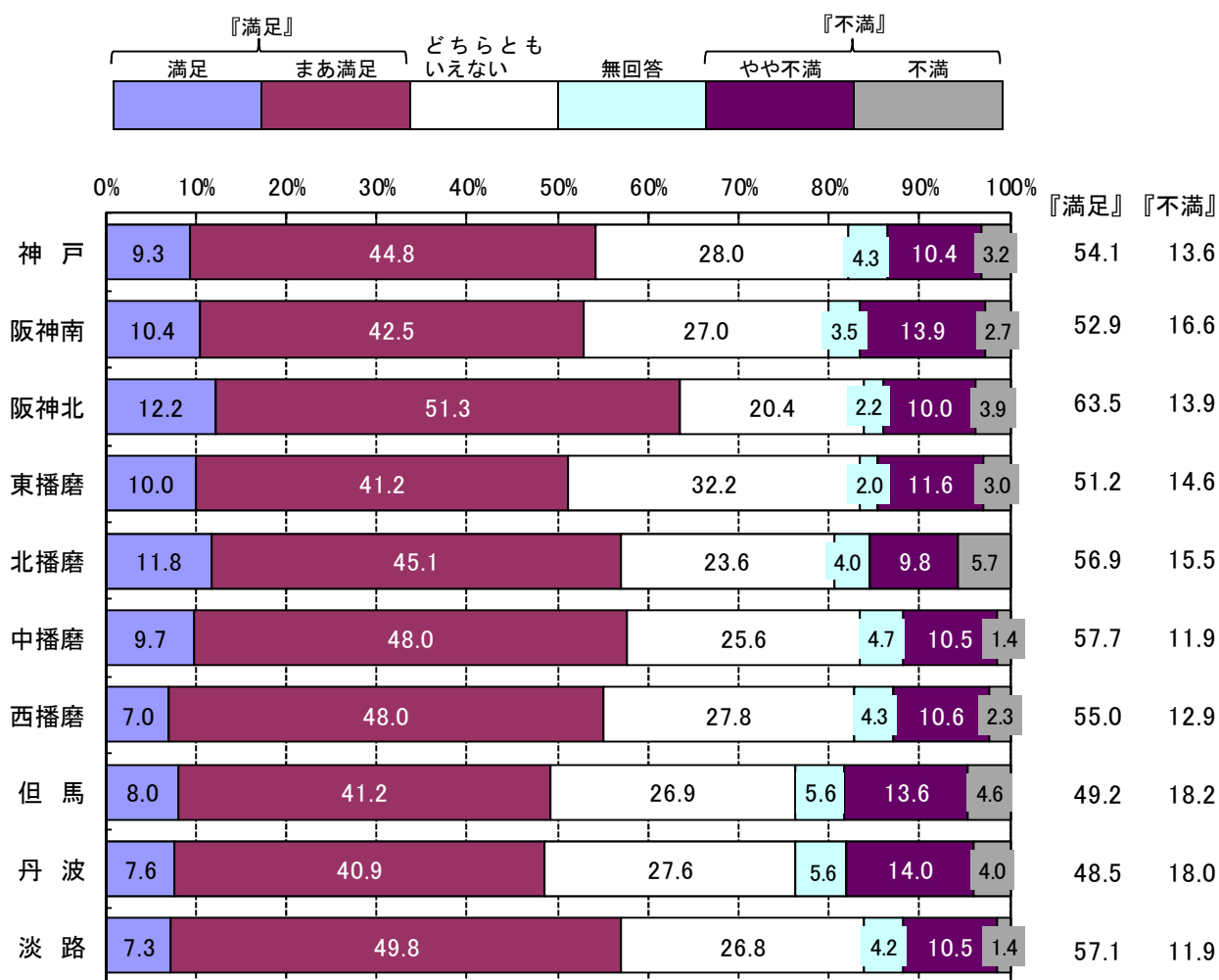
『満足』は、男女とも20代で最も高い(男性64.1%、女性67.9%)。



〔ス 家族の健康〕

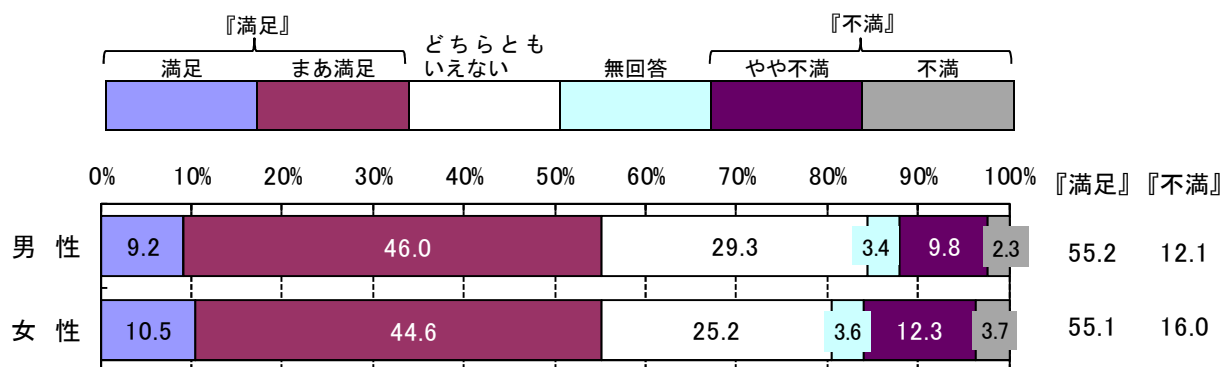
【地域別】

『満足』は、阪神北が最も高い(63.5%)。



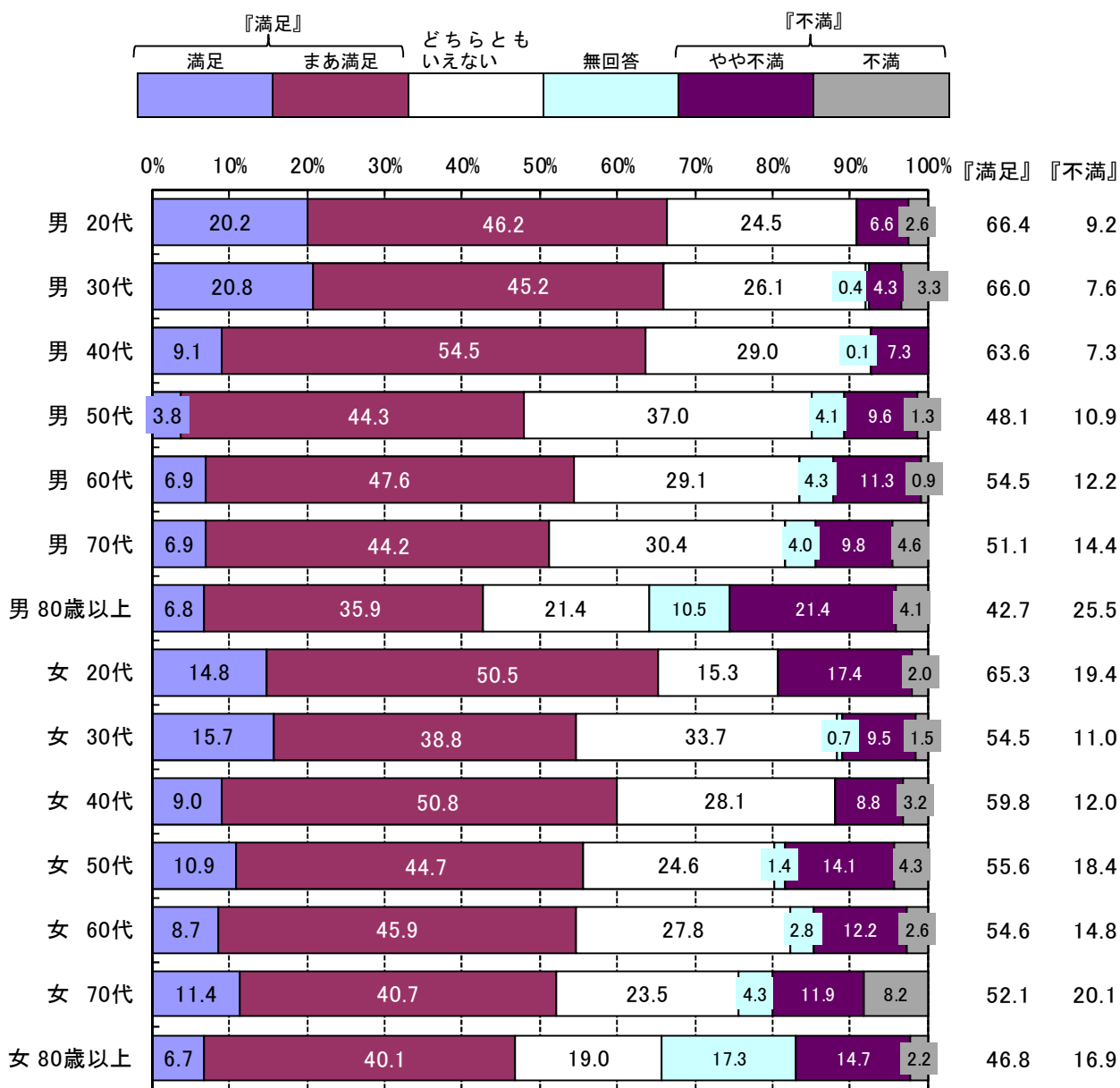
【性別】

『不満』は女性の方が男性より3.9ポイント高い。



【性・年代別】

『満足』は、男女とも20代が最も高い(男性66.4%、女性65.3%)。



問 2 1 去年と比べた生活の向上感

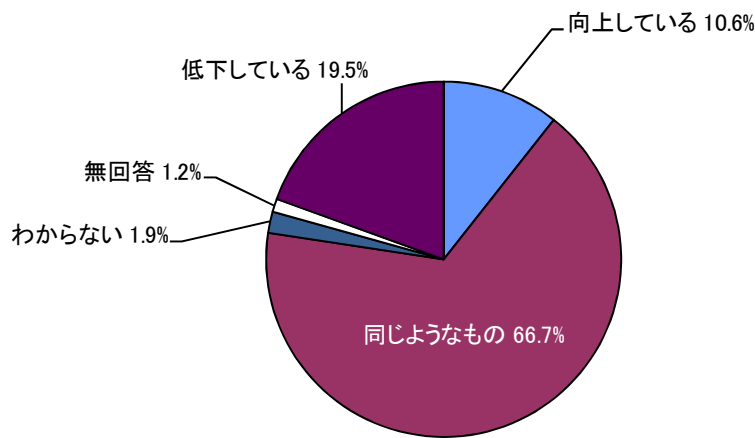
問 2 1

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きます。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

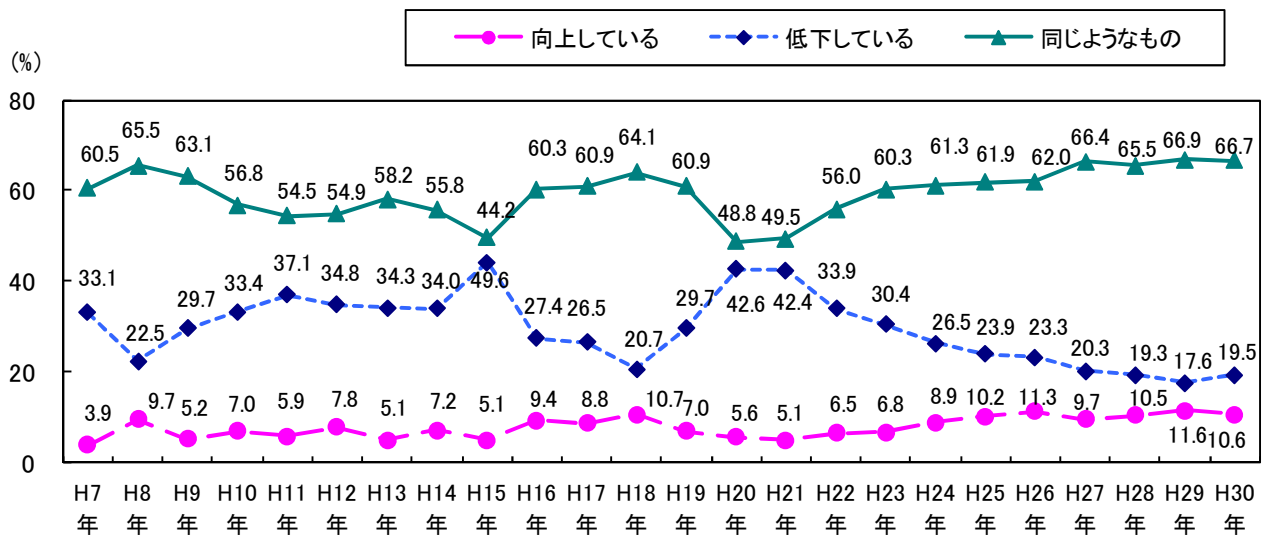
【全県】

「同じようなもの(66.7%)」が最も高く、次いで「低下している(19.5%)」、「向上している(10.6%)」となった。



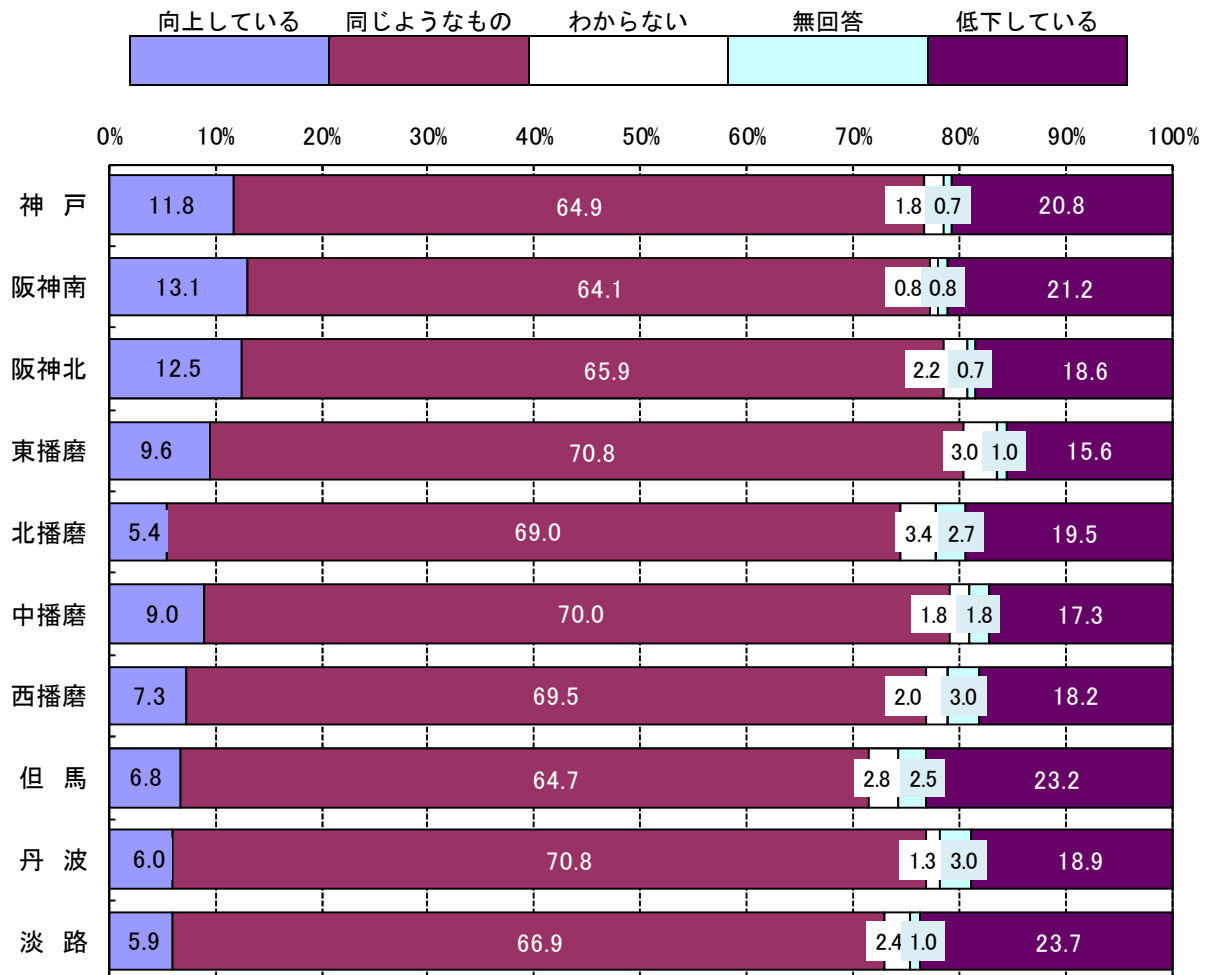
【経年比較】

「向上している(10.6%)」は前年から1.0ポイント減少し、「低下している(19.5%)」は1.9ポイント増加している。



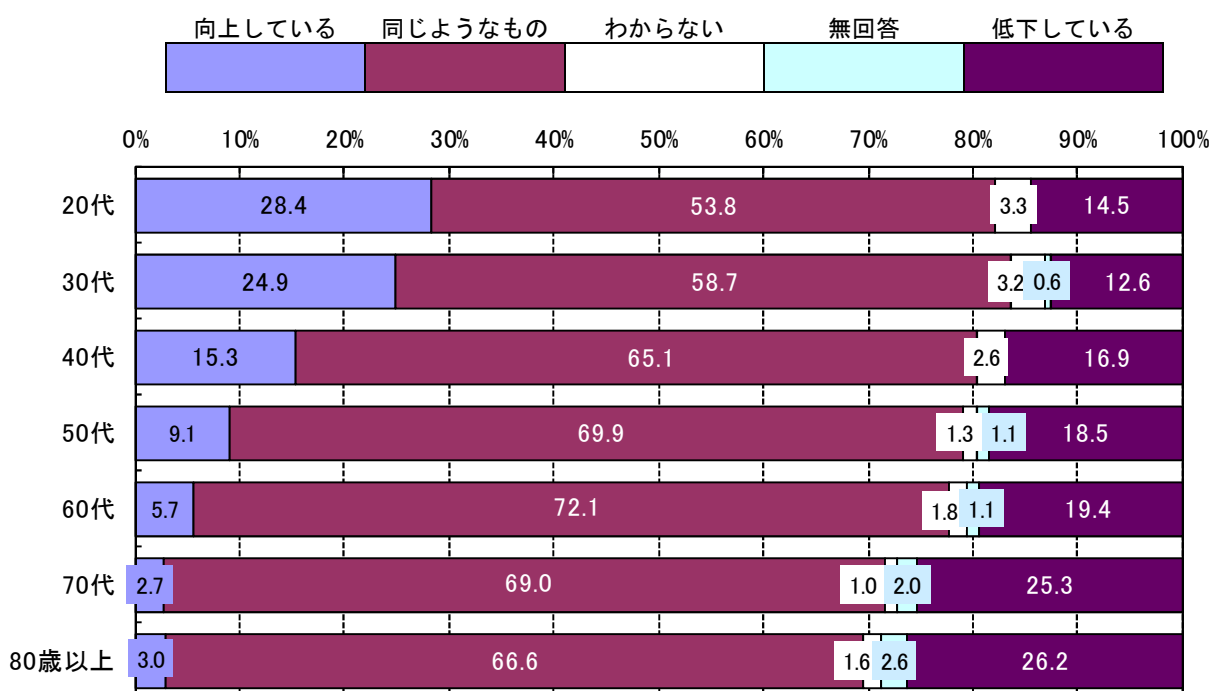
【地域別】

「向上している」は阪神南(13.1%)が最も高く、阪神北(12.5%)、神戸(11.8%)も全県(10.6%)を超えている。



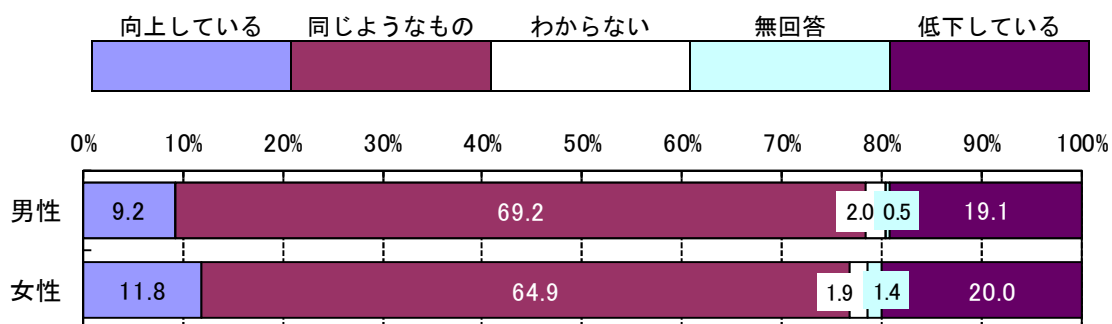
【年代別】

「向上している」は20代が最も高い(28.4%)。



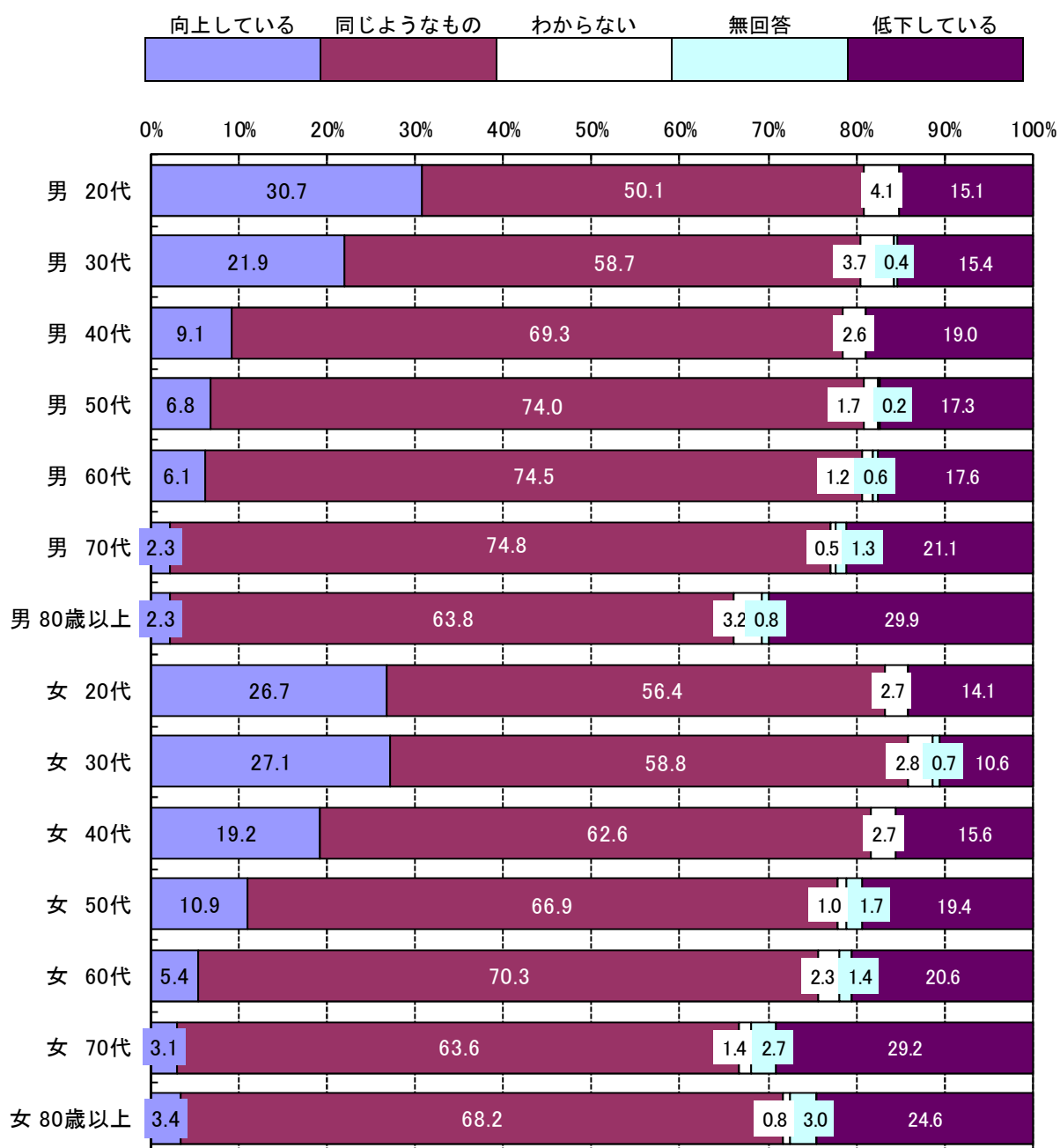
【性別】

「向上している」は、女性の方が男性より2.6ポイント高い。



【性・年代別】

「向上している」は、男性は20代が最も高く(30.7%)、女性は30代が最も高い(27.1%)。



問 2 2 大地震発生の可能性

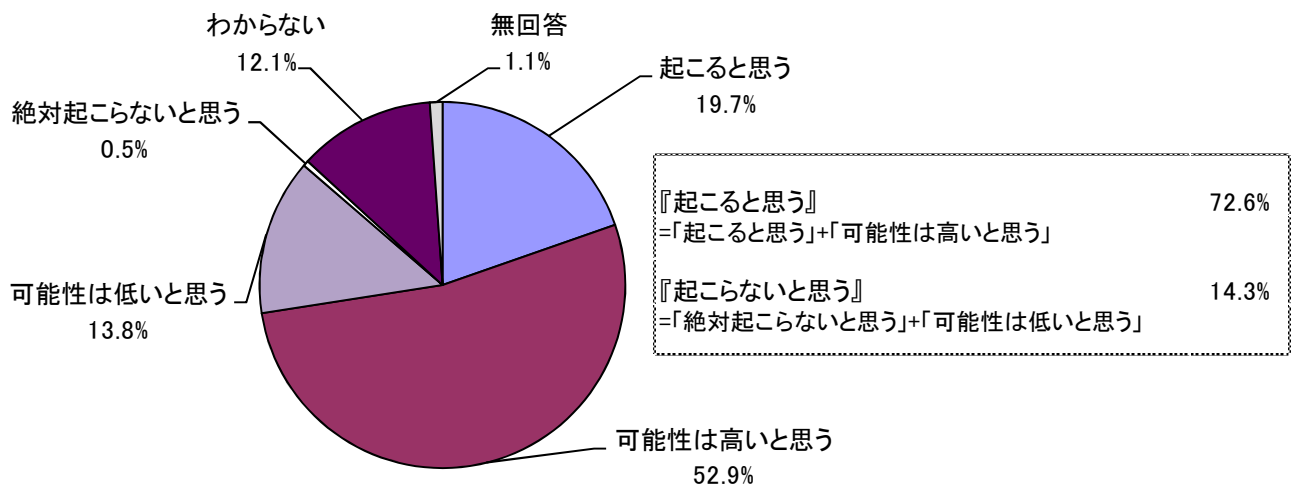
問 2 2

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 2 可能性は高いと思う |
| 3 可能性は低いと思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 5 わからない | |

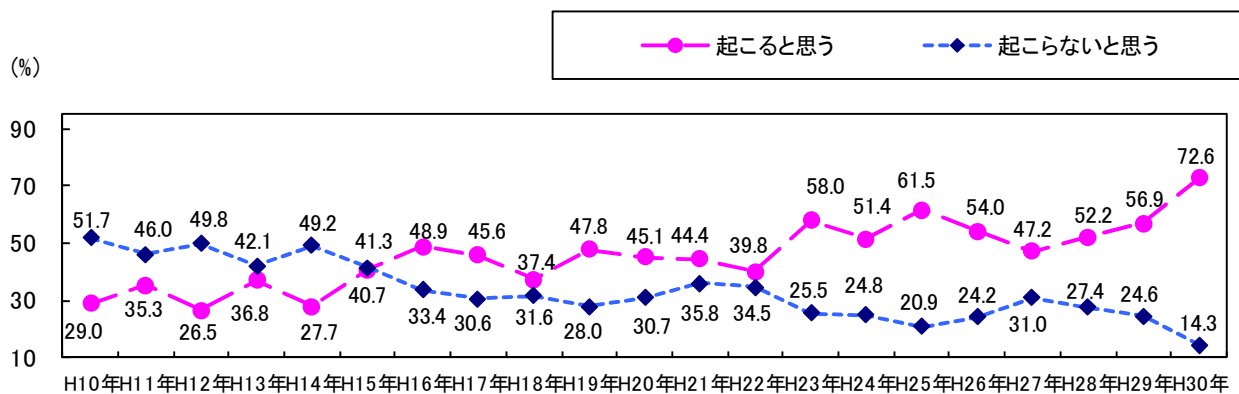
【全県】

「起こると思う(19.7%)」と「可能性は高いと思う(52.9%)」を合わせた『起こると思う』は 72.6%で、「絶対起こらないと思う(0.5%)」と「可能性は低いと思う(13.8%)」を合わせた『起こらないと思う』は 14.3%となった。



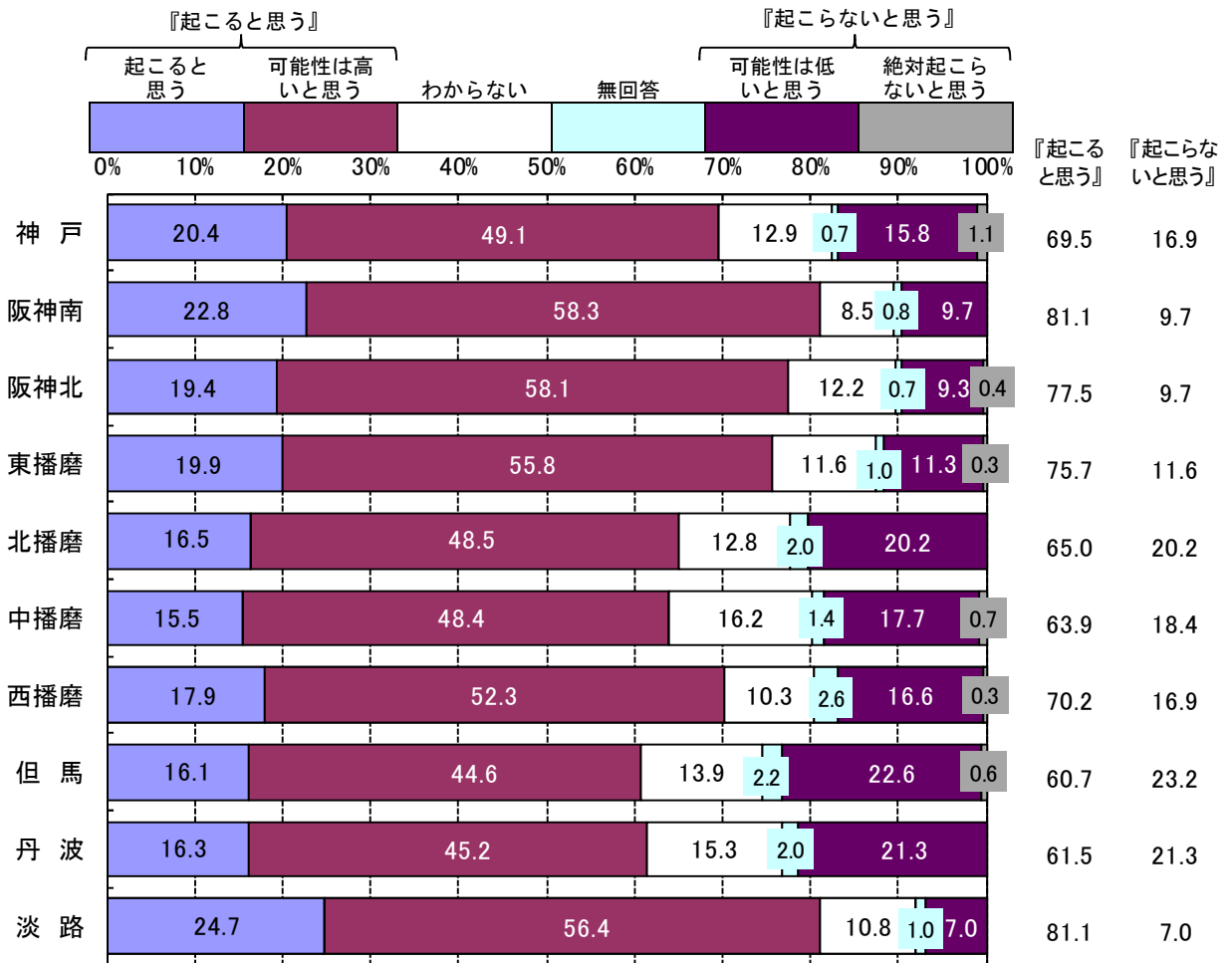
【経年比較】

『起こると思う(72.6%)』は、前年より 15.7ポイント増加している。



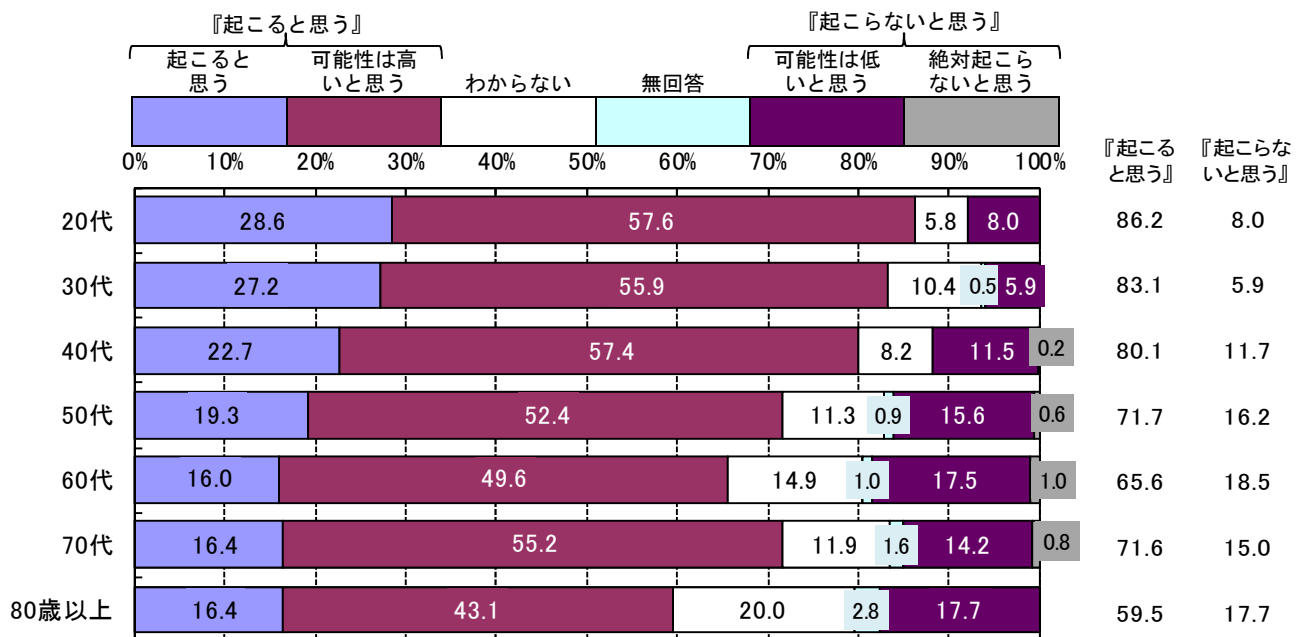
【地域別】

『起こると思う』は、阪神南と淡路(各 81.1%)が最も高く、次いで阪神北(77.5%)、東播磨(75.7%)が高い。



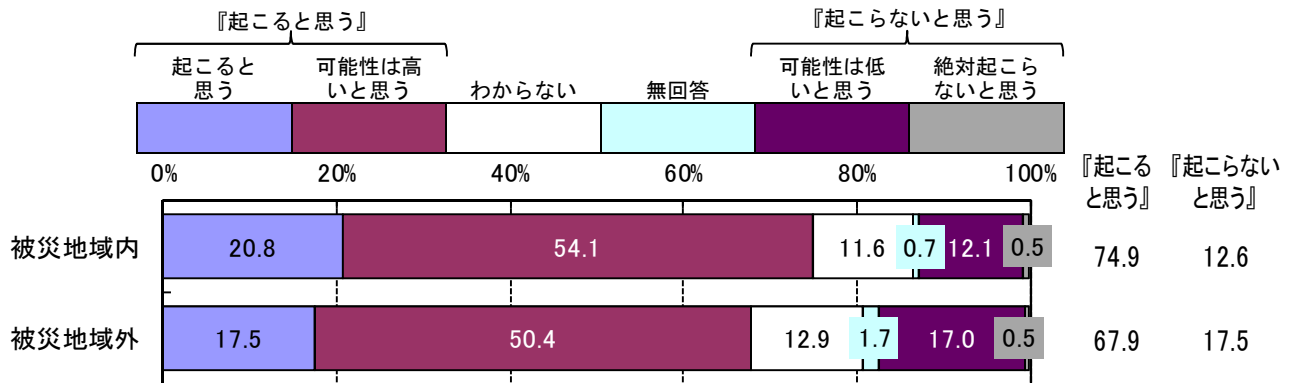
【年代別】

『起こると思う』は20代が最も高い(86.2%)。



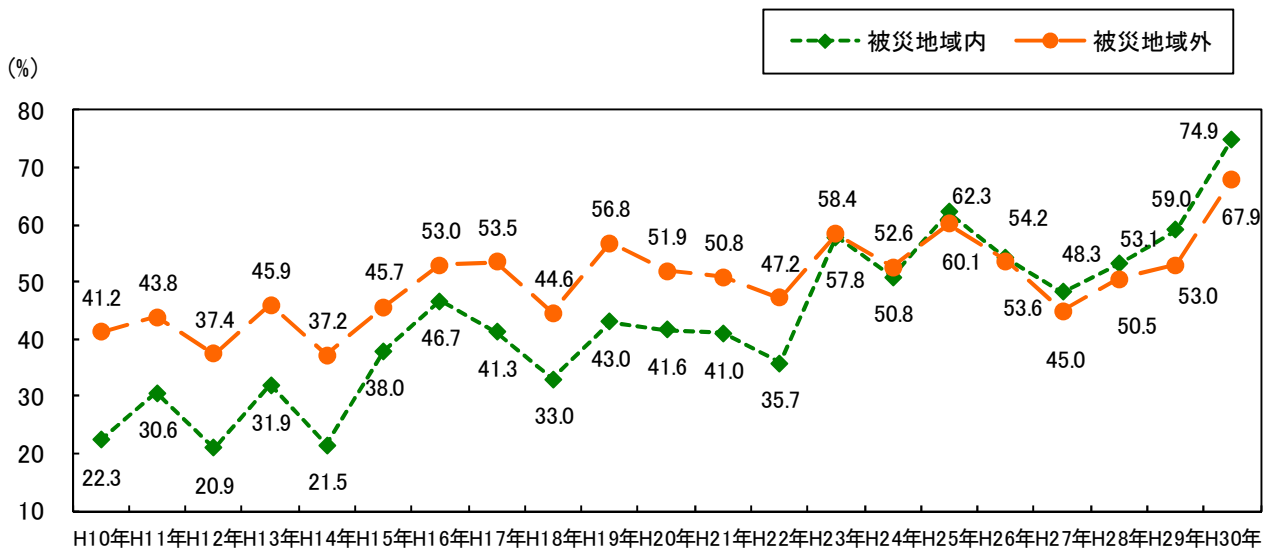
【阪神・淡路大震災 被災地域内外別(※)】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が7.0ポイント高くなっている。



【阪神・淡路大震災 被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

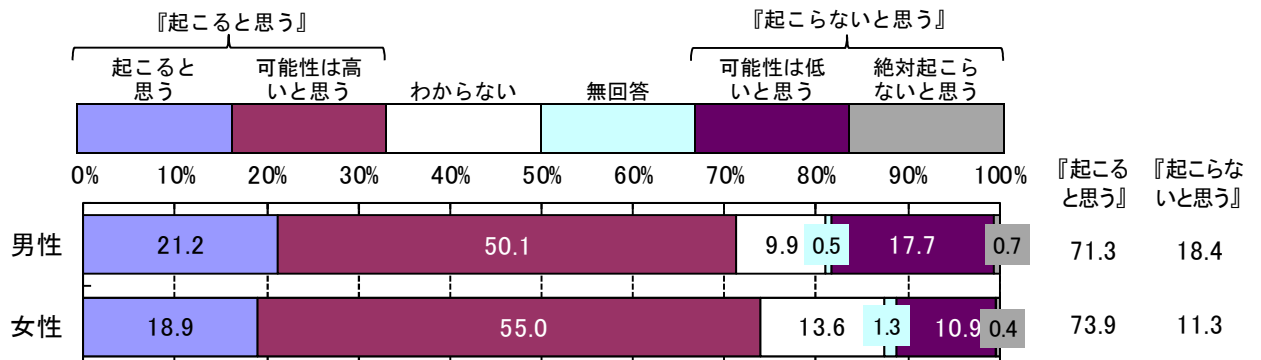
被災地域内は前年より15.9ポイント増加した。被災地域外は14.9ポイント増加した。



※被災地域・・・神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、川西市

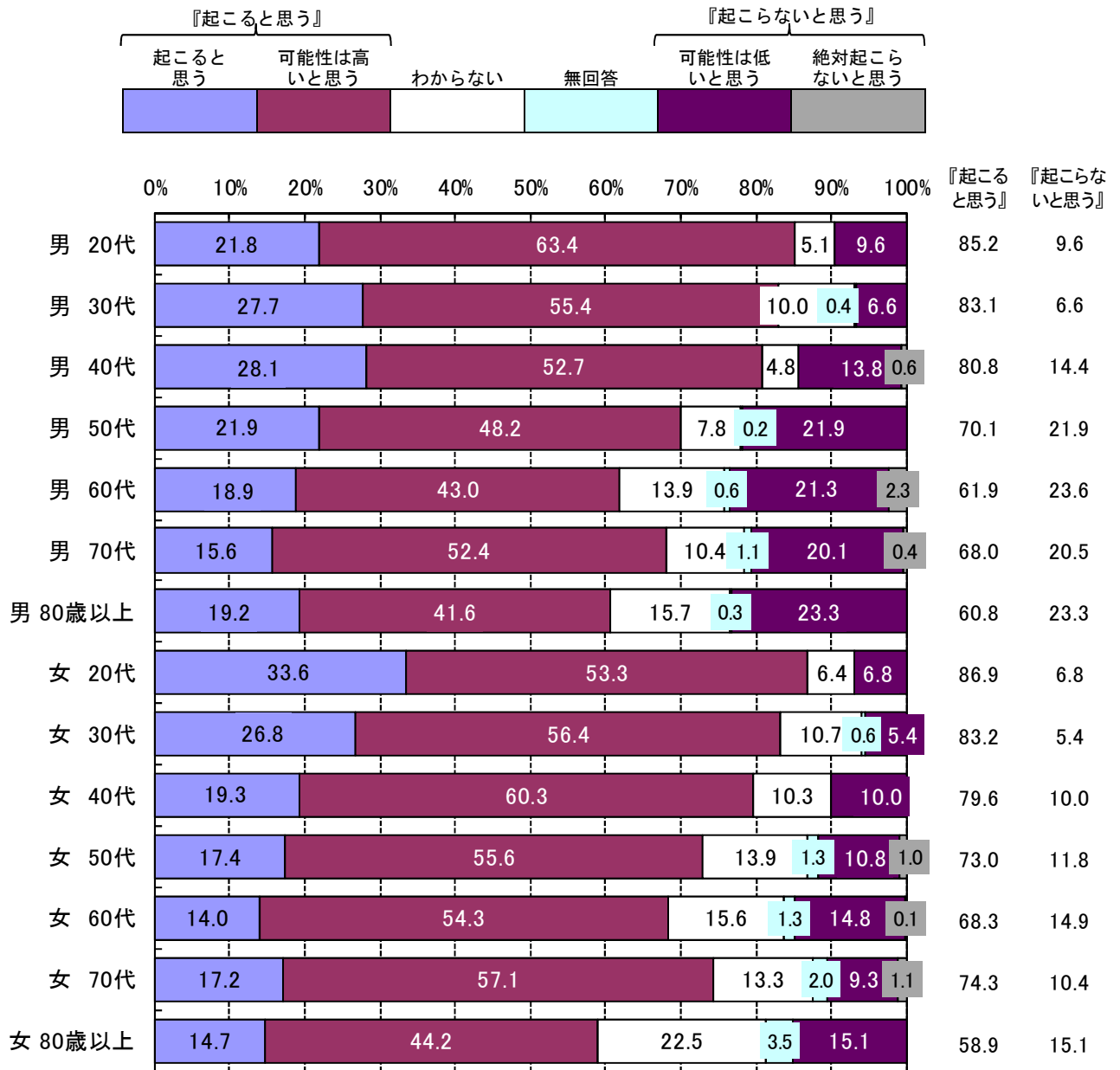
【性別】

『起こらないと思う』は、男性の方が女性より7.1ポイント高い。



【性・年代別】

『起こると思う』は、男女ともに20代が最も高い(男性 85.2%、女性 86.9%)。



問 2 3 地域活動への参加

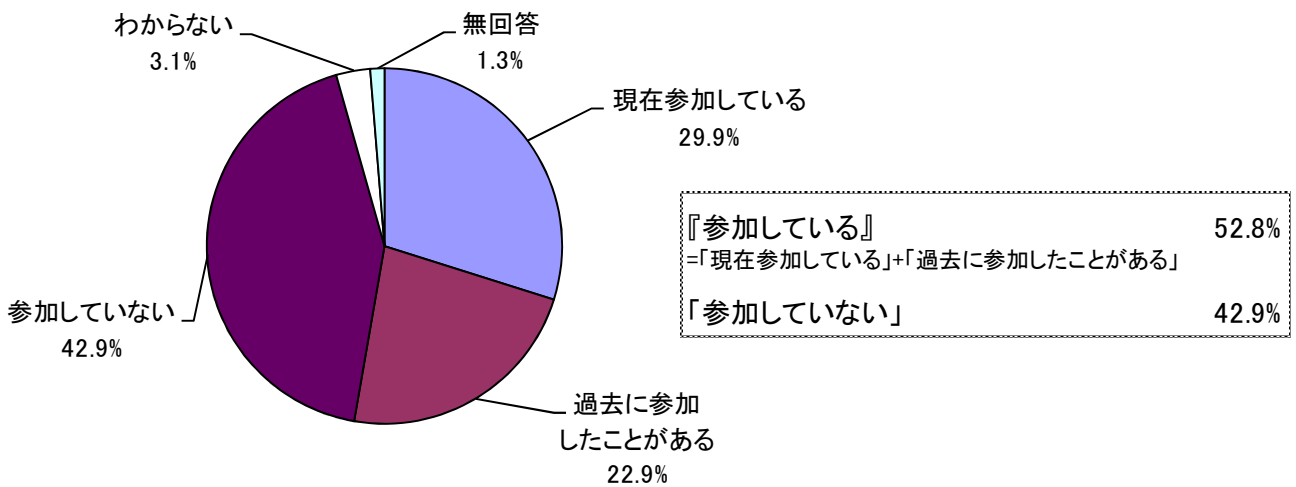
問 2 3

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 現在参加している | 2 過去に参加したことがある |
| 3 参加していない | 4 わからない |

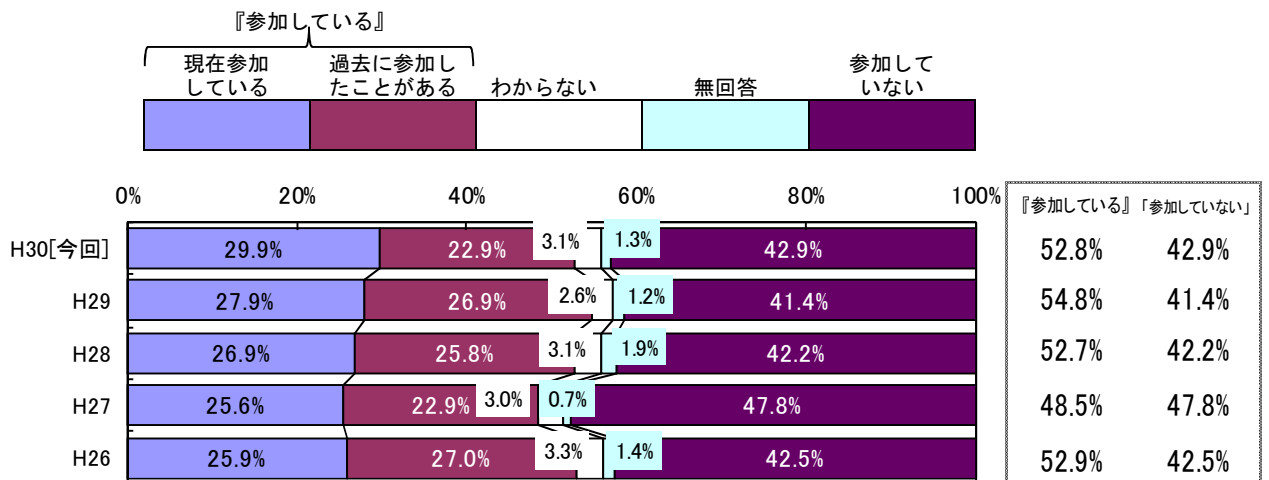
【全県】

「現在参加している(29.9%)」と「過去に参加したことがある(22.9%)」を合わせた『参加している』は52.8%となった。



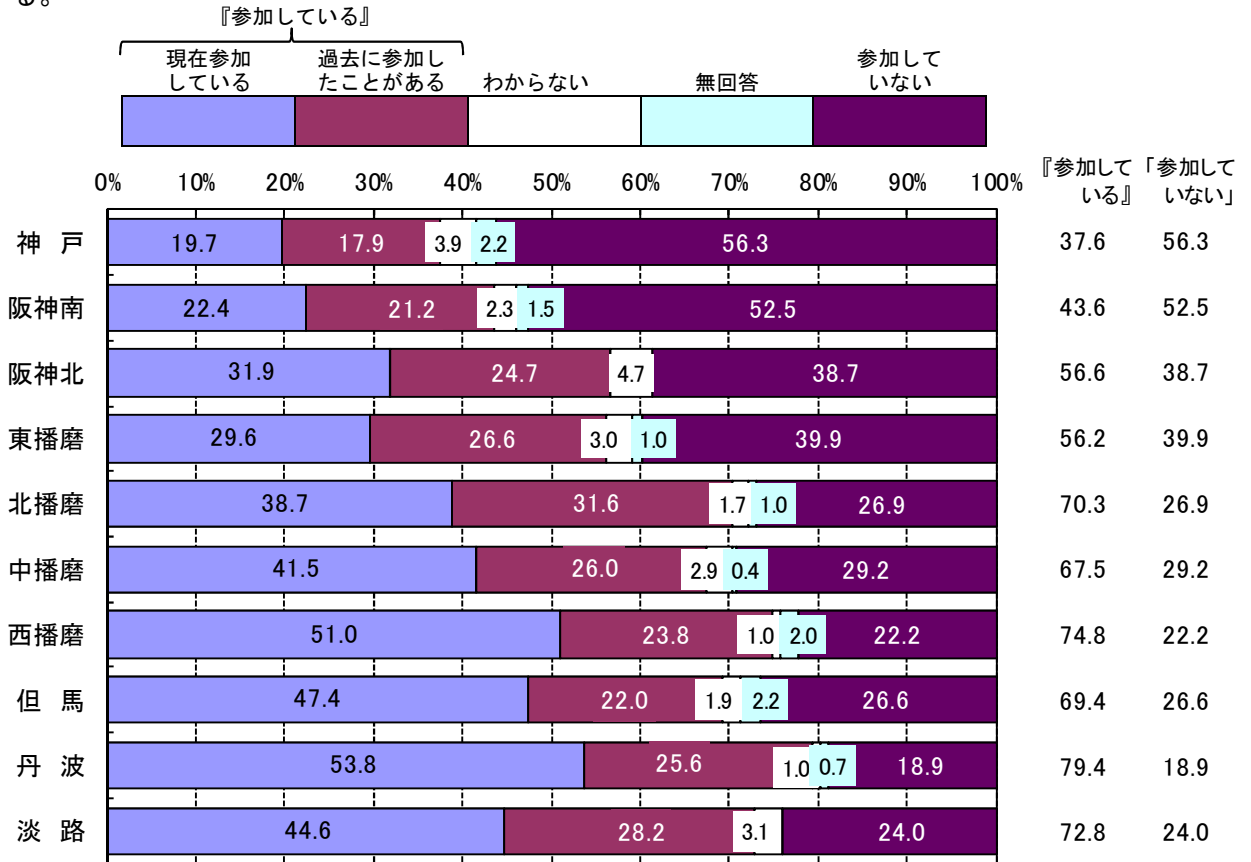
【経年比較】

『参加している(52.8%)』は、前年より2.0ポイント減少している。



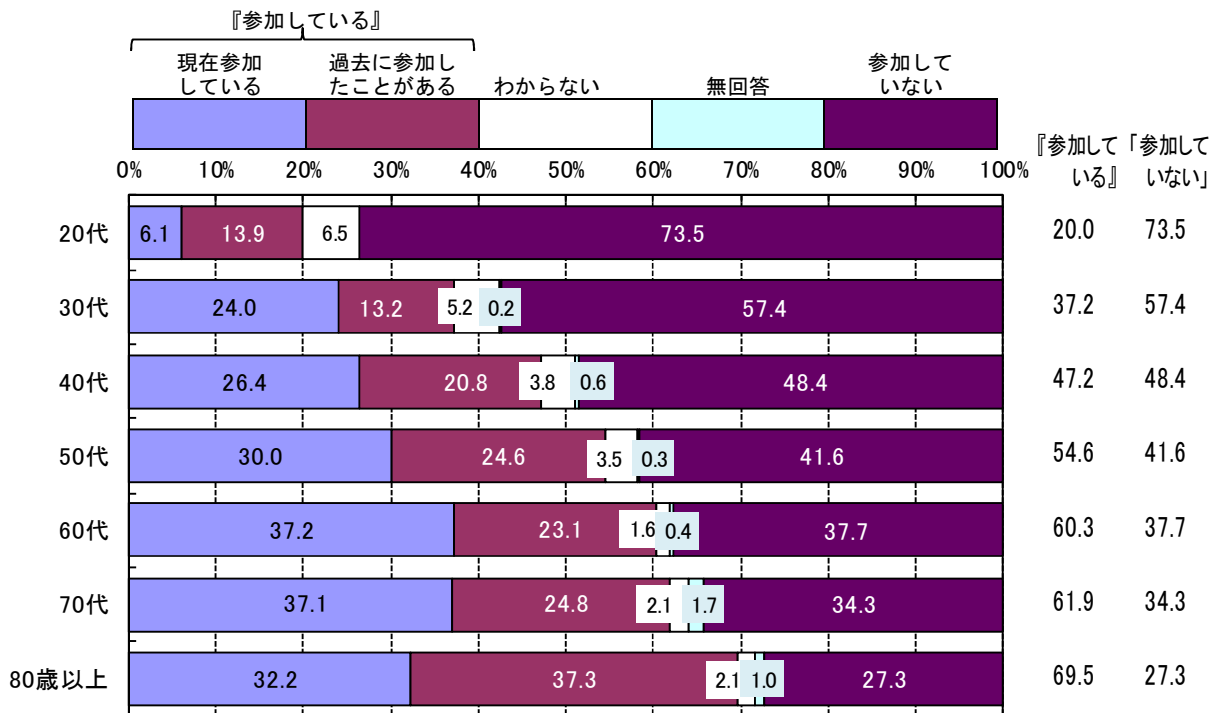
【地域別】

『参加している』は、丹波(79.4%)が最も高く、神戸(37.6%)と阪神南(43.6%)以外は全県(52.8%)を越えている。



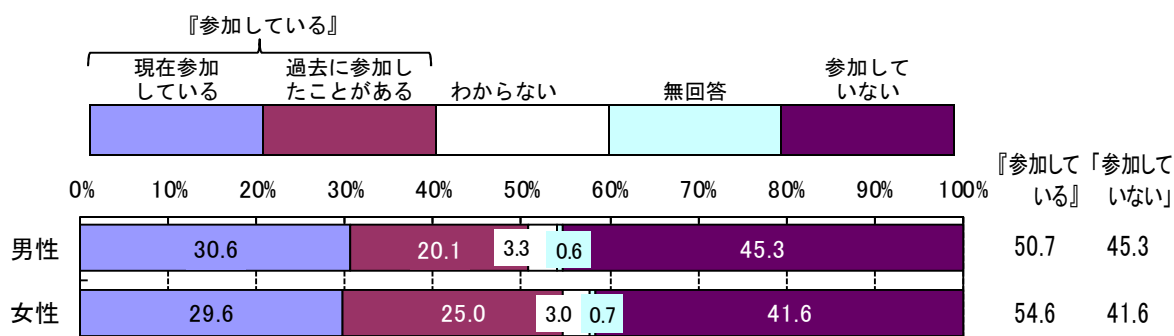
【年代別】

『参加している』は80歳以上が最も高い(69.5%)。



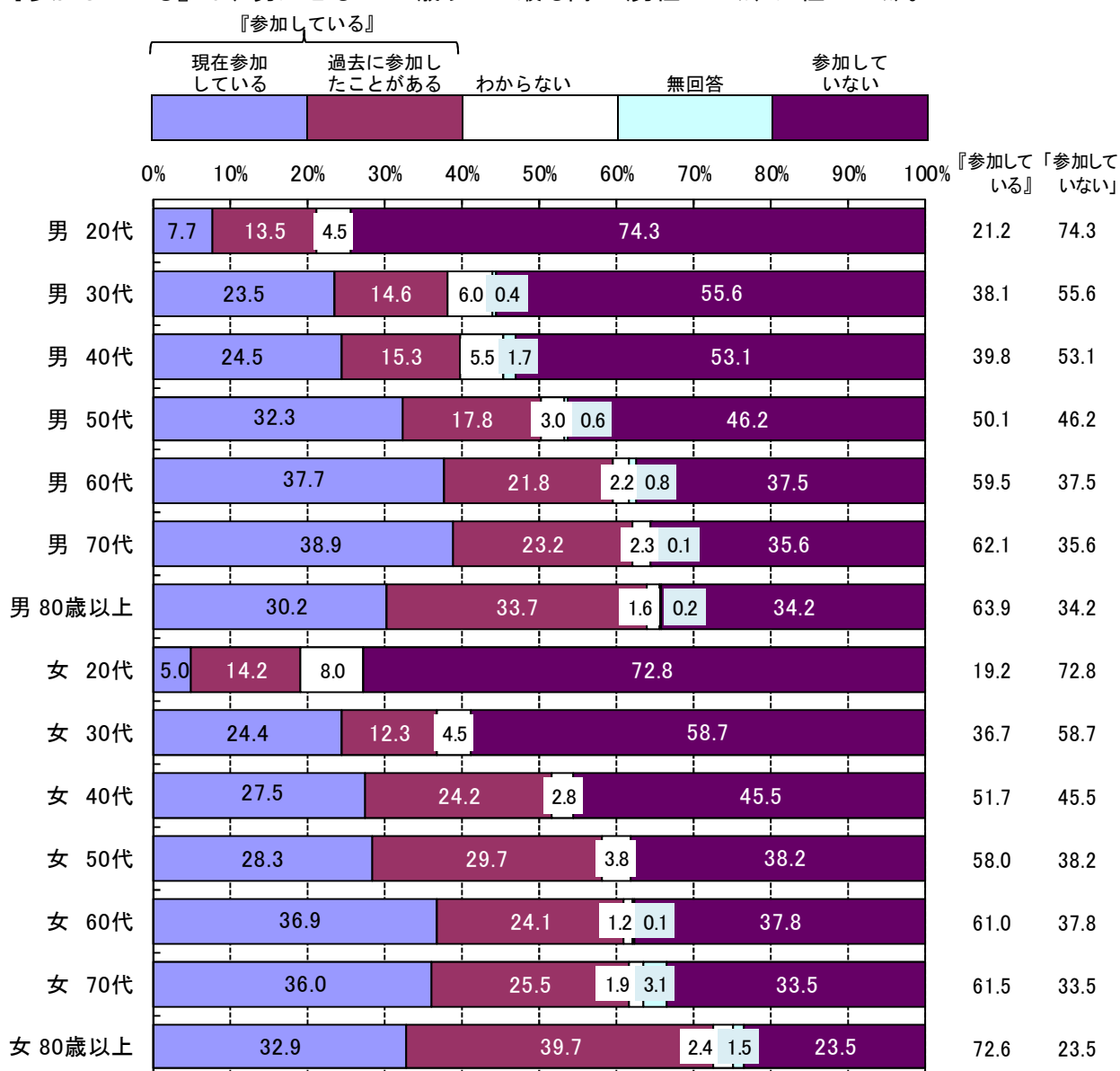
【性別】

『参加している』は、女性の方が男性より3.9ポイント高い。



【性・年代別】

『参加している』は、男女ともに80歳以上が最も高い(男性63.9%、女性72.6%)。



問24 県政への関心

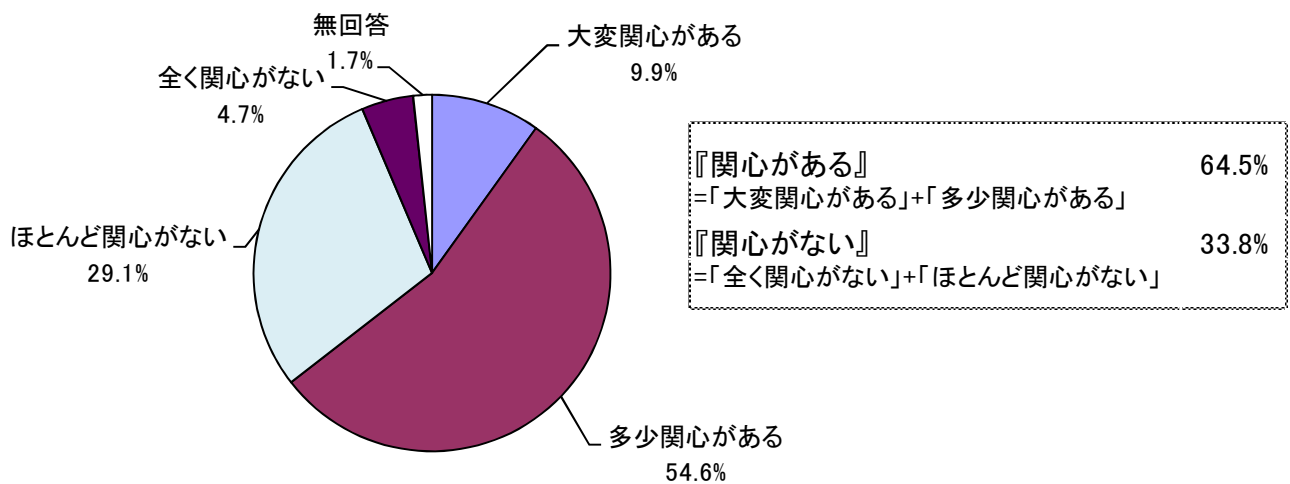
問24

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 大変関心がある | 2 多少関心がある |
| 3 ほとんど関心がない | 4 全く関心がない |

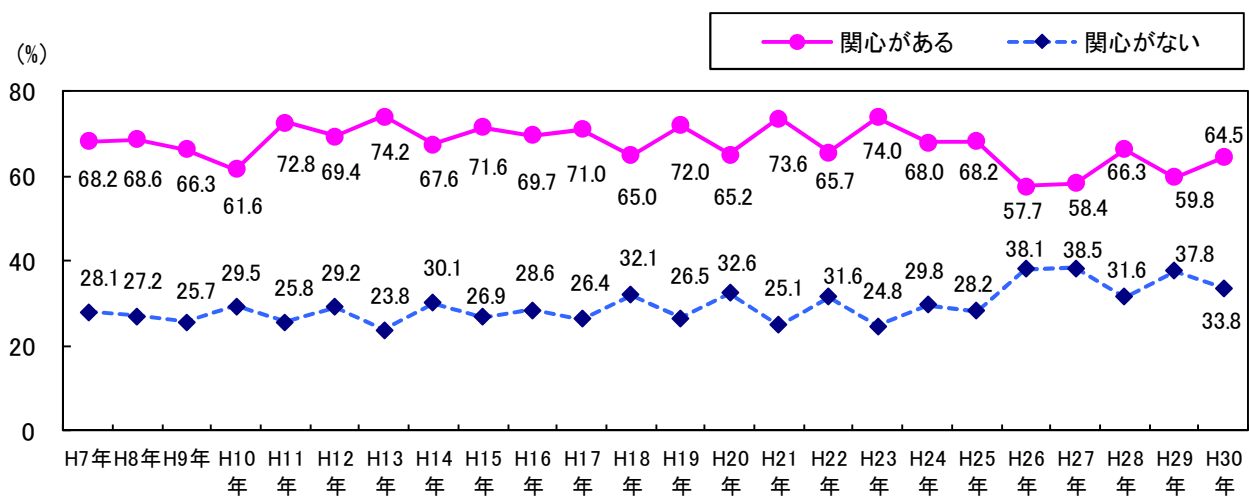
【全県】

「大変関心がある(9.9%)」と「多少関心がある(54.6%)」を合わせた『関心がある』が64.5%で、「全く関心がない(4.7%)」と「ほとんど関心がない(29.1%)」を合わせた『関心がない』は33.8%となった。



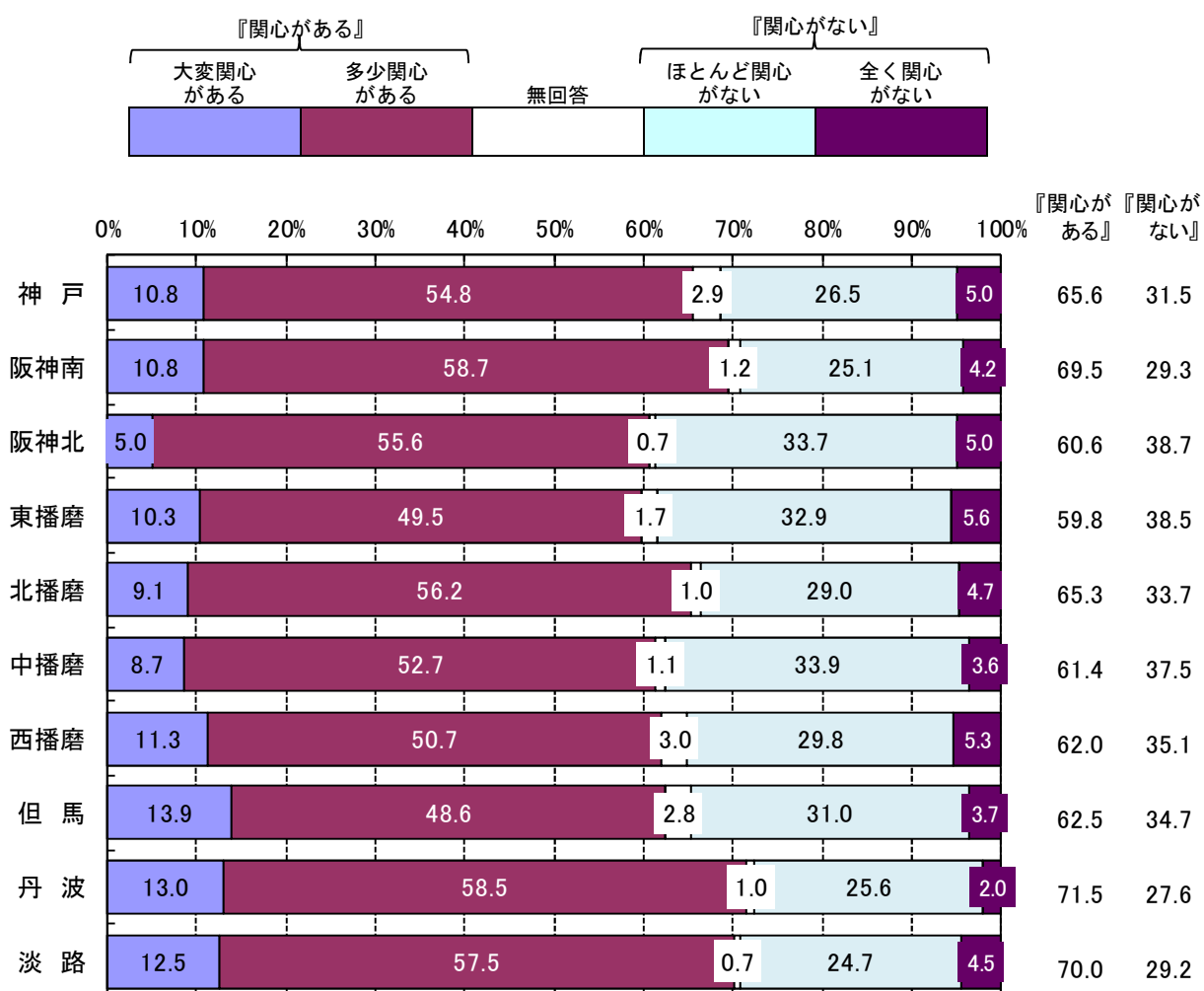
【経年比較】

『関心がある(64.5%)』は前年より4.7ポイント増加し、『関心がない(33.8%)』は前年より4.0ポイント減少している。



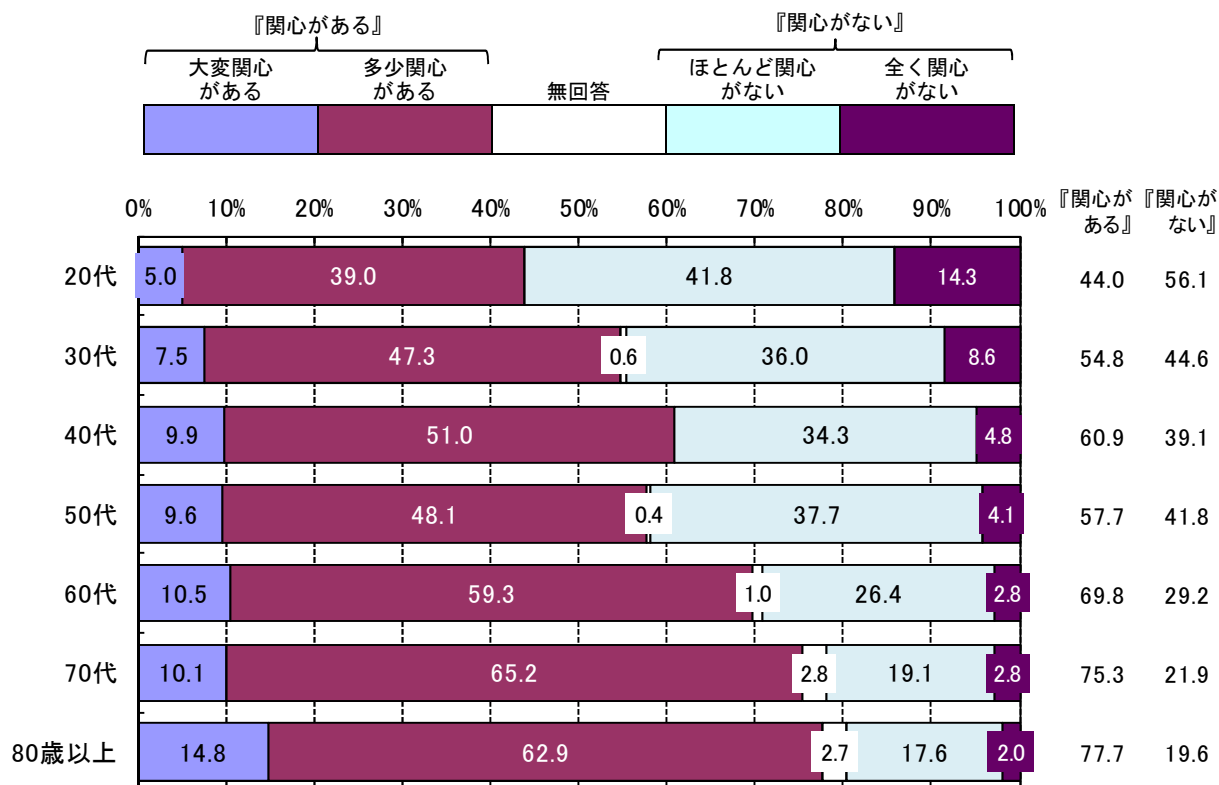
【地域別】

『関心がある』は丹波(71.5%)が最も高く、神戸(65.6%)、阪神南(69.5%)、北播磨(65.3%)、淡路(70.0%)は全県(64.5%)を超えている。



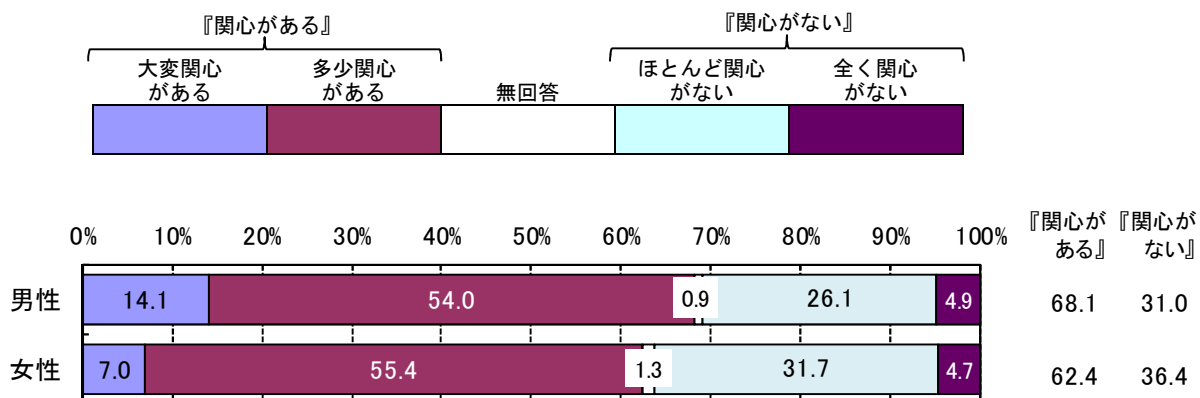
【年代別】

『関心がある』は80歳以上が最も高い(77.7%)。



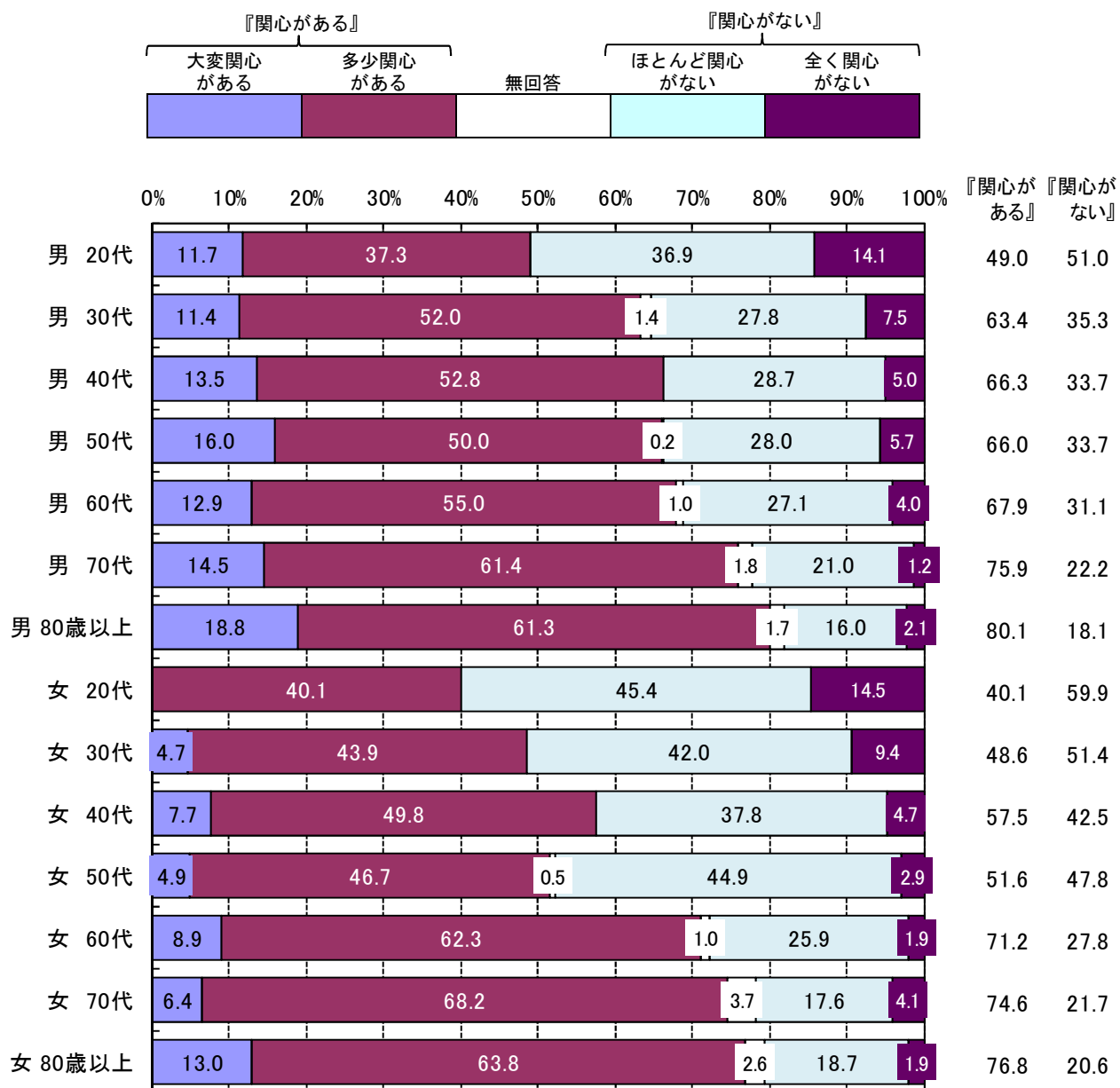
【性別】

『関心がある』は、男性の方が女性より5.7ポイント高い。



【性・年代別】

『関心がある』は、男女ともに80歳以上が最も高い(男性80.1%、女性76.8%)。



問25 県政への評価

問25

県が行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

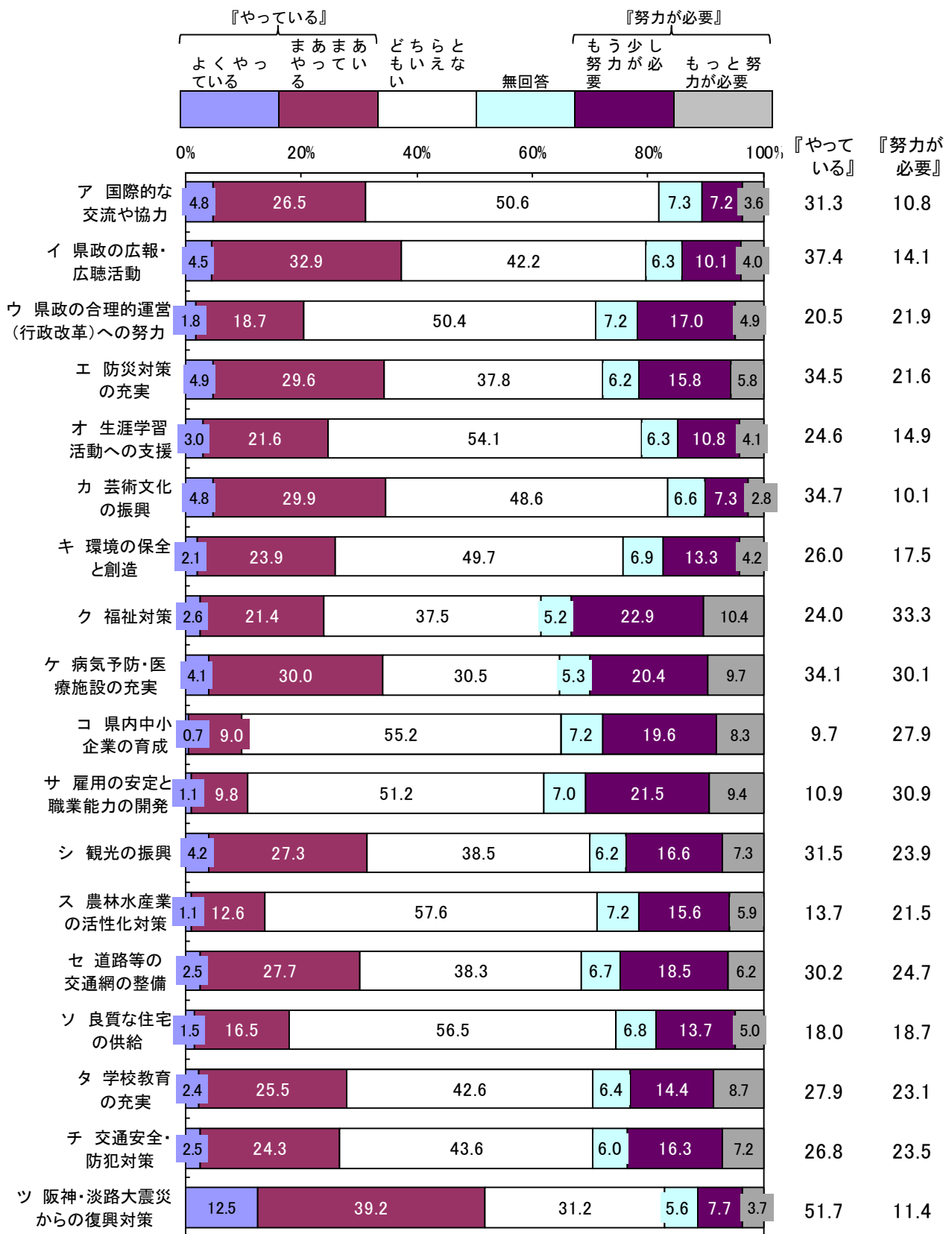
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は「ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(51.7%)」が最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動(37.4%)」、「カ 芸術文化の振興(34.7%)」と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、「ク 福祉対策(33.3%)」が最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発(30.9%)」、「ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実(30.1%)」と続いている。

18項目中、12項目で『やっている』が『努力が必要』を上回った。



【前年度比較】

『やっている』は、〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力(5.2ポイント増)〕、〔イ 県政の広報・広聴活動(4.5ポイント増)〕、〔病気予防や医療施設の充実(1.5ポイント増)〕など、7項目で増加した。

一方、『努力が必要』は〔シ 観光の振興(6.7ポイント増)〕、〔エ 防災対策の充実(4.3ポイント増)〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(3.5ポイント増)〕など、13項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.2
イ 県政の広報・広聴活動	4.5
ケ 病気予防や医療施設の充実	1.5
コ 県内中小企業の育成	1.0
キ 環境の保全と創造	0.4
オ 生涯学習活動への支援	0.3
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
シ 観光の振興	-2.3
チ 交通安全・防犯対策	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-3.7
エ 防災対策の充実	-3.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.3

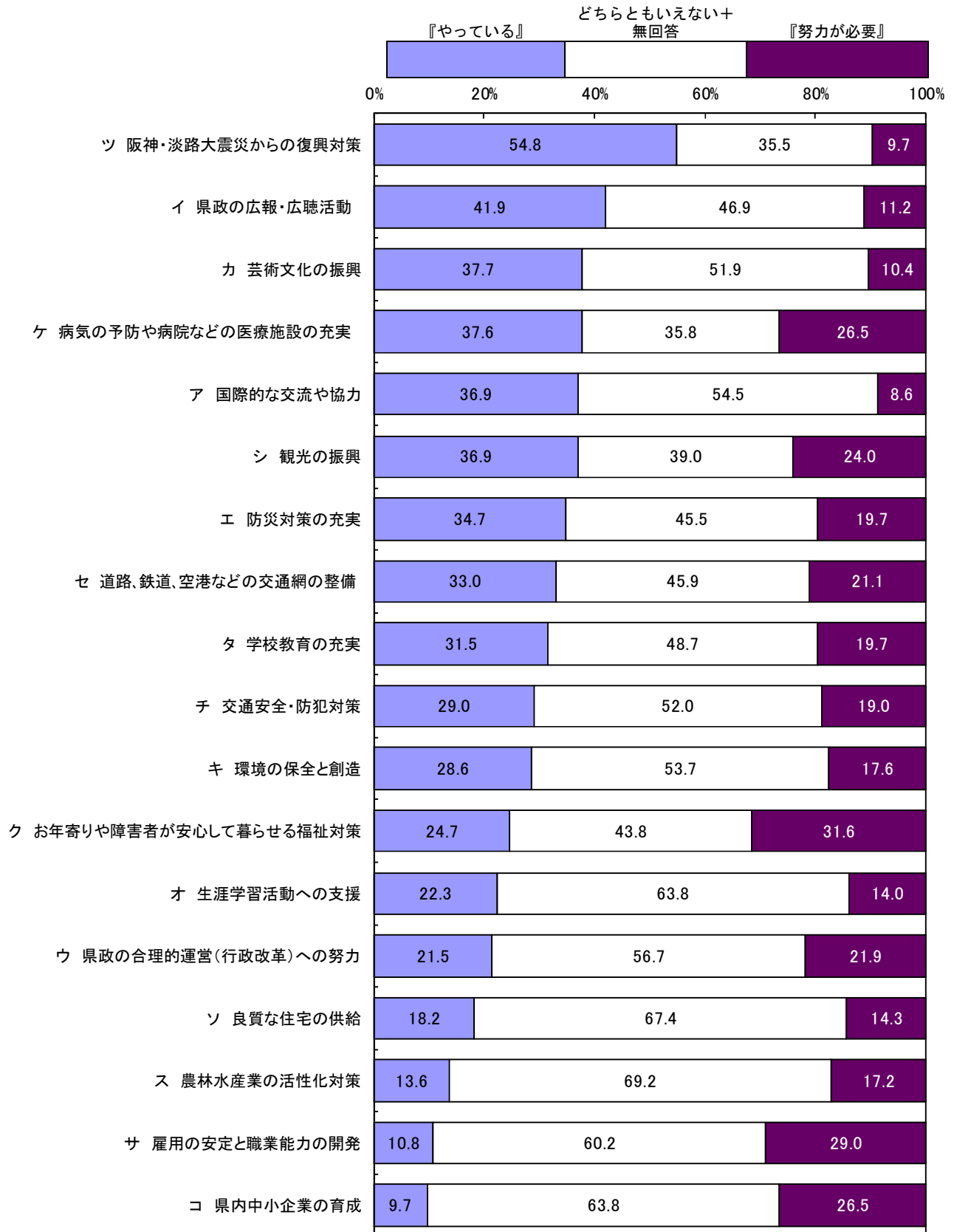
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

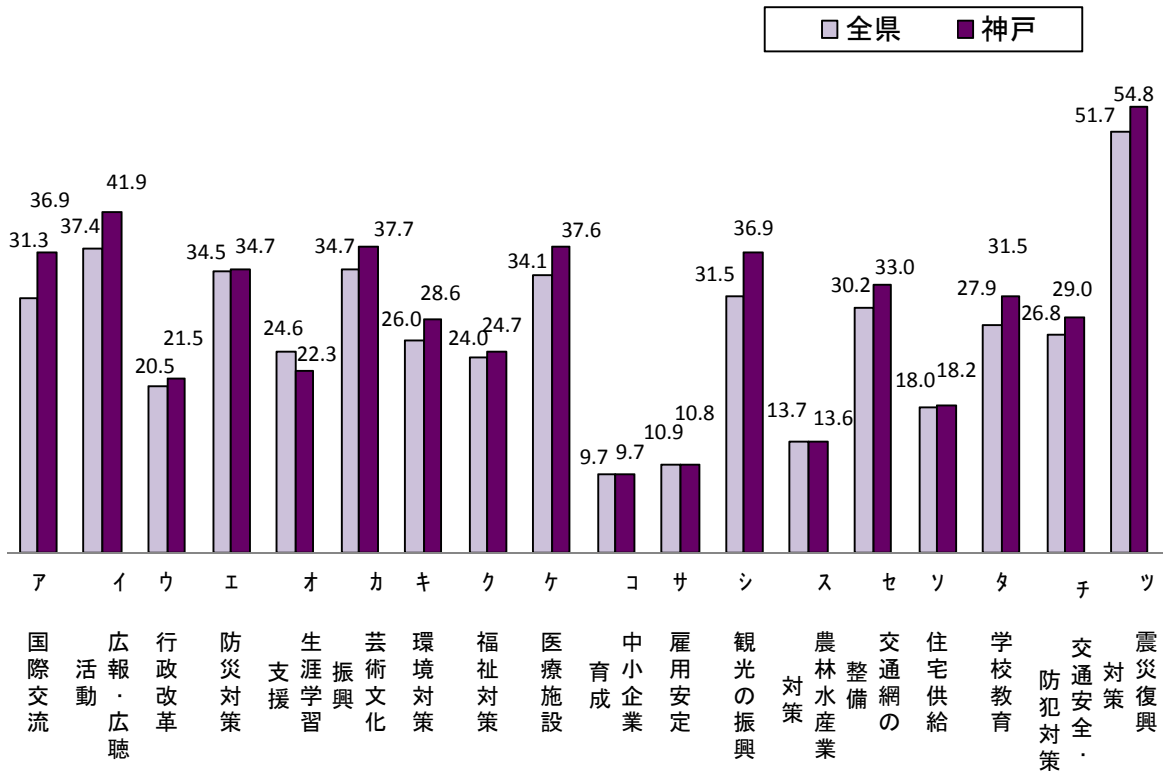
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	6.7
エ 防災対策の充実	4.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.5
チ 交通安全・防犯対策	3.5
ケ 病気予防や医療施設の充実	3.4
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	3.0
タ 学校教育の充実	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.6
キ 環境の保全と創造	2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.0
コ 県内中小企業の育成	1.4
ソ 良質な住宅の供給	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ア 国際的な交流や協力	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4

《神戸地域》

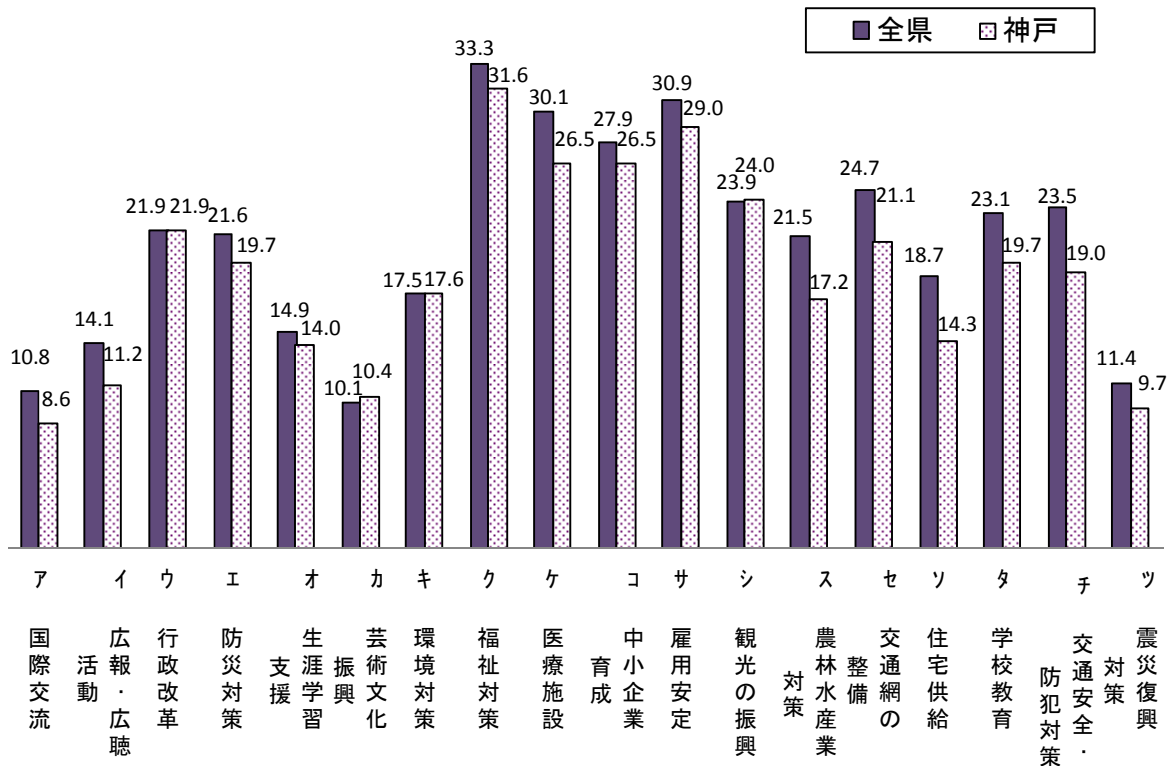
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔イ 県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と神戸】



『努力が必要』【全県と神戸】



全県との比較では、〔ア 国際的な交流や協力〕等の評価が高い。

前年との比較では、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ア 国際的な交流や協力	5.6
シ 観光の振興	5.4
イ 県政の広報・広聴活動	4.5
タ 学校教育の充実	3.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.5
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.1
カ 芸術文化の振興	3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.8
キ 環境の保全と創造	2.6
チ 交通安全・防犯対策	2.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.7
エ 防災対策の充実	0.2
ソ 良質な住宅の供給	0.2
コ 県内中小企業の育成	0.0
ス 農林水産業の活性化対策	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
カ 芸術文化の振興	0.3
キ 環境の保全と創造	0.1
シ 観光の振興	0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.9
コ 県内中小企業の育成	-1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.9
エ 防災対策の充実	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-2.9
タ 学校教育の充実	-3.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.6
ス 農林水産業の活性化対策	-4.3
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
チ 交通安全・防犯対策	-4.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

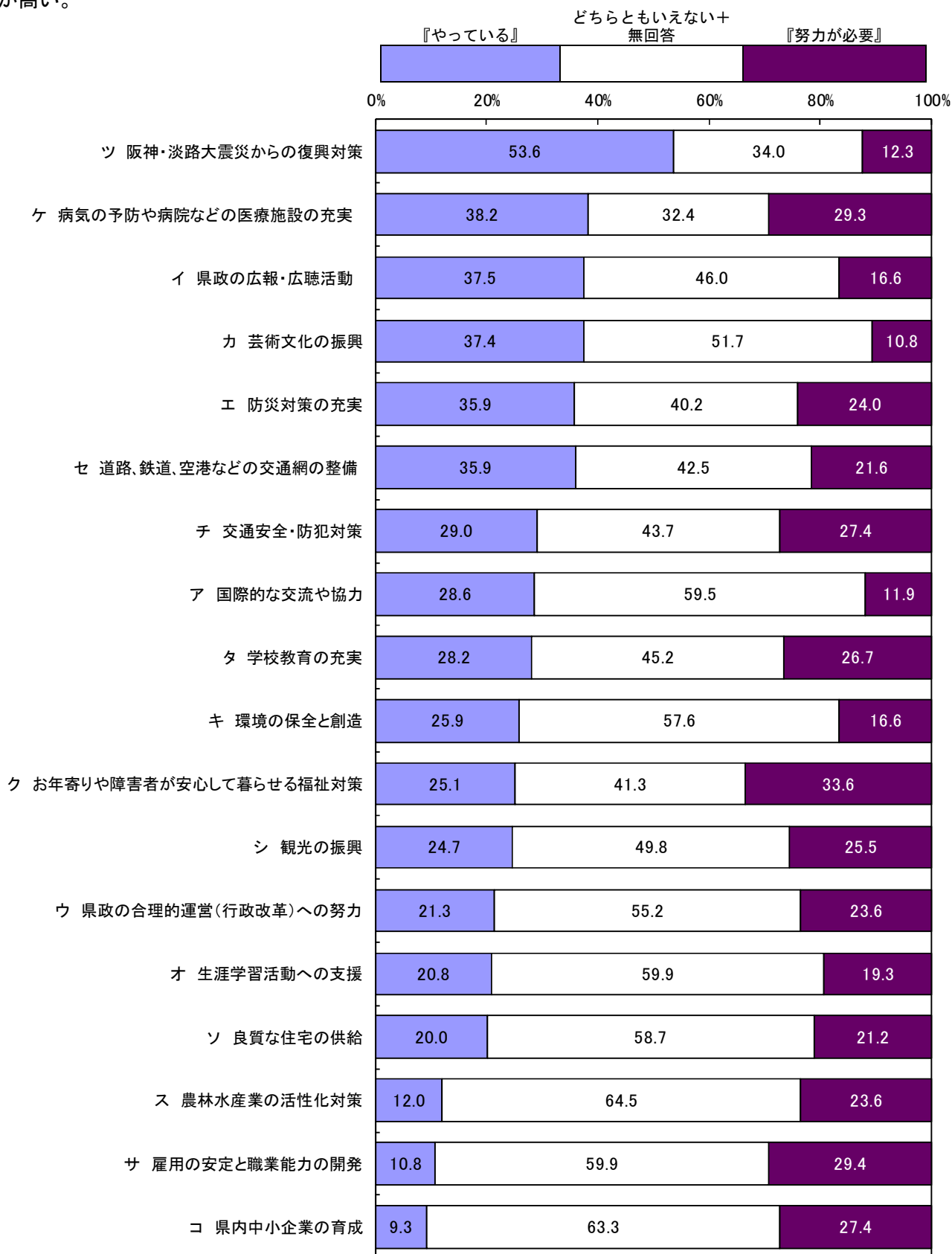
『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	7.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
タ 学校教育の充実	1.9
コ 県内中小企業の育成	0.8
キ 環境の保全と創造	0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.4
カ 芸術文化の振興	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-1.2
チ 交通安全・防犯対策	-2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
ス 農林水産業の活性化対策	-3.1
ソ 良質な住宅の供給	-3.2
シ 観光の振興	-3.2
エ 防災対策の充実	-6.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

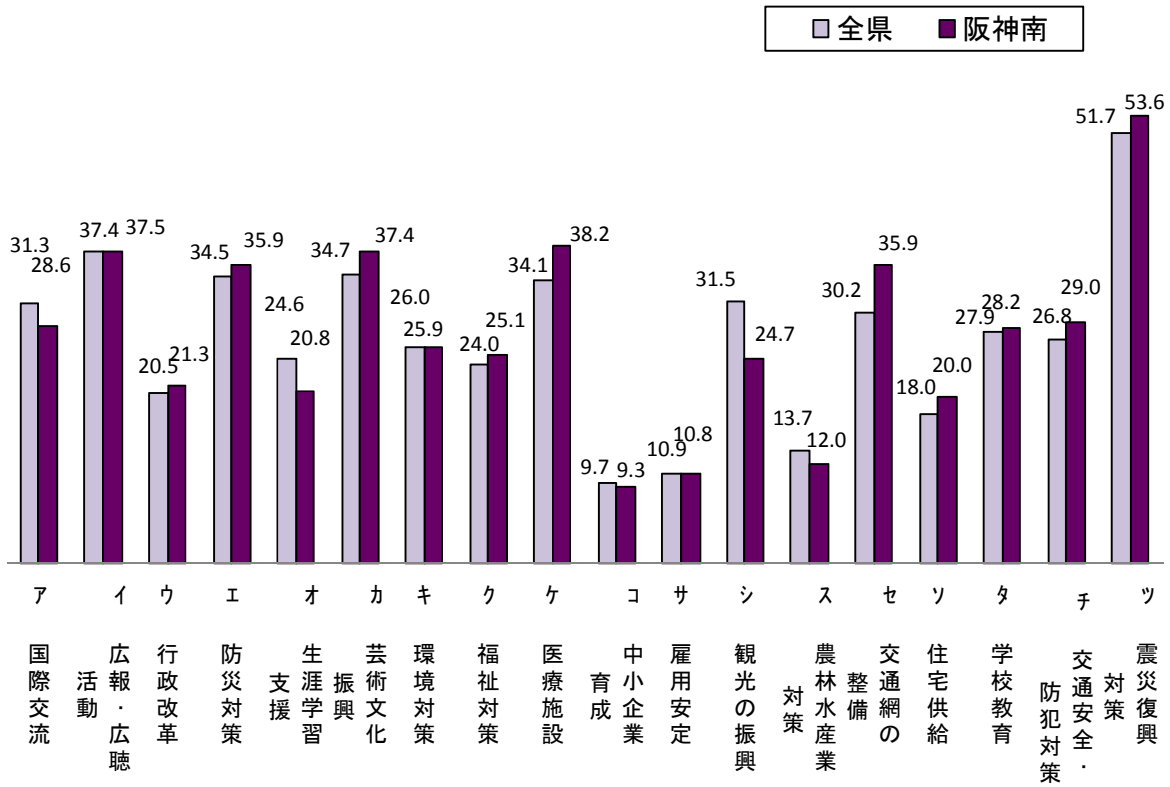
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	6.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.1
キ 環境の保全と創造	1.2
エ 防災対策の充実	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2
コ 県内中小企業の育成	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
タ 学校教育の充実	-2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.7
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-5.4
ス 農林水産業の活性化対策	-5.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.3

《阪神南地域》

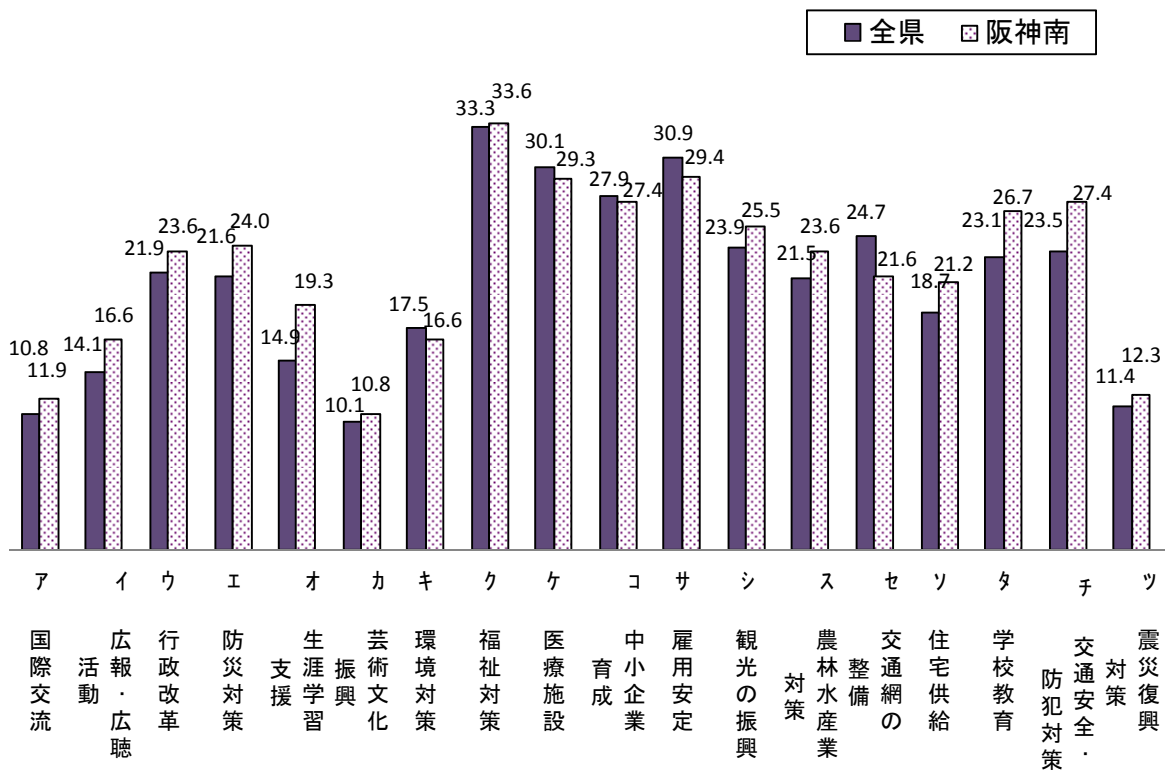
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神南】



『努力が必要』【全県と阪神南】



全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔オ 生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力〕等の評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.1
カ 芸術文化の振興	2.7
チ 交通安全・防犯対策	2.2
ソ 良質な住宅の供給	2.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.9
エ 防災対策の充実	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
タ 学校教育の充実	0.3
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
キ 環境の保全と創造	-0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-1.7
ア 国際的な交流や協力	-2.7
オ 生涯学習活動への支援	-3.8
シ 観光の振興	-6.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	4.4
チ 交通安全・防犯対策	3.9
タ 学校教育の充実	3.6
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
ソ 良質な住宅の供給	2.5
エ 防災対策の充実	2.4
ス 農林水産業の活性化対策	2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.7
シ 観光の振興	1.6
ア 国際的な交流や協力	1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.9
カ 芸術文化の振興	0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.8
キ 環境の保全と創造	-0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

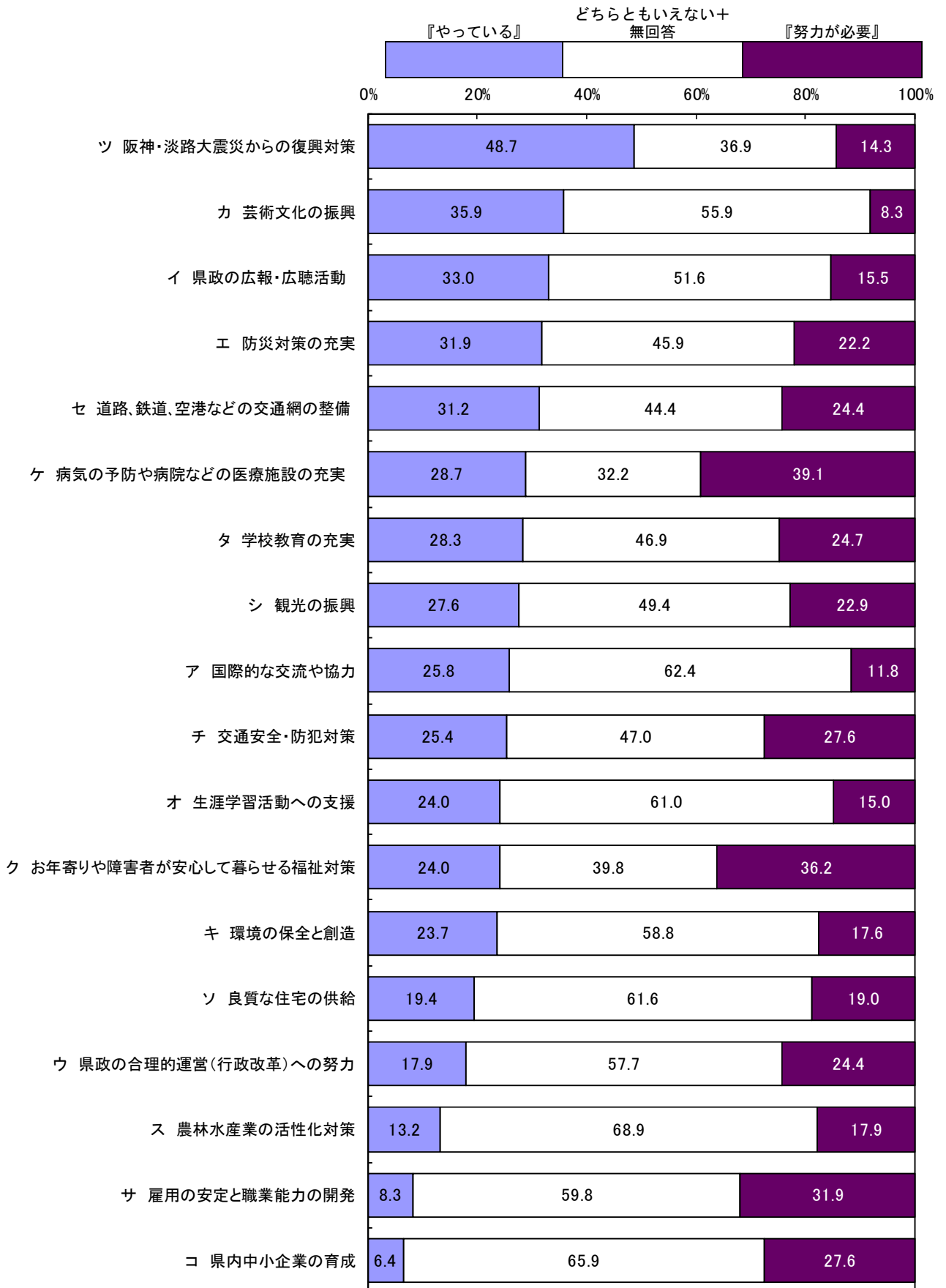
『やっている』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	11.0
イ 県政の広報・広聴活動	8.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
チ 交通安全・防犯対策	-0.7
カ 芸術文化の振興	-0.9
キ 環境の保全と創造	-0.9
ソ 良質な住宅の供給	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-2.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.7
エ 防災対策の充実	-3.4
シ 観光の振興	-5.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

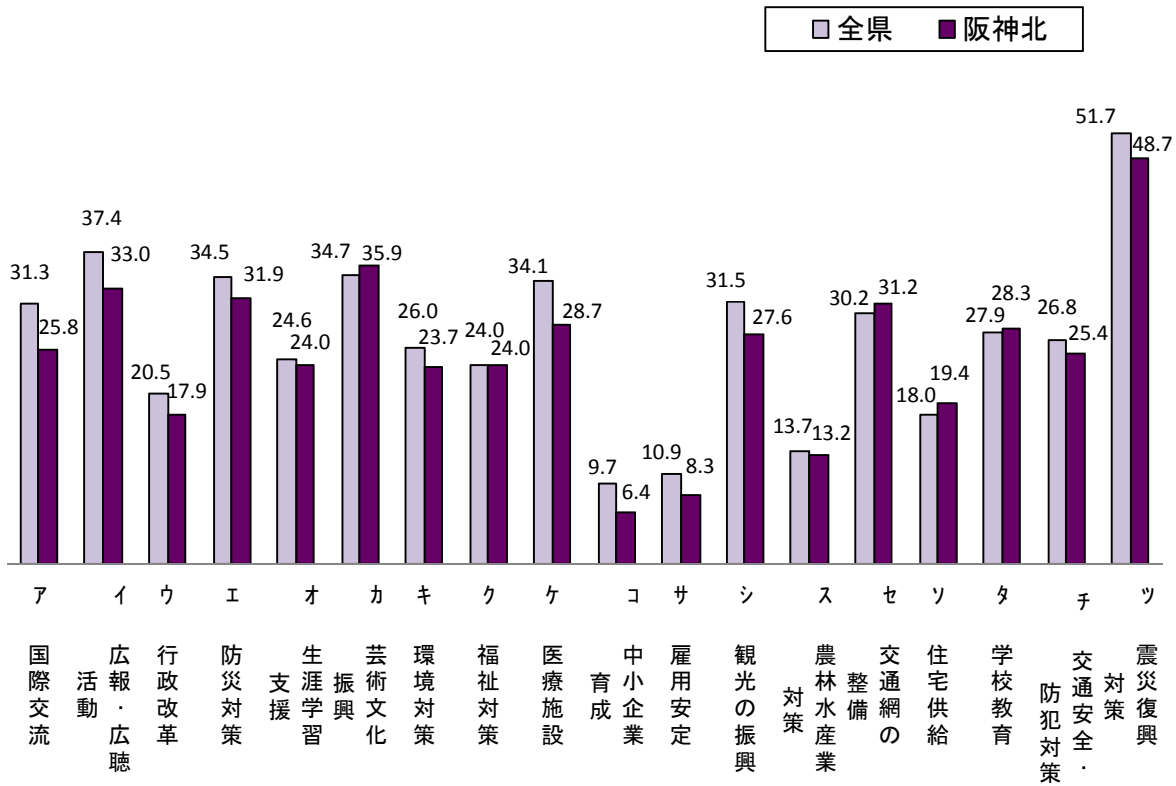
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	9.1
エ 防災対策の充実	7.9
チ 交通安全・防犯対策	7.4
タ 学校教育の充実	6.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.1
ソ 良質な住宅の供給	3.7
コ 県内中小企業の育成	3.5
オ 生涯学習活動への支援	2.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.2
ス 農林水産業の活性化対策	1.8
キ 環境の保全と創造	-0.2
カ 芸術文化の振興	-1.0
ア 国際的な交流や協力	-2.7
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.5

《阪神北地域》

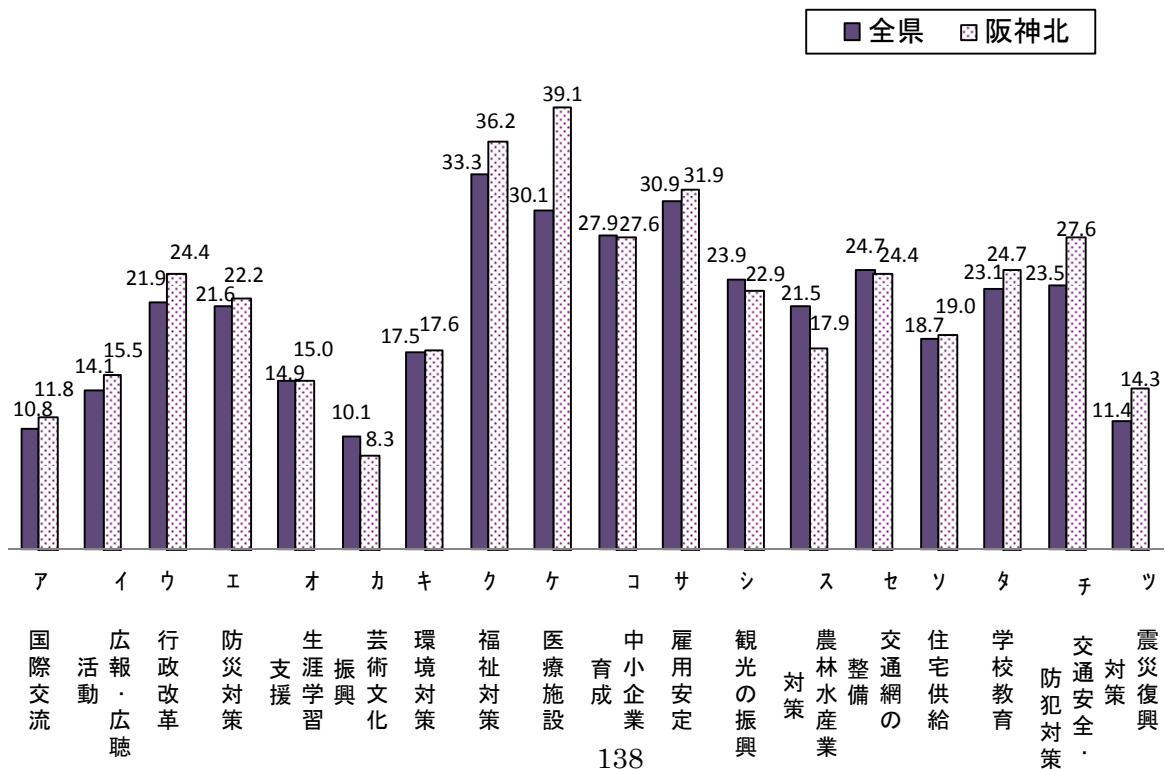
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔カ 芸術文化の振興〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神北】



『努力が必要』【全県と阪神北】



全県との比較では、〔ソ 良質な住宅の供給〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ケ 病気の予防や病院など医療施設の充実〕で『やっている』が4.1ポイント増となっているのに対し、『努力が必要』でも〔ケ 病気の予防や病院など医療施設の充実〕が10.9ポイント増となっている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ソ 良質な住宅の供給	1.4
カ 芸術文化の振興	1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.0
タ 学校教育の充実	0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.0
ス 農林水産業の活性化対策	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
キ 環境の保全と創造	-2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.6
エ 防災対策の充実	-2.6
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.0
コ 県内中小企業の育成	-3.3
シ 観光の振興	-3.9
イ 県政の広報・広聴活動	-4.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.4
ア 国際的な交流や協力	-5.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	9.0
チ 交通安全・防犯対策	4.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.9
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.5
タ 学校教育の充実	1.6
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
ア 国際的な交流や協力	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.0
エ 防災対策の充実	0.6
ソ 良質な住宅の供給	0.3
キ 環境の保全と創造	0.1
オ 生涯学習活動への支援	0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.3
シ 観光の振興	-1.0
カ 芸術文化の振興	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-3.6

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

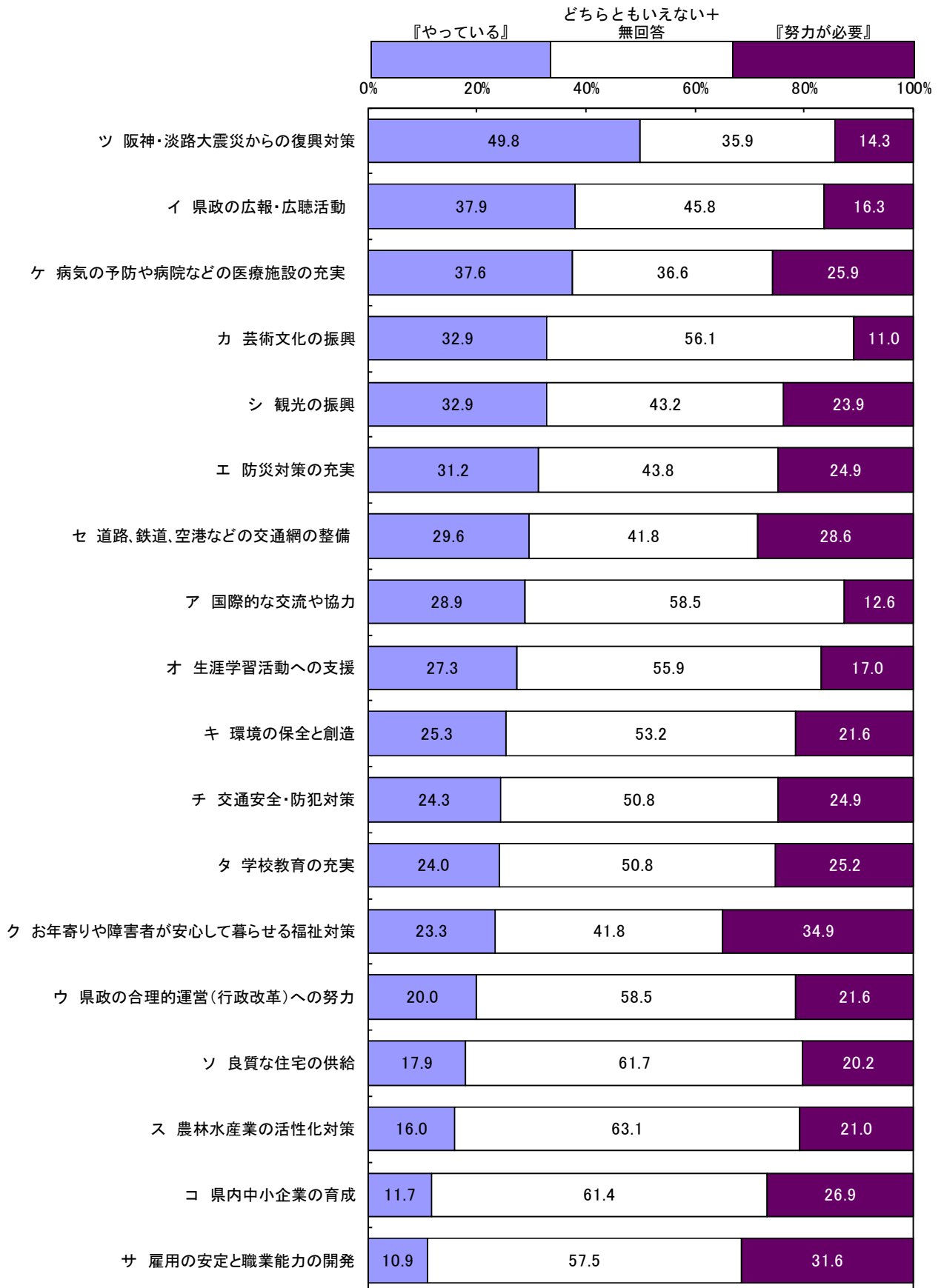
『やっている』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.6
オ 生涯学習活動への支援	1.5
カ 芸術文化の振興	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
タ 学校教育の充実	1.1
コ 県内中小企業の育成	0.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.1
シ 観光の振興	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
キ 環境の保全と創造	-2.0
エ 防災対策の充実	-4.6
ソ 良質な住宅の供給	-5.2
チ 交通安全・防犯対策	-5.6
ア 国際的な交流や協力	-6.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-8.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

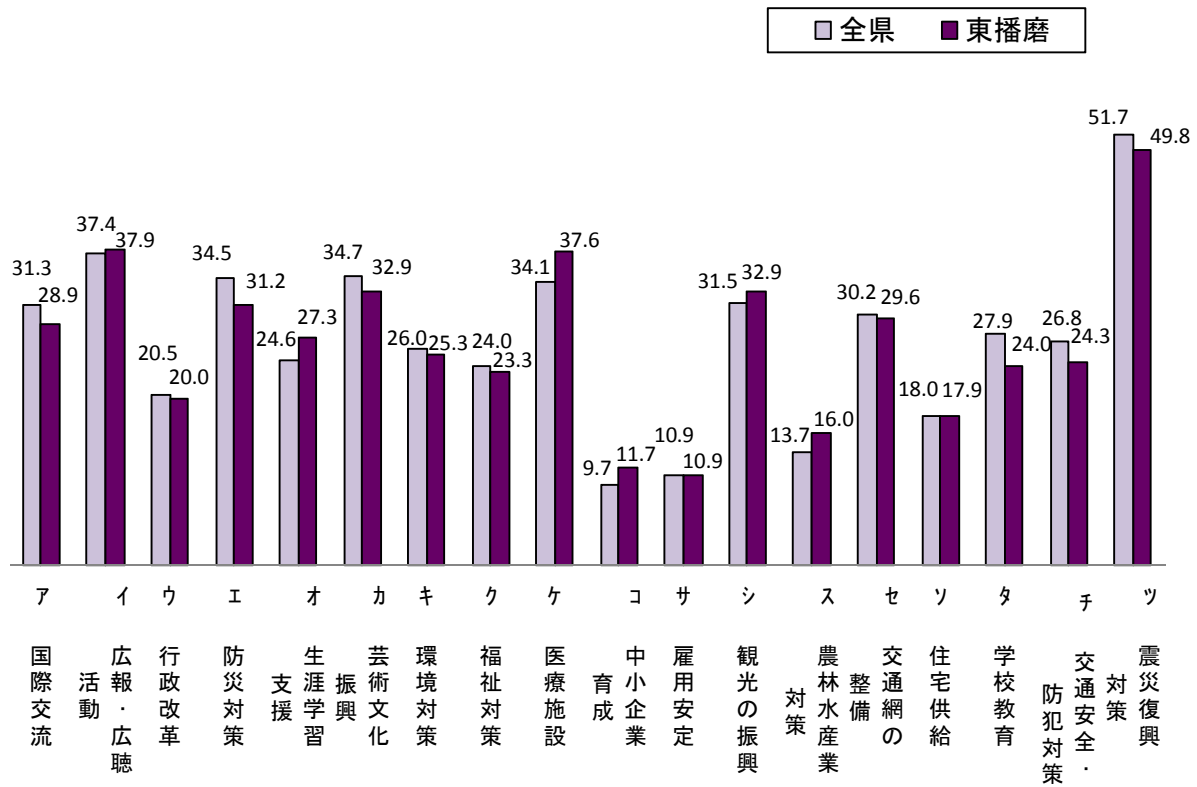
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	10.9
チ 交通安全・防犯対策	10.1
エ 防災対策の充実	9.3
コ 県内中小企業の育成	7.2
タ 学校教育の充実	7.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.1
イ 県政の広報・広聴活動	3.8
キ 環境の保全と創造	3.6
ソ 良質な住宅の供給	2.6
シ 観光の振興	2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.2
ア 国際的な交流や協力	1.1
オ 生涯学習活動への支援	1.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.7

《東播磨地域》

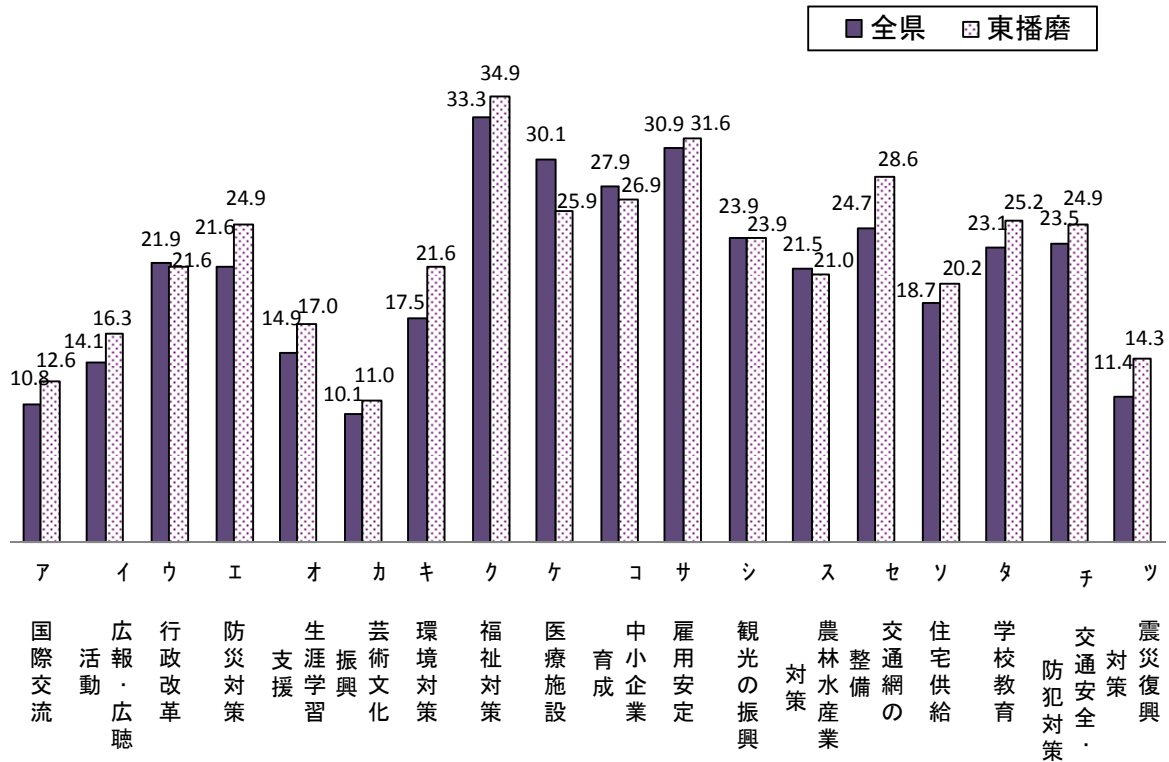
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔イ 県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と東播磨】



『努力が必要』【全県と東播磨】



全県との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で評価が高く、〔キ 環境の保全と創造〕で努力が求められている。

前年との比較では、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.5
オ 生涯学習活動への支援	2.7
ス 農林水産業の活性化対策	2.3
コ 県内中小企業の育成	2.0
シ 観光の振興	1.4
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.6
キ 環境の保全と創造	-0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.5
エ 防災対策の充実	-3.3
タ 学校教育の充実	-3.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
キ 環境の保全と創造	4.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.9
エ 防災対策の充実	3.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.9
イ 県政の広報・広聴活動	2.2
タ 学校教育の充実	2.1
オ 生涯学習活動への支援	2.1
ア 国際的な交流や協力	1.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.6
ソ 良質な住宅の供給	1.5
チ 交通安全・防犯対策	1.4
カ 芸術文化の振興	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
シ 観光の振興	0.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.3
ス 農林水産業の活性化対策	-0.5
コ 県内中小企業の育成	-1.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

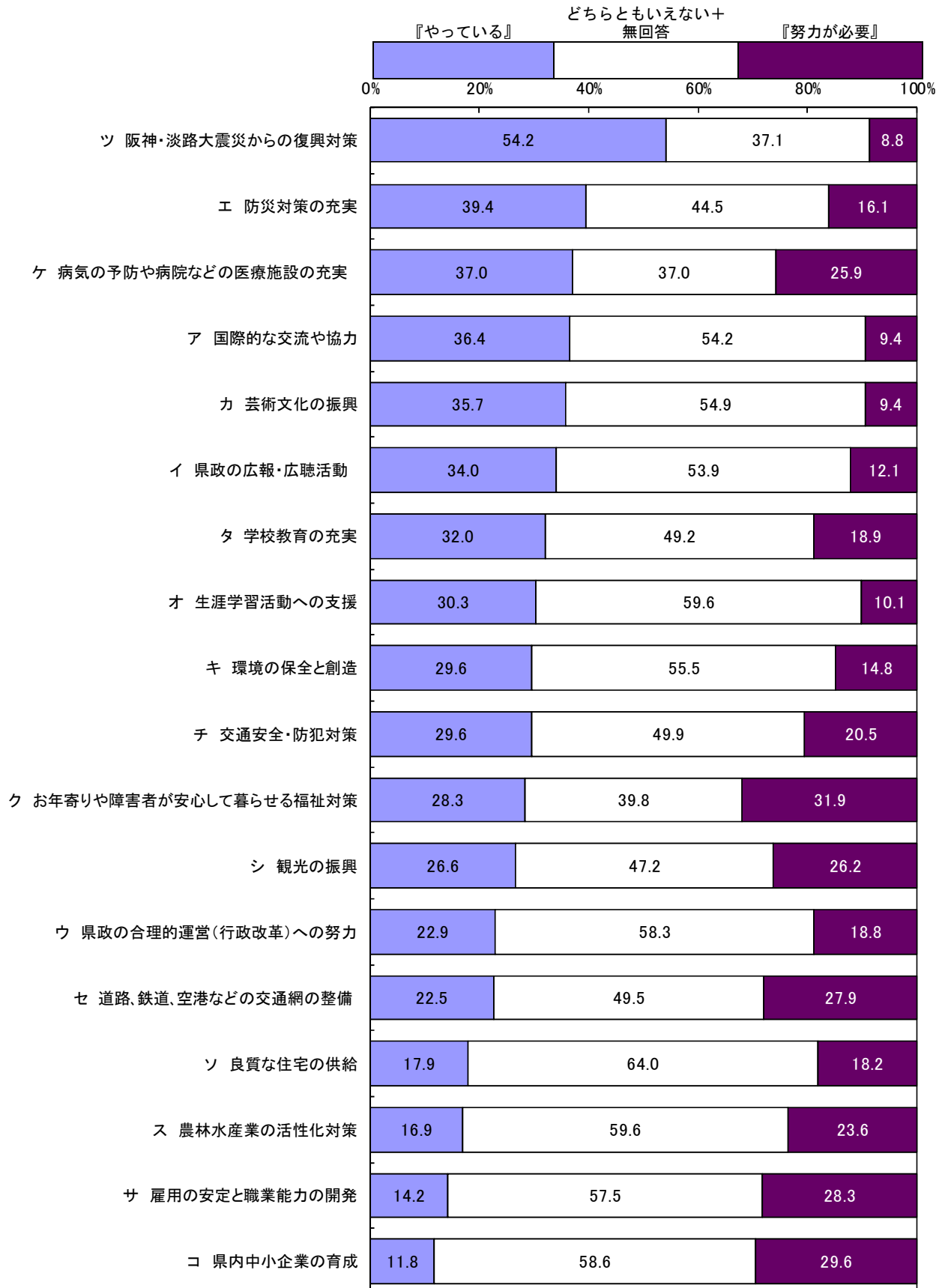
『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	6.4
カ 芸術文化の振興	5.7
キ 環境の保全と創造	5.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.3
シ 観光の振興	5.0
コ 県内中小企業の育成	4.7
オ 生涯学習活動への支援	4.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.0
エ 防災対策の充実	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
ソ 良質な住宅の供給	0.5
チ 交通安全・防犯対策	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.0
タ 学校教育の充実	-4.3
ア 国際的な交流や協力	-7.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

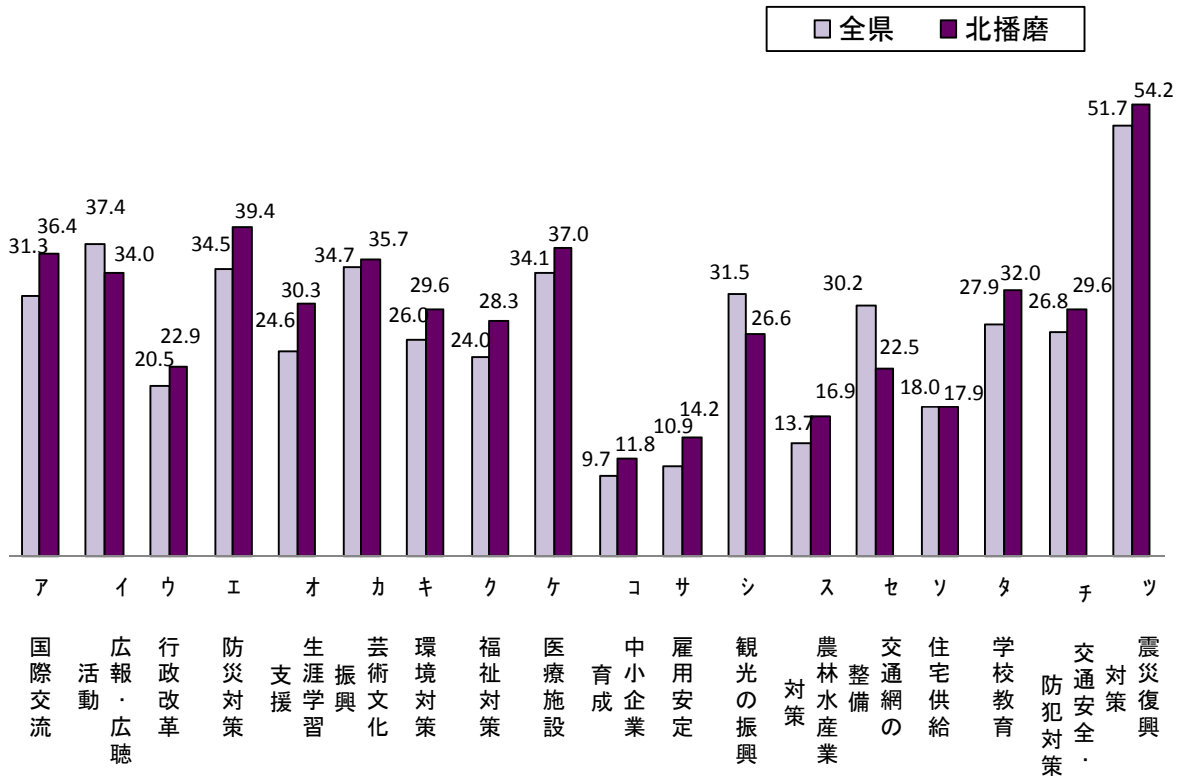
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.1
キ 環境の保全と創造	9.1
シ 観光の振興	8.6
エ 防災対策の充実	6.8
タ 学校教育の充実	6.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.6
オ 生涯学習活動への支援	4.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.4
ソ 良質な住宅の供給	4.1
ア 国際的な交流や協力	3.9
チ 交通安全・防犯対策	3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.8
コ 県内中小企業の育成	2.1
ス 農林水産業の活性化対策	1.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	0.2
カ 芸術文化の振興	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.8

《北播磨地域》

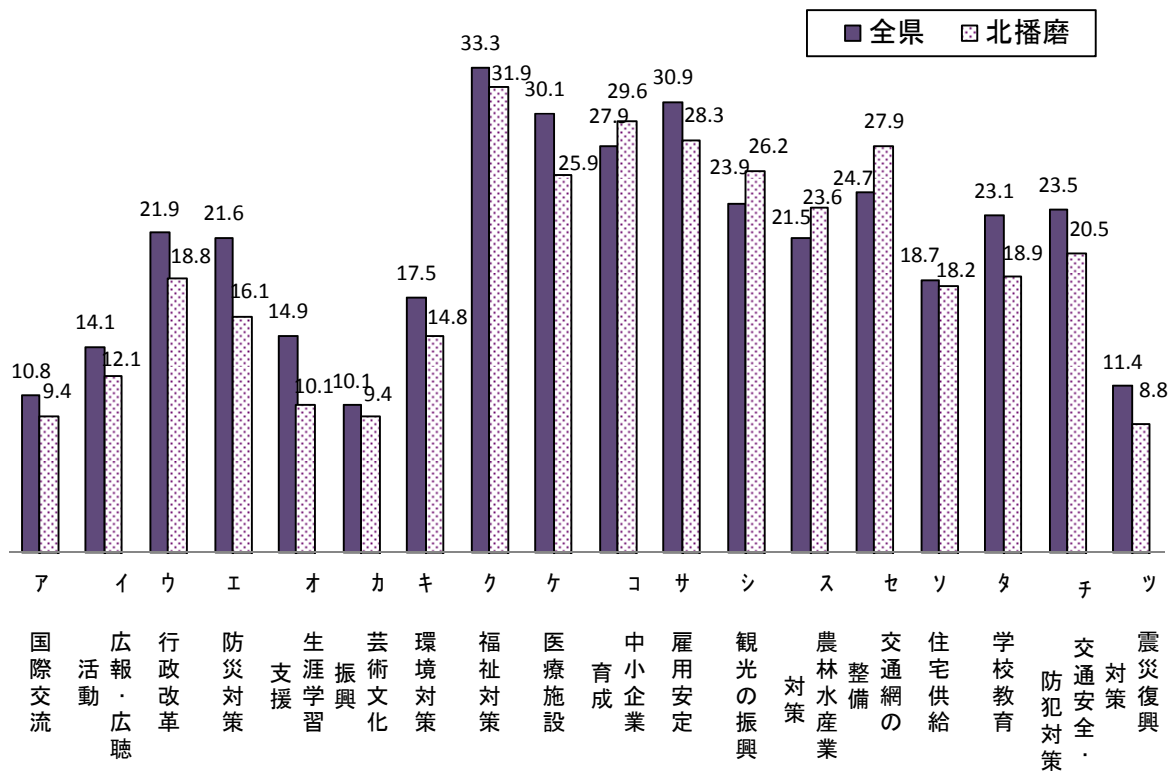
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と北播磨】



『努力が必要』【全県と北播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.7
ア 国際的な交流や協力	5.1
エ 防災対策の充実	4.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.3
タ 学校教育の充実	4.1
キ 環境の保全と創造	3.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.3
ス 農林水産業の活性化対策	3.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.9
チ 交通安全・防犯対策	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.4
コ 県内中小企業の育成	2.1
カ 芸術文化の振興	1.0
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
シ 観光の振興	-4.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.2
シ 観光の振興	2.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.1
コ 県内中小企業の育成	1.7
ソ 良質な住宅の供給	-0.5
カ 芸術文化の振興	-0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
キ 環境の保全と創造	-2.7
チ 交通安全・防犯対策	-3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.2
タ 学校教育の充実	-4.2
オ 生涯学習活動への支援	-4.8
エ 防災対策の充実	-5.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

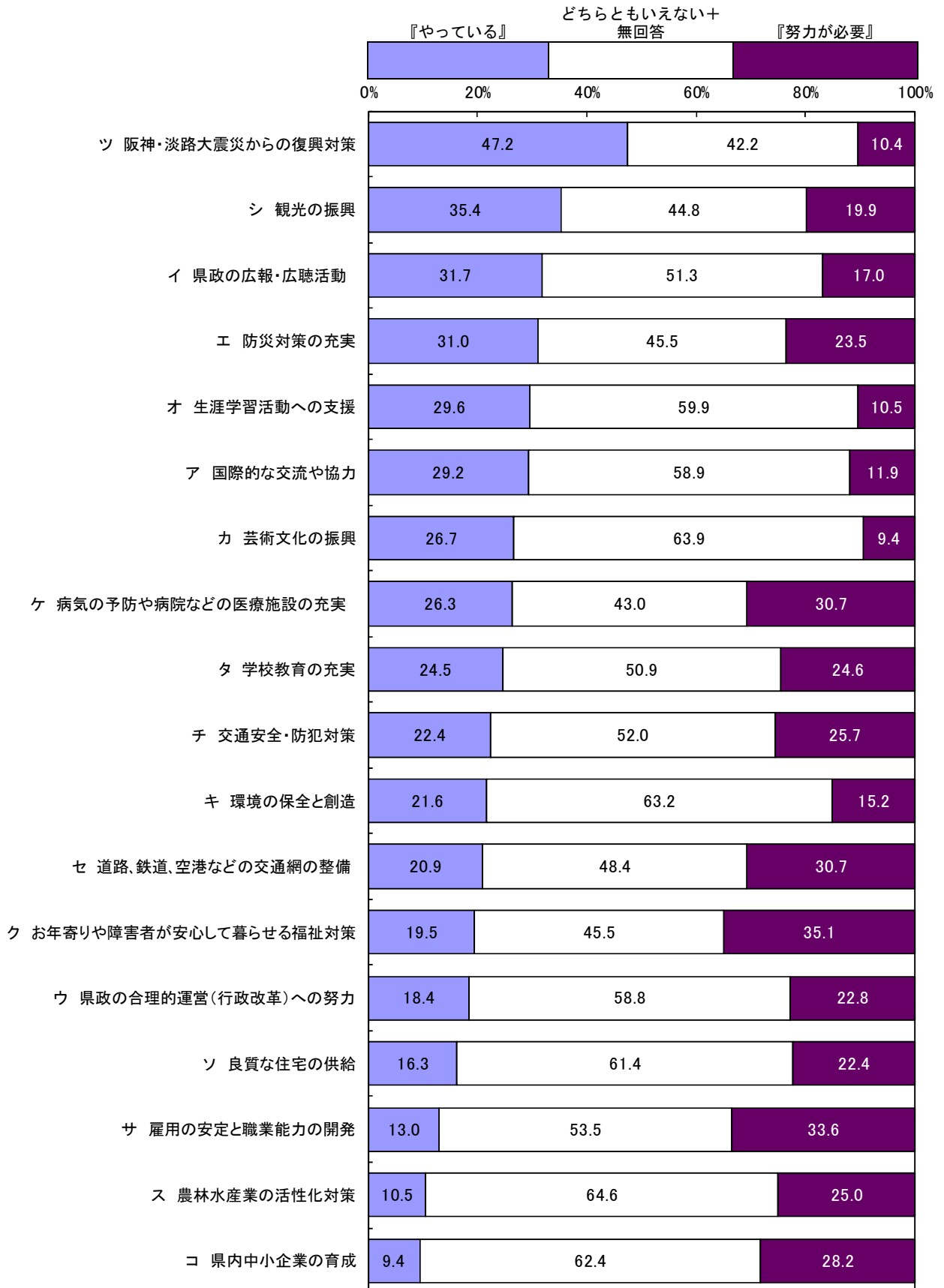
『やっている』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.6
ス 農林水産業の活性化対策	4.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.7
キ 環境の保全と創造	3.1
タ 学校教育の充実	2.9
オ 生涯学習活動への支援	2.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.4
チ 交通安全・防犯対策	2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.9
ソ 良質な住宅の供給	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.1
コ 県内中小企業の育成	1.0
シ 観光の振興	-1.2
ア 国際的な交流や協力	-1.5
カ 芸術文化の振興	-1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.4
エ 防災対策の充実	-8.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

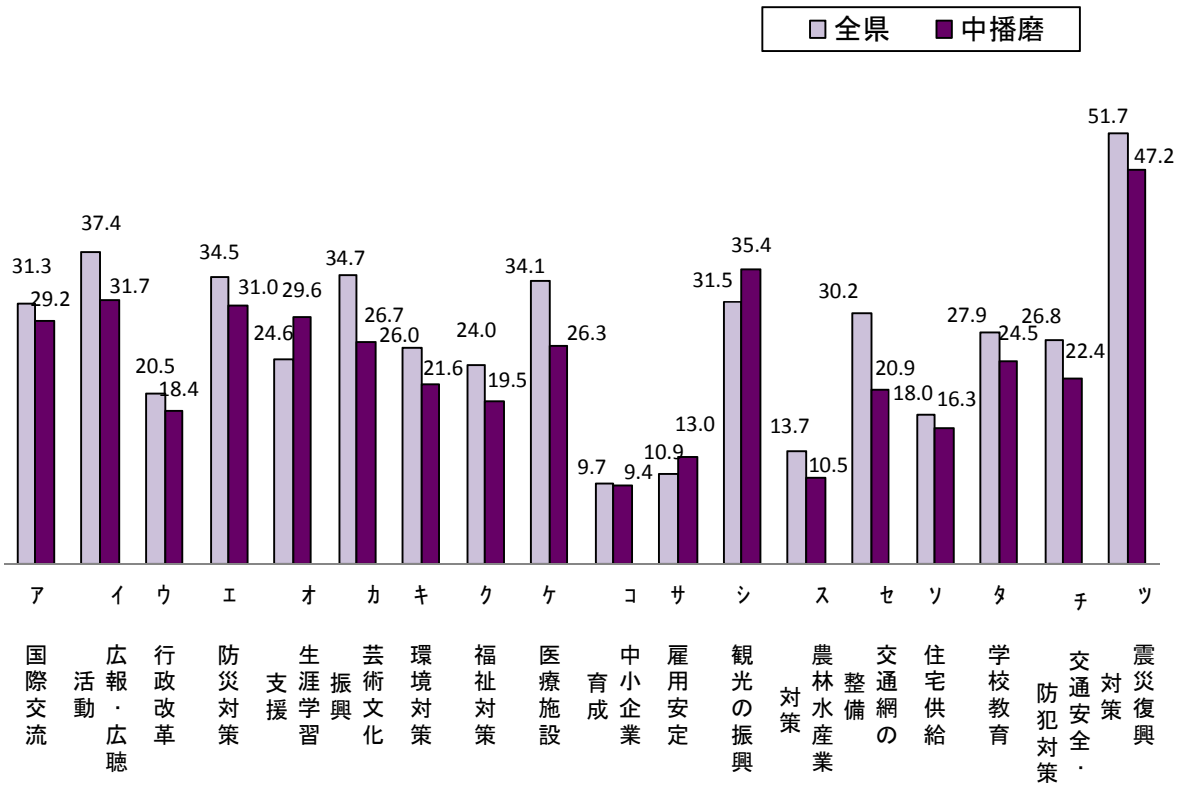
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	10.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.4
キ 環境の保全と創造	4.7
カ 芸術文化の振興	3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.8
ソ 良質な住宅の供給	1.9
タ 学校教育の充実	1.9
チ 交通安全・防犯対策	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.9
エ 防災対策の充実	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.5

《中播磨地域》

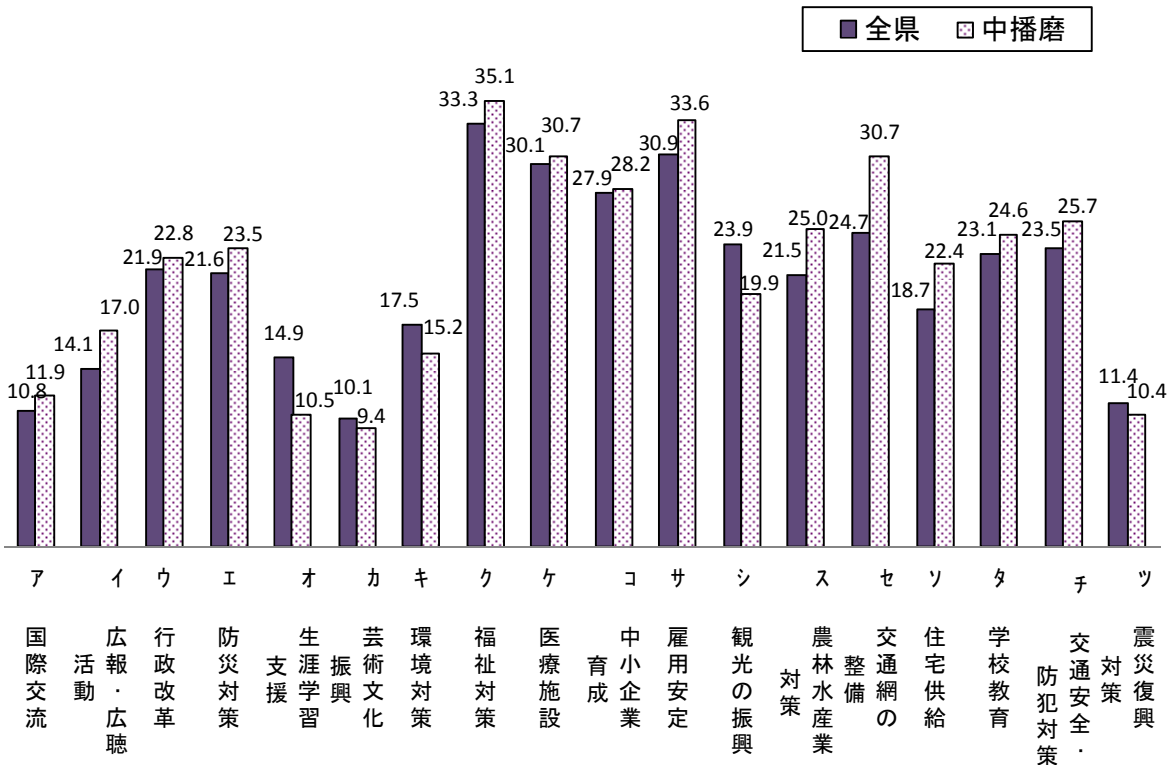
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔シ 観光の振興〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と中播磨】



『努力が必要』【全県と中播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通者整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.0
シ 観光の振興	3.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
コ 県内中小企業の育成	-0.3
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
ア 国際的な交流や協力	-2.1
ス 農林水産業の活性化対策	-3.2
タ 学校教育の充実	-3.4
エ 防災対策の充実	-3.5
チ 交通安全・防犯対策	-4.4
キ 環境の保全と創造	-4.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.5
イ 県政の広報・広聴活動	-5.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.8
カ 芸術文化の振興	-8.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.0
ソ 良質な住宅の供給	3.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
チ 交通安全・防犯対策	2.2
エ 防災対策の充実	1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.8
タ 学校教育の充実	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.6
コ 県内中小企業の育成	0.3
カ 芸術文化の振興	-0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.0
キ 環境の保全と創造	-2.3
シ 観光の振興	-4.0
オ 生涯学習活動への支援	-4.4

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

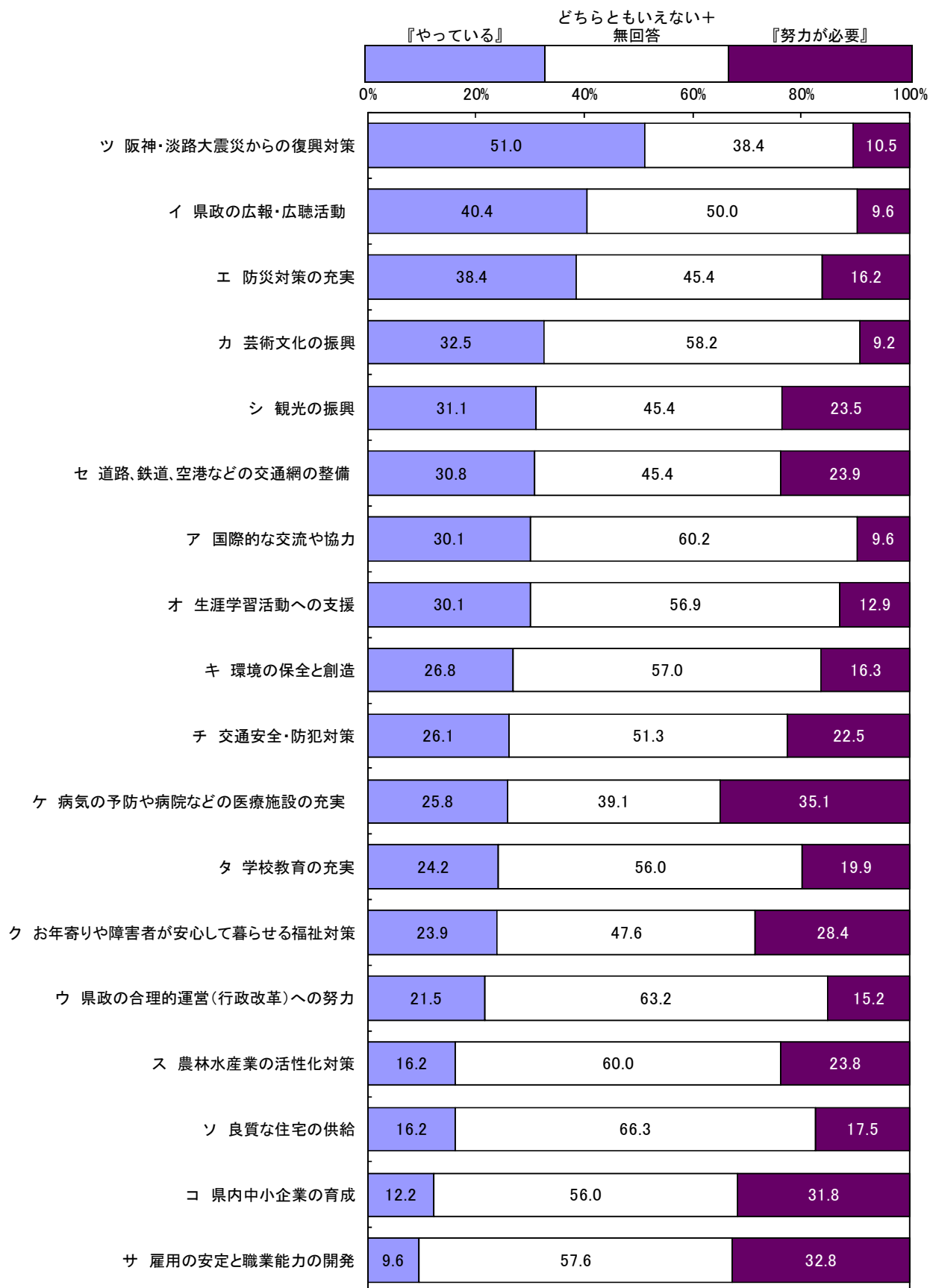
『やっている』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.2
オ 生涯学習活動への支援	2.4
キ 環境の保全と創造	2.4
ソ 良質な住宅の供給	2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.5
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.3
タ 学校教育の充実	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.3
カ 芸術文化の振興	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.8
エ 防災対策の充実	-5.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.9
シ 観光の振興	-9.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

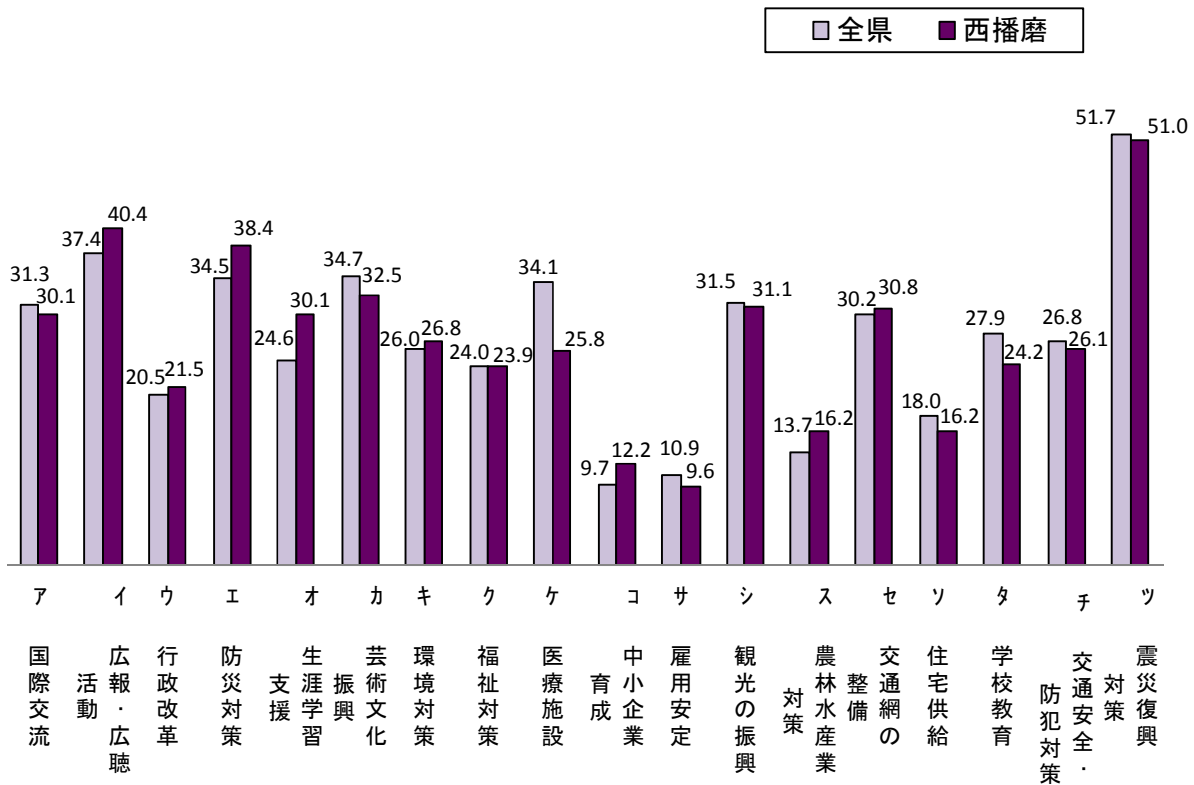
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.6
エ 防災対策の充実	6.0
ソ 良質な住宅の供給	4.3
シ 観光の振興	3.5
チ 交通安全・防犯対策	3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
ア 国際的な交流や協力	1.4
タ 学校教育の充実	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
カ 芸術文化の振興	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.8
キ 環境の保全と創造	-1.9
ス 農林水産業の活性化対策	-2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.4
オ 生涯学習活動への支援	-3.8

《西播磨地域》

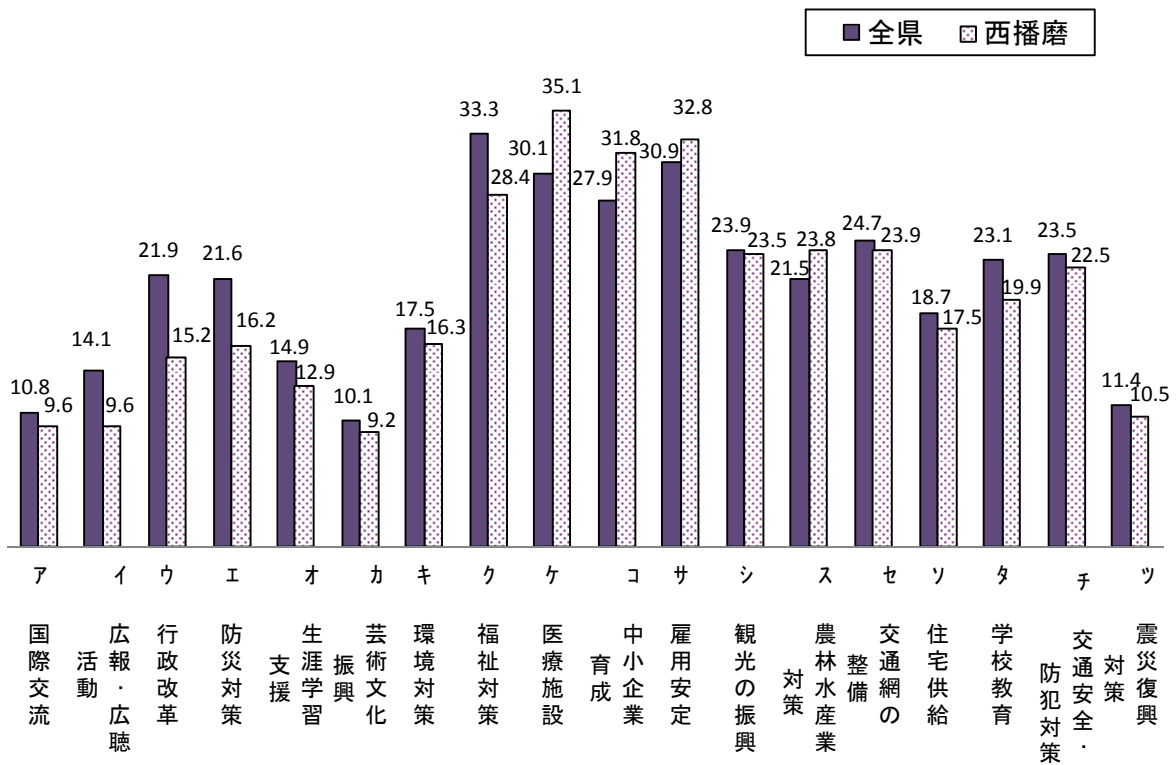
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔イ 県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.5
エ 防災対策の充実	3.9
イ 県政の広報・広聴活動	3.0
コ 県内中小企業の育成	2.5
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.0
キ 環境の保全と創造	0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
シ 観光の振興	-0.4
チ 交通安全・防犯対策	-0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.3
ソ 良質な住宅の供給	-1.8
カ 芸術文化の振興	-2.2
タ 学校教育の充実	-3.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.0
コ 県内中小企業の育成	3.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.9
シ 観光の振興	-0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
カ 芸術文化の振興	-0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.9
チ 交通安全・防犯対策	-1.0
キ 環境の保全と創造	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
ア 国際的な交流や協力	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.0
タ 学校教育の充実	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.9
エ 防災対策の充実	-5.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.7

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

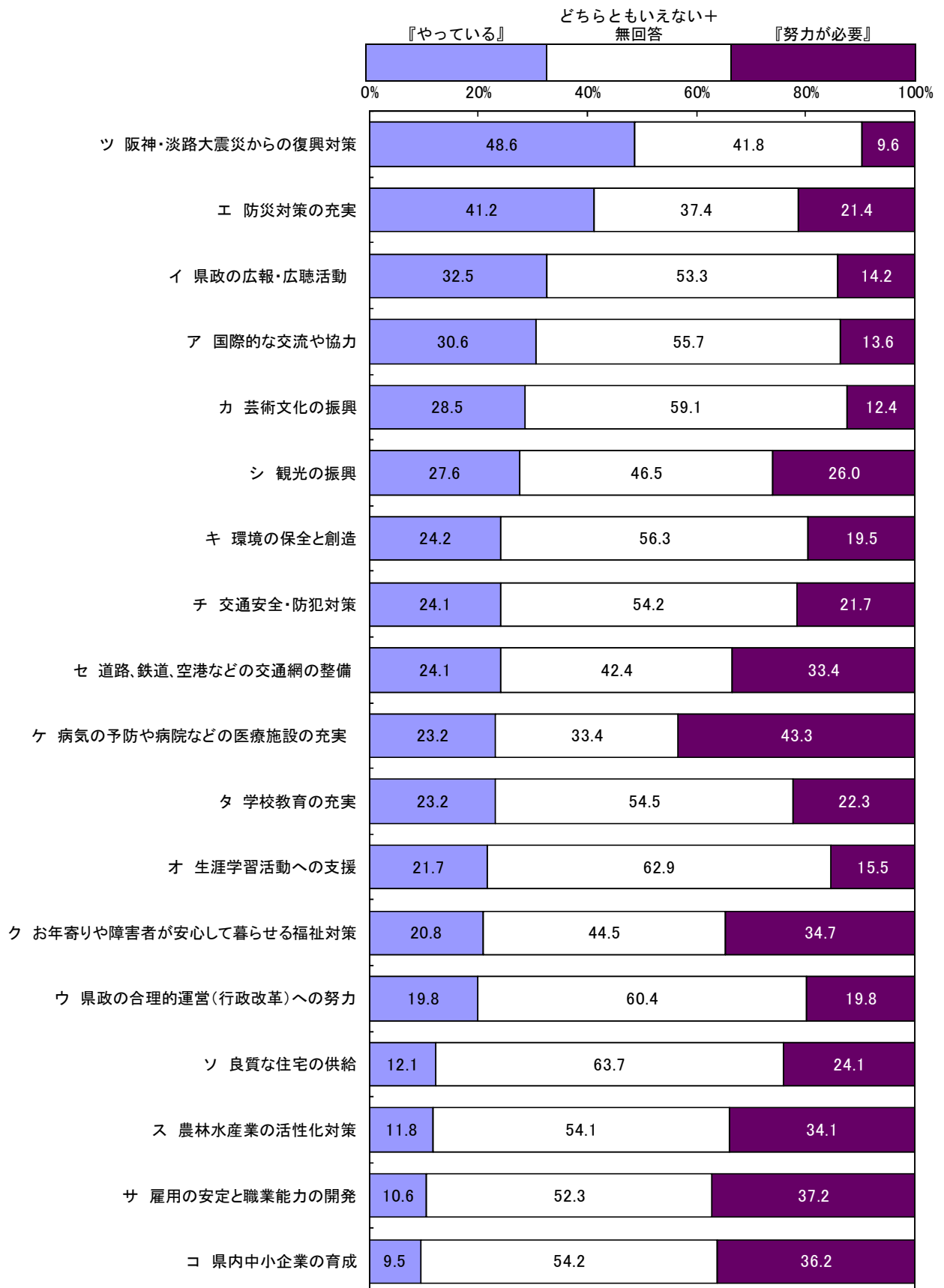
『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
コ 県内中小企業の育成	1.2
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.1
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
キ 環境の保全と創造	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.9
シ 観光の振興	-2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.1
カ 芸術文化の振興	-3.3
エ 防災対策の充実	-3.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.0
ア 国際的な交流や協力	-7.3
チ 交通安全・防犯対策	-8.2
タ 学校教育の充実	-8.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

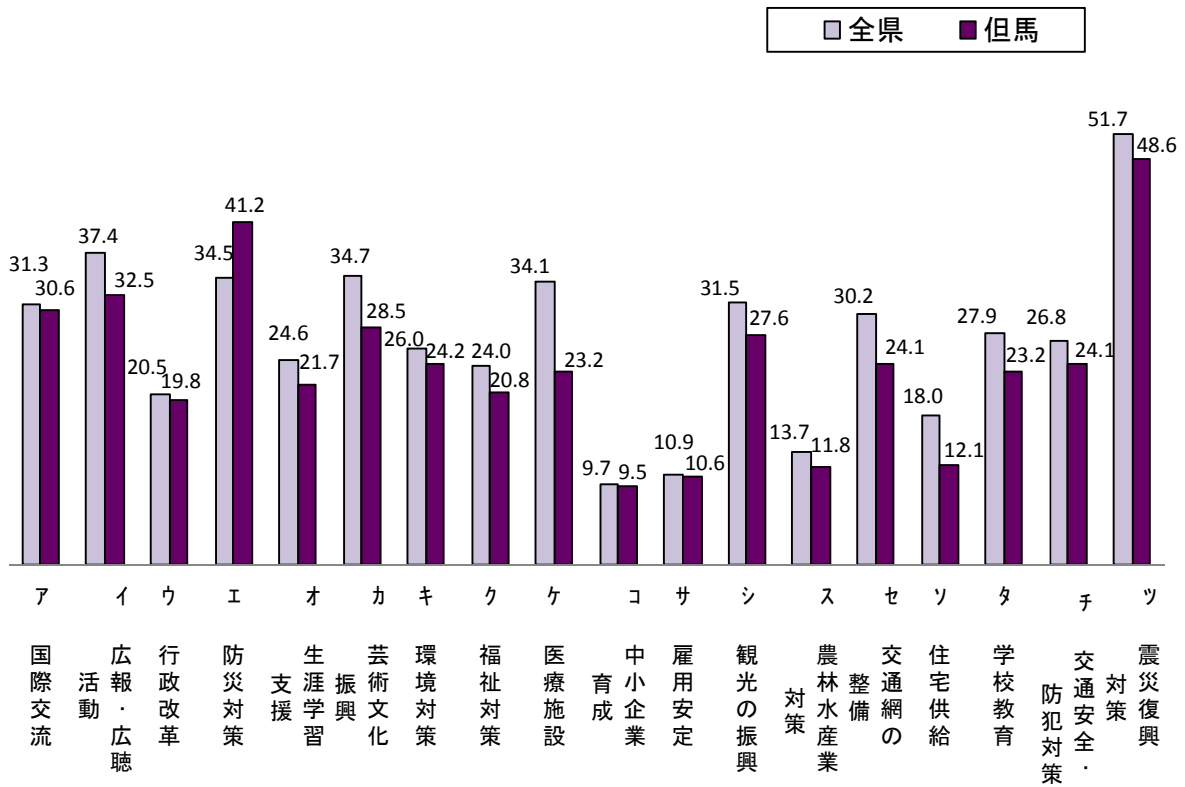
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	7.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.4
チ 交通安全・防犯対策	6.1
コ 県内中小企業の育成	5.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.5
キ 環境の保全と創造	2.8
オ 生涯学習活動への支援	2.8
ソ 良質な住宅の供給	1.8
ア 国際的な交流や協力	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	1.4
タ 学校教育の充実	0.8
エ 防災対策の充実	0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
カ 芸術文化の振興	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-5.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.5

《但馬地域》

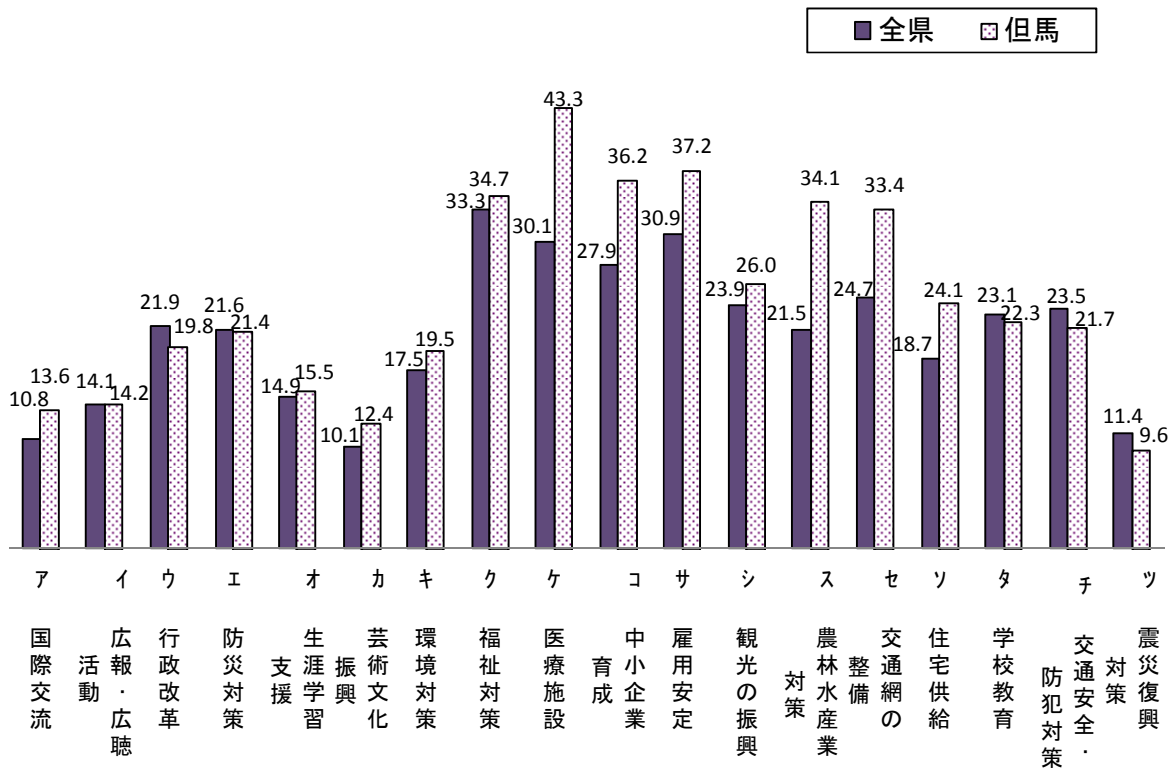
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と但馬】



『努力が必要』【全県と但馬】



全県との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	6.7
コ 県内中小企業の育成	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.7
キ 環境の保全と創造	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.9
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
シ 観光の振興	-3.9
タ 学校教育の充実	-4.7
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
ソ 良質な住宅の供給	-5.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.1
カ 芸術文化の振興	-6.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-10.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	13.2
ス 農林水産業の活性化対策	12.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	8.7
コ 県内中小企業の育成	8.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.3
ソ 良質な住宅の供給	5.4
ア 国際的な交流や協力	2.8
カ 芸術文化の振興	2.3
シ 観光の振興	2.1
キ 環境の保全と創造	2.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
オ 生涯学習活動への支援	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
エ 防災対策の充実	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

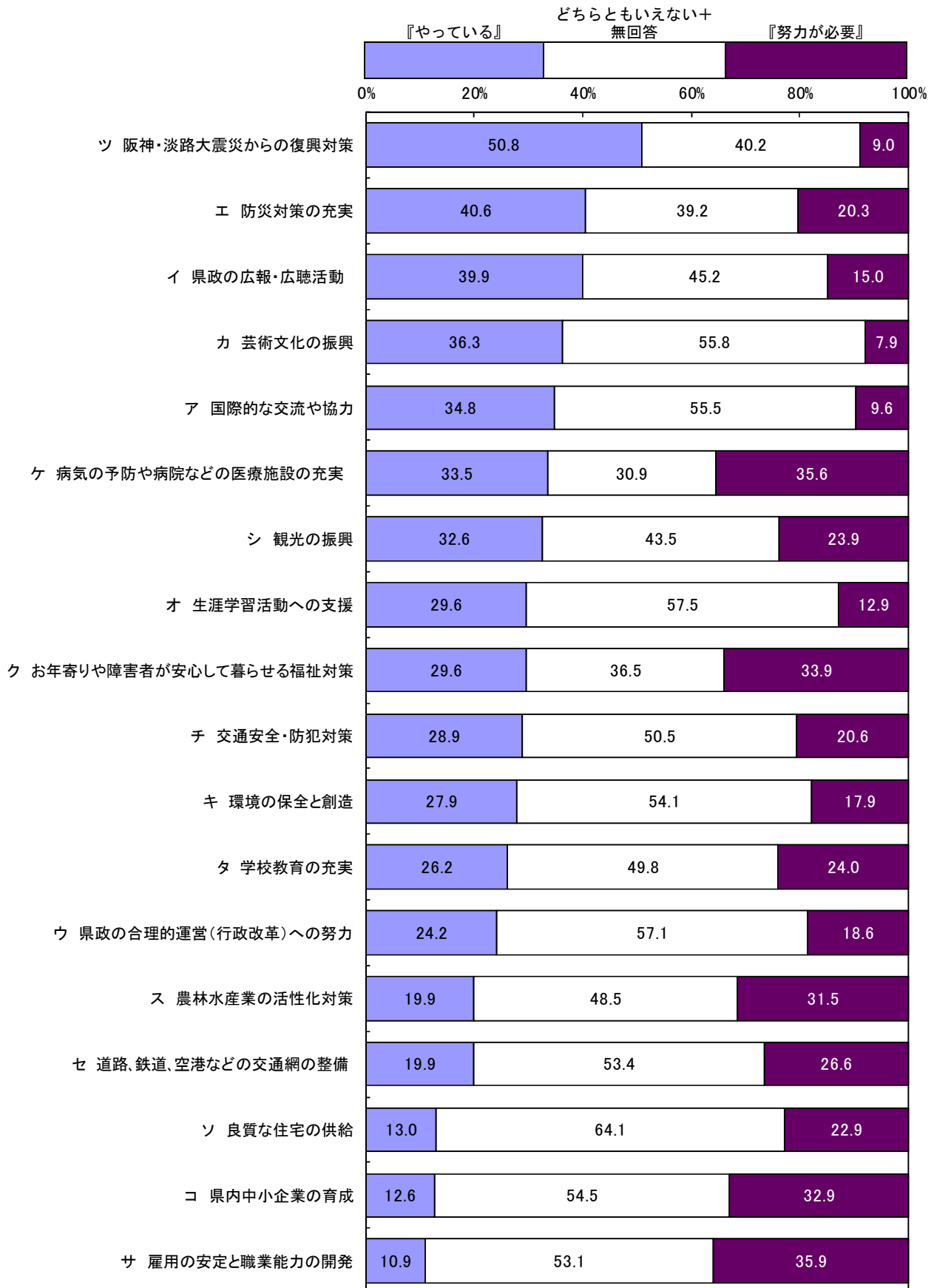
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	4.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.9
コ 県内中小企業の育成	1.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.5
タ 学校教育の充実	0.3
シ 観光の振興	0.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
カ 芸術文化の振興	-1.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.5
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
オ 生涯学習活動への支援	-4.2
ア 国際的な交流や協力	-4.6
チ 交通安全・防犯対策	-4.8
キ 環境の保全と創造	-5.4
イ 県政の広報・広聴活動	-6.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-8.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

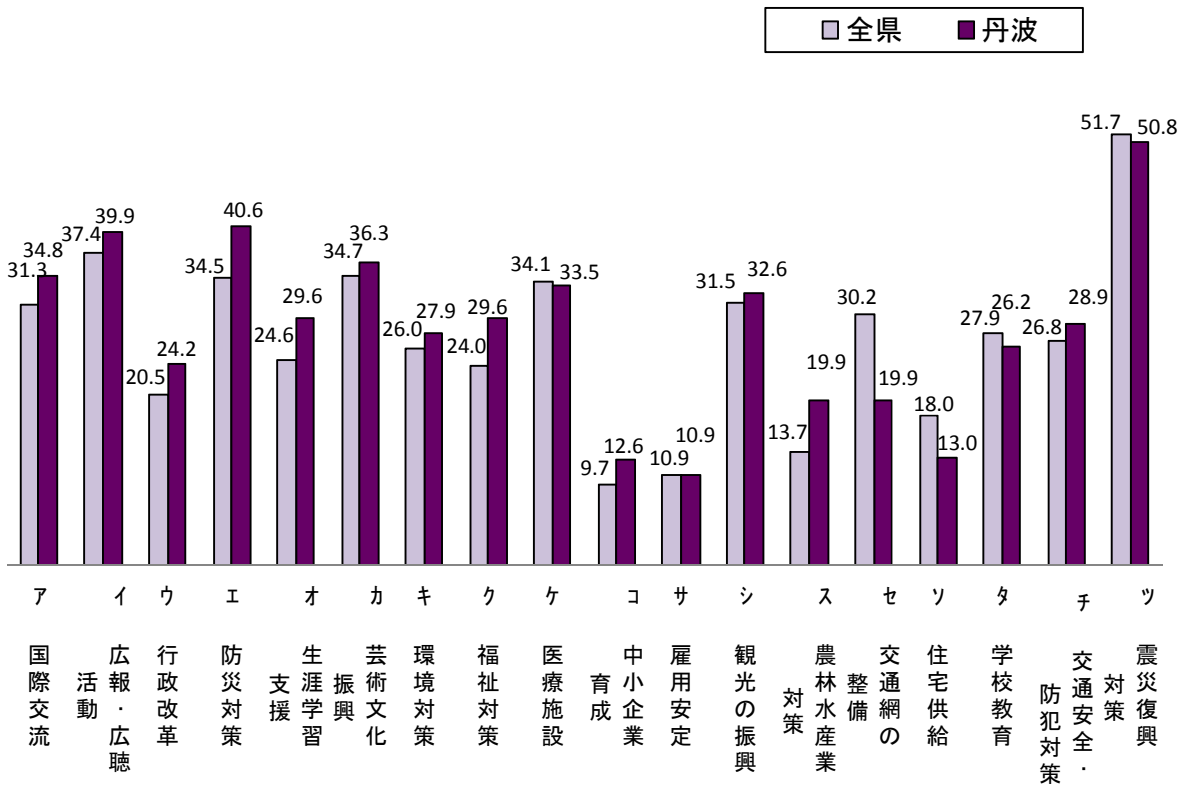
『努力が必要』	増減
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	8.1
ソ 良質な住宅の供給	6.8
ス 農林水産業の活性化対策	6.2
キ 環境の保全と創造	5.9
シ 観光の振興	5.4
チ 交通安全・防犯対策	4.4
カ 芸術文化の振興	3.4
エ 防災対策の充実	3.1
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
オ 生涯学習活動への支援	2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.4
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.3
ア 国際的な交流や協力	2.3
タ 学校教育の充実	0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.7
コ 県内中小企業の育成	-2.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.3

《丹波地域》

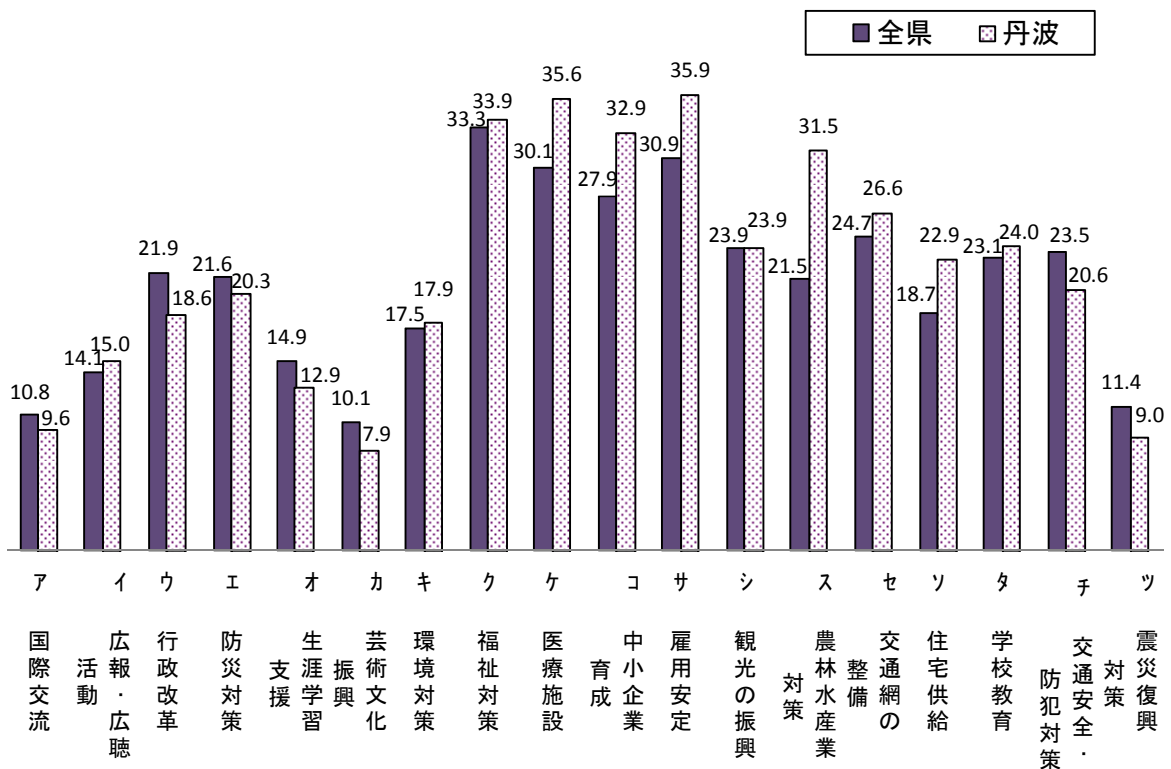
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕（エ 防災対策の充実）などで評価が高い。



『やっている』【全県と丹波】



『努力が必要』【全県と丹波】



全県との比較では〔ス 農林水産業の活性化対策〕が最も評価が高く、かつ、最も努力が求められている。

前年との比較では、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	6.2
エ 防災対策の充実	6.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.6
オ 生涯学習活動への支援	5.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.7
ア 国際的な交流や協力	3.5
コ 県内中小企業の育成	2.9
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
チ 交通安全・防犯対策	2.1
キ 環境の保全と創造	1.9
カ 芸術文化の振興	1.6
シ 観光の振興	1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.9
タ 学校教育の充実	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-5.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	10.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.0
コ 県内中小企業の育成	5.0
ソ 良質な住宅の供給	4.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	0.9
タ 学校教育の充実	0.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.6
キ 環境の保全と創造	0.4
シ 観光の振興	0.0
ア 国際的な交流や協力	-1.2
エ 防災対策の充実	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

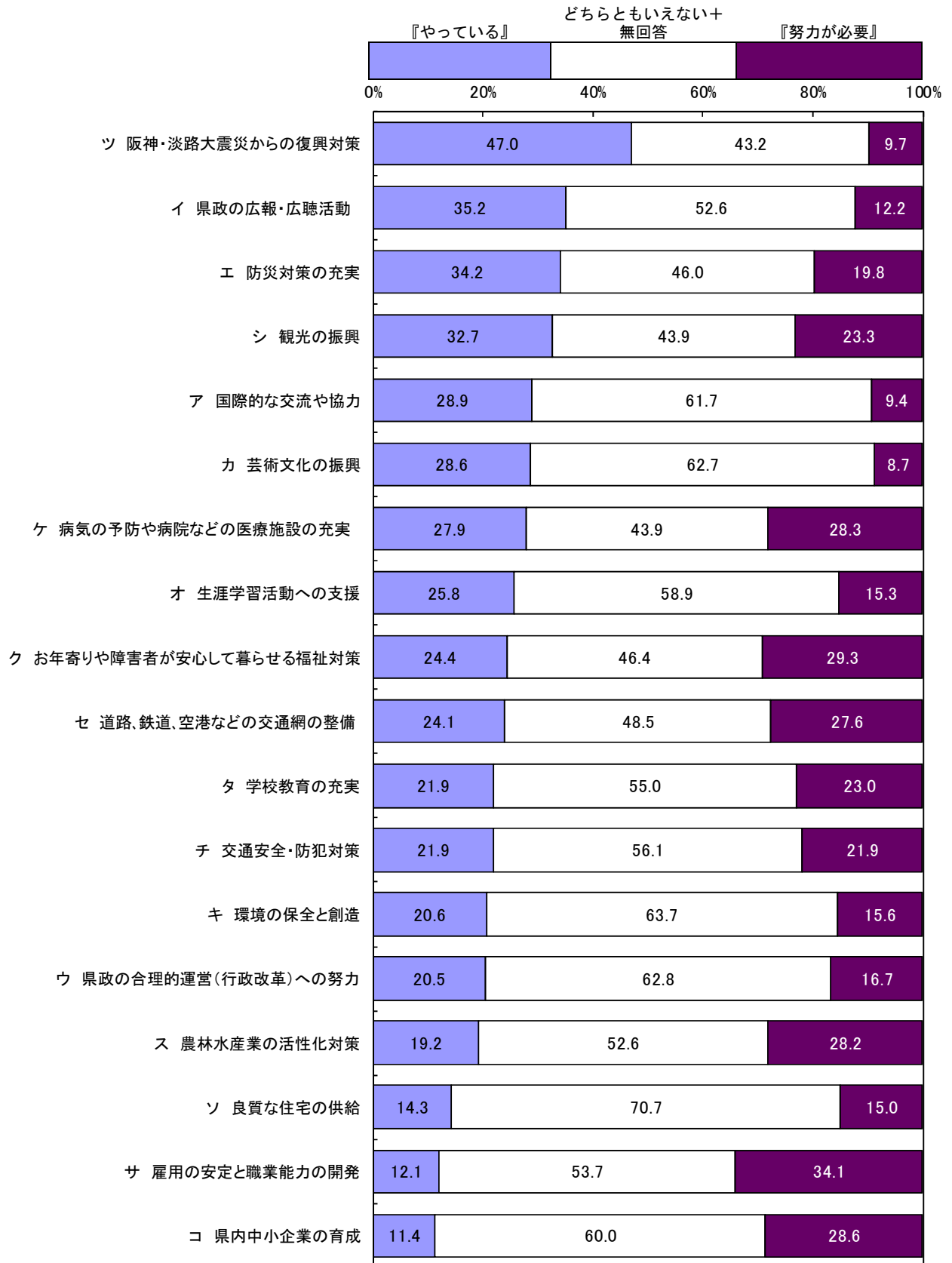
『やっている』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	3.8
シ 観光の振興	2.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.1
カ 芸術文化の振興	0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.6
エ 防災対策の充実	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
タ 学校教育の充実	-2.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.9
キ 環境の保全と創造	-6.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

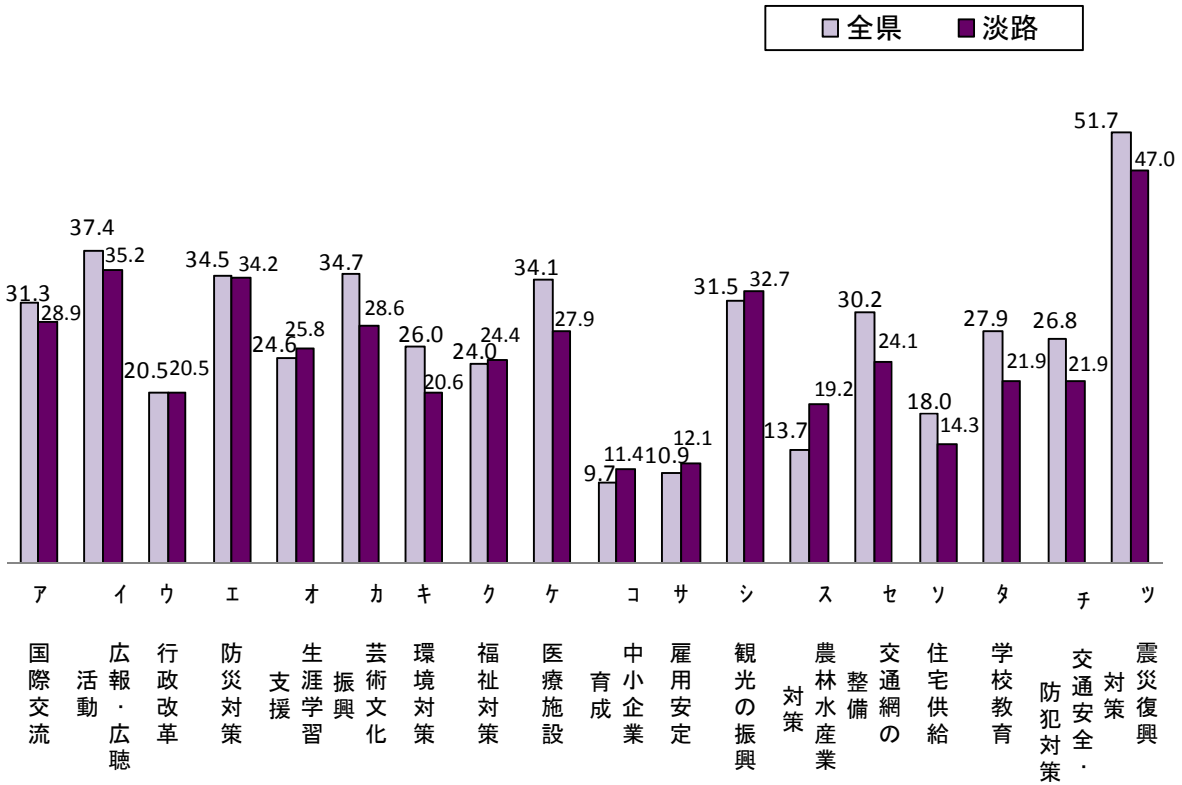
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	6.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.8
タ 学校教育の充実	4.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.7
オ 生涯学習活動への支援	2.8
キ 環境の保全と創造	2.2
チ 交通安全・防犯対策	2.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ソ 良質な住宅の供給	0.4
エ 防災対策の充実	-0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-2.1
カ 芸術文化の振興	-2.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-8.6

《淡路地域》

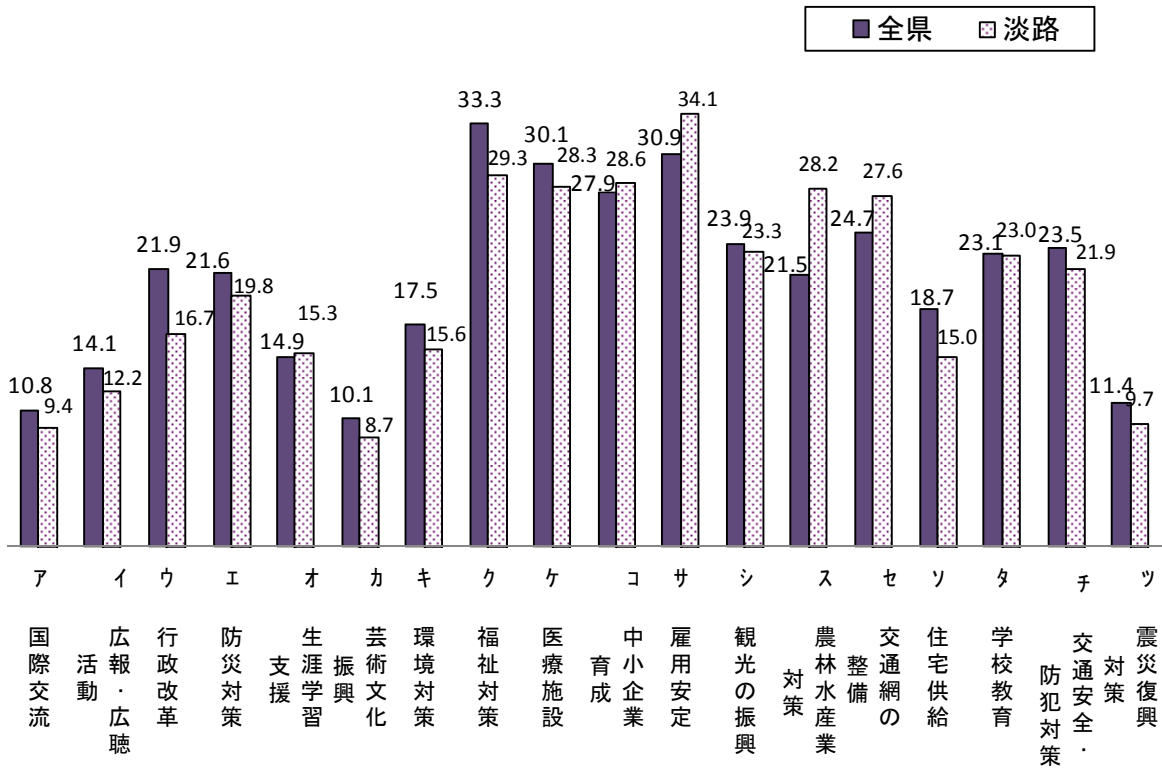
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔イ 県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と淡路】



『努力が必要』【全県と淡路】



全県との比較では〔ス 農林水産業の活性化対策〕が最も評価が高く、かつ、最も努力が求められている。

前年との比較では、〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	5.5
コ 県内中小企業の育成	1.7
シ 観光の振興	1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
オ 生涯学習活動への支援	1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
エ 防災対策の充実	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
ア 国際的な交流や協力	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-3.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.7
チ 交通安全・防犯対策	-4.9
キ 環境の保全と創造	-5.4
タ 学校教育の充実	-6.0
カ 芸術文化の振興	-6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	6.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.9
コ 県内中小企業の育成	0.7
オ 生涯学習活動への支援	0.4
タ 学校教育の充実	-0.1
シ 観光の振興	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.8
エ 防災対策の充実	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
キ 環境の保全と創造	-1.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	7.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.1
ス 農林水産業の活性化対策	5.8
オ 生涯学習活動への支援	5.6
コ 県内中小企業の育成	2.7
シ 観光の振興	1.8
ソ 良質な住宅の供給	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
カ 芸術文化の振興	-1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
エ 防災対策の充実	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-3.7
タ 学校教育の充実	-3.7
キ 環境の保全と創造	-4.3
チ 交通安全・防犯対策	-7.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	4.8
チ 交通安全・防犯対策	1.4
タ 学校教育の充実	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.7
キ 環境の保全と創造	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.4
カ 芸術文化の振興	0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.4
コ 県内中小企業の育成	-1.7
エ 防災対策の充実	-1.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.0
ソ 良質な住宅の供給	-8.9

問26 県民局・県民センターの認知度

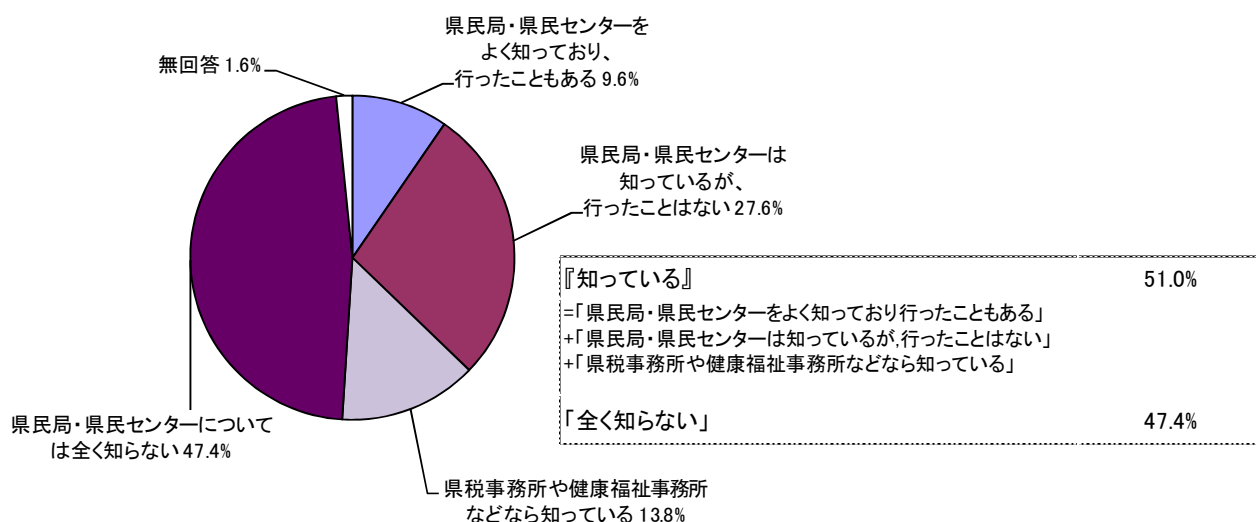
問26

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

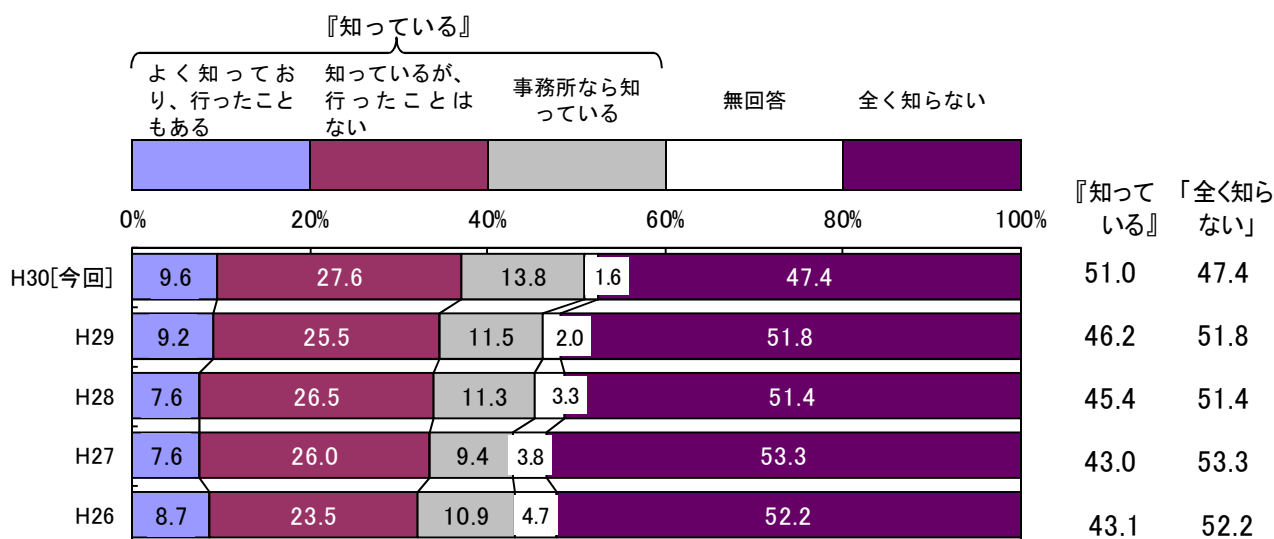
【全県】

「よく知っており、いったこともある(9.6%)」、「知っているが、行ったことはない(27.6%)」、「事務所なら知っている(13.8%)」を合わせた『知っている』は51.0%となった。



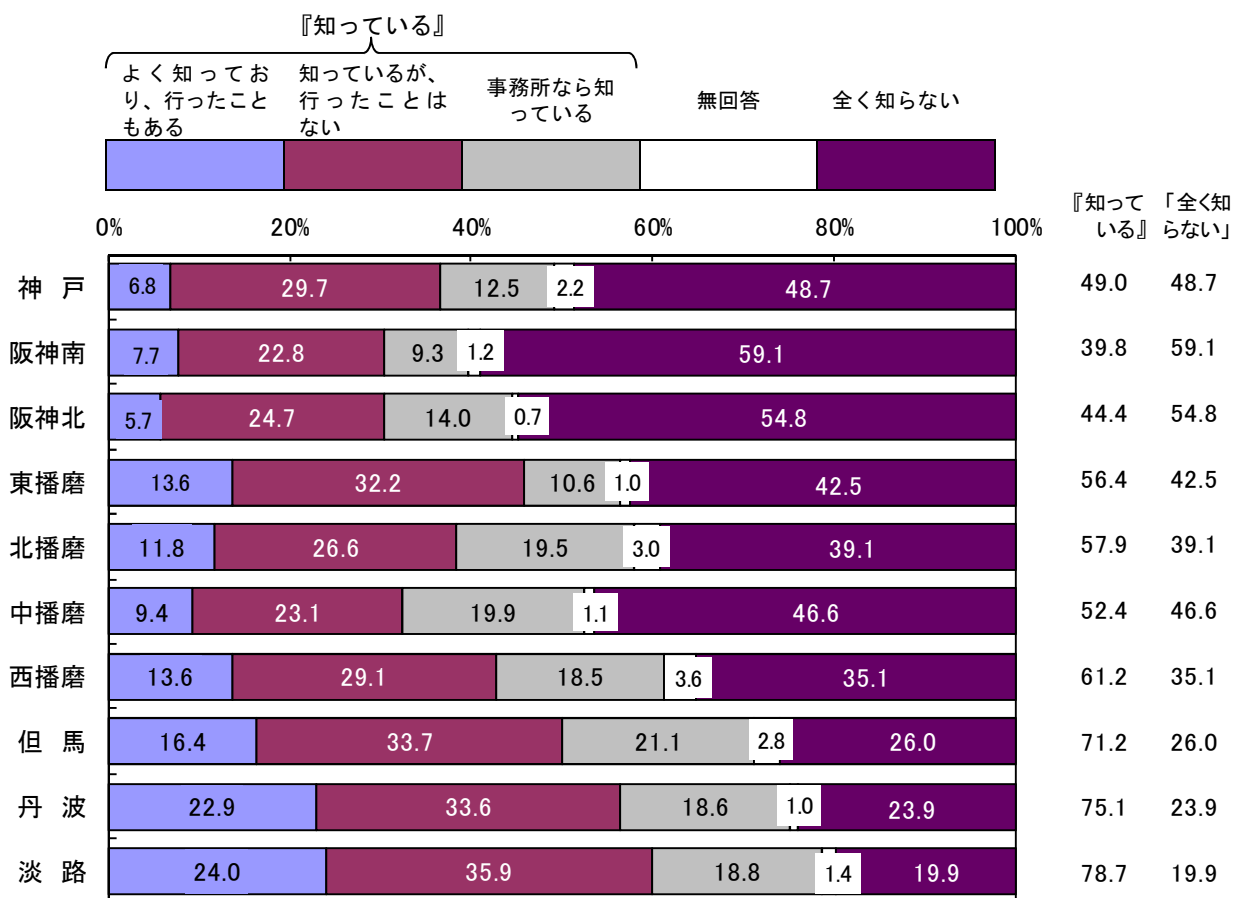
【経年比較】

『知っている(51.0%)』は、前年より4.8ポイント増加した。



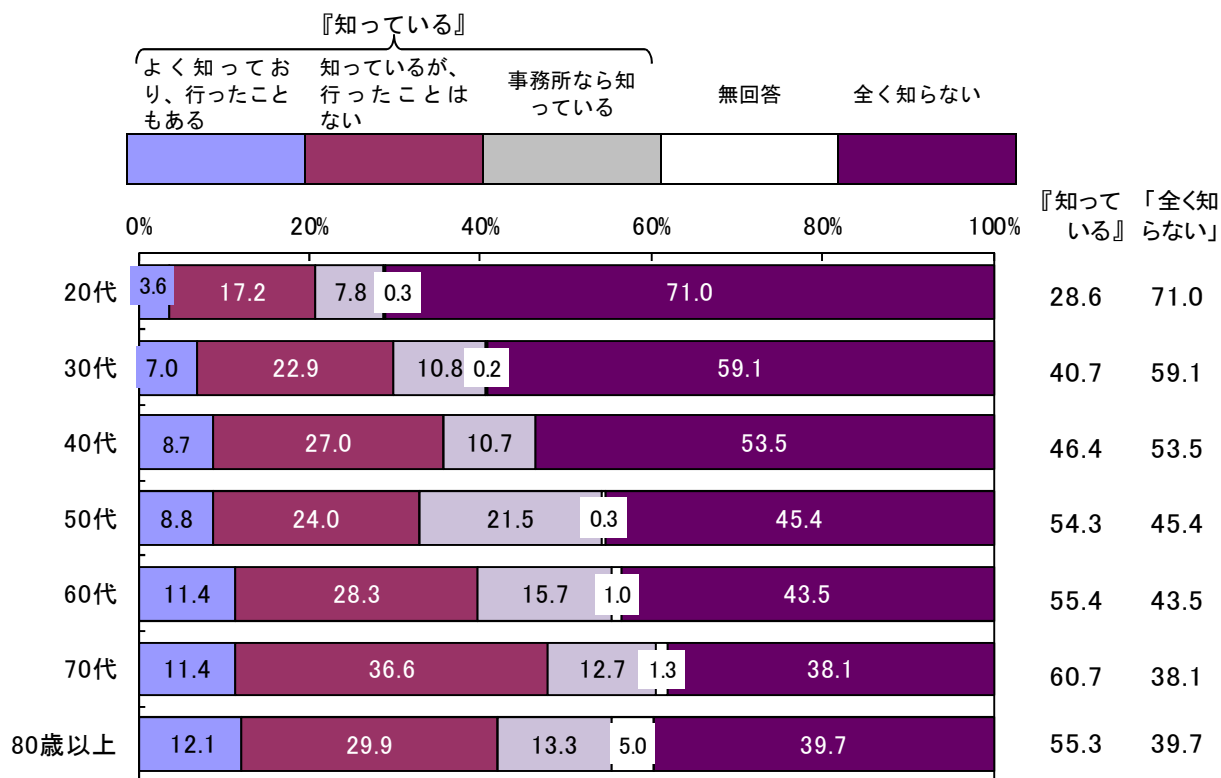
【地域別】

『知っている』は、淡路(78.7%)、丹波(75.1%)、但馬(71.2%)が高い。



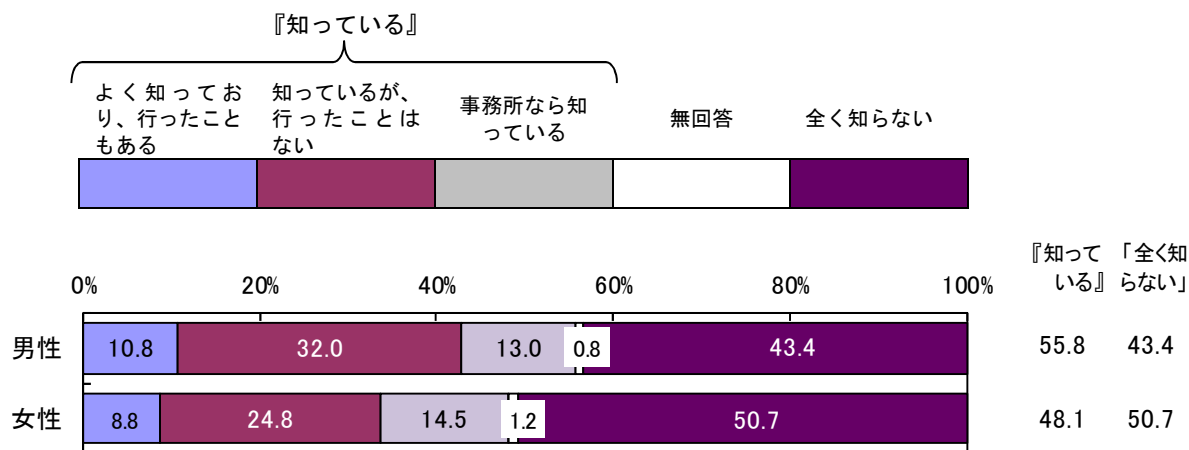
【年代別】

『知っている』は70代が最も高い(60.7%)



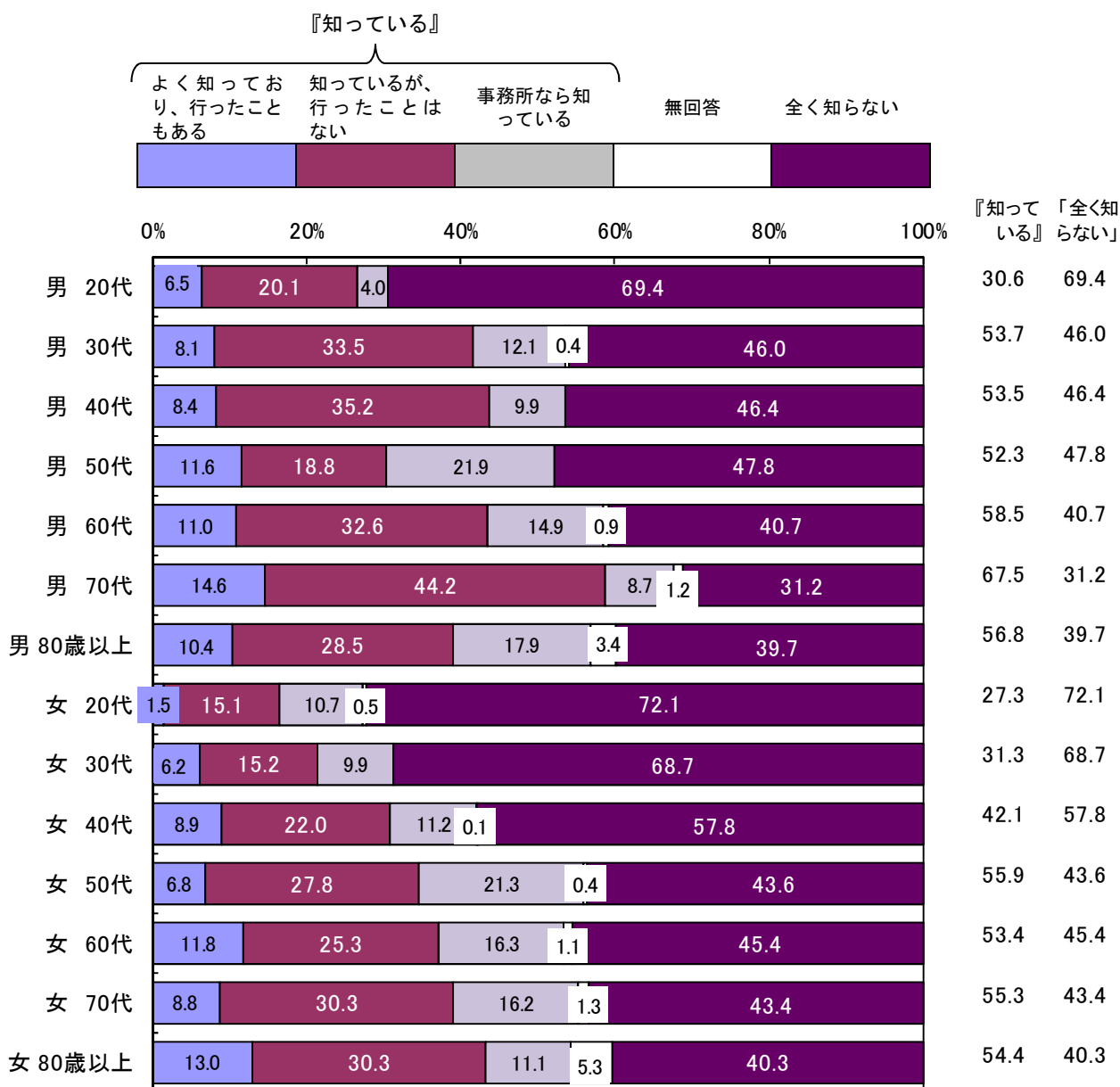
【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より7.7ポイント高い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は70代が最も高く（67.5%）、女性は50代が最も高い（55.9%）。





ひょうごの道・橋・川を考える

平成30年度県民意識調査

兵庫県では、道路や橋、堤防などの社会基盤整備の考え方を示す「社会基盤整備プログラム（平成26～35年度）」を策定し、元気で安全・安心な、まちづくりを進めてきました。

このプログラムの中間年にあたる今年度、新たなプログラム（平成31～40年度）に見直すにあたり、地域の課題やまちづくりに対応して必要となる社会基盤に対する意識や、皆さんが求める住みやすいまちづくりについて、ご意見をお伺いし、今後の社会基盤整備に活用していきたいと考えています。

今回、多くの県民の皆さんの中から、あなたを回答者として選ばせていただきました。

お忙しい中誠に恐縮ですが、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。



平成30年9月

兵庫県知事 井戸 敏三

※ 回答ご記入についてのお願い

- ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでの全てに回答をお願いします。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月25日（火）まで**にご返送くださいますようお願いいたします。
- この調査は**無記名**でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
- 調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
- ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。

◆ 兵庫県企画県民部 広聴課広聴相談班 TEL078(362)3021

◆まず、「道路」についてお聞きします。

問1 あなたがお住まいの地域で、通勤・通学、買い物など普段の生活に利用する「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、歩いたり自転車で移動するときに、どの程度満足していますか。次の中から**1つ**選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

問2 あなたは、「道路（一般道路）」について、歩いたり自転車で移動するとき、どのようなことを不満に思いますか。次の中から**該当するものを3つまで**選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩道がなく危ない
- 2 歩道が傾いていたりデコボコしていて歩きにくい
- 3 歩道に電柱があるため歩きにくい
- 4 歩行者と自転車が混在していて危ない
- 5 高齢者や車いす等の利用に配慮されていない
- 6 側溝にふたがなく危ない
- 7 ガードレールがなく車にぶつかりそう
- 8 照明灯が少なく夜間が暗い
- 9 電柱や電線で景観が悪い
- 10 並木や植え込みの雑草やゴミが気になる
- 11 車の騒音や排気ガスが気になる
- 12 緑が少なくうるおいがない
- 13 不満はない
- 14 その他（ ）
- 15 わからない

問3 あなたは「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どの程度満足していますか。次の中から**1つ**選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

問4 あなたは、「道路（一般道路）」について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どのようなことを不満に思いますか。次の中から**該当するものを3つまで**選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない
- 2 道幅がせまくすれ違いにくい
- 3 車線数が足りず混雑している
- 4 道が曲がりくねっていて危ない
- 5 右折レーンがなく交差点で渋滞する
- 6 ひやりとする危険な交差点や踏切がある
- 7 大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる
- 8 古い橋があり地震のとき落ちないか不安
- 9 舗装が傷んでいて乗り心地が悪い
- 10 並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない
- 11 道路案内標識が不十分である
- 12 不満はない
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

問5 あなたが居住地から他府県など長距離を移動する際に使う「自動車専用道路（高速道路など）」について、どの程度満足していますか。次の中から**1つ**選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

問 6 あなたは、「自動車専用道路（高速道路など）」について、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 自動車専用道路が渋滞している
- 2 行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない
- 3 自動車専用道路のインターチェンジが近くにない
- 4 自動車専用道路までの道が不便である
- 5 通行料金が高い
- 6 中央分離帯の整備や逆走対策などの安全対策が不十分
- 7 不満はない
- 8 その他（ ）
- 9 わからない

◆次に、「海や川など水辺の環境の保全」についてお聞きます。

問 7 あなたがお住まいの地域の海・川など水辺の環境について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満
- 6 わからない

問 8 あなたは、どのようなことを不満に思っていますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 水質が悪い
- 2 悪臭がする
- 3 ゴミが目立つ
- 4 水量が少ない
- 5 景観が悪い
- 6 安心して水辺に親しめる場所がない
- 7 生物を育む環境が少ない
- 8 河川敷や堤防に雑草が繁茂している
- 9 不満はない
- 10 その他（ ）
- 11 わからない

問 9 あなたが、未来に残したい川（水辺の環境）は、どのようなものですか。次の中から該当するものを2つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 生活排水やゴミがない水のきれいな川
- 2 人が安心して水とふれあえる水辺のある川
- 3 豊かな自然があり多くの生物がいる川
- 4 歴史的な景観が残る川
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

◆次に、「自然災害に対する意識」についてお聞きます。

問 10 あなたがお住まいの地域で特に不安を感じる自然災害はどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地震
- 2 津波
- 3 洪水
- 4 高潮
- 5 がけ崩れ、土石流、地すべり
- 6 豪雪・雪崩
- 7 その他（ ）

問 11 あなたがお住まいの地域において、自然災害への備えで特に不安を感じることはどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分
- 2 橋、トンネル、道路等の老朽化対策が不十分
- 3 道路の除雪対策が不十分
- 4 川底に土砂が堆積するなど川の流水対策が不十分
- 5 過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる
- 6 避難場所や避難経路を知らない
- 7 地域に高齢者など災害時に助けが必要な方が多い
- 8 災害時の警戒・避難情報等が得られない
- 9 その他（ ）
- 10 わからない

問 12 あなたは、水害・土砂災害について、的確に避難準備や避難判断するためには、どのような情報が必要だと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 雨量
- 2 川の水位
- 3 津波や高潮の高さ
- 4 土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報
- 5 川や海の様子が把握できるカメラ画像
- 6 ハザードマップ（災害予測図）
- 7 避難所・避難経路を示した地図
- 8 その他（ ）
- 9 特になし
- 10 わからない

兵庫県では、水害・土砂災害等に関連する災害危険情報を集約し、「CGハザードマップ（地域の風水害対策情報）」として、インターネットで提供しています。

〈CGハザードマップの掲載情報〉

- ・ハザードマップ（災害予測図）…洪水・津波・高潮の浸水想定区域図、土砂災害警戒区域図 等
- ・リアルタイム情報…県内各地の雨量、河川水位、土砂災害危険度、潮位 等

問 13 あなたは「CGハザードマップ」を知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 見て、実際に災害に備えて利用している
- 2 見たことがあるが、あまり活用していない
- 3 見たことはないが、言葉は知っている
- 4 全く知らない

最後のページまでよろしく
お願いします。



